取扱説明書

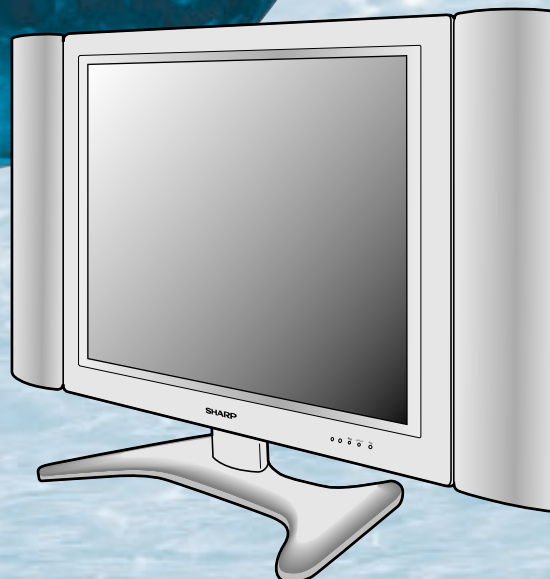
液晶カラーテレビ

形 名

エルシー ビーブイ
LC-30BV3

AQUOS

BS DIGITAL

はじめに
設置する
テレビを楽しむ
BSデジタル放送を楽しむ
外部機器との接続
お知らせ
Quick Start Guide（クイックスタートガイド）

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

もくじ

はじめに

設置する

テレビを楽しむ

テレビを楽しむ（つづき）

BSデジタル放送を楽しむ

もくじ(つづき)

BSデジタル放送を楽しむ(つづき)

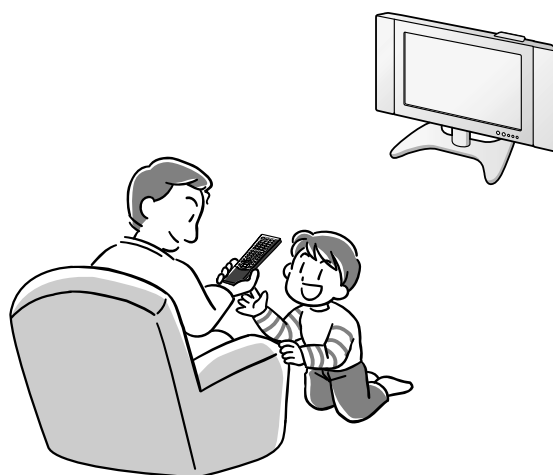
外部機器との接続

外部機器との接続(つづき)

お知らせ

Quick Start Guide (クイックスタートガイド)

ご注意 お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

※ 本取扱説明書に記載している画面表示は説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

安全上のご注意

ご使用前に**「安全上のご注意」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

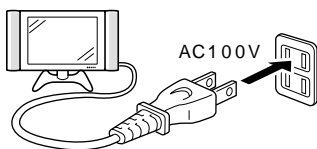
 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、してはいけないことを表しています。

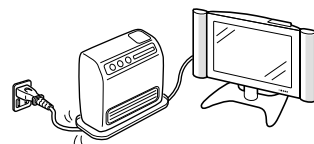
 記号は、しなければならないことを表しています。

警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

100ボルト
以外禁止

火災・感電の原因となります。

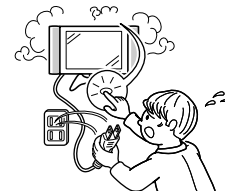
電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしない

禁止

火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、テレビの電源を切り、電源プラグを抜く

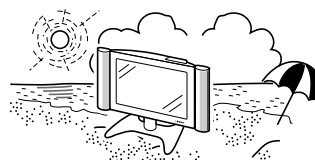
電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、テレビの電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグ
を抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様による修理は絶対におやめください。

テレビに水が入ったり、ぬらさない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

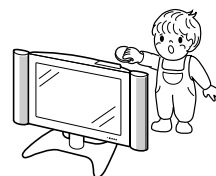
⚠ 警告

内部に水や異物が入ったときは、テレビの電源を切り、電源プラグを抜く

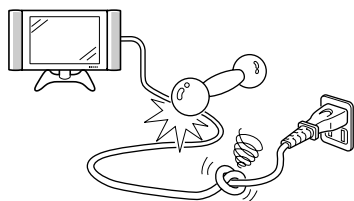
電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

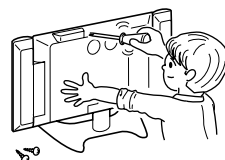
異物を入れない

禁止

通風孔(裏ぶたのすき間)などから物を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

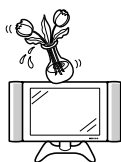
電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱しない

禁止

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

テレビの裏ぶたを外したり、改造しない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

テレビの上に花びん等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

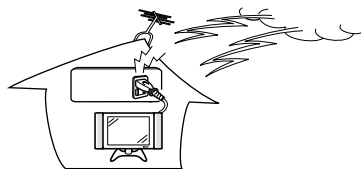
火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

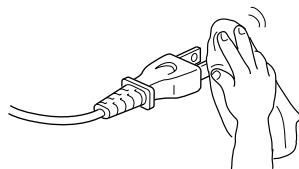
禁止

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

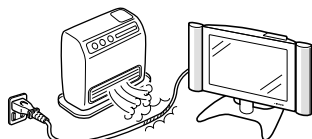
電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

ほこりを取る

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

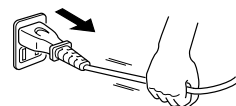
安全上のご注意(つづき)

⚠注意

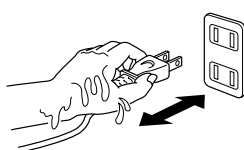
電源コードを熱器具に近づけない

禁止

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

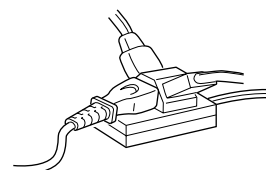
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

タコ足配線をしない

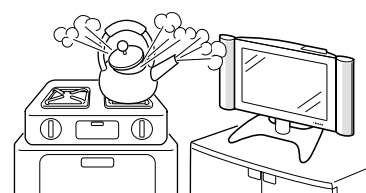
禁止

火災・感電の原因となることがあります。

アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

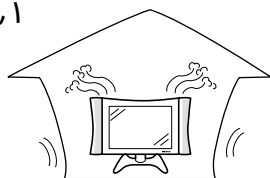
離して配置

•送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
•BS、CS放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

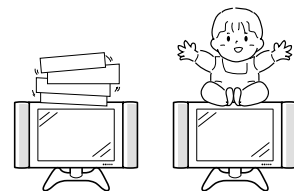
湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たる所に置かない

禁止

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

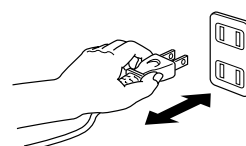
あお向けや横倒し、逆さまにしない・風通しの悪い所に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

禁止

通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

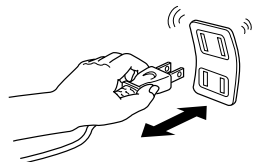
禁止

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

電源プラグは確実に差し込む

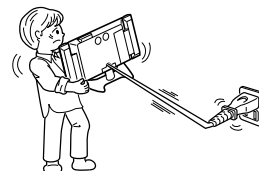
確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⚠ 注意

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

禁止

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

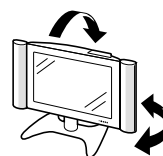
接続線をはずす

接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

感電や火災の原因となることがあります。

スタンドの角度を調整するときは注意する

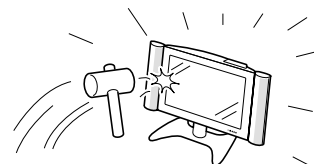
注意

手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。（角度調整の範囲…前方10度、後方8度、左右各10度以内）

3年に1度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する

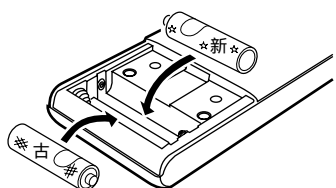
注意

内部にほこりをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。掃除費用については、販売店にご相談ください。

液晶画面に衝撃を与えない

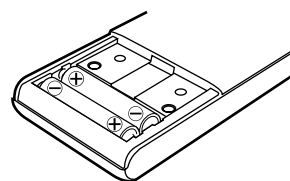
禁止

液晶画面のガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

指定以外の電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

禁止

破裂や液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を入れるときは極性表示（プラスとマイナス）の向きに注意する

表示通りに入れる

破裂や液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

• この取扱説明書でテレビと表現している場合は、液晶カラーテレビを表します。

本機の特長

３０V型ワイドXGA液晶パネルを搭載（ブラウン管テレビ３２型相当）

- ASV[※1]方式低反射ブラックTFT液晶により広視野角、高コントラストを実現。
- 高効率バックライトシステムにより、高輝度を実現。
- 当社独自のデジタル高画質化回路「D.D.H.Qシステム[※2]」採用。

※１：ASV…Advanced Super Viewの略。

※２：D.D.H.Qシステム…Digital Direct High-Qualityシステムの略。

BSデジタルハイビジョンチューナーを薄型ボディーに一体化

- 奥行き9.55cm 質量約17.9kg[※3]の薄型・軽量ボディーに、チューナー部を一体型で内蔵。
- オールインワンスタイルなので、手軽に設置・移動が可能。
- デジタルネットワークを実現するi.LINK端子2系統搭載。

※3：ディスプレイ部＋スピーカー部装着時（スタンド部除く）の寸法、質量です。

ダブルパワーサウンドシステムによる高音質

- 薄型フォルムの中で臨場感あふれる高音質を実現するバスレフ式エンクロージャー（スピーカーボックス）と、スピーカーに迫力ある音を再生させる「ダブルマグネット」の、２つのパワーユニットを採用。
- 加えて、デジタルアンプとBBE Mach3 Bass回路[※4]のシステム化により、メリハリのある低音とクリアなサウンドを両立。

※4：「BBE Mach3 Bass」はBBE社の登録商標です。

D４映像入力端子をはじめ、パソコンモニター（XGA）にもなるミニD-sub１５ピンRGB入力端子など、豊富な入出力端子を装備

環境世紀にふさわしい、AQUOSならではの低消費電力・長寿命設計

- 消費電力は約１５４Wと、同等画面サイズ３２型ブラウン管テレビ（当社３２C－HE１：２２４W）に比べ約３１％削減の省エネルギー化を実現。
- 長寿命バックライトの採用。
- 周囲の明るさに応じてバックライトを自動的に調光し、節電する「オートセーブ機能」搭載。

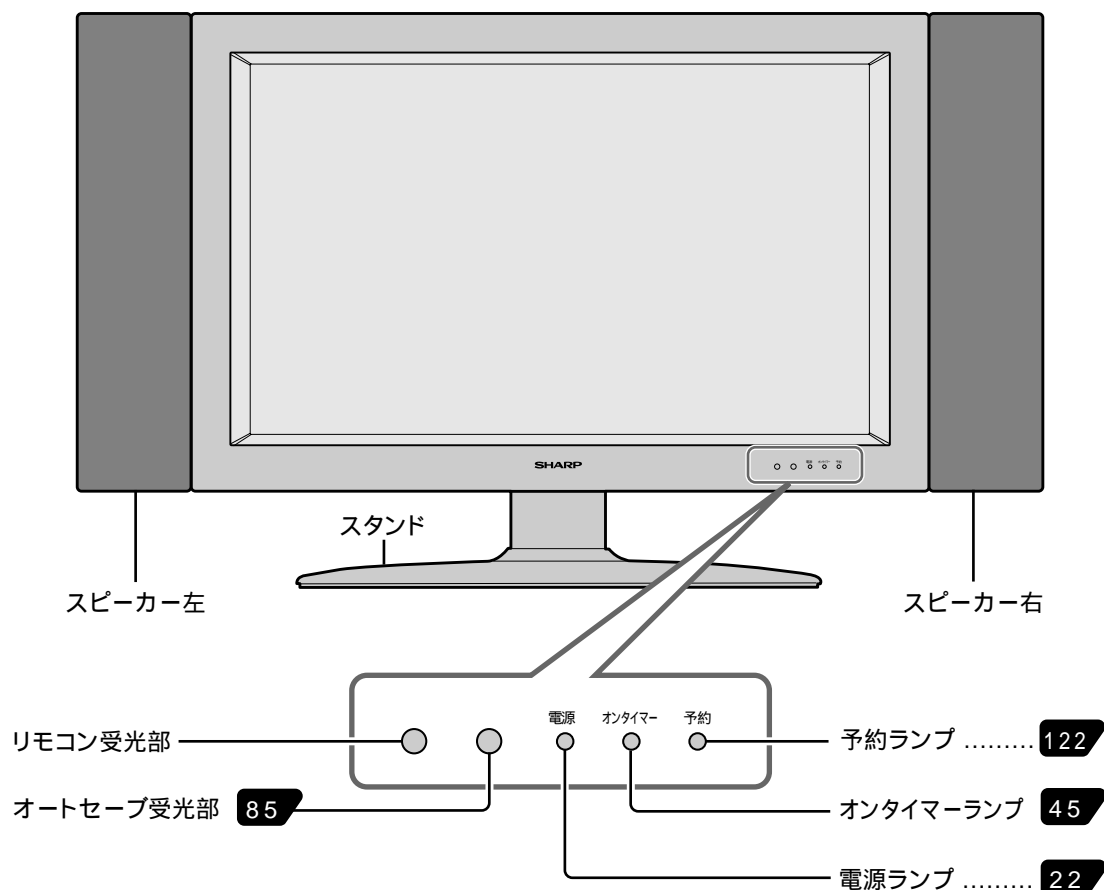
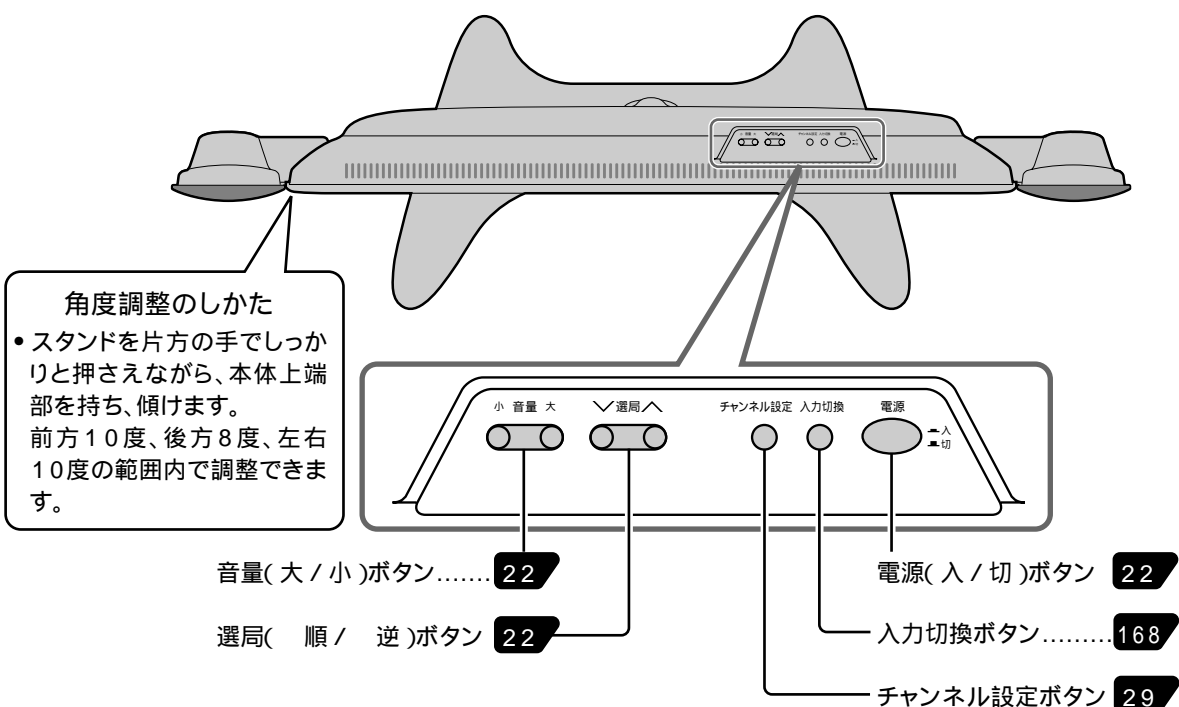
付属品

付属品をご確認ください

ご注意 **ICカード（B-CASカード）は開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。**

各部のなまえ(本体)

■ [ ] 内の数字は、本書で説明しているおもなページです。

本体(前面)

本体操作部(天面)

本体（後面）

• 端子については、**164**〜**165**ページの「端子のなまえとはたらき」もご覧ください。

ビデオ2入力端子 166

ヘッドホン端子 … 164

B-CASカード挿入口…… 98

ロックスイッチ…………… 98

BSデジタルリセットボタン 211

BS出力端子…………… 180

BSデジタル音声出力（光）端子…………… 200

電話回線端子…………… 95

ビデオ1入力端子… 167

ビデオ3入力／コンポーネントビデオ1入力端子…………… 167

ビデオ4入力／コンポーネントビデオ2入力／モニター出力端子 167･176

アンテナ入力（VHF･UHF）端子………… 20

PC音声入力端子………… 196

アナログRGB映像入力端子… 196

i.LINK端子…………… 186

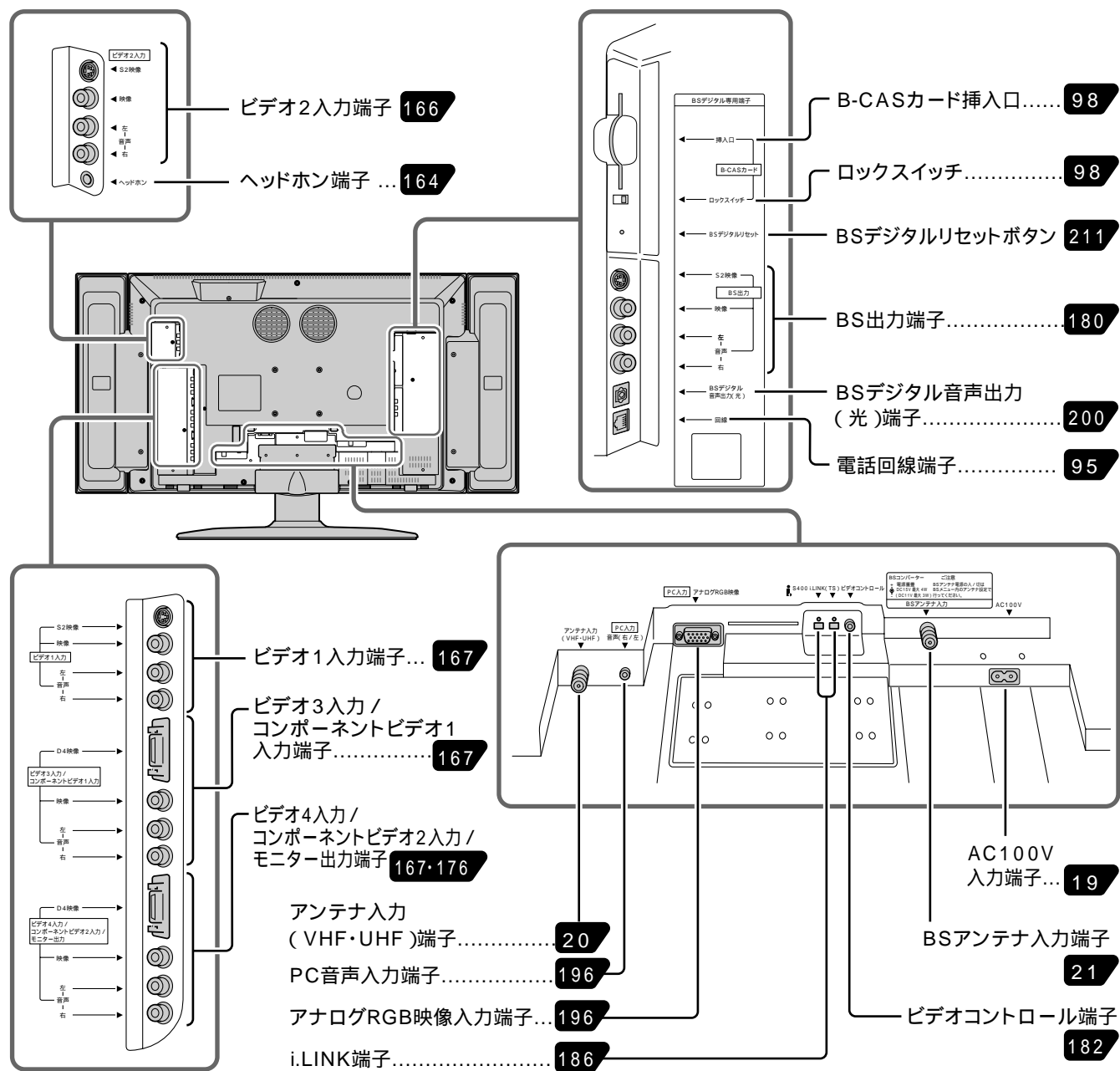
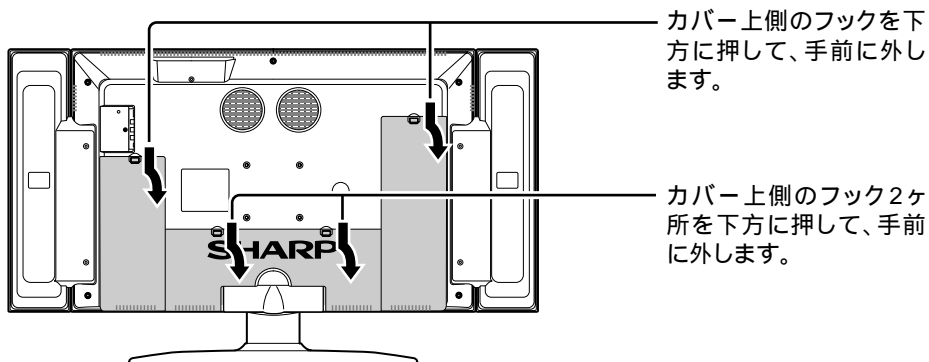
AC100V入力端子… 19

BSアンテナ入力端子 21

ビデオコントロール端子 182

端子カバーの外しかた

カバー上側のフックを下方に押して、手前に外します。

カバー上側のフック2ヶ所を下方に押して、手前に外します。

各部のなまえ（リモコン）

■ [　] 内の数字は、本書で説明しているおもなページです。

とびらを閉じたところ

電源……22
電源を入／切（電源待機）します。

2画面……80
2画面表示にします。

操作切換……81
2画面表示中の操作画面を切り換えます。

テレビチャンネル……22
• 地上放送やCATV放送を選局します。
• チャンネル設定の入力にも使用します。

BSチャンネル……107
• BSデジタル放送を選局します。
• 各種設定の数字入力にも使用します。

番組表……114
BSデジタル放送の電子番組表（EPG）の表示を入／切します。

番組情報……118
視聴中のBSデジタル番組の詳細な情報を表示します。

裏番組表……119
BSデジタル放送の裏番組表の表示を入／切します。

d（データ連動）……108
BSデジタル放送のテレビやラジオ番組に連動したデータ放送を呼び出します。

テレビ……107
BSデジタル放送のテレビ番組を選びます。

戻る……24・106
１つ前の画面に戻ります。
操作を誤ったときや、やりなおしたいときは、決定ボタンを押さず、戻るボタンを押します。

カーソル（上下左右）……24・106
メニューや項目を選びます。

決定……24・106
カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

カラーボタン（青／赤／緑／黄）……114
BSデジタル放送の電子番組表（EPG）やデータ番組の操作に使います。

ビデオ……168
ビデオの入力モードを選びます。

i.LINK……194
i.LINKモードを選びます。i.LINK操作パネルの表示を入／切します。

PC……60
PCモードを選びます。
（PC［パソコン］画面が表示されます）

静止……82
視聴中の番組を2画面にして、静止画と動画で表示します。

オートセーブ……85
周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動調整します。

画面表示……23
画面表示を入／切します。

消音……23
音を一時的に消します。

音量（大／小）……22
音量を調整します。

選局（∧順／∨逆）……22
各種放送を選局します。
※工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。

3桁入力……107
チャンネル番号を入力してBSデジタル放送を選局するときに使います。

確認／登録……113・138
BSチャンネルボタンに設定されているBSチャンネルの確認／登録画面を表示します。

放送切換（デジタル）……112
BSデジタル放送と将来の新しい放送の切換えをします。

ラジオ……110
BSデジタル放送のラジオ番組を選びます。

データ（独立）……111
BSデジタル放送の独立データ番組を選びます。

終了……23・114
2画面、静止画面、番組表やメニュー操作などを終了します。

とびらを開けたところ

テレビメニュー …… 24
通常のメニュー画面の表示を入／切します。

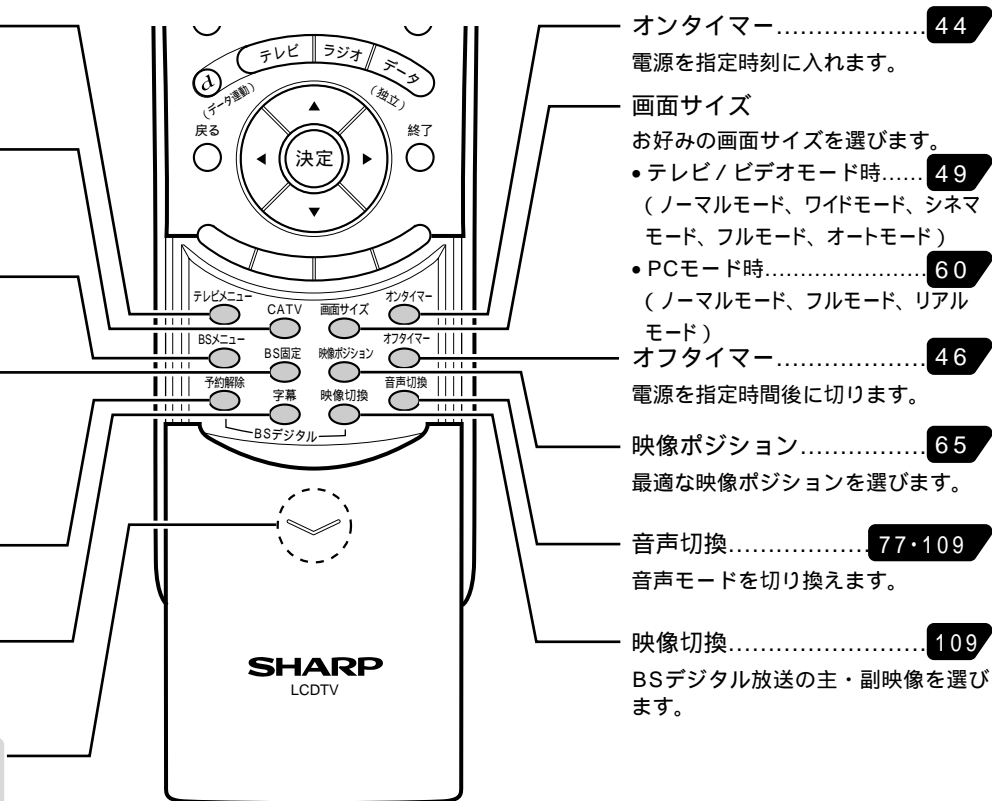
CATV …… 23
CATV放送のチャンネル番号を入力して選局するときに使います。

BSメニュー …… 106
BSメニュー画面の表示を入／切します。

BS固定 …… 181
現在選んでいるBSチャンネルに固定されます。BSデジタル番組を録画しながら、地上放送やCATV放送を見たいときなどに便利です。

予約解除 …… 133
実行中の予約録画が取り消されます。

字幕 …… 136
BSデジタル放送の字幕表示を入／切します。

とびらの開けかた
- ﹀を軽く押しながら、手前にスライドさせます。

オンタイマー …… 44
電源を指定時刻に入れます。

画面サイズ
お好みの画面サイズを選びます。
- テレビ／ビデオモード時 …… 49
(ノーマルモード、ワイドモード、シネマモード、フルモード、オートモード)
- PCモード時 …… 60
(ノーマルモード、フルモード、リアルモード)

オフタイマー …… 46
電源を指定時間後に切ります。

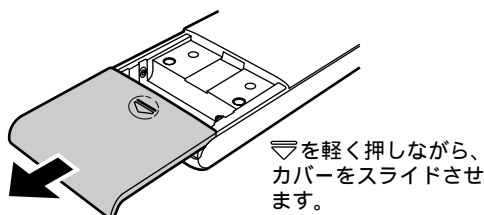
映像ポジション …… 65
最適な映像ポジションを選びます。

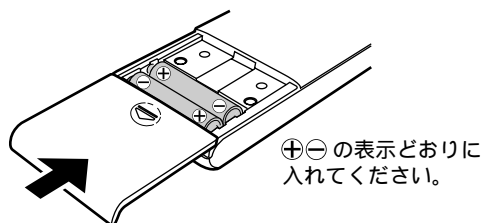
音声切換 …… 77・109
音声モードを切り換えます。

映像切換 …… 109
BSデジタル放送の主・副映像を選びます。

乾電池の入れかた

1 カバーを開ける

﹀を軽く押しながら、カバーをスライドさせます。

2 付属の単4形乾電池を入れ、カバーを閉める

⊕⊖の表示どおりに入れてください。

リモコン使用上のご注意
- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり温度の高いところには置かないでください。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコン動作がしにくくなります。
照明またはテレビの向きを変えてください。

乾電池使用上のご注意

注意

乾電池は誤った使い方をすると液もれや破裂することがありますので、つぎのことをお守りください。
- 種類の違うものや新旧を混ぜて使わない。
- 乾電池を充電したり、分解しない。
- ⊕極と⊖極を正しく入れる。
- ショートさせない。

おしらせ
- 付属の乾電池は保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。

お使いになる前の準備

1 リモコンに乾電池を入れる→15ページ

2 アンテナ線、電話線を接続する→20・95ページ

⚠注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

3 ビデオやオーディオ等、周辺機器を接続する→164ページ

⚠注意
接続する周辺機器の取扱説明書を合わせてご覧になり、正しく接続してください。

4 電源プラグをコンセントに差し込む

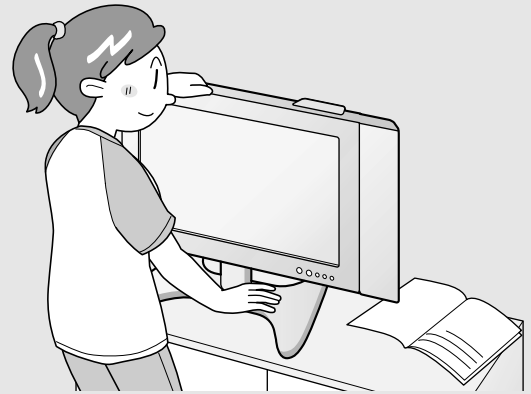
●接続した周辺機器に合わせて、コンセントに差し込んでください。

⚠警告
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意
旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

5 受信チャンネルの設定をする→28ページ

6 BSデジタル放送を視聴するための準備をする→94ページ

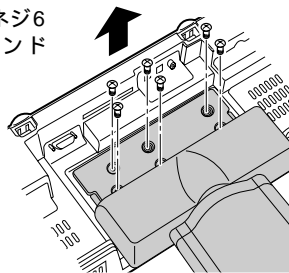
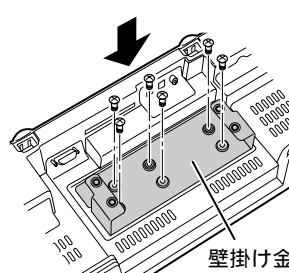
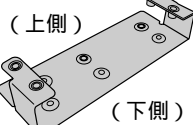
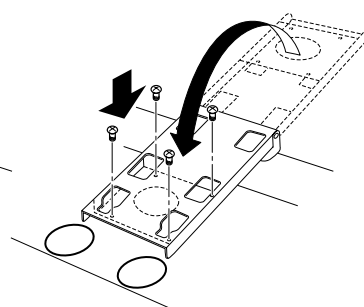
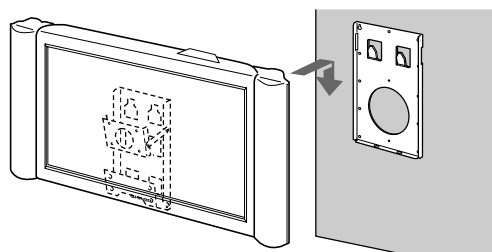
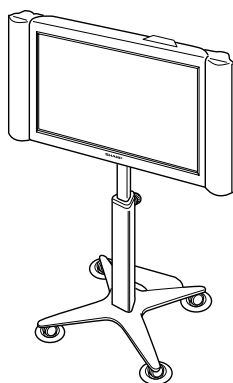
設置する

設置のしかた

別売品を使って設置する

■ 本機を別売の壁掛け金具(AN-28AG1)や、フロアースタンド(AN-30FS1)に取り付けて使用することができます。

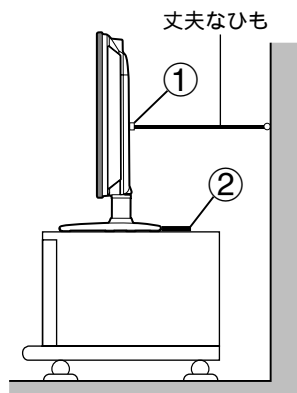
•取付け方法など、詳しくは別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。

壁にかけて使う〈壁掛け金具(AN-28AG1)〉

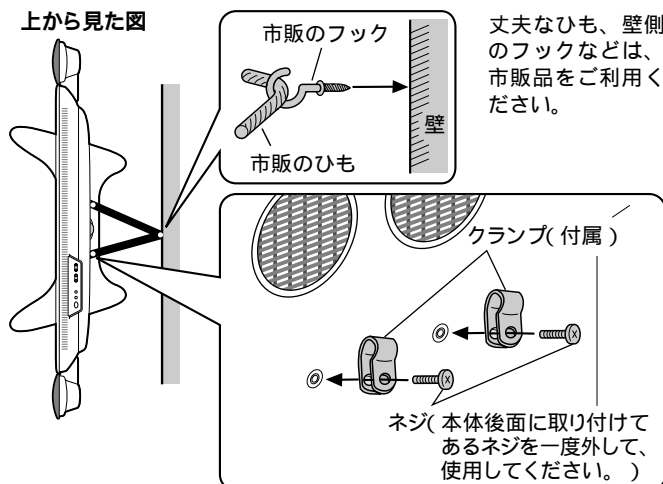
1 **本機に付属の壁掛け金具用アタッチメントを本機後面に取り付けます。**
(スタンドの外しかたについては、壁掛け金具の取扱説明書を合わせてご覧ください。)

2 **本機に壁掛け金具ユニットを取り付けます。**
(詳しくは壁掛け金具の取扱説明書をご覧ください。)

3 **本機を壁に掛けます。**
(詳しくは壁掛け金具の取扱説明書をご覧ください。)

フロアースタンドに取り付けて使う
〈フロアースタンド(AN-30FS1)〉
(詳しくはフロアースタンドの取扱説明書をご覧ください。)

転倒防止について

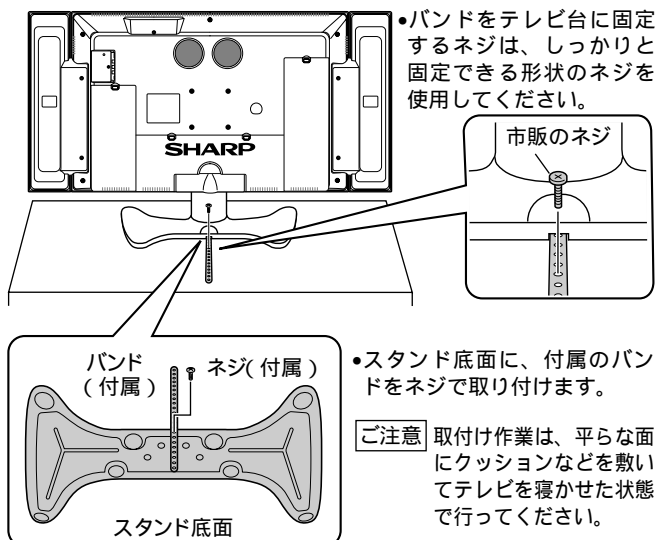
⚠注意 不意の地震のとき、テレビが倒れてけがをするおそれがあります。安心してご使用いただくために、転倒防止策の実施をお願いいたします。

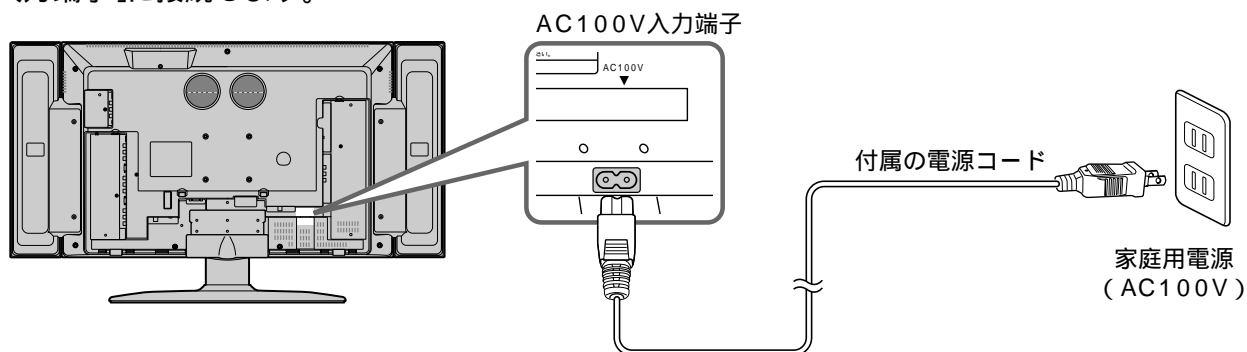
壁または柱などを利用して固定してください。

付属の転倒防止用部品などを利用し、壁や柱など確実に固定できる堅牢部に取り付けてください。（キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿をご使用ください。）
テレビを移動させるときは、固定されたひもを外してから行ってください。

固定のしかた

①壁または柱に固定する

本体後面に取り付けてあるネジとネジ穴を利用しクランプを取り付けて、丈夫なひもで壁や柱など確実に固定できる堅牢部に取り付けてください。

②テレビ台に固定する

スタンド底面に、付属のバンドをネジで取り付けた後、テレビ台の上にネジで固定します。

電源コードを接続する

■ 本体天面の電源ボタンが「切」になっていることを確認し、電源コードのプラグを本体後面の「AC100V入力端子」に接続します。

- 電源コードのプラグが抜けないように、しっかりと接続してください。

アンテナを接続する

■ アンテナの接続が終わるまでは、本機の電源を入れないでください。

VHF/UHFアンテナを接続する

- **アンテナ線は付属のアンテナケーブルで、テレビのアンテナ入力(VHF・UHF)端子に接続してください。**
- **本機のアンテナ入力(VHF・UHF)端子は、VHFとUHFの混合タイプです。**
- **VHFとUHFが独立している場合は、市販の混合器を使って接続してください。**

UHFアンテナ
VHFアンテナ

壁のアンテナ端子

お住まいのアンテナ端子に合ったアンテナ線を選び、接続してください。

VHF/UHFまたは
VHFまたはUHF
VHFまたはUHF
VHFとUHF

平行
フィーダー線

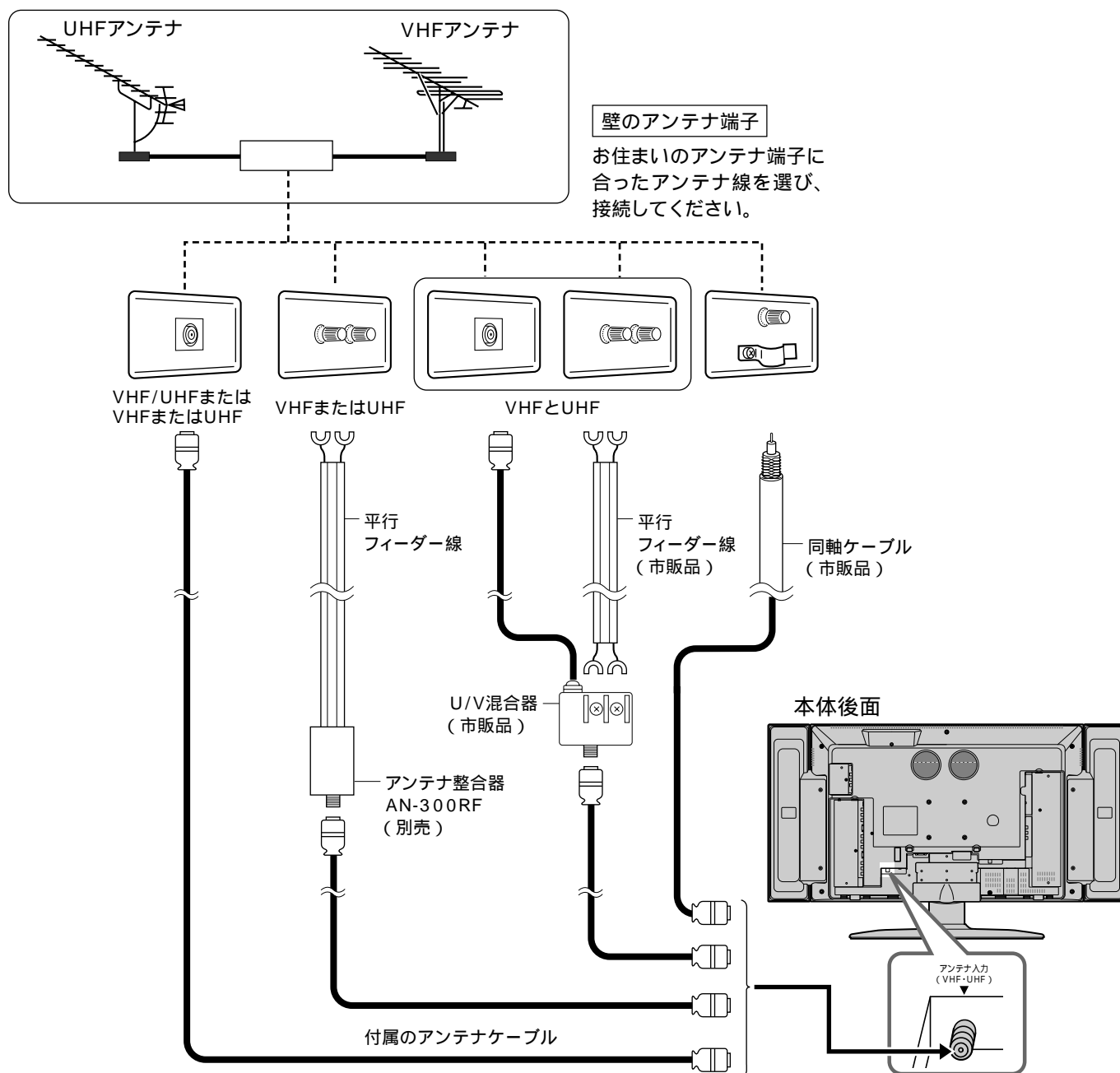
平行
フィーダー線
（市販品）

同軸ケーブル
（市販品）

U/V混合器
（市販品）

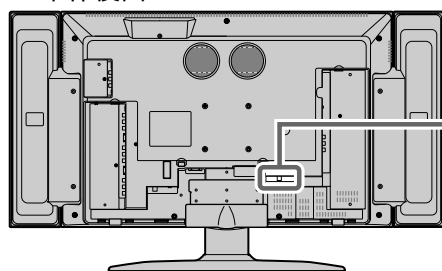
アンテナ整合器
AN-300RF
（別売）

▼本体後面

アンテナ入力
(VHF・UHF)

付属のアンテナケーブル

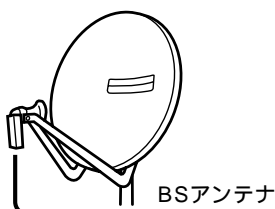
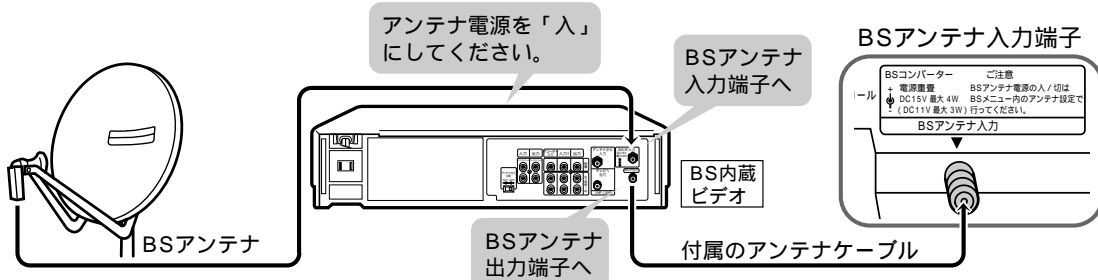
- VHF/UHFの屋内アンテナ端子が分かれている場合など、混合器の取り付けが必要なときは、お買いあげの販売店にご相談ください。

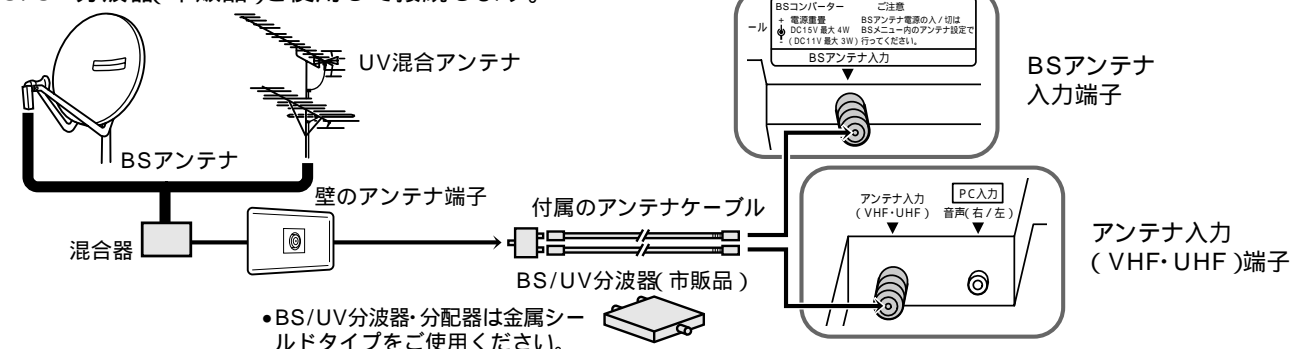
BSアンテナを接続する

■ BSアンテナはBSデジタル放送対応のものをご使用ください。
■ BSデジタル放送用のアンテナ線は、付属のアンテナケーブル、または専用のものをご使用ください。
■ BSアンテナの接続のしかたなど詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■BSアンテナからの衛星放送用ケーブル(同軸ケーブル)をつなぎます。この端子は、BSアンテナに取り付けられたBSコンバーターに+15V/+11Vの電源を供給する働きももっています。

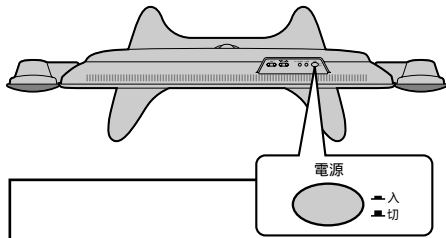
ご注意
- BSアンテナ入力端子にアンテナ線を接続するときは、必ずBSアンテナ電源の設定を「切」にしておいてください。(詳しくは**149**ページをご覧ください。)

BSアンテナを単独で接続するとき

•BS デジタル放送用のアンテナ線を本機の BS アンテナ入力端子に接続します。

本機とBSビデオなどを接続するとき

BSとVHF・UHFが混合されているとき

•BS/UV分波器(市販品)を使用して接続します。

BSアンテナの接続のあとは、149ページの「BSアンテナの設定」を行ってください。

ふだんの使い方

■ **電源の入/切、選局、音量調整**

❶ 電源を入れる

（本体天面の電源ボタン）

- 電源ランプが点灯（緑色）。
- 電源が入ると、リモコンで操作ができます。

❷ チャンネルを選ぶ

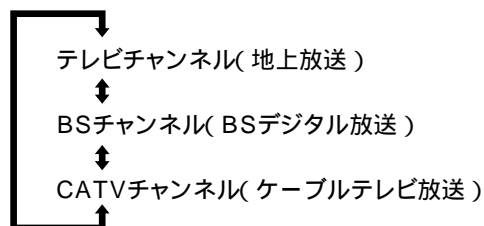
テレビチャンネル

- （VHF/UHF）地上放送を選ぶ。

BSチャンネル

- BSデジタル放送を選ぶ。

選局（∧順／∨逆）

テレビチャンネル（地上放送）
⇕
BSチャンネル（BSデジタル放送）
⇕
CATVチャンネル（ケーブルテレビ放送）

の順で選局できます

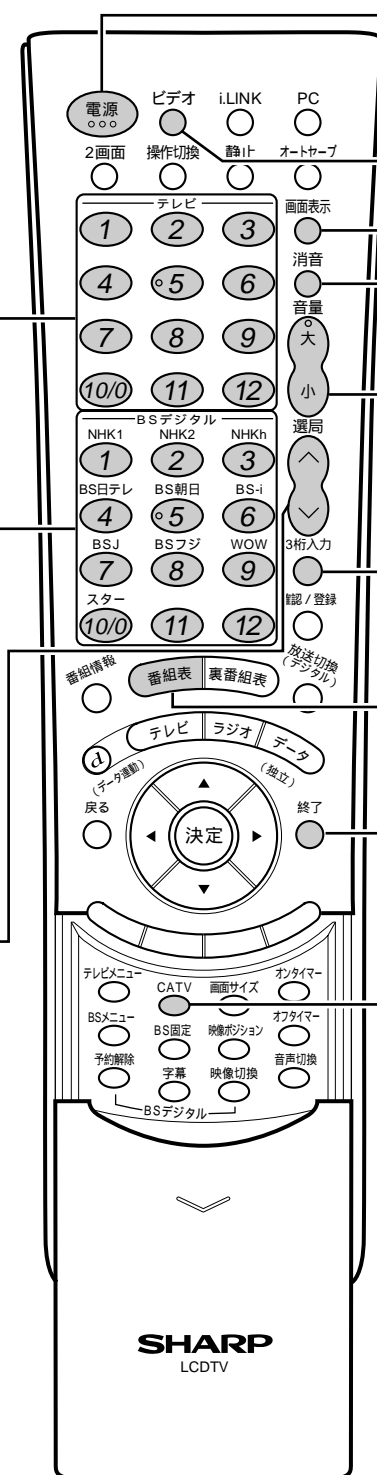
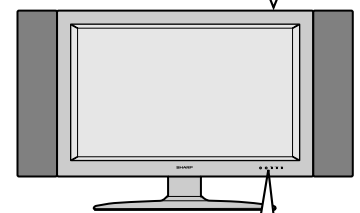
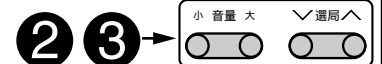
BSデジタル放送の視聴のしかたについては、89～162ページをご覧ください。

❹ テレビを消す

（リモコンの電源ボタン）

- 電源ランプ点灯（赤色）。
- テレビが電源待機状態になります。リモコンの電源ボタンでテレビをつけたり、消したりできます。

❸ 音量を調整する

数字とバーで音量を表示

電源プラグの接続について

- 本機は電源「切」の状態でも、放送局と通信を行います。
- 通常は電源プラグをコンセントに差し込んだまま、ご使用ください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」や「PPV番組の購入履歴」などが消去されます。この場合、再度設定を行ってください。

受信チャンネルについて

- 工場出荷時は、VHF1～12チャンネルとBSチャンネルが受信できるようにセットされています。UHF放送を受信するときや、受信チャンネルを合わせなおす場合は、**36**ページをご覧ください。

■ 入力切換え、画面表示、消音、3桁入力、番組表、終了、CATV

ビデオ入力を切り換えるとき

• ビデオボタンを押すごとに、つぎのように切り換わります（出荷状態時）。

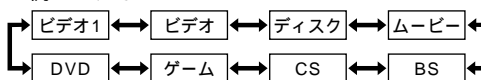
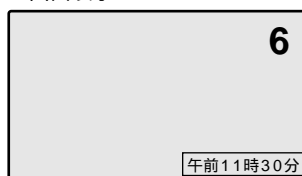
ビデオ 1→ビデオ 2→コンポーネント 1→コンポーネント 2

※テレビ画面にするには、テレビチャンネルボタンを押します。

ビデオ1〜4の表示について

• 接続した設定内容により、ビデオ表示を変更できます。詳しくは**174〜175**ページをご覧ください。

＜例＞ビデオ1

ビデオ1 ⟷ ビデオ ⟷ ディスク ⟷ ムービー
DVD ⟷ ゲーム ⟷ CS ⟷ BS

画面表示を切り換える

• チャンネル、時刻、オンタイマー時刻、オフタイマー時間などが表示されます。

▼画面表示

6
午前11時30分

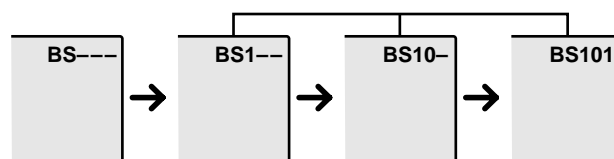
音を一時的に消す

• もう一度押すと、もとの音量に戻ります。

BSデジタル放送の3桁チャンネルを選ぶ

＜例＞101チャンネルを選ぶとき

① 3桁入力ボタンを押します。
② BSチャンネル（数字）ボタンでチャンネル番号を入力します。

▼ 画面表示

BSデジタル放送番組表を見る

• もう一度押すと、表示が消えます。

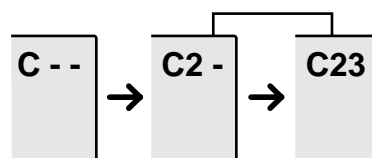
操作を終了する

• 2画面、静止画面、番組表やメニュー操作などを終了します。

CATVチャンネルを選ぶ

＜例＞C23を選ぶとき

① CATVボタンを押します。
② テレビチャンネルボタンでチャンネルを選びます。
※BSチャンネルボタンでは選べません。

▼ 画面表示

おしらせ

放送が終了すると

• 約5分後に、テレビの電源が切れます。電源ランプが赤色に点灯…無信号オフ機能（**88**ページ）
• 放送が終わっても、他局の放送やその他の電波が混入するときは正しく動作しない場合があります。
• ビデオ入力画面のときも、無信号状態になると電源が切れます。

ケーブルテレビ（CATV）について

• CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
• CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらにスクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
• 本機のCATVチャンネルは、C13〜C38チャンネルの範囲で選局できます。

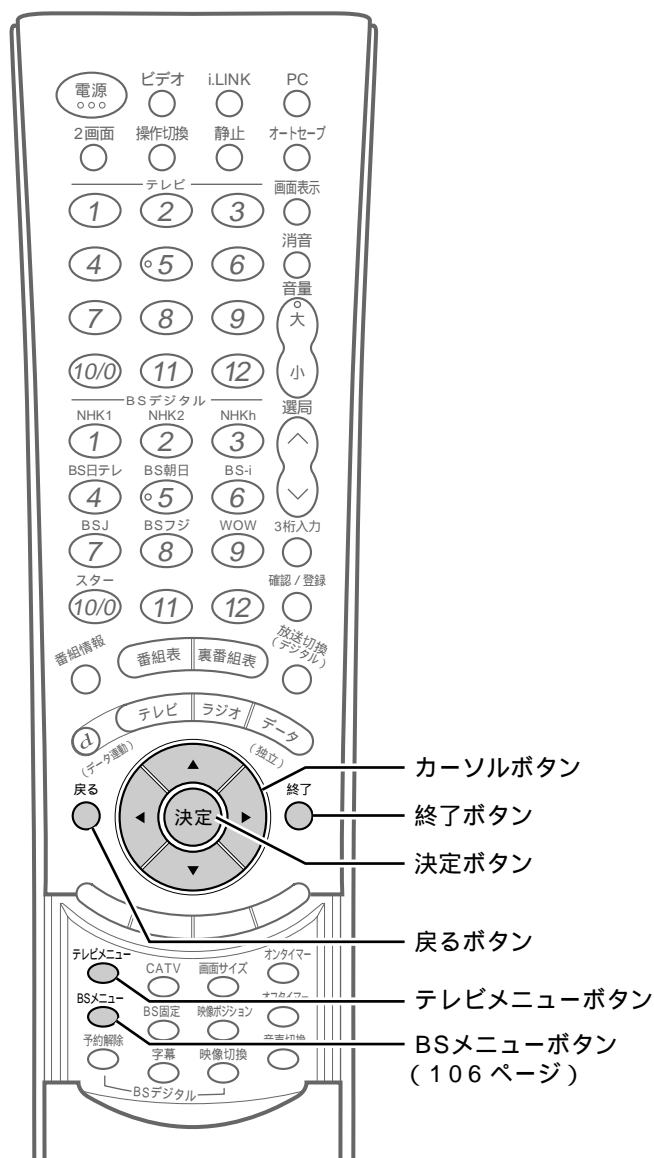
メニュー画面について

■ 画面を見ながら、リモコンで映像や音声などの調整や設定ができます。
ここでは各メニューの項目を選択する方法について説明します。詳しくは、それぞれのページをご覧ください。

■ BSデジタル放送を視聴するための調整や設定（BSメニュー）については、**106**ページをご覧ください。

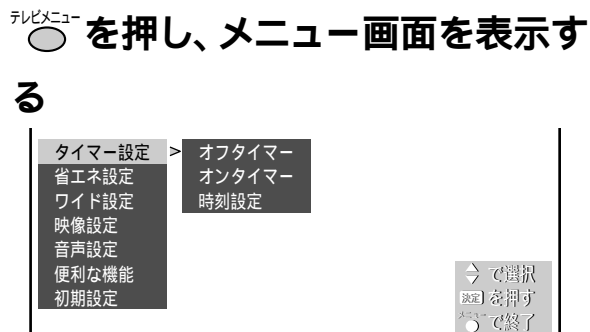
設定画面の表示

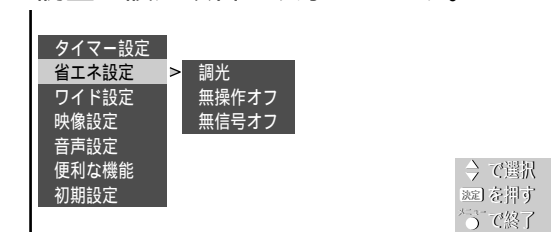
白で表示されている項目 .... 設定可能な項目です。
黄色で表示されている項目 ... 現在カーソルがある項目です。

とびらを開けたところ

ご注意

- メニュー画面を表示、設定中に約30秒間何も操作をしないと、メニュー画面が解除され通常画面に戻ります。そのときは、再度操作しなおしてください。

メニュー操作の基本手順

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で項目を選び、決定を押す

- **カーソルが移動して選んだ項目に、つぎの調整／設定項目が表示されます。**

- **項目選択をつづけて、調整／設定画面を表示します。**

3 ◀ ▶ で調整／設定し、決定を押す

- **選んだ調整／設定項目が実行、決定されます。**

操作をやりなおす、誤ったときは 戻る を押す。

- **一つ前の状態に戻ります。**

4 操作を終了するときは テレビメニュー または 終了 を押す

■ テレビメニューとPCメニューでは設定できる項目が異なります。

テレビメニューで設定できる項目

（メニュー項目の詳細については、**216**ページの「メニュー画面階層図」をご覧ください。）

おしらせ

- 画面に濃い灰色で表示されている項目は、選択できないことを表しています。
- 本書に掲載している画面表示は、説明用のため一部拡大や省略をしていますので、実際の画面表示とは多少異なります。

メニュー画面について（つづき）

PC（コンピューター）メニューで設定できる項目

タイマー設定
省エネ設定
ワイド設定
映像設定
音声設定
便利な機能

（メニュー項目の詳細については、**217**ページの「メニュー画面階層図」をご覧ください。）

タイマー設定 →

オフタイマー…… **46**ページ
オンタイマー…… **44**ページ
時刻設定…… **42**ページ

省エネ設定 →

調光…… **86**ページ
無操作オフ…… **87**ページ
無信号オフ…… **88**ページ

ワイド設定 →

画面サイズ…… **60**ページ
位置調整…… **61**ページ
入力信号表示…… **64**ページ

映像設定 →

映像調整…… **78**ページ

音声設定 →

音声ポジション…… **71**ページ
音声調整…… **72**ページ

便利な機能 →

ヘッドホン音量…… **83**ページ
映像反転…… **84**ページ

- 画面に濃い灰色で表示されている項目は、選択できないことを表しています。
- 本書に掲載している画面表示は、説明用のため一部拡大や省略をしていますので、実際の画面表示とは多少異なります。

テレビを楽しむ

テレビを楽しむ

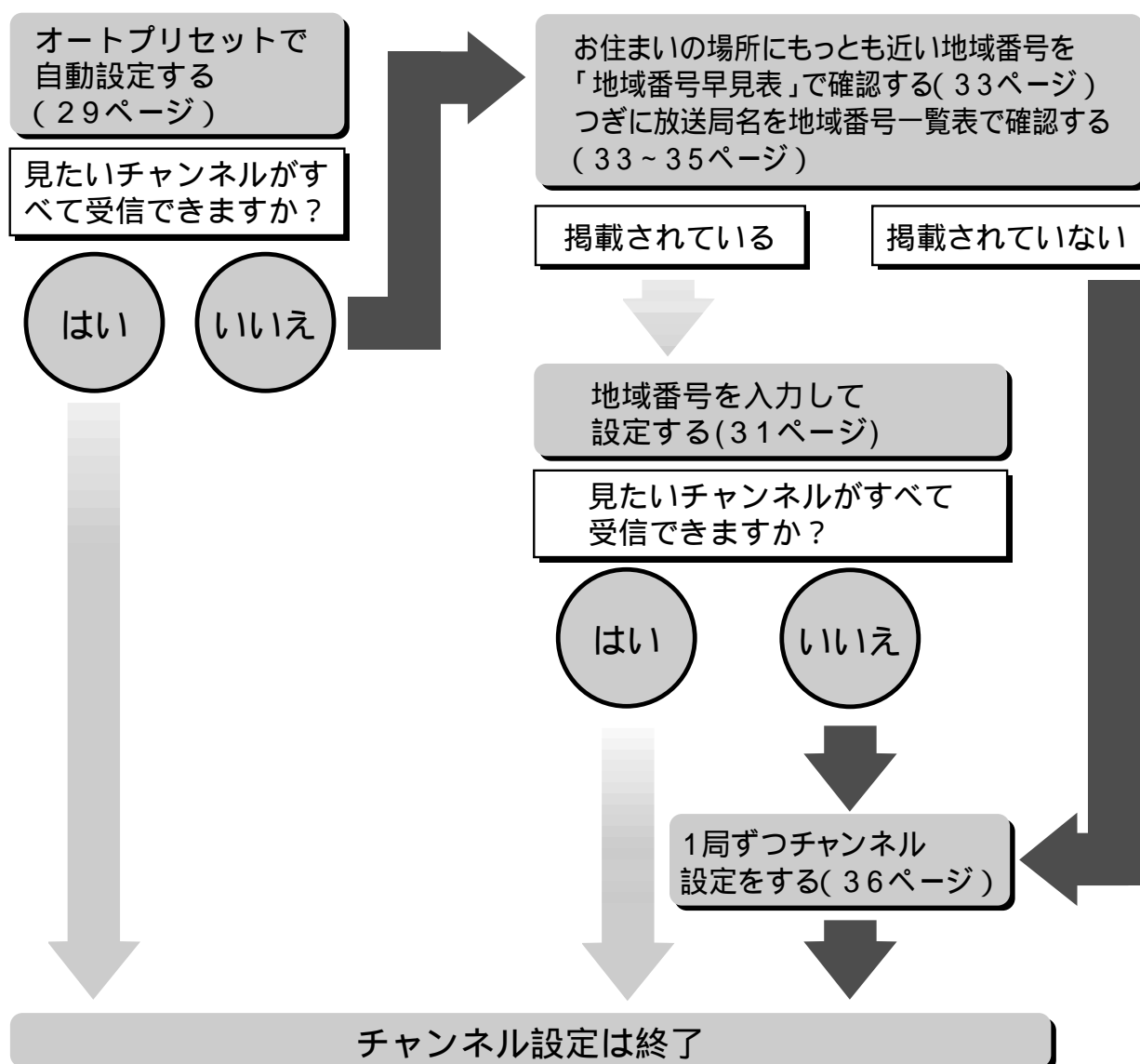
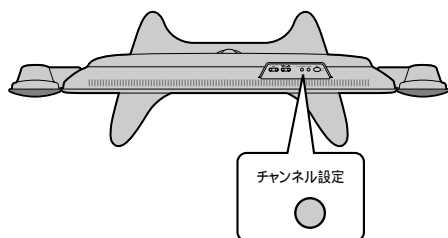
テレビのチャンネルを設定する

■ VHF/UHFの地上放送の受信設定です。チャンネル設定には、「オートプリセット」・「マニュアル設定」・「地域番号設定」の3つの方法があります。
■ 本機は工場出荷時、VHF1～12チャンネルが映るようにセットされています。

オートプリセット（自動設定）：**ご使用になる地域の、現在の電波状態で受信できるVHFとUHFの放送電波を、自動的にキャッチして記憶させる方法です。→（29ページ）**

地域番号設定：**ご使用になる場所にもっとも近い都市を「地域番号早見表」（33ページ）から選び、その「地域番号」を入力する方法です。→（31ページ）**

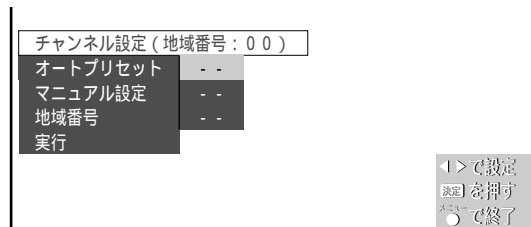
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、マニュアル設定をしてください。
- その地域に合わせ、あらかじめ見られる放送局の受信チャンネルを定めた設定方法です。
- 地域番号一覧表（**33～35**ページ）には放送局を記載しています。

マニュアル設定：**地域番号一覧表に当てはまらない地域や、チャンネル設定後に他のチャンネルを追加するときにチャンネルを1局ずつ設定する方法です。→（36ページ）**

▼本体天面

とびらを開けたところ

■「チャンネル設定」内の「オートプリセット」を実行するだけで、使用する地域の、現在の電波状態で受信できるVHFとUHFの放送電波（チャンネル）を自動的にキャッチして、記憶させることができます。

■ 記憶できるチャンネルは、最大12局です。記憶された局の1〜12チャンネルは、リモコンのテレビチャンネルボタン（数字キー）で選局できます。選局（∧順／∨逆）ボタンでは、テレビチャンネル（地上放送）、BSチャンネル（BSデジタル放送）、CATVチャンネル（ケーブルテレビ放送）が順／逆で選局できます。

オートプリセットで自動設定する

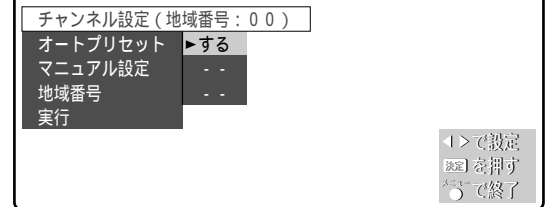
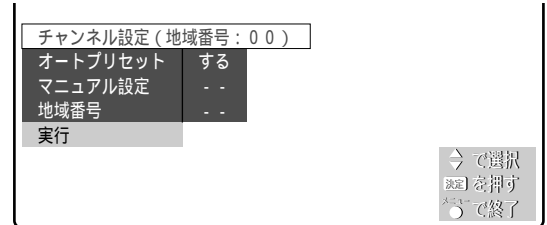
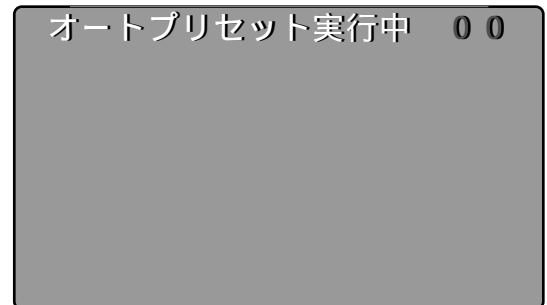
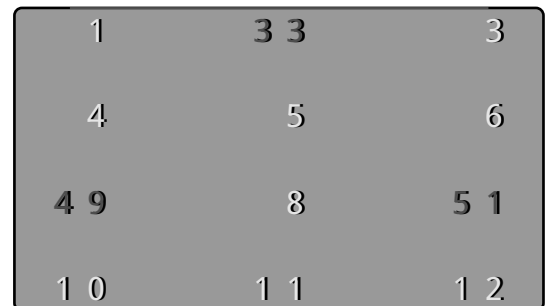
1 本体のチャンネル設定ボタンを、約2秒押し続ける

- **チャンネル設定画面が表示されます。**

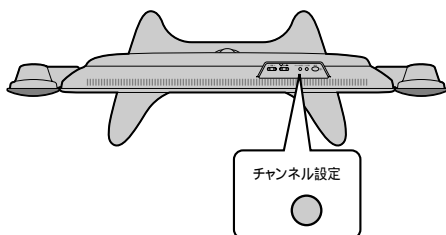
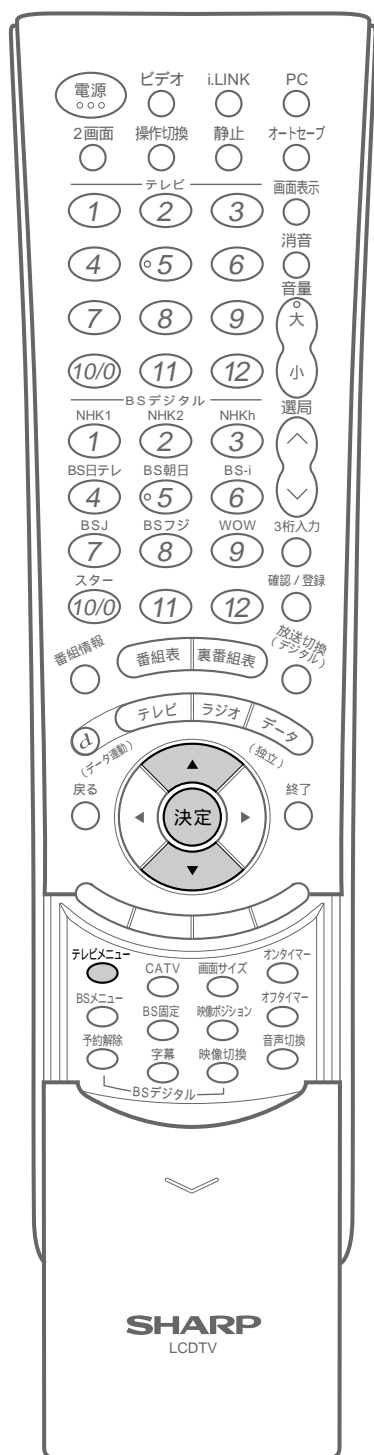
- **リモコンを操作して表示するときは、つぎの手順を行ってください。**

1. **テレビメニューボタンを押し、メニュー画面を表示する**
2. **上下カーソルボタンで「初期設定」を選び、決定ボタンを押す**
3. **上下カーソルボタンで「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す**
4. **上下カーソルボタンで「オートプリセット」を選び、決定ボタンを押す**

つぎへ ▶

とびらを開けたところ

2 ◀ ▶ で「する」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「実行」を選び、決定を押す

4 オートプリセットが実行される

- 選局が終了すると、自動設定されたチャンネルが表示されます。

5 終了を押し、通常画面に戻す

▼本体天面

とびらを開けたところ

■ 地域番号によるチャンネル設定ができます。**３３**ページの「地域番号早見表」および**３３**～**３５**ページの「地域番号一覧表」から、都市名とチャンネル番号と放送局名を確認したうえで、お住まいにもっとも近い都市の地域番号を入力してください。

地域番号で設定する

＜例＞東京都八王子市にお住まいのかたの地域番号「３１」を設定する

1 本体のチャンネル設定ボタンを、約２秒押し続ける

- **チャンネル設定画面が表示されます。**

- **リモコンを操作して表示するときは、つぎの手順を行ってください。**

1. **テレビメニューボタンを押し、メニュー画面を表示する**
2. **上下カーソルボタンで「初期設定」を選び、決定ボタンを押す**
3. **上下カーソルボタンで「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す**
4. **上下カーソルボタンで「地域番号」を選び、決定ボタンを押す（手順2の画面表示になります）**

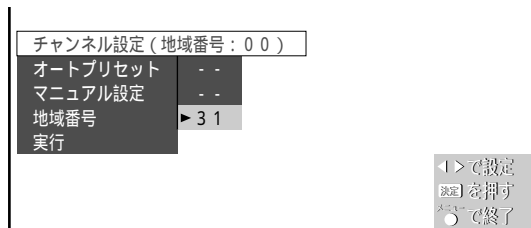
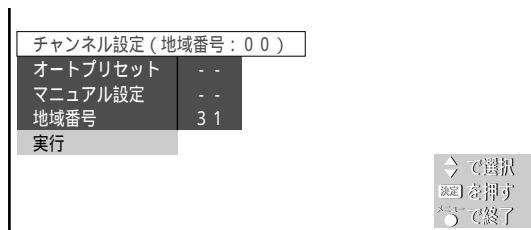
2 ▲ ▼ で「地域番号」の設定欄を選ぶ

つぎへ ▶

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

とびらを開けたところ

3 テレビチャンネル③、①を押し、決定を押す

- 左右カーソルボタンを押しても地域番号を選択、入力できます。

4 ▲▼で「実行」を選び、決定を押す

5 チャンネル設定が実行される

6 終了を押し、通常画面に戻す

- 地域番号一覧表に記載のある都市の近郊にお住まいのかたは、記載されているチャンネルと放送局名が、現在受信しているチャンネルと一致している場合は、その都市の地域番号で設定してください。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、マニュアル設定をしてください。

地域番号早見表

五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松市	21	え	江別市	01	き	岐阜市	47	せ	仙台市	13	な	習志野市	29	ふ	府中市	30
	青森市	10	お	青梅市	30		京都市1	60	そ	草加市	27	に	新潟市	37		船橋市	29
	明石市	63		大分市	91		京都市2	98	た	大東市	61		新座市	27	へ	別府市	91
	昭島市	30		大垣市	47		桐生市	26		高岡市	40		新居浜市	80	ほ	防府市	74
	秋田市	15		大阪市	61	く	釧路市	04		高崎市	25		西宮市	61	ま	前橋市	25
	阿久根市	95		大館市	16		熊谷市	28		高槻市	61	ぬ	沼津市	52		町田市	33
	上尾市	27		大津市	58		熊本市	90		高松市	78	ね	寝屋川市	61		松江市	68
	朝霞市	27		大牟田市	86		倉敷市	70		宝塚市	61	の	野田市	29		松阪市	57
	旭川市	02		岡崎市	54		久留米市	85		立川市	30		延岡市	93		松戸市	29
	足利市	27		岡山市	70		呉市	73		多摩市	32	は	函館市	03		松原市	61
	厚木市	33		沖縄市	96	こ	高知市	82	ち	茅ヶ崎市	34		秦野市	36		松本市	46
	網走市	01		小樽市	07		甲府市	43		千葉市	29		八王子市	31		松山市	79
	我孫子市	29		小田原市	35		神戸市	61		調布市	30		八戸市	11	み	三郷市	27
	尼崎市	61		帯広市	05		郡山市	19	つ	津市	57		羽曳野市	61		三島市	52
	安城市	54		小山市	27		小金井市	30		つくば市	29		浜田市	69		三鷹市	30
い	飯田市	45	か	各務原市	48		越谷市	27		土浦市	29		浜松市	50		水戸市	22
	池田市	61		加古川市	63		小平市	30		鶴岡市	18		半田市	54		都城市	92
	生駒市	61		鹿児島市	94		小牧市	54	と	東京23区	30	ひ	東大阪市	61		宮崎市	92
	石巻市	14		橿原市	65		小松市	41		徳島市	97		東久留米市	30	む	武蔵野市	30
	和泉市	61		柏市	29	さ	さいたま市	27		徳山市	74		東村山市	30		室蘭市	08
	伊勢崎市	25		春日井市	54		堺市	61		所沢市	27		彦根市	59	も	盛岡市	12
	伊丹市	61		春日部市	27		佐賀市	87		鳥取市	67		日立市	23		守口市	61
	市川市	29		勝田市	22		酒田市	18		苫小牧市	06		日野市	30	や	矢板市	31
	一宮市	54		門真市	61		相模原市	33		富山市	39		姫路市	62		焼津市	49
	市原市	29		金沢市	41		佐倉市	29		豊川市	55		枚方市	61		八尾市	61
	茨木市	61		鎌倉市	33		佐世保市	89		豊田市	56		平塚市	34		八千代市	29
	今治市	81		刈谷市	54		札幌市	01		豊中市	61		弘前市	10		八代市	90
	入間市	27		川口市	27		座間市	33		豊橋市	55		広島市	71		山形市	17
	いわき市	20		川越市	27		狭山市	27		富田林市	61	ふ	福井市	42		山口市	74
	岩国市	77		川崎市	33	し	静岡市	49	な	長岡市	37		福岡市	83		大和市	33
	岩槻市	27		河内長野市	61		清水市	49		長崎市	88		福島市	19	よ	横須賀市	33
う	宇治市	60		川西市	64		下関市	75		長野市	44		福山市	72		横浜市	33
	宇都宮市	24	き	木更津市	29		上越市	38		流山市	29		富士市	51		四日市市	57
	宇部市	76		岸和田市	61	す	吹田市	61		名古屋市	54		藤枝市	53		米子市	68
	浦安市	29		北九州市	84		鈴鹿市	57		那覇市	96		藤沢市	33	わ	和歌山市1	66
え	海老名市	33		北見市	09	せ	瀬戸市	54		奈良市	65		富士宮市	51		和歌山市2	99

■地域番号別に設定された選局番号と受信チャンネル・放送局は当社の調査によるものです。
（2001年10月現在）

地域番号一覧表

	リモコンポジション		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
北海道	札幌	01	1 北海道放送	2	3 NHK総合	17 テレビ北海道	5 札幌テレビ	6	27 北海道文化放送	8	35 北海道テレビ	10	11	12 NHK教育
	旭川	02	1	2 NHK教育	33 テレビ北海道	37 北海道文化放送	39 北海道テレビ	6	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	11 北海道放送	12
	函館	03	21 テレビ北海道	27 北海道文化放送	35 北海道テレビ	4 NHK総合	5	6 北海道放送	7	8	9	10 NHK教育	11	12 札幌テレビ
	釧路	04	1	2 NHK教育	39 北海道テレビ	41 北海道文化放送	5	6	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	11 北海道放送	12
	帯広	05	32 北海道文化放送	2	34 北海道テレビ	4 NHK総合	5	6 北海道放送	7	8	9	10 札幌テレビ	11	12 NHK教育
	苫小牧	06	47 テレビ北海道	49 NHK教育	51 NHK総合	53 北海道文化放送	55 北海道放送	57 札幌テレビ	61 北海道テレビ	8	9	10	11	12
	小樽	07	24 テレビ北海道	2 NHK教育	26 北海道文化放送	4 北海道テレビ	5	6	7 札幌テレビ	8	9 北海道放送	10	11 NHK総合	12
	室蘭	08	1	2 NHK教育	29 テレビ北海道	37 北海道文化放送	39 北海道テレビ	6	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	11 北海道放送	12
	北見	09	1	2 NHK教育	3	4	59 北海道文化放送	61 北海道テレビ	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	53 北海道放送	12
青森	青森	10	1 青森放送テレビ	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	38 青森テレビ	8	34 青森朝日放送	10	11	12
	八戸	11	1	2	33 青森テレビ	4	31 青森朝日放送	6	7 NHK教育	8	9 NHK総合	10	11 青森放送テレビ	12
岩手	盛岡	12	1	2	3	4 NHK総合	5	6 IBCテレビ	7	8 NHK教育	31 岩手朝日テレビ	35 テレビ岩手	11	33 めんこいテレビ
宮城	仙台	13	1 東北放送	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	32 東日本放送	8	34 宮城テレビ	10	11	12 仙台放送
	石巻	14	59 東北放送	2	51 NHK総合	4	49 NHK教育	6	61 東日本放送	8	55 宮城テレビ	10	11	57 仙台放送
秋田	秋田	15	1	2 NHK教育	3	4	5	6	7	8	9 NHK総合	31 秋田朝日放送	11 秋田放送テレビ	37 秋田テレビ
	大館	16	1	2 NHK教育	3	4 NHK総合	5	6 秋田放送テレビ	7	8 NHK教育	9 NHK総合	59 秋田朝日放送	11 秋田放送テレビ	57 秋田テレビ

テレビのチャンネルを設定する（つづき）

地域番号一覧表（つづき）

	リモコンポジション		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
山形	山形	17	1	2	3	4 ＮＨＫ教育	5	36 テレビユー山形	30 さくらんぼテレビ	8 ＮＨＫ総合	9	10 山形放送	11	38 山形テレビ
	鶴岡	18	1 山形放送	2	3 ＮＨＫ総合	4	5	6 ＮＨＫ教育	7	39 山形テレビ	9	22 テレビユー山形	11	24 さくらんぼテレビ
福島	福島	19	1	2 ＮＨＫ教育	31 テレビユー福島	4	33 福島中央テレビ	6	35 福島放送	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 福島テレビ	12
	いわき	20	1	62 テレビユー福島	3	4 ＮＨＫ総合	5	58 福島中央テレビ	7	8 福島テレビ	9	10 ＮＨＫ教育	11	60 福島放送
	会津若松	21	1 ＮＨＫ総合	2	3 ＮＨＫ教育	4	5	6 福島テレビ	7	47 テレビユー福島	9	37 福島中央テレビ	11	41 福島放送
茨城	水戸	22	44 ＮＨＫ総合	2	46 ＮＨＫ教育	42 日本テレビ	5	40 ＴＢＳテレビ	7	38 フジテレビ	9	36 テレビ朝日	11	32 テレビ東京
	日立	23	52 ＮＨＫ総合	2	50 ＮＨＫ教育	54 日本テレビ	5	56 ＴＢＳテレビ	7	58 フジテレビ	9	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
栃木	宇都宮	24	29 ＮＨＫ総合	2	27 ＮＨＫ教育	25 日本テレビ	5	23 ＴＢＳテレビ	7	21 フジテレビ	31 とちぎテレビ	19 テレビ朝日	11	17 テレビ東京
群馬	前橋	25	52 ＮＨＫ総合	2	50 ＮＨＫ教育	54 日本テレビ	40 放送大学	56 ＴＢＳテレビ	7	58 フジテレビ	9	60 テレビ朝日	48 群馬テレビ	62 テレビ東京
	桐生	26	43 ＮＨＫ総合	2	45 ＮＨＫ教育	39 日本テレビ	40 放送大学	37 ＴＢＳテレビ	7	35 フジテレビ	9	33 テレビ朝日	41 群馬テレビ	31 テレビ東京
埼玉	さいたま	27	1 ＮＨＫ総合	2	3 ＮＨＫ教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 ＴＢＳテレビ	7	8 フジテレビ	38 テレビ埼玉	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	熊谷	28	33 ＮＨＫ総合	2	35 ＮＨＫ教育	25 日本テレビ	5	23 ＴＢＳテレビ	16 放送大学	21 フジテレビ	28 テレビ埼玉	19 テレビ朝日	11	17 テレビ東京
千葉	千葉	29	1 ＮＨＫ総合	2	3 ＮＨＫ教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 ＴＢＳテレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
東京	２３区	30	1 ＮＨＫ総合	2	3 ＮＨＫ教育	4 日本テレビ	14 東京メトロポリタン	6 ＴＢＳテレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
	八王子	31	51 ＮＨＫ総合	2	49 ＮＨＫ教育	53 日本テレビ	47 東京メトロポリタン	55 ＴＢＳテレビ	7	57 フジテレビ	9	59 テレビ朝日	11	61 テレビ東京
	多摩	32	30 ＮＨＫ総合	2	32 ＮＨＫ教育	26 日本テレビ	28 東京メトロポリタン	24 ＴＢＳテレビ	7	22 フジテレビ	9	20 テレビ朝日	11	18 テレビ東京
神奈川	横浜	33	1 ＮＨＫ総合	2	3 ＮＨＫ教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 ＴＢＳテレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	茅ケ崎	34	33 ＮＨＫ総合	2	29 ＮＨＫ教育	35 日本テレビ	5	37 ＴＢＳテレビ	7	39 フジテレビ	31 テレビ神奈川	41 テレビ朝日	11	43 テレビ東京
	小田原	35	52 ＮＨＫ総合	2	50 ＮＨＫ教育	54 日本テレビ	5	56 ＴＢＳテレビ	7	58 フジテレビ	46 テレビ神奈川	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	秦野	36	47 ＮＨＫ総合	2	49 ＮＨＫ教育	51 日本テレビ	5	53 ＴＢＳテレビ	7	55 フジテレビ	61 テレビ神奈川	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
新潟	新潟	37	21 新潟テレビ２１	2	29 テレビ新潟	4	5 新潟放送	6	7	8 ＮＨＫ総合	9	35 新潟総合テレビ	11	12 ＮＨＫ教育
	上越	38	1 ＮＨＫ教育	2	3 ＮＨＫ総合	4	5	37 新潟テレビ21	7	27 テレビ新潟	9	10 新潟放送	11	33 新潟総合テレビ
富山	富山	39	1 北日本テレビ	2	3 ＮＨＫ総合	4	5	6	7	8	9	10 ＮＨＫ教育	32 チューリップ	34 富山テレビ
	高岡	40	50 北日本テレビ	2	48 ＮＨＫ総合	4	5	6	7	8	9	46 ＮＨＫ教育	42 チューリップ	44 富山テレビ
石川	金沢	41	1	2	3	4 ＮＨＫ総合	5	6 ＭＲＯテレビ	25 北陸朝日放送	8 ＮＨＫ教育	9	33 テレビ金沢	11	37 石川テレビ
福井	福井	42	39 福井テレビ	2	3 ＮＨＫ教育	4	5	6 ＭＲＯテレビ	7	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 ＦＢＣテレビ	12
山梨	甲府	43	1 ＮＨＫ総合	2	3 ＮＨＫ教育	4	5 山梨放送	6	37 テレビ山梨	8	9	10	11	12
長野	長野	44	1	44 ＮＨＫ総合	50 長野朝日放送	4	40 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 ＮＨＫ教育	10	48 信越放送	12
	飯田	45	44 長野朝日放送	2	3 ＮＨＫ教育	4 ＮＨＫ総合	5	6 信越放送	7	42 テレビ信州	9	40 長野放送	11	12
	松本	46	1	44 ＮＨＫ総合	50 長野朝日放送	4	48 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 ＮＨＫ教育	10	40 信越放送	12
岐阜	岐阜	47	1 東海テレビ	2	3 ＮＨＫ総合	4	5 ＣＢＣテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 ＮＨＫ教育	10	11 名古屋テレビ	37 岐阜放送
	各務原	48	1 東海テレビ	2	3 ＮＨＫ総合	4	5 ＣＢＣテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 ＮＨＫ教育	10	11 名古屋テレビ	28 岐阜放送
静岡	静岡	49	1	2 ＮＨＫ教育	31 静岡第1テレビ	4	33 静岡朝日テレビ	6	35 テレビ静岡	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 静岡放送	12
	浜松	50	1	30 静岡第1テレビ	3	4 ＮＨＫ総合	5	6 静岡放送	7	8 ＮＨＫ教育	9	28 静岡朝日テレビ	11	34 テレビ静岡
	富士	51	1	54 ＮＨＫ教育	27 静岡第1テレビ	4	29 静岡朝日テレビ	6	39 テレビ静岡	8	52 ＮＨＫ総合	10	41 静岡放送	12
	沼津	52	1	51 ＮＨＫ教育	61 静岡第1テレビ	4	57 静岡朝日テレビ	6	59 テレビ静岡	8	53 ＮＨＫ総合	10	55 静岡放送	12
	藤枝	53	1	44 ＮＨＫ教育	24 静岡第1テレビ	4	26 静岡朝日テレビ	6	38 テレビ静岡	8	42 ＮＨＫ総合	10	40 静岡放送	12
愛知	名古屋	54	1 東海テレビ	2	3 ＮＨＫ総合	4	5 ＣＢＣテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 ＮＨＫ教育	10	11 名古屋テレビ	25 テレビ愛知
	豊橋	55	56 東海テレビ	2	54 ＮＨＫ総合	4	62 ＣＢＣテレビ	6	58 中京テレビ	8	50 ＮＨＫ教育	10	60 名古屋テレビ	52 テレビ愛知
	豊田	56	57 東海テレビ	2	53 ＮＨＫ総合	4	55 ＣＢＣテレビ	6	59 中京テレビ	8	51 ＮＨＫ教育	10	61 名古屋テレビ	49 テレビ愛知
三重	津	57	1 東海テレビ	2	3 ＮＨＫ総合	4	5 ＣＢＣテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 ＮＨＫ教育	33 三重テレビ	11 名古屋テレビ	25 テレビ愛知
滋賀	大津	58	1	28 ＮＨＫ総合	3	36 毎日テレビ	5	38 ＡＢＣテレビ	7	40 関西テレビ	9	42 読売テレビ	30 びわ湖放送	46 ＮＨＫ教育
	彦根	59	1	52 ＮＨＫ総合	3	54 毎日テレビ	56 びわ湖放送	58 ＡＢＣテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	50 ＮＨＫ教育

	リモコンポジション		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
京都	京都１	60	1	2 ＮＨＫ総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ＡＢＣテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	26 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 ＮＨＫ教育
	京都２	98	32 ＮＨＫ京都	2 ＮＨＫ総合	34 京都テレビ	4 毎日テレビ	21 テレビ大阪	6 ＡＢＣテレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 ＮＨＫ教育
大阪	大阪	61	1	2 ＮＨＫ総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ＡＢＣテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 ＮＨＫ教育
兵庫	神戸	61	1	2 ＮＨＫ総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ＡＢＣテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 ＮＨＫ教育
	姫路	62	1	50 ＮＨＫ総合	56 サンテレビ	54 毎日テレビ	5	58 ＡＢＣテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	52 ＮＨＫ教育
	明石	63	1	51 ＮＨＫ総合	55 サンテレビ	53 毎日テレビ	19 テレビ大阪	57 ＡＢＣテレビ	7	59 関西テレビ	9	61 読売テレビ	30 テレビ和歌山	49 ＮＨＫ教育
	川西	64	1	29 ＮＨＫ総合	33 サンテレビ	35 毎日テレビ	5	37 ＡＢＣテレビ	7	39 関西テレビ	9	41 読売テレビ	11	31 ＮＨＫ教育
奈良	奈良	65	1	2 ＮＨＫ総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ＡＢＣテレビ	62 奈良テレビ	8 関西テレビ	55 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 ＮＨＫ教育
和歌山	和歌山1	66	1	32 ＮＨＫ総合	3	42 毎日テレビ	5	44 ＡＢＣテレビ	7	46 関西テレビ	9	48 読売テレビ	30 テレビ和歌山	26 ＮＨＫ教育
	和歌山2	99	1	50 ＮＨＫ総合	3	54 毎日テレビ	5	58 ＡＢＣテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	56 テレビ和歌山	52 ＮＨＫ教育
鳥取	鳥取	67	1 日本海テレビ	2	3 ＮＨＫ総合	4 ＮＨＫ教育	5	6	7	24 山陰中央テレビ	9	22 ＢＳＳテレビ	11	12
島根	松江	68	30 日本海テレビ	2	34 山陰中央テレビ	4	5	6 ＮＨＫ総合	7	8	9	10 ＢＳＳテレビ	11	12 ＮＨＫ教育
	浜田	69	1	2 ＮＨＫ総合	54 日本海テレビ	4	5 ＢＳＳテレビ	6	7	58 山陰中央テレビ	9 ＮＨＫ教育	10	11	12
岡山	岡山	70	23 テレビせとうち	2	3 ＮＨＫ教育	4	5 ＮＨＫ総合	25 瀬戸内海テレビ	35 ＯＨＫテレビ	8	9 西日本放送	10	11 山陽放送	12
広島	広島	71	31 テレビ新広島	2	3 ＮＨＫ総合	4 ＲＣＣテレビ	5	6	7 ＮＨＫ教育	8	9	35 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	11	12 広島テレビ
	福山	72	1 ＮＨＫ総合	2	24 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	4	26 テレビ新広島	6	7 ＮＨＫ教育	8	9	10 ＲＣＣテレビ	11	12 広島テレビ
	呉	73	1 ＮＨＫ教育	2	24 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	4	5 広島テレビ	6	26 テレビ新広島	8	9 ＲＣＣテレビ	10	11 ＮＨＫ総合	12
山口	山口	74	1 ＮＨＫ教育	2	3	4	52 山口朝日放送	6	38 テレビ山口	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 山口テレビ	12
	下関	75	41 ＮＨＫ教育	2 九州朝日放送	23 ＴＸＮ九州	4 山口テレビ	21 山口朝日放送	6 NHK総合	33 テレビ山口	8 RKB毎日放送	39 ＮＨＫ総合	10 テレビ西日本	35 福岡放送	12 NHK教育
	宇部	76	14 ＮＨＫ教育	2 九州朝日放送	3	4	31 山口朝日放送	6 NHK総合	20 テレビ山口	8 RKB毎日放送	16 ＮＨＫ総合	10 テレビ西日本	18 山口テレビ	12
	岩国	77	1 ＮＨＫ教育	2	3	4 ＲＣＣテレビ	22 テレビ山口	6	28 山口朝日放送	8	9 ＮＨＫ総合	10 南海テレビ	11 山口テレビ	12 広島テレビ
徳島	徳島	97	1 四国テレビ	2	3 ＮＨＫ総合	4 毎日テレビ	5	6 ＡＢＣテレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 ＮＨＫ教育
香川	高松	78	33 瀬戸内海テレビ	2	39 ＮＨＫ教育	4	37 ＮＨＫ総合	6	31 ＯＨＫテレビ	8	41 西日本放送	10	29 山陽放送	19 テレビせとうち
愛媛	松山	79	1	2 ＮＨＫ教育	3	29 あいテレビ	25 愛媛朝日テレビ	6 ＮＨＫ総合	7	37 テレビ愛媛	9	10 南海テレビ	11	35 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ
	新居浜	80	1	2 ＮＨＫ総合	3	4 ＮＨＫ教育	14 愛媛朝日テレビ	6 南海テレビ	7	36 テレビ愛媛	9	10	27 あいテレビ	12
	今治	81	1	30 ＮＨＫ教育	3	27 あいテレビ	14 愛媛朝日テレビ	32 ＮＨＫ総合	7	36 テレビ愛媛	9	34 南海テレビ	11	38 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ
高知	高知	82	1	2	3	4 ＮＨＫ総合	5	6 ＮＨＫ教育	7	8 高知放送	9	38 テレビ高知	11	40 高知さんさんテレビ
福岡	福岡	83	1 九州朝日放送	2	3 ＮＨＫ総合	4 ＲＫＢ毎日放送	5	6 ＮＨＫ教育	7	8	9 テレビ西日本	10	19 ＴＸＮ九州	37 福岡放送
	北九州	84	1	2 九州朝日放送	23 ＴＸＮ九州	35 福岡放送	5	6 ＮＨＫ総合	7	8 RKB毎日放送	9	10 テレビ西日本	11	12 ＮＨＫ教育
	久留米	85	57 九州朝日放送	2	46 ＮＨＫ総合	48 ＲＫＢ毎日放送	5	54 ＮＨＫ教育	7	8	60 テレビ西日本	10	14 ＴＸＮ九州	52 福岡放送
	大牟田	86	58 九州朝日放送	19 ＴＸＮ九州	53 ＮＨＫ総合	61 ＲＫＢ毎日放送	5	50 ＮＨＫ教育	7	8	55 テレビ西日本	10	43 福岡放送	12
佐賀	佐賀	87	19 ＴＸＮ九州	36 サガテレビ	40 ＮＨＫ教育	38 ＮＨＫ総合	48 ＲＫＢ毎日放送	52 福岡放送	57 九州朝日放送	60 テレビ西日本	9 ＮＨＫ総合	10	11 熊本放送	12
長崎	長崎	88	1 ＮＨＫ教育	2	3 ＮＨＫ総合	4	5 長崎放送	6	37 テレビ長崎	8	27 長崎文化放送	10	25 長崎国際テレビ	12
	佐世保	89	1	2 ＮＨＫ教育	3	17 長崎国際テレビ	5	31 長崎文化放送	7	8 ＮＨＫ総合	9	10 長崎放送	11	35 テレビ長崎
熊本	熊本	90	1	2 ＮＨＫ教育	16 熊本朝日放送	4	22 熊本県民テレビ	6	34 テレビ熊本	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 熊本放送	12
大分	大分	91	1 ＮＨＫ教育	2	3 ＮＨＫ総合	34 あいテレビ	5 大分テレビ	6 ＮＨＫ総合	36 テレビ大分	32 テレビ愛媛	24 大分朝日放送	10 南海テレビ	11	12 ＮＨＫ教育
宮崎	宮崎	92	1	2	3	4	5	35 テレビ宮崎	7	8 ＮＨＫ総合	9	10 宮崎放送	11	12 ＮＨＫ教育
	延岡	93	1	2 ＮＨＫ教育	3	4 ＮＨＫ総合	5	6 宮崎放送	7	39 テレビ宮崎	9	10	11	12
鹿児島	鹿児島	94	1 南日本放送	2	3 ＮＨＫ総合	4	5 ＮＨＫ教育	6	32 鹿児島放送	8	38 鹿児島テレビ	10	30 鹿児島読売ﾃﾚﾋﾞ	12
	阿久根	95	1	30 鹿児島読売ﾃﾚﾋﾞ	3	23 鹿児島放送	5	35 鹿児島テレビ	7	8 ＮＨＫ総合	9	10 南日本放送	11	12 ＮＨＫ教育
沖縄	那覇	96	1	2 ＮＨＫ総合	3	4	5	6	7	8 沖縄テレビ	28 琉球朝日放送	10 琉球放送テレビ	11	12 ＮＨＫ教育
工場出荷設定		00	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

▼本体天面

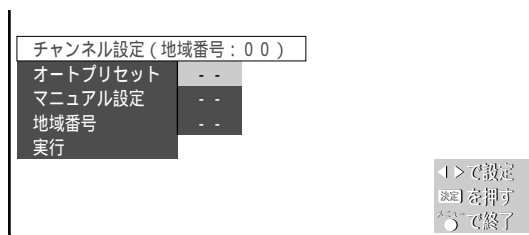
とびらを開けたところ

■ 地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後に他の放送チャンネルを追加したいときは、1局ずつチャンネルを設定してください。

■ 普段ご使用されている受信エリアで、新聞の番組表などにチャンネルの順番を合わせておくと便利です。

マニュアルで1局ずつ設定する

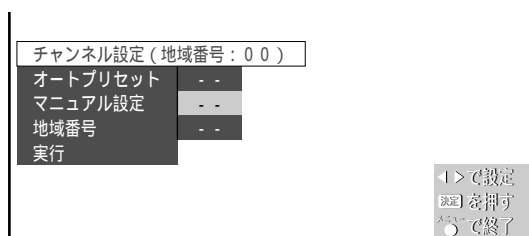
＜例＞テレビチャンネル⑤に、ＵＨＦ放送「４２」チャンネルが映るようにしたいとき

1 本体のチャンネル設定ボタンを、約2秒押し続ける

- **チャンネル設定画面が表示されます。**

- **リモコンを操作して表示するときは、つぎの手順を行ってください。**

1. **テレビメニューボタンを押し、メニュー画面を表示する**
2. **上下カーソルボタンで「初期設定」を選び、決定ボタンを押す**
3. **上下カーソルボタンで「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す**
4. **上下カーソルボタンで「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す（手順2の画面表示になります）**

2 ▲▼で「マニュアル設定」の設定欄を選ぶ

3

① で「する」を選び、決定を押す

② で「実行」を選び、

決定を押す

4

で「リモコン番号」を選び、決定を押す

5

テレビチャンネル⑤で、リモコン番号「5」を選び決定を押す

6

で「受信チャンネル」を選び、決定を押す

7

で「42」を選び、決定を押す

を押す 1 → 2 → 3…61 → 62 → 0 ← C38…C13

- **リモコンのチャンネルボタン「5」に42チャンネルの放送が設定されました。**
- **続けて他のチャンネルを設定するときは、手順4〜7をくり返します。**

8

テレビメニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

ケーブルテレビ（CATV）放送について

- CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13〜C38チャンネルの範囲で選局できます。

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

■ あらかじめチャンネルスキップを設定しておくと、選局ボタンで選局するときに、空きチャンネル(放送のないチャンネル)を飛びこして選局することができます。

■ CATVチャンネルは、工場出荷時にチャンネルスキップ「入」の状態となっています。チャンネルスキップ「切」(解除)にすると、本体とリモコンの選局ボタンで選局ができます。

とびらを開けたところ

チャンネルをとばして選局する(チャンネルスキップ)

＜例＞テレビチャンネル⑪をスキップしたいとき

1 **テレビチャンネル⑪を押し、「11」チャンネルを選ぶ**

2 **テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する**

3 **▲ ▼ で「初期設定」を選び、決定を押す**

4 **▲ ▼ で「チャンネル設定」を選び、決定を押す**

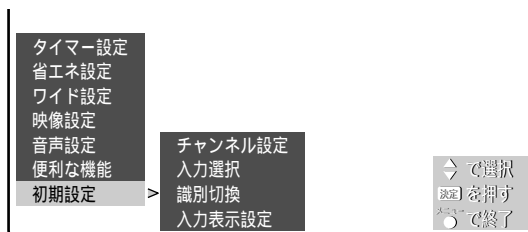
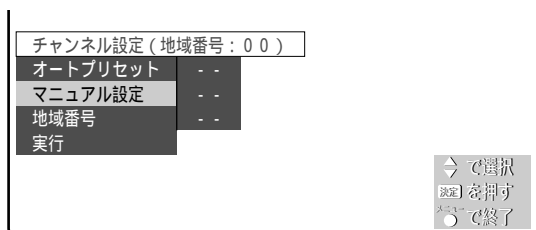
5 ▲ ▼ で「マニュアル設定」を選び、決定を押す

6

① ◀ ▶ で「する」を選び、決定を押す

② ▲ ▼ で「実行」を選び、決定を押す

7 ▲ ▼ で「スキップ」を選び、決定を押す

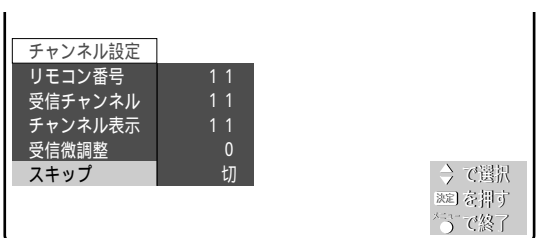
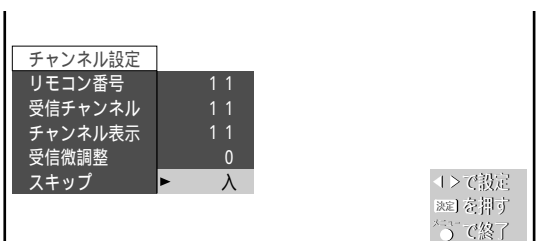
8

◀ ▶ で「入」を選び、決定を押す

9 テレビメニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

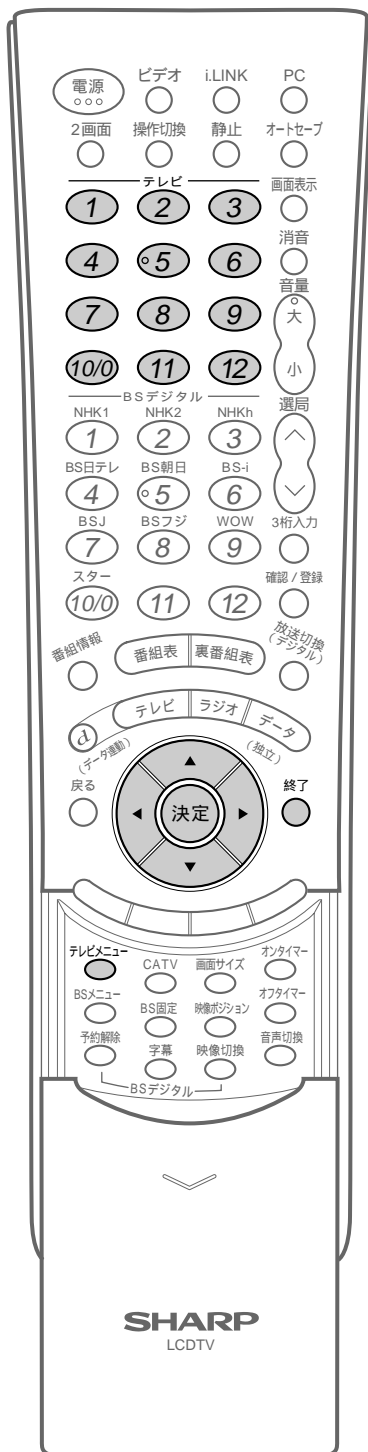
- **選局(∧順／∨逆)ボタンで選局をすると、チャンネル「11」がスキップされます。**

おしらせ

チャンネルスキップを解除するには

- 手順**8**で「切」を選ぶと、スキップは解除されます。（CATVチャンネルのスキップ解除も同様に行ってください。）

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

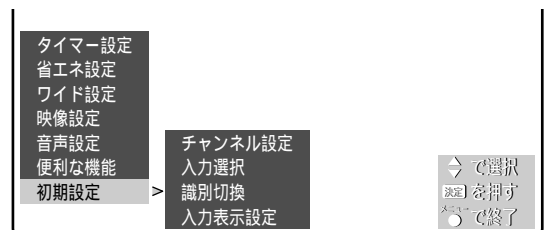
■ 実際の使用状況に合わせて、チャンネル表示を変えることができます。

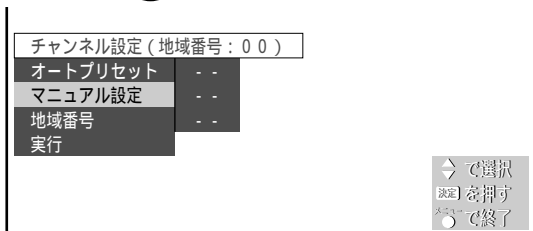
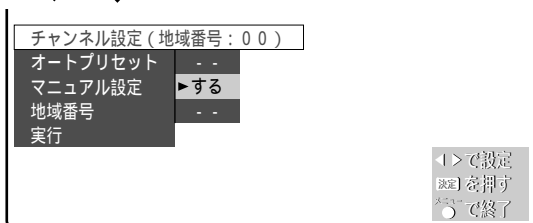
とびらを開けたところ

画面のチャンネル表示を変える(チャンネル表示変更)

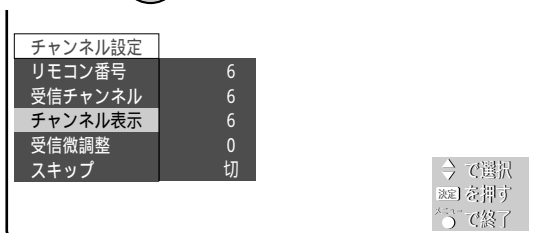
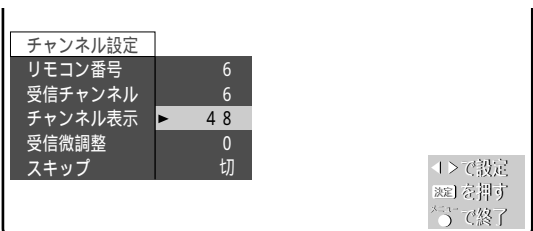
<例>テレビチャンネル⑥の表示を「48」にしたいとき

1 テレビチャンネル⑥を押し、「6」チャンネルを選ぶ

2 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

3 ▲ ▼ で「初期設定」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

5 ▲ ▼ で「マニュアル設定」を選び、決定を押す

6 ① ◀ ▶ で「する」を選び、決定を押す

② ▲ ▼ で「実行」を選び、決定を押す

7 ▲ ▼ で「チャンネル表示」を選び、決定を押す

8 ◀ ▶ で「４８」を選び、決定を押す

9 テレビメニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

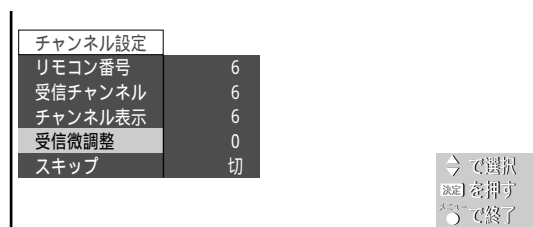
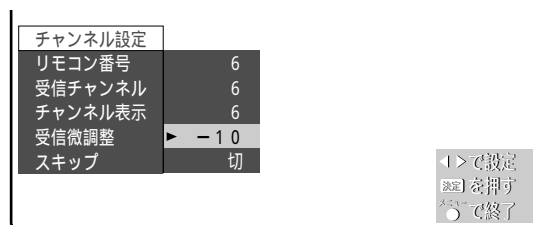
- **画面のチャンネル表示が「４８」になります。**

■ 受信調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合があります。

受信状態を微調整する（受信微調整）

＜例＞テレビチャンネル⑥を微調整する

1〜6 チャンネル表示変更と同じ、手順1〜6を行う

7 ▲ ▼ で「受信微調整」を選び、決定を押す

8 ◀ ▶ で見やすい映像に調整し、決定を押す

9 テレビメニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- **これで受信状態の微調整が完了しました。**

タイマー機能を設定する

■ タイマー機能には、時刻設定をして現在時刻を表示する時計機能とオンタイマー機能、オフタイマー機能があります。

- **時刻設定：** 時計を合わせます。現在時刻を画面に表示できます。
- **オンタイマー：** 指定した時刻に、本機の電源を「入」にします。
- **オフタイマー：** 指定した時間後に、本機の電源を「切」にします。

とびらを開けたところ

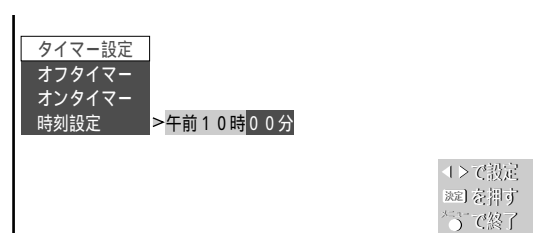
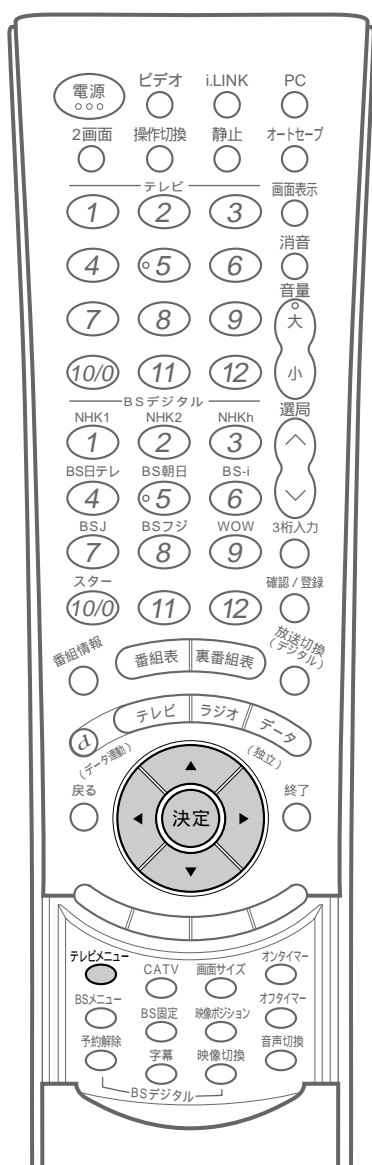
時計を合わせる（時刻設定）

<例>午前10時00分に合わせる

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼で「タイマー設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼で「時刻設定」を選び、決定を押す

4 ◀ ▶で「時」を午前１０時に設定し、決定を押す

とびらを開けたところ

5 で「分」を００分に設定し、決定を押す

- テレビなどの時報に合わせて、決定ボタンを押してください。

6 を押し、通常画面に戻す

- これで時計合わせが完了しました。

おしらせ

- 現在時刻の確認をするときは、画面のチャンネル表示が大きいときに画面表示ボタンを押します。

１０秒間表示されます。

タイマー機能を設定する（つづき）

■ 毎日指定した時刻に、指定のチャンネルと音量で本機の電源を「入」にする機能です。機能を解除（設定「切」）にするまで毎日、繰り返しオンタイマーが働きます。

■ 先に時刻設定を行ってください。（**42**ページ参照）

とびらを開けたところ

おしらせ

BSチャンネルが受像できる状態にあるとき

- 自動で時刻設定がされます。

VHF/UHFアンテナのみ接続のとき

- 時刻設定がされていない状態で、「オンタイマー」を設定、選択すると、**「時刻が設定されていません」**と注意文が表示され「時刻設定」モードに入ります。
- オンタイマーの「チャンネル」設定で、BSチャンネルは選べません。
- ビデオ4を「モニター出力」に設定しているとき（**172〜173**ページ参照）は、オンタイマーの「チャンネル」設定でビデオ4は選べません。

指定した時刻に電源を入れる（オンタイマー）

＜例＞朝6時30分に8チャンネル、音量30で電源を「入」にする

1 テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「タイマー設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「オンタイマー」を選び、決定 を押す

4 ▲ ▼ で「オン時刻設定」を選び、決定 を押す

5 ① ◀▶で「時」を午前6時に設定し、(決定)を押す

② ◀▶で「分」を30分に設定し、(決定)を押す

6 ▲▼で「チャンネル」を選び、(決定)を押す

7 ◀▶でチャンネルを「CH 8」に設定し、(決定)を押す

8 ▲▼で「音量」を選び、(決定)を押す

9 ◀▶で音量を「30」に設定し、(決定)を押す

10 ① (終了)を押し、通常画面に戻す

② (オンタイマー)を押して、「入」に設定する

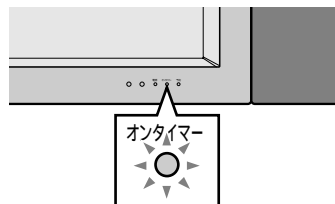
• メニューの「オンタイマー設定」でも入／切できます。

11 リモコンの(電源)を押し、電源を切る

• 本体の電源ボタンで電源を切ると、オンタイマーは働きません。

おしらせ

オンタイマーランプについて

• オンタイマー設定を「入」に設定すると、本体前面のオンタイマーランプが赤色に点灯します。

• 停電になったときや、電源コードを抜いた後、再度電源を入れなおしたとき、時刻が設定されていないとオンタイマーは動作しません。

• お出かけになるときは、本体の電源ボタンで電源を切るか、オンタイマーを「切」に設定し、オンタイマーランプの消灯を確認してください。
• オンタイマーで電源が入ると、自動的に2時間のオフタイマーが設定されます。2時間以上視聴するときは、オフタイマーを解除「ー時間ーー分」にしてください。(**46**ページ参照)

タイマー機能を設定する（つづき）

■ 指定した時間後に、テレビの電源が自動的に切れる機能です。おやすみ前などに使用すると便利です。

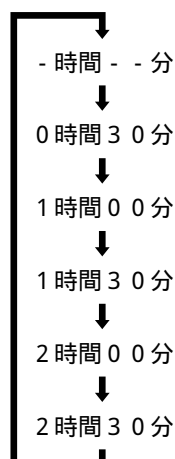
とびらを開けたところ

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

1 **オフタイマー を押して、電源を切る時間を設定する**

- **＜例＞「1時間30分」後に電源を切るとき。**

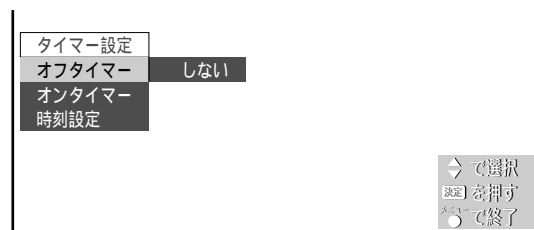
オフタイマー　1時間3０分

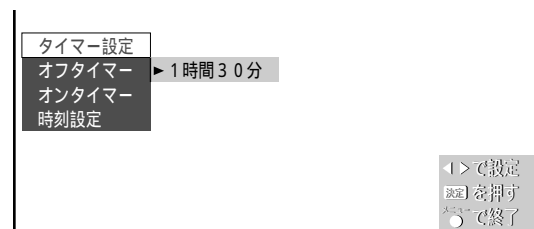
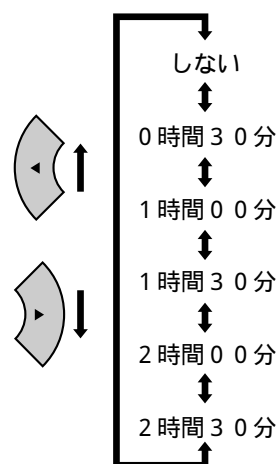
- **ボタンを押すごとに、つぎのように設定時間が変わります。**

- 設定後、画面表示ボタンを押すと現在のオフタイマー状態（経過時間）が表示されます。

メニュー画面の「オフタイマー」で設定する

＜例＞「1時間30分」後に電源を切る

1 テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「タイマー設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「オフタイマー」を選び、決定を押す

4 ◀ ▶ で電源を切る時間、「1時間30分」を選び、決定を押す

- ◀ ▶ で設定時間が、つぎのように変わります。

5 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

- オフタイマー設定後に、本体やリモコンで電源を切るとオフタイマーは解除されます。

テレビモードのワイド画面設定

■ 放送内容によって、画面サイズを自動的に切り換えたり、手動でサイズを切り換えることができます。

■ ワイド機能の画面サイズには、つぎの5つのサイズがあります。

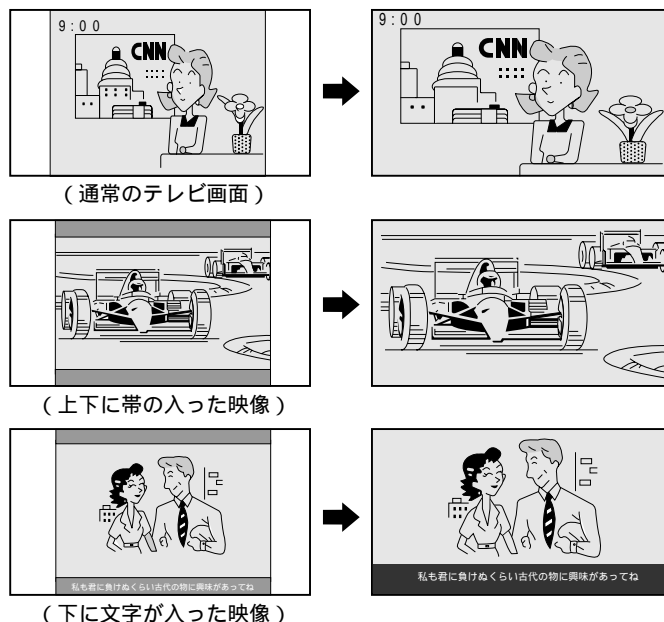
- **ノーマルモード**
  通常のテレビ画面（横縦比4：3）の映像です。
- **ワイドモード**
  通常の放送（4：3）を、画面いっぱい（16：9）に映します。
- **シネマモード**
  横長サイズの映画ソフトなどを画面いっぱい（16：9）に映します。
- **フルモード**
  16：9から4：3に圧縮された映像（フル映像ソフト）を、もとの16：9に戻して画面いっぱいに映します。フルモードはメニューでフル1、フル2の設定ができます。**（52ページ参照）**
- **オートモード**
  映像の内容により自動的に最適な画面サイズに切り換えます。
  オートモードで、通常の放送（4：3）を受信した場合の映像をメニューでノーマル、ワイドの設定ができます。**（53ページ参照）**

▼ オートモードのときの画面表示例

（通常のテレビ画面）

（上下に帯の入った映像）

私も君に負けぬくらい古代の物に興味があってね

（下に文字が入った映像）

ワイドクリアビジョン放送やフルモード信号の表示について

画面サイズ制御信号の入った映像の表示について

- 本機は、ワイドクリアビジョン放送やビデオ入力端子から入力された映像信号に含まれる画面サイズ制御信号を識別して、ディスプレイに表示される画面サイズを自動設定する機能を備えています。
  メニュー操作で機能の入／切を選択できます。（**54～57**ページ）

「ED識別」機能……………… ワイドクリアビジョン放送の画面サイズ制御信号を識別して、自動的に最適なサイズで表示します。

「S2識別」機能 …………… DVDプレーヤーなどをS端子ケーブルで接続したとき、フルモード制御信号やレターボックス制御信号の含まれた映像が入力されると、自動的に最適なサイズで表示します。

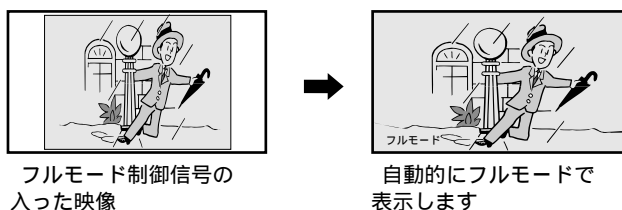
フルモード制御信号・レターボックス制御信号について

- 横縦比16：9の映像であることを示す信号です。

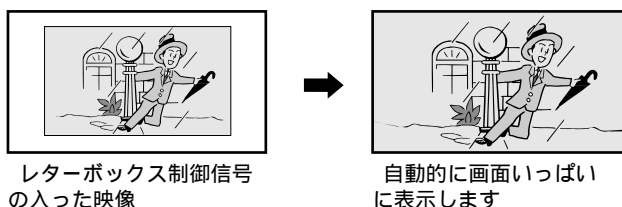
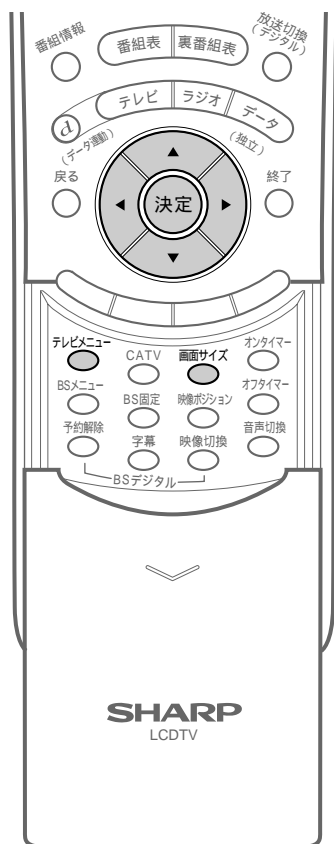
• フルモード： オリジナルの映像が16：9のもの。

〈フルモード制御信号の入った映像〉

フルモード

〈自動的にフルモードで表示します〉

• レターボックス：4：3の画面の中に16：9の映像が含まれているもの。

〈レターボックス制御信号の入った映像〉

〈自動的に画面いっぱいに表示します〉

とびらを開けたところ

テレビモードの画面サイズを設定する

1 画面サイズ を押して、お好みの画面サイズを選ぶ

- **画面サイズモードが表示されます。**

オートモード（ワイド）

- **画面サイズモード表示中にボタンを押します。押すごとに、つぎのように切り換わります。**

ノーマルモード → ワイドモード → シネマモード → フルモード（フル1）／フルモード（フル2） → オートモード（ノーマル）／オートモード（ワイド） → ノーマルモード

メニュー画面で設定するとき

1. **テレビメニューボタンを押し、メニュー画面を表示する**
2. **上下カーソルボタンで「ワイド設定」を選び、決定ボタンを押す**
3. **上下カーソルボタンで「画面サイズ」を選び、決定ボタンを押す**
4. **左右カーソルボタンで最適なサイズを選び、決定ボタンを押す**
5. **テレビメニューボタンを押し、通常画面に戻す**

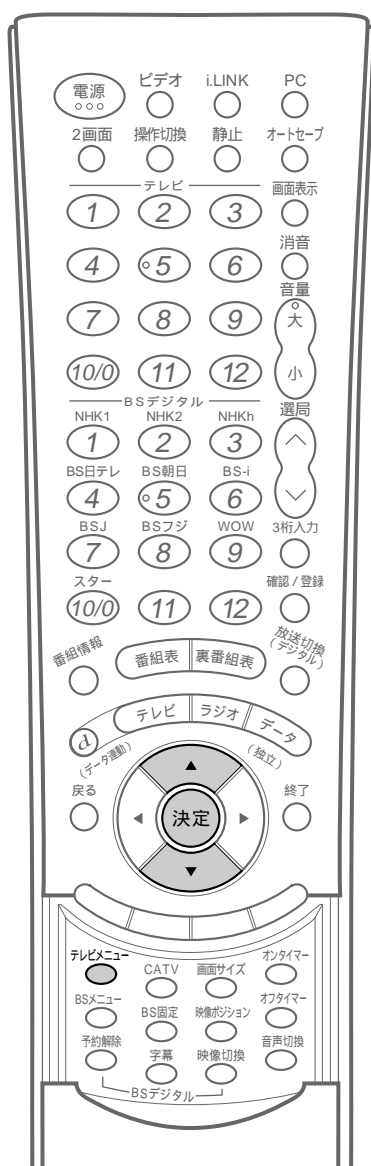
- オートモードでご使用中、画面が大きくなったり小さくなったりすることがありますが、これはオートモード機能が受信した映像に応じて最適な画面サイズへ自動切換えをしているために起こる現象で、故障ではありません。気になる場合は、画面サイズボタンで最適な画面サイズに切り換えてください。
ご覧になる映像によっては、切り換わる時間に差があります。
- 映像のサイズ（シネスコサイズなど）によっては、上下に黒い帯が残る場合があります。
- ビデオ機器で特殊再生（ビデオサーチやスロー再生など）をしている間は、オートモード機能が働かなくなることがあります。
- 市販ソフトによっては、字幕など一部欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換え機能で最適なサイズに切り換えて、位置調整で垂直位置を調整してください。
- 本機は各種の画面サイズ切換え機能を備えています。テレビ番組等、ソフトの映像比率の異なるサイズを選択されますと、オリジナルの映像とは見えかたに差がでます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切換え機能等を利用して、画面の圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない通常（4：3）の映像を、ワイド機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。
- オートモードでご使用中、受信内容や映画ソフトによっては正しく動作しないことがあります。この場合は、画面サイズボタンで最適な画面サイズに切り換えてください。

テレビモードのワイド画面設定(つづき)

位置調整

■ 画面サイズがワイドモードとシネマモードのとき、画面位置を調整することができます。

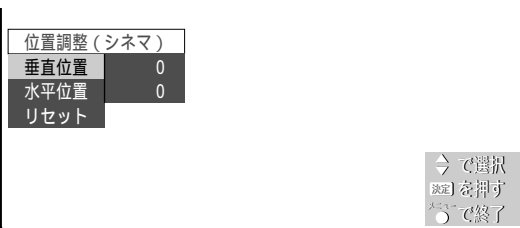
- **垂直位置：** 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
- **水平位置：** 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。

とびらを開けたところ

画面の位置を調整する

＜例＞シネマモードの垂直位置を調整する

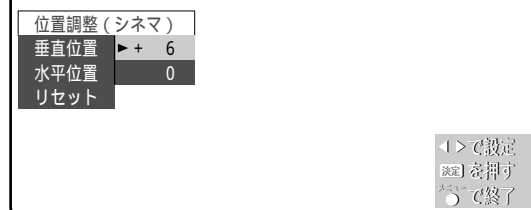
1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼で「ワイド設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼で「位置調整」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼で「垂直位置」を選び、決定を押す

- **画面を標準の状態に戻すときは、「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。**

とびらを開けたところ

5 ◀▶で垂直位置を調整し、を押す

6 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

水平位置を調整するには

- 手順4のときに「水平位置」を選んで決定ボタンを押し、お好みの位置に調整してください。

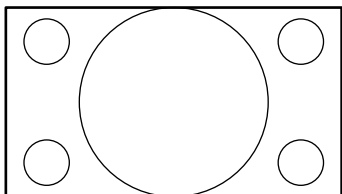
つぎの場合、位置調整はできません

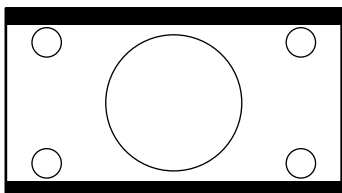
- ノーマルモード、フルモード、オートモードのとき。
- コンポーネント入力にハイビジョン信号が入力されているとき。

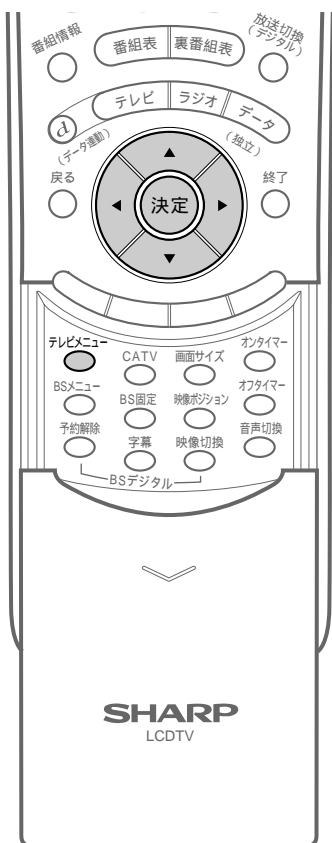
テレビモードのワイド画面設定(つづき)

フル設定

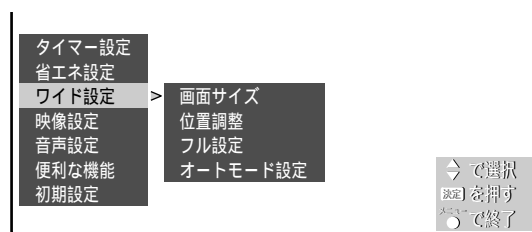
■ 画面サイズをフルモードに設定したときは、「フル1」か「フル2」を選択することができます。

- **フル1：**

画面いっぱいに映しだします。

- **フル2：**

映像全体を映しだします。
画面の上下に黒帯が入ります。

とびらを開けたところ

フルモードの画面サイズを調整する

<例>フルモード画面を「フル2」に設定する

1 テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「ワイド設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「フル設定」を選び、決定 を押す

4 ◀ ▶ で「フル2」を選び、決定 を押す

5 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

オートモード設定

■ 画面サイズをオートモードに設定したとき、通常の4：3映像をノーマルかワイドにできます。

- **ノーマル：** 4：3映像を、そのまま映します。
- **ワイド：** 4：3映像を画面いっぱいに拡大して映します。

とびらを開けたところ

オートモードで4：3映像をそのまま見る

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「ワイド設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「オートモード設定」を選び、決定を押す

4 ◀ ▶ で「ノーマル」を選び、決定を押す

5 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

画面サイズの最適化（識別切換機能）

■ ワイドクリアビジョン放送、S２映像入力信号、D4映像入力信号に含まれる画面サイズ制御信号をそれぞれ識別して、最適なサイズにする機能です。

• **ED識別：** ＥＤ識別を「入」に設定すると、オートモードでワイドクリアビジョン放送を受信したときに、自動的に画面いっぱいに表示します。

とびらを開けたところ

ＥＤ識別の設定

＜例＞ＥＤ識別を「入」に設定する

1 テレビメニュー **を押し、メニュー画面を表示する**

2 ▲ ▼ **で「初期設定」を選び、** 決定 **を押す**

3 ▲ ▼ **で「識別切換」を選び、** 決定 **を押す**

4 ▲ ▼ **で「ＥＤ識別」を選び、** 決定 **を押す**

5 で「入」を選び、決定を押す

6 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

とびらを開けたところ

画面サイズの最適化（識別切換機能）（つづき）

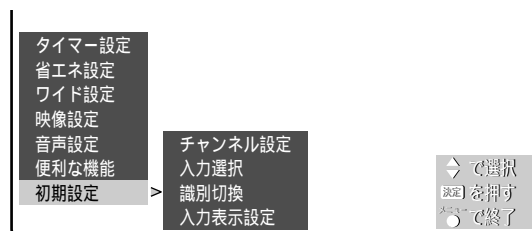
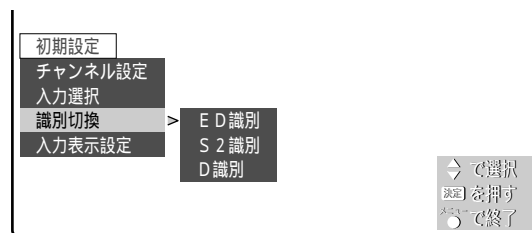
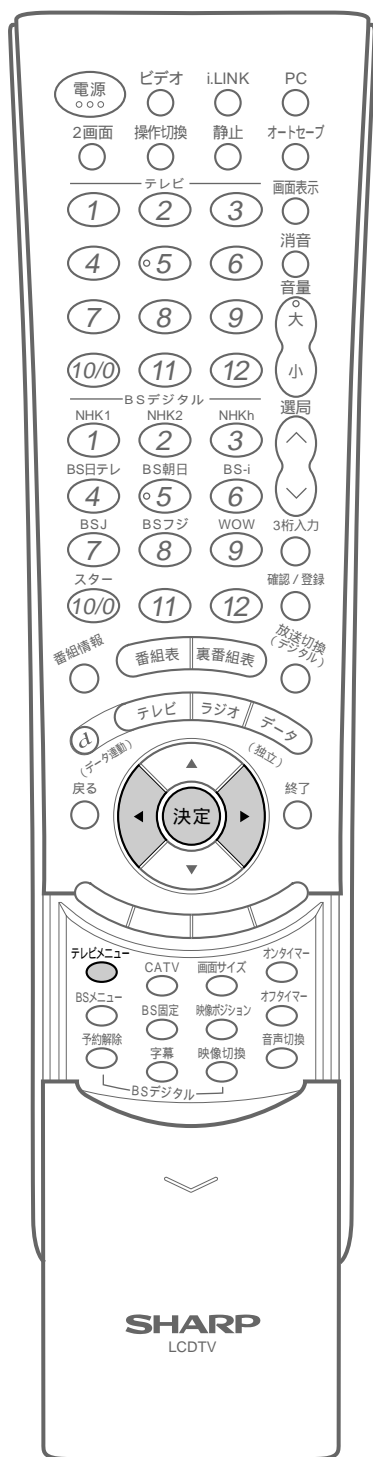
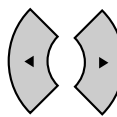
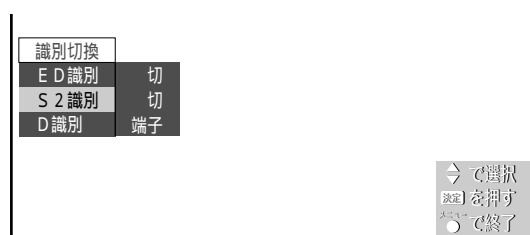
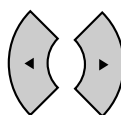
• **S2識別：** S２映像入力端子からの入力に含まれる画面サイズ制御信号を識別して、最適な画面サイズにする機能です。
S２識別を「入」に設定して、オートモードで使用しているときに動作します。

とびらを開けたところ

S２識別の設定

<例>S２識別を「入」に設定する

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「初期設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「識別切換」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「S２識別」を選び、決定を押す

5 ◀ ▶で「入」を選び、(決定)を押す

6 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

テレビを楽しむ

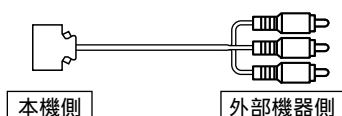
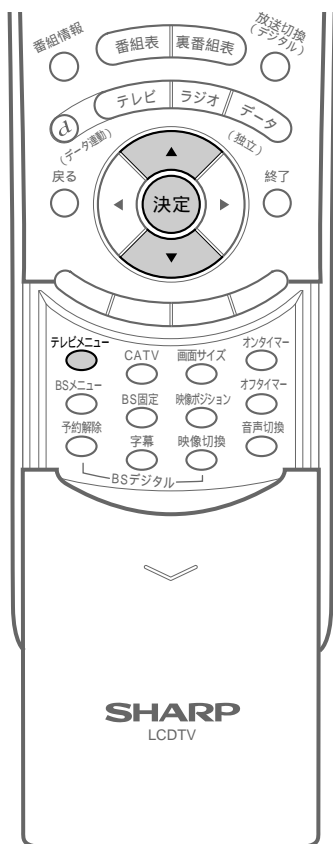
画面サイズの最適化（識別切換機能）（つづき）

画面サイズの最適化（識別切換機能）（つづき）

- **D識別**　：Ｄ４映像端子に接続されるケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変える機能です。

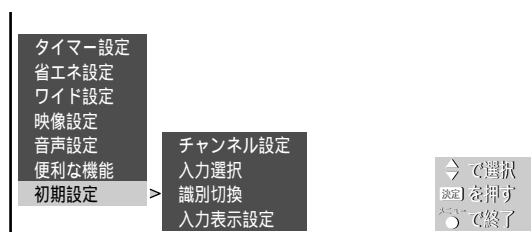
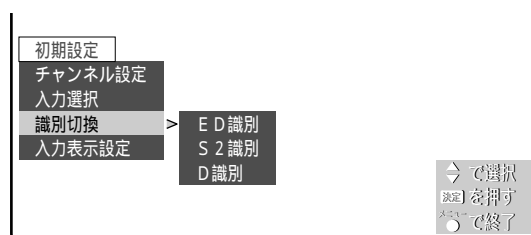
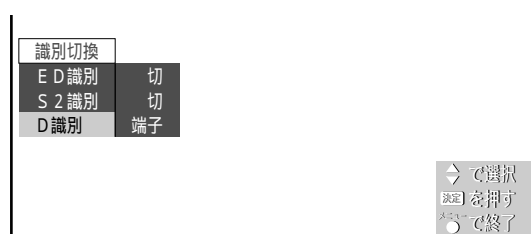
「端子」：外部機器に接続するケーブルが、Ｄ端子接続ケーブルのときは「端子」に設定します。

本機側　外部機器側

「信号」：外部機器に接続するケーブルが、Ｄ端子映像コンポーネント変換ケーブルのときは「信号」に設定します。

とびらを開けたところ

Ｄ識別の設定

＜例＞Ｄ識別を「信号」に設定する

1 テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「初期設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「識別切換」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「Ｄ識別」を選び、決定を押す

- Ｄ端子接続ケーブルやＤ端子映像コンポーネント変換ケーブルは市販のものをご使用ください。

とびらを開けたところ

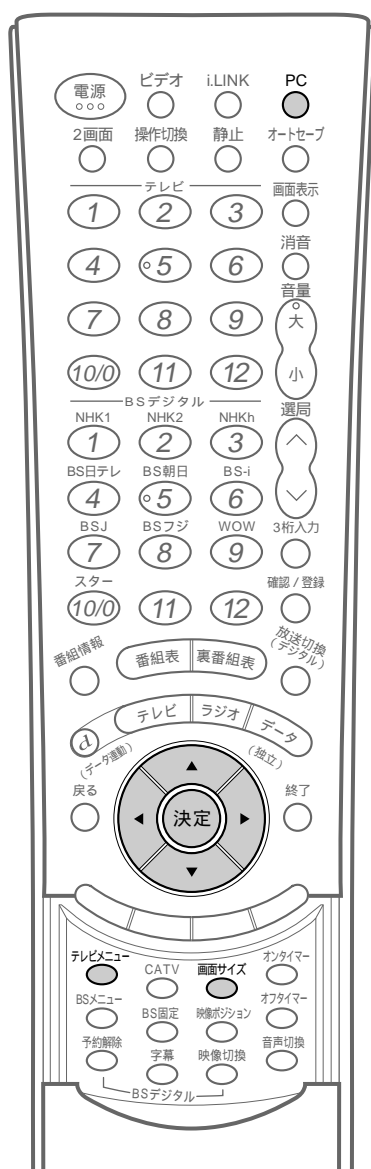
5 ◀ ▶で「信号」を選び、決定を押す

6 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

PCモードのワイド画面設定

■ コンピューターの画面状態により、おもに画面の表示位置や映り具合を最適な状態にするための調整です。
PC（コンピューター）モードの画面切り換え（ワイド機能）は、「ノーマル、フル、リアル」モードの3つのサイズがあります。

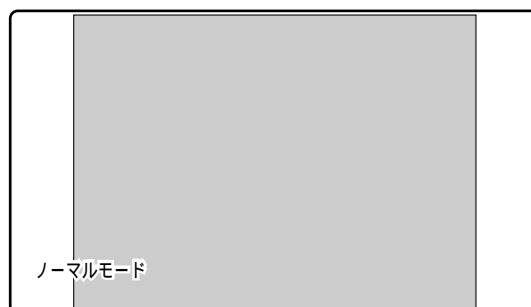
■ PCモードのワイド設定には、つぎの3つの項目があります。
「画面サイズの設定」、「位置調整」、
「入力信号表示設定」

とびらを開けたところ

PCモードの画面サイズを設定する

1

① PC を押し、PC画面を表示する

② 画面サイズ を押して、画面サイズを設定する

- **画面サイズモードが表示されます。**

- **画面サイズモード表示中にボタンを押します。押すごとに、つぎのように切り換わります。**

→ノーマルモード → フルモード → リアルモード

リアルモードとは
- **接続したPC（コンピューター）の入力信号の解像度を判別して、これに一致した画素数で表示する機能です。**

メニュー画面で設定するとき

1. **テレビメニューボタンを押し、メニュー画面を表示する**
2. **上下カーソルボタンで「ワイド設定」を選び、決定ボタンを押す**
3. **上下カーソルボタンで「画面サイズ」を選び、決定ボタンを押す**
4. **左右カーソルボタンで最適なサイズ（ノーマルモード・フルモード・リアルモード）を選び、決定ボタンを押す**
5. **テレビメニューボタンを押し、通常画面に戻す**

位置調整

■ PCモードの位置調整には、つぎの5つの調整項目があります。

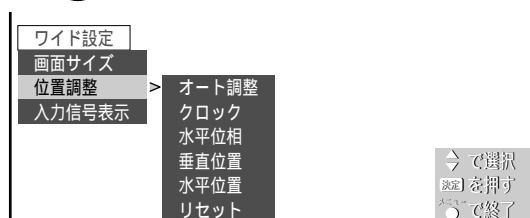
- **オート調整**：画面の表示位置や映り具合を自動的に最適な状態に調整します。
- **クロック**：縦縞状のチラツキがあるときに調整します。
- **水平位相**：文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。
- **垂直位置**：映像が上がり過ぎ、または下がり過ぎ状態のときに調整します
- **水平位置**：画像が右寄り、または左寄り状態のときに調整します。

とびらを開けたところ

画面位置を自動調整する（オート調整）

1 ① PC を押し、PC画面を表示する
② テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「ワイド設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「位置調整」を選び、決定を押す

4 ① ▲ ▼ で「オート調整」を選び、決定を押す
② ◀ ▶ で「実行」を選び、決定を押す

- 「調整中」と表示されます。完了するとカーソルがオート調整に戻ります。

5 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

テレビを楽しむ

PCモードのワイド画面設定

PCモードのワイド画面設定（つづき）

■ PC画面の状態に合わせて、個別に調整することができます。

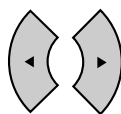
映り具合や画面位置を個別に調整する

<例>水平位相を調整する

1 ① PC を押し、PC画面を表示する
② テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「ワイド設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「位置調整」を選び、決定 を押す

4 ▲ ▼ で「水平位相」を選び、決定 を押す

とびらを開けたところ

5 で水平位相を最適な状態に調整し、を押す

- **続けて他の項目を調整するときは、つぎに調整する項目を選び、手順4〜5の操作を繰り返してください。**

6 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

- 画面を標準の状態に戻すには、手順**4**の操作のときカーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。

PCモードのワイド画面設定(つづき)

入力信号表示設定

■ 本機に接続したコンピューターの入力信号を表示して、確認することができます。

とびらを開けたところ

PC入力信号を表示する

1

① PC を押し、PC画面を表示する

② テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

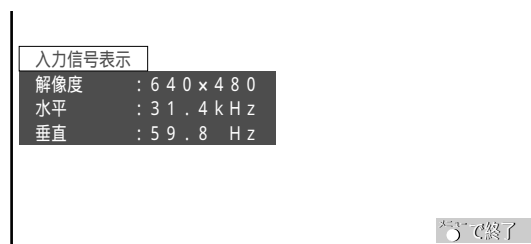
2

▲ ▼ で「ワイド設定」を選び、決定を押す

3

▲ ▼ で「入力信号表示」を選び、決定を押す

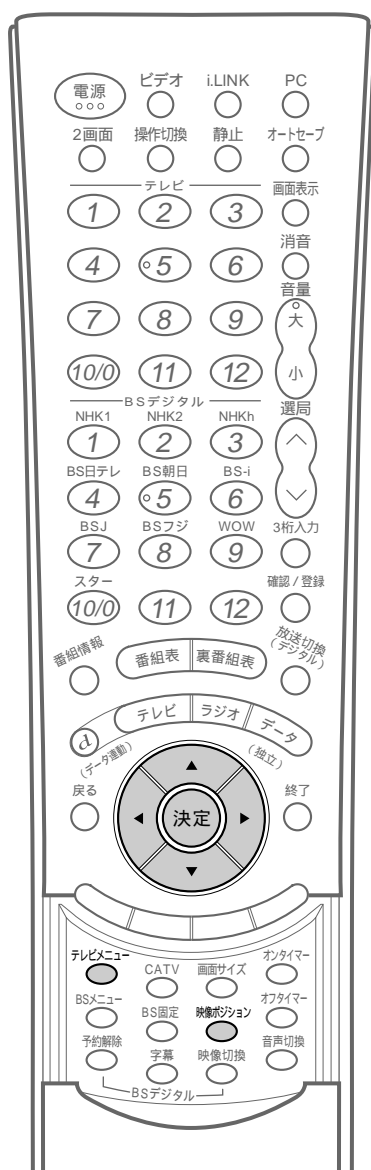
4

入力信号表示内容を確認し、終了を押す

テレビモードの映像・音声を調整する

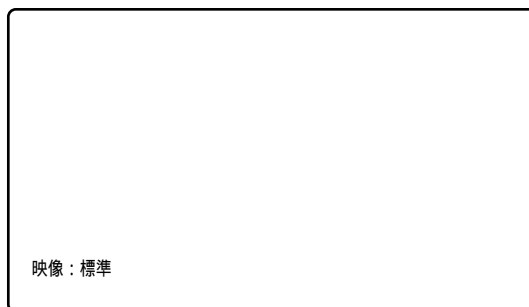
映像ポジション

■ テレビ／ビデオモードの映像を、放送の種類に合わせて、最適な映像ポジションを選ぶことができます。

- **標準：**通常の番組を見るとき。
- **映画：**映画などの放送やソフトを見るとき。
- **ハイビジョン：**ハイビジョン放送の番組を見るとき。

とびらを開けたところ

最適な映像ポジションを選ぶ

1 映像ポジション を押して、最適なポジションを選ぶ

映像：標準

- **映像ポジションが表示されている間、ボタンを押すごとに、つぎのように切り換わります。**

標準 → 映画 → ハイビジョン

メニュー画面で設定するとき

1. **テレビメニューボタンを押し、メニュー画面を表示する**
2. **上下カーソルボタンで「映像設定」を選び、決定ボタンを押す**
3. **上下カーソルボタンで「映像ポジション」を選び、決定ボタンを押す**
4. **左右カーソルボタンで最適なポジションを選び、決定ボタンを押す**
5. **テレビメニューボタンを押し、通常画面に戻す**

テレビモードの映像・音声を調整する(つづき)

映像調整

■ 映像ポジションの「標準」、「映画」、「ハイビジョン」の各ポジションは、お好みの映像に調整することができます。

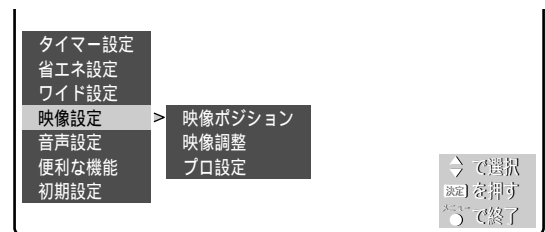
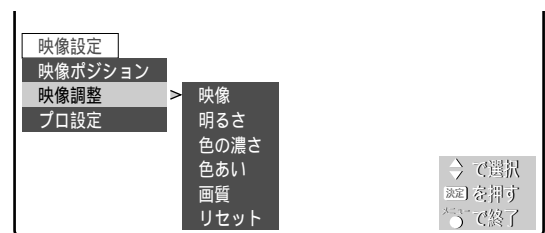
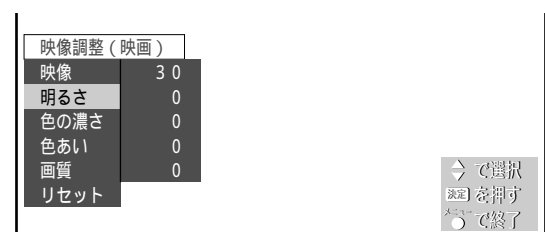
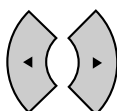
■ つぎの5つの項目を調整できます。
調整した映像は、各映像ポジションに記憶されます。
「映像」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「画質」

とびらを開けたところ

テレビモードの映像を調整する

＜例＞映像ポジションの「映画」で「明るさ」を調整する

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「映像調整」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「明るさ」を選び、決定を押す

5 ◀ ▶でお好みの明るさに調整し、決定を押す

- **「▯」マークが左右に移動し、数字が増減します。**

- **続けて他の項目を調整するときは、つぎに調整する項目を選び、手順4〜5の操作を繰り返してください。**

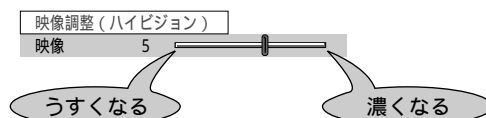
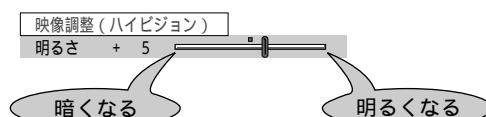
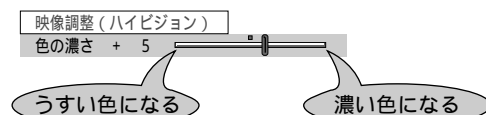
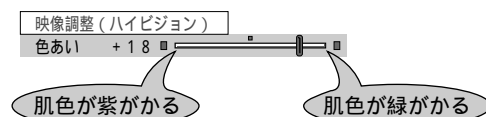
6 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

- **表示が消え、調整した内容が映像ポジションに記憶されます。**

おしらせ

- 「映像」「明るさ」「色の濃さ」「色あい」「画質」の5つの項目を調整できます。

「映　像」

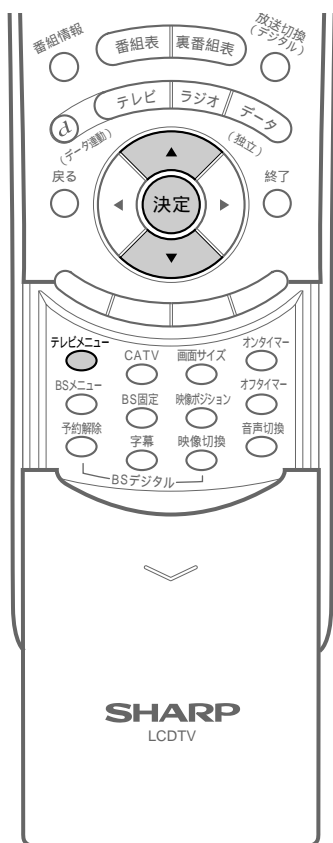
映像調整（ハイビジョン）
映像　5
うすくなる
濃くなる

「明るさ」

「色の濃さ」

「色あい」

「画　質」

- 調整内容を工場出荷時の設定に戻すには、手順**4**の操作のときカーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。

テレビモードの映像・音声を調整する(つづき)

プロ設定

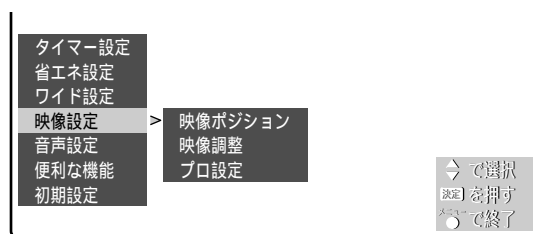
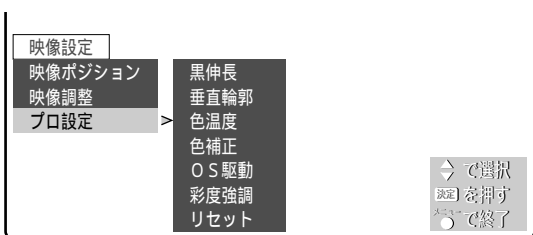
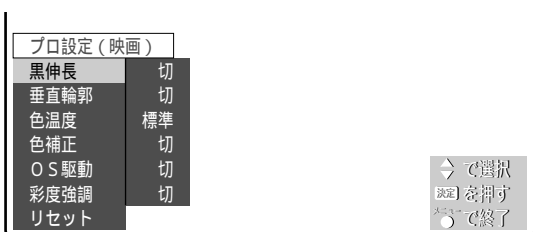
■ 66ページの映像調整より、さらに細かく映像を、お好みに合わせて調整することができます。

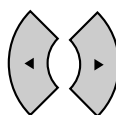
- **黒　伸　長：** 映像の黒い部分の強調度合いを調整し、奥行き感を変化させます。
  設定(切、弱、強)
- **垂 直 輪 郭：** 明るい映像での黒い部分のキメ細かさを調整し、映像のメリハリを変更させます。
  設定(切、入)
- **色　温　度：** 画面全体の色調を調整します。
  設定(高、標準、中、低)
- **色　補　正：** 肌色の強調度合いを変化させます。
  設定(切、入)
- **O S 駆 動：** 動きの早い映像などの応答性が改善されます。
  設定(切、入)
- **彩 度 強 調：** 画面のあざやかさが強調されます。
  設定(切、入)
- **リ セ ッ ト：** 工場出荷状態に戻ります。

とびらを開けたところ

映像プロ設定をする

＜例＞映像ポジションの「映画」で「黒伸長」を「強」に設定する

1 テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「プロ設定」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「黒伸長」を選び、決定を押す

とびらを開けたところ

5

で「強」を選び、決定を押す

- **続けて他の項目を調整するときは、つぎに調整する項目を選び、手順4〜5の操作を繰り返してください。**

6

テレビメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

- 調整内容を工場出荷時の設定に戻すには、手順**4**の操作のときカーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。

テレビモードの映像・音声を調整する(つづき)

■ ビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。設定は(切、強、弱)があります。
■ 地上放送、CATV、ビデオ入力ごとに設定ができます。なおビデオ入力は各入力別(個別)に設定できます。

とびらを開けたところ

映像をすっきりさせる(ノイズクリーン)

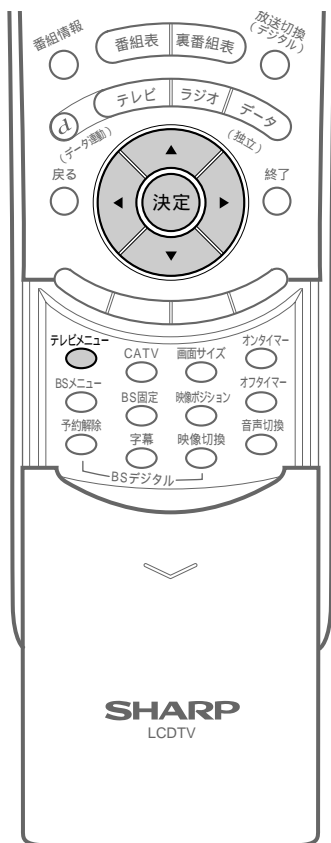
<例>ノイズクリーンを「強」に設定する

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲▼で「便利な機能」を選び、決定を押す

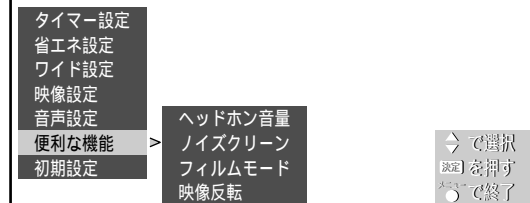
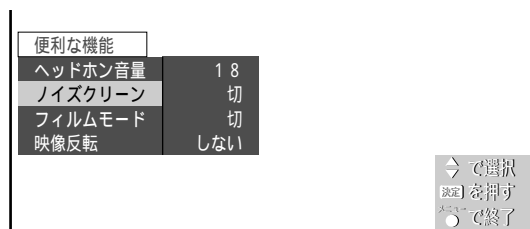
3 ▲▼で「ノイズクリーン」を選び、決定を押す

4 ◀▶で「強」を選び、決定を押す

5 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

- ノイズクリーンを「弱」または「強」に設定すると、入力切換えをしたとき、画面右上にNCマークが表示されます。

NC 8

- 再生ソフトに合わせて、お好みで設定してください。
- S-VHSソフトの再生時は働きません。

音声ポジション

■ テレビ／ビデオモードの音声を、放送の種類に合わせ、最適な音声ポジションを選ぶことができます。

- **標準：**通常の番組を視聴するとき。
- **映画：**映画などの放送やソフトを視聴するとき。
- **音楽：**音楽番組放送を視聴するとき。

とびらを開けたところ

最適な音声ポジションを選ぶ

<例>音声ポジションで「映画」を選ぶ

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼で「音声設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼で「音声ポジション」を選び、決定を押す

4 ◀ ▶で「映画」を選び、決定を押す

5 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

テレビモードの映像・音声を調整する(つづき)

音声調整

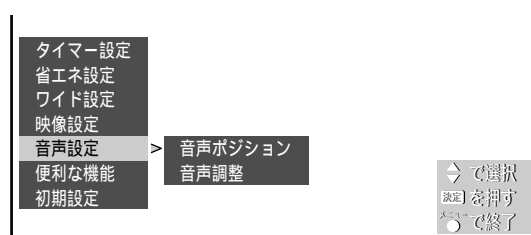
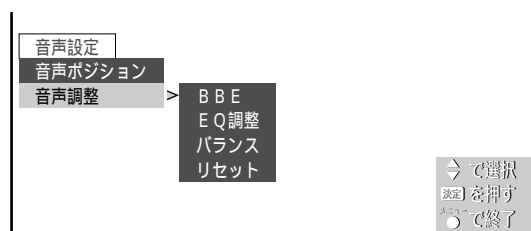
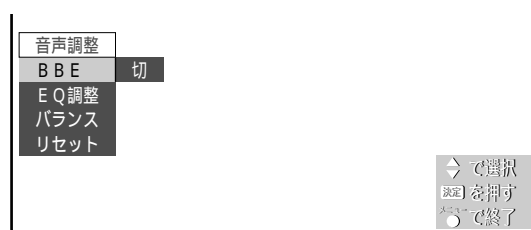
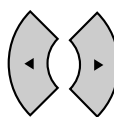
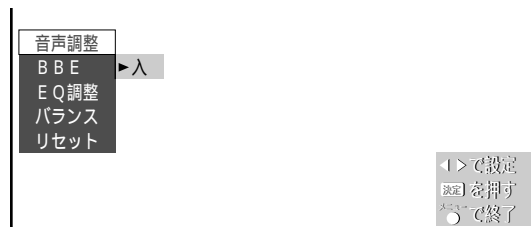
■ ご覧になっているビデオソフトや、各種放送の内容に合わせ、お好みの音声に設定することができます。

- **BBE**：音声の明瞭感を補正して、こもり感のない、原音に忠実で聞きやすい音に調整できます。
- **EQ調整**：高音部から低音部までの音域を、お好みの音質(周波数)で、きめ細かな調整ができます。
- **バランス**：左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。
- **リセット**：工場出荷状態に戻ります。

とびらを開けたところ

原音に忠実な音で聞く(BBE)

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼で「音声設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼で「音声調整」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼で「BBE」を選び、決定を押す

とびらを開けたところ

5 ◀▶で「入」を選び、決定を押す

6 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

- BBEおよびMach3BassはBBEサウンド・インコーポレイテッドからの実施権に基づき製造されています。BBE、BBE Mach3Bass はBBEサウンド・インコーポレイテッドの登録商標です。
- 調整内容を工場出荷時の設定に戻すには、手順**4**の操作のときカーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。

テレビモードの映像・音声を調整する(つづき)

■「１２０(Hz)」「５００(Hz)」「1.5k(Hz)」「５k(Hz)」「１０k(Hz)」の５つの周波数で、音声をお好みの音質に調整することができます。周波数ごとの調整操作は、画面に表示されるグラフィックイコライザー(EQ)で行います。

とびらを開けたところ

お好みの音質に調整する(EQ調整)

＜例＞１０k(Hz)「高音部」を調整する

1 テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

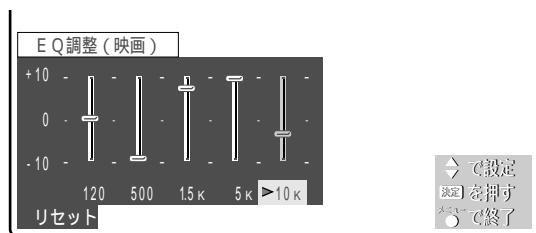
2 ▲ ▼ で「音声設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「音声調整」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「EQ調整」を選び、決定を押す

5 ◀ ▶で「10k」を選び、決定を押す

6 ▲ ▼でお好みの音質に調整し、決定を押す

- 「═」マークが上下に移動します。

- **続けて他の項目を調整するときは、つぎに調整する項目を選び、手順5〜6の操作を繰り返してください。**

7 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

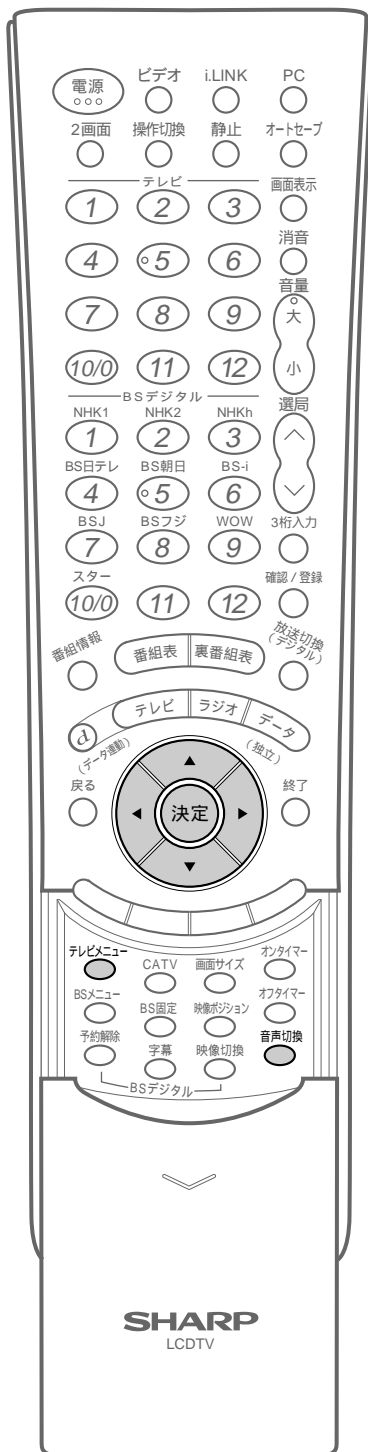
おしらせ

- デジタル放送では、放送局側の番組によって、音声レベルが異なる場合があり、周波数を調整しても音声効果が得られないときがあります。そのときは、本体またはリモコンの音量ボタンで音量の調整をしてください。
- 「120(Hz)」「500(Hz)」「1.5k(Hz)」「5k(Hz)」「10k(Hz)」の5つの項目を調整できます。

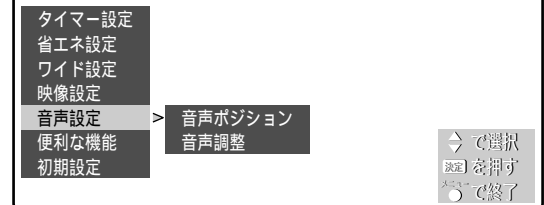
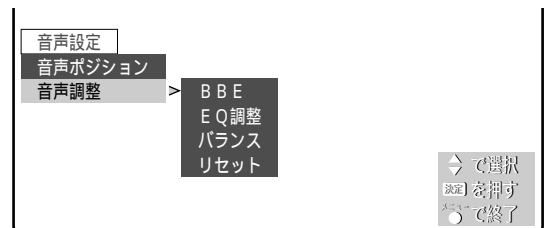
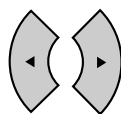
- 調整内容を工場出荷時の内容に戻すには、手順**5**の操作のとき上下カーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。
- ヘッドホンでは、音声調整の効果は得られません。

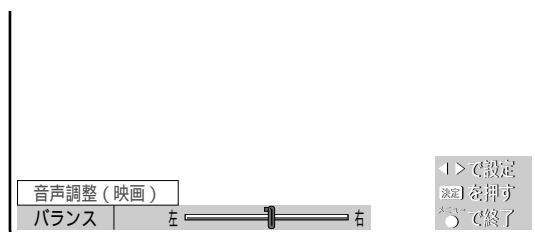
テレビモードの映像・音声を調整する(つづき)

■ お好みに合わせて、左右のスピーカー音声を調整することができます。

とびらを開けたところ

スピーカー音声のバランスを調整する

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「音声設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「音声調整」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「バランス」を選び、決定を押す

5 でバランスを調整し、(決定)を押す

- 「‖」マークが左右に移動します。

6 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

- 調整内容を工場出荷時の設定に戻すには、手順4の操作のときカーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。

音声モードを切り換える

■ 音声多重放送やステレオ放送を受信しているとき、音声切換ボタンで音声を切り換えることができます。

1 音声切換を押す

- ボタンを押すごとに、つぎのように切り換わります。

モノラル放送のとき	モノラル ↔ （表示なし）
ステレオ放送のとき	→ モノラル → ステレオ ↩
音声多重放送のとき	→ メイン → サブ → メイン／サブ ↩

おしらせ

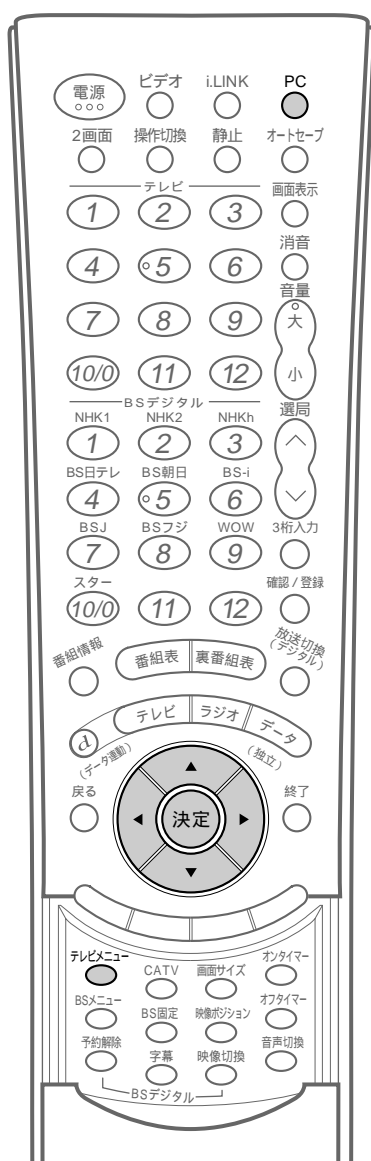
- BSデジタル放送を視聴しているときの音声切換えについては、**109**ページをご覧ください。

ＰＣモードの映像を調整する

映像調整

■ ＰＣ（コンピューター）モードでは、「映像」「明るさ」「色温度」「赤」「青」「緑」の６項目の調整ができます。なお、ＰＣモードでは映像ポジションとプロ設定の選択はできません。

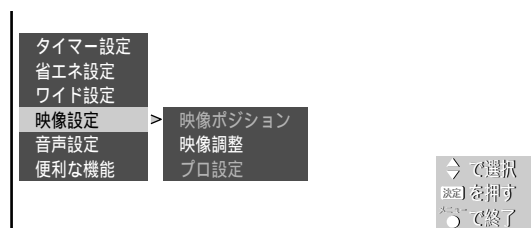
■「赤」「青」「緑」の調整は、「色温度」を手動に設定したときのみ調整ができます。

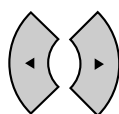
とびらを開けたところ

ＰＣモードの映像を調整する

<例>映像調整の「明るさ」で画面を調整する

1 PCを押し、ＰＣ画面を表示する

2 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

3 ▲ ▼ で「映像設定」を選び、決定を押す

4 「映像調整」で、決定を押す

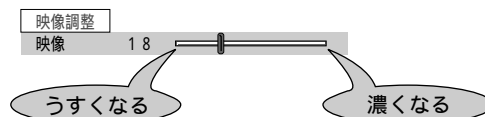
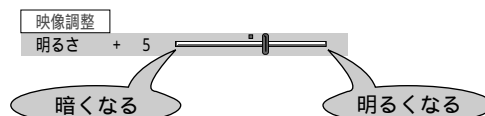
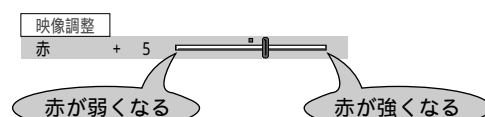
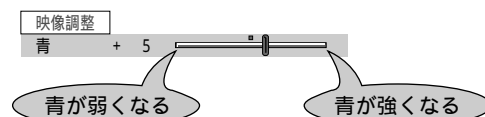
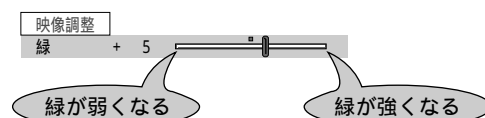
5 ▲ ▼ で「明るさ」を選び、決定を押す

6 ◀▶で画面を、お好みの明るさに調整し、決定を押す

- **「▯」マークが左右に移動し、数字が増減します。**

- **続けて他の項目を調整するときは、つぎに調整する項目を選び、手順5〜6の操作を繰り返してください。**

7 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

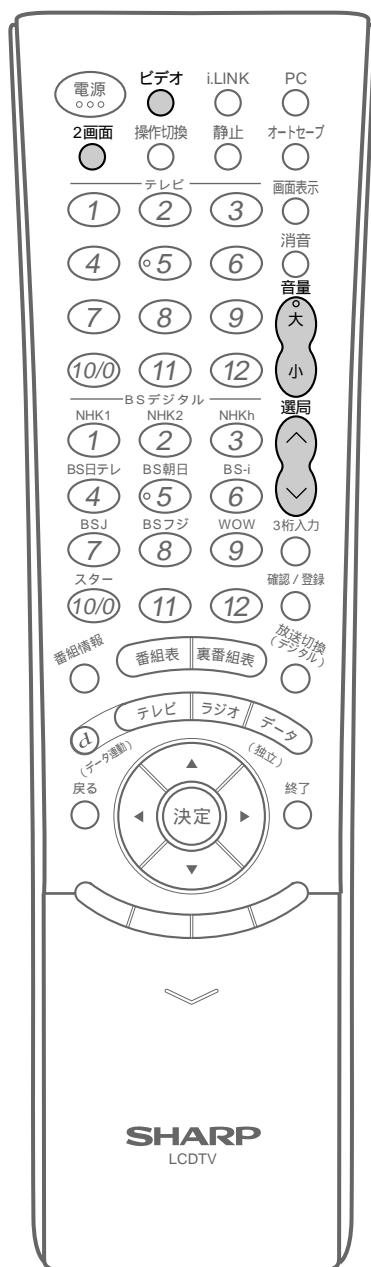
- 「映像」「明るさ」「色温度」「赤」「青」「緑」の6つの項目を調整できます。
  ただし、「赤」「青」「緑」は、「色温度」を手動に設定したときのみ調整できます。

- 調整内容を工場出荷時の内容に戻すには、手順**5**の操作のときカーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。

いろいろな画面で楽しむ

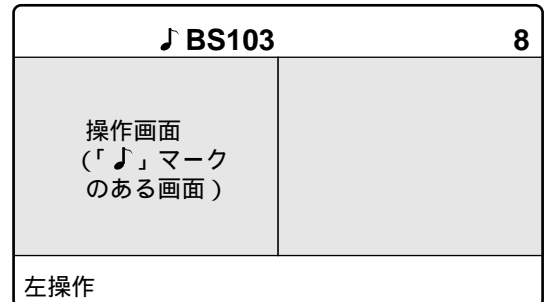
■ 本機は2つの異なる映像を、同時に表示して見ることができます。
また「♪」マークのある画面は、チャンネルや入力の切換えができます。

2画面で見られる映像の組合せ

	地上放送	BS放送	外部入力	PC入力
地上放送	×	○	○	×
BS放送	○	×	○※1	×
外部入力	○	○※1	○※2	×
PC入力	×	×	×	×

※1　BS放送とi.LINKは同時に見られません。
※2　同じ外部入力どうしは見られません。

2画面で見る

＜例＞地上放送とBS放送の番組を2画面で見る

1 2画面 ○ **を押す**

- **左右2画面になります。**

2画面のときの音量調整

- **音量ボタンで操作画面の音量を調整できます。**

2画面のときの音声出力	
スピーカー	操作画面の音声
ヘッドホン	操作できない画面の音声
モニター出力音声	スピーカー音声と同じ

操作画面（「♪」マークのある画面）のチャンネルや入力を切り換えるには

- **選局ボタンで、チャンネルの選局ができます。**
- **片方の画面が外部入力のときは、もう一方の画面は地上放送、BS放送内で選局ができます。**
- **ビデオボタンで、画面の入力切換えができます。外部入力（i.LINKは除く）の中でのみ切換えが可能です。**

- 非操作画面（「♪」マークのない画面）がBS放送のとき、操作画面の外部入力切換えはi.LINKをスキップして切り換わります。

画面を大きくしたいときは

1 2画面 ○ **を押す**

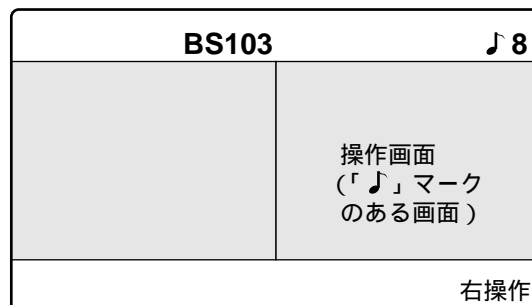
♪BS103　8

操作画面
(「♪」マーク
のある画面)

左操作

（「♪」マークのある画面が操作できます）

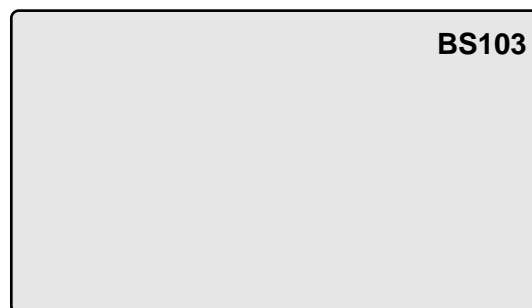
操作画面を切り換えるには

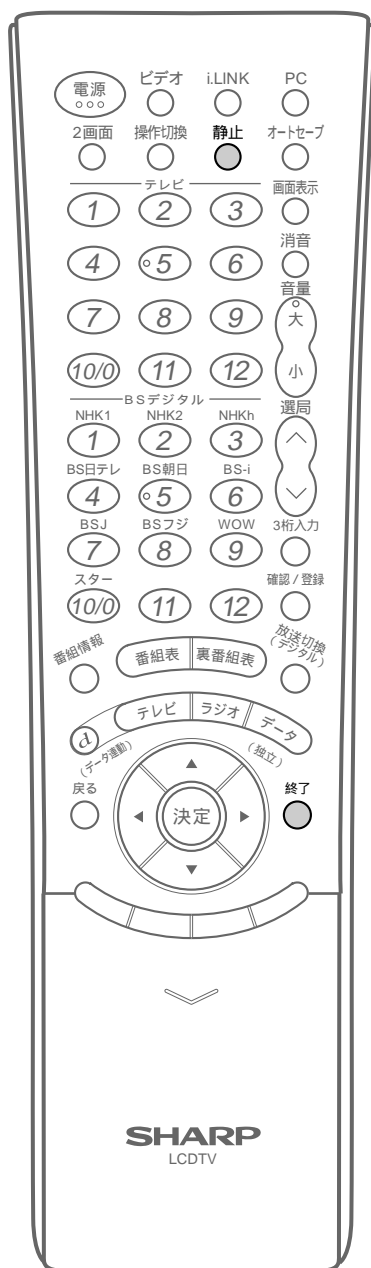
1 操作切換 を押す

(「♪」マークのある画面が操作できます)

- もう一度押すと、左操作に戻ります。

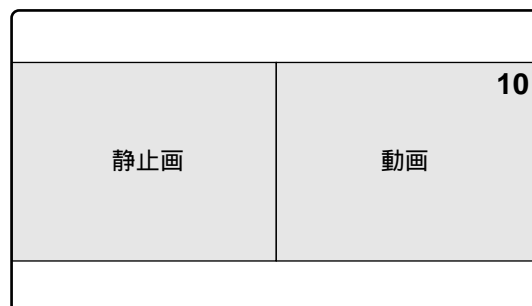
1画面に戻すには

1 2画面で左が大きい画面のときは、終了 か 2画面 を押す
また、左右同じ大きさの画面のときは、終了 を押す

- 「♪」マークのある画面が、1画面に戻ります。

テレビを楽しむ
いろいろな画面で楽しむ

■（番組の内容をメモする）
ご覧になっている放送や映像を、静止させてメモ機能として利用することができます。

静止画面で見る

1 静止 ◯を押す

- **ご覧になっている放送や映像を、静止させたいところで押してください。**
- **2画面表示となり、左側が静止画、右側が動画となります。**

2 静止 ◯または終了 ◯を押す

- **1画面の動画に戻ります。**

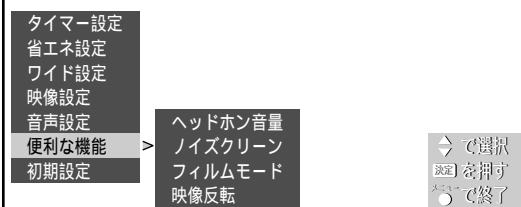
- 静止画面の表示中は、ワイド機能の画面サイズ切換えはできません。
- PC（コンピューター）画面は、静止画面にできません。

便利な機能を使う

■ ヘッドホン音量：
本機にヘッドホンを接続して音声を聞くときに、ヘッドホン音量を調整することができます。
２画面時のヘッドホン音声は、(操作できない画面)の音声が聞こえます。

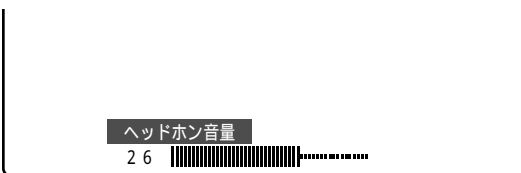
とびらを開けたところ

ヘッドホンの音量を調整する

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼で「便利な機能」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼で「ヘッドホン音量」を選び、決定を押す

4 ◀ ▶でお好みの音量に調整し、決定を押す

- **ヘッドホン音量は０～６０の調整ができます。**

5 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

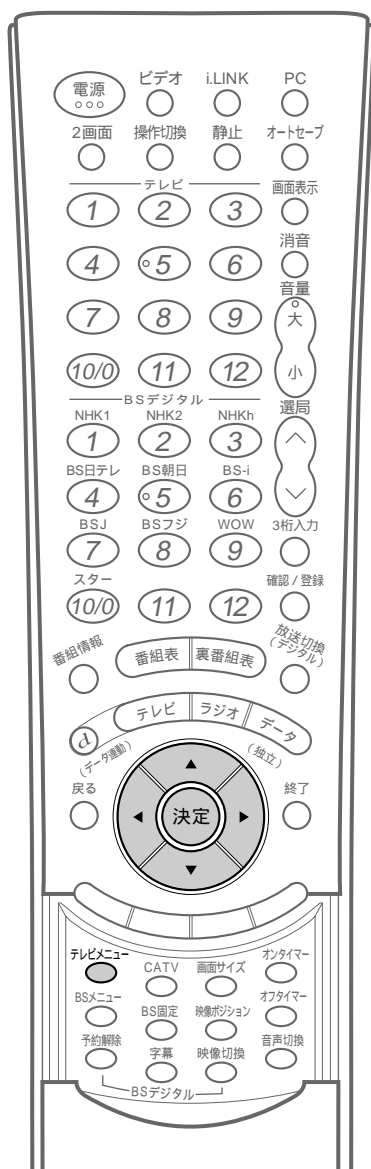
便利な機能を使う（つづき）

■ 映像反転：
設置のしかたに応じて、映像の左右を反転させることができます。
美容院などで、映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利な機能です。

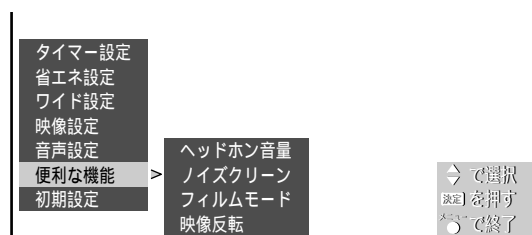
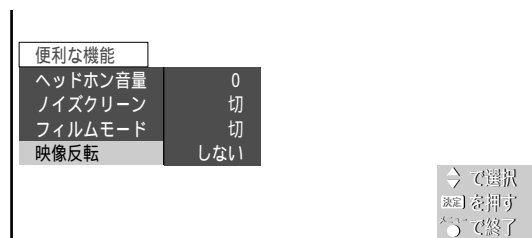
とびらを開けたところ

おしらせ

- **映像反転の表示**

しない（出荷時）	左右反転
ABC	ƆBA

映像の左右を反転させる

1 テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「便利な機能」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「映像反転」を選び、決定 を押す

4 ◀ ▶ で「左右反転」を選び、決定 を押す

- 映像が左右反転で表示されます。
- 音声は左右反転しません。

5 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

省エネ機能を使う

■ 本機は、省エネに役立つ4つの機能を備えています。

- **オートセーブ：**
  周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整する機能です。省電力に役立ちます。
- **調光（画面の明るさを設定する）：**
  放送内容や再生ソフトに合わせて、画面の明るさを設定することができる機能です。
- **無操作オフ：**
  操作しない状態が3時間以上経過すると、自動的に電源が切れる機能です。
- **無信号オフ：**
  放送が終了するなど無信号状態になると、約5分後に電源が切れる機能です。
  消し忘れを防ぐことができます。

画面の明るさを自動調整する（オートセーブ）

1 オートセーブ ◯ **を押す**

- **ボタンを1回押すと、画面に現在設定されているモードが表示されます。**

オートセーブ「切」

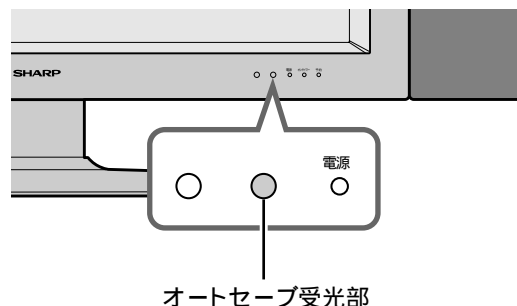
- **ボタンを押すごとに、つぎのように切り換わります。**

- **（オートセーブ「入 表示あり」）に設定すると、オートセーブ機能の効果が画面に表示されます。**

オートセーブ

- **周囲の明るさが変化すると、オートセーブ機能が働いて、画面の明るさを調整します。**

おしらせ

- オートセーブ受光部の前に物を置いたりすると、明るさを感知できなくなります。

省エネ機能を使う（つづき）

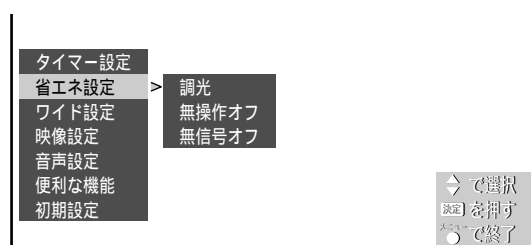
■ 放送内容や再生ソフトなど映像に合わせて、画面をお好みの明るさ(「明るい」「標準」「暗い」)に設定できます。

とびらを開けたところ

画面の明るさを設定する(調光)

＜例＞調光を「暗い」に設定する

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲▼で「省エネ設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「調光」を選び、決定を押す

4 ◀▶で「暗い」を選び、決定を押す

5 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

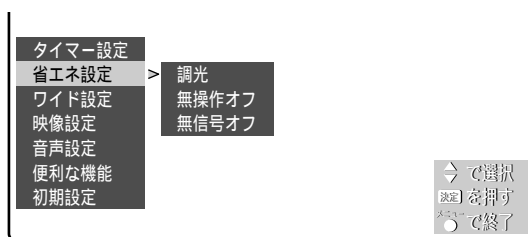
- オートセーブを「入」に設定しているときは、調光の設定はできません。

■ 3時間以上操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるよう設定できます。

無操作オフ機能を設定する

＜例＞無操作オフを「入」に設定する

1 テレビメニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「省エネ設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「無操作オフ」を選び、決定 を押す

4 ◀ ▶ で「入」を選び、決定 を押す

5 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

- 工場出荷時は、「切」に設定されています。
- PCモードでは、無操作オフ機能は働きません。

省エネ機能を使う（つづき）

■ 無信号になったとき、約5分後に電源を自動的に切り、消し忘れを防ぎます。

とびらを開けたところ

- 工場出荷時は、「入」に設定されています。
- 地上波、ビデオ入力信号のみ、無信号オフ機能が働きます。
- 放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
- 放送電波の状態などにより、放送を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「切」にしてください。
- PCモードでは、無信号オフ機能は働きません。
- 2画面表示のときは、無信号オフ機能は働きません。

無信号オフ機能を設定する

<例>無信号オフを「切」に設定する

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼で「省エネ設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼で「無信号オフ」を選び、決定を押す

4 ◀ ▶で「切」を選び、決定を押す

5 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

BSデジタル放送を楽しむ

BSデジタル放送について

BSデジタル放送の特長

情報を圧縮して多くのデータを送ることができるため、限られた電波の範囲でつぎのようなたくさんの放送やサービスが可能です。

多チャンネルのデジタルハイビジョン放送

いままでのBS（アナログ）放送では、ハイビジョン放送が1チャンネルだけでしたが、BSデジタル放送ではデジタルハイビジョン放送が7チャンネルに増えました。（2001年10月現在）

データ放送

静止画像や文字によって必要な情報をいつでも取り出せる新しい放送です。テレビ放送等と連動したデータ放送と、独立したデータ放送の2種類のデータ放送があります。

- 本機ではデータ放送番組を表示する際、データ放送事業者が提供する番組の表示画面と一部異なる場合があります。

ラジオ放送

CD並みの高音質の音楽を含むラジオ放送です。

電子番組表（EPG）

BSデジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情報が含まれています。その番組情報をもとにテレビ画面に番組表を表示したものが電子番組表（EPG）です。
この電子番組表を使って、番組を探したり、番組の内容を確認したり、番組を予約したりすることができます。

新しい放送サービス

BSデジタル放送では、マルチビューサービスや臨時編成サービス（**93**ページ参照）など、従来のテレビ放送になかった、新しい便利な放送サービスも可能となりました。

- マルチビューサービス、臨時編成サービスは、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

BSデジタル放送のチャンネル番号表

BSデジタル放送では、チャンネル番号が3桁になっています。

100番台～200番台のチャンネル番号 ・・・・・・・・・テレビ放送のチャンネル番号
300番台～500番台のチャンネル番号 ・・・・・・・・・ラジオ放送のチャンネル番号
600番台～900番台のチャンネル番号 ・・・・・・・・・独立データ放送のチャンネル番号

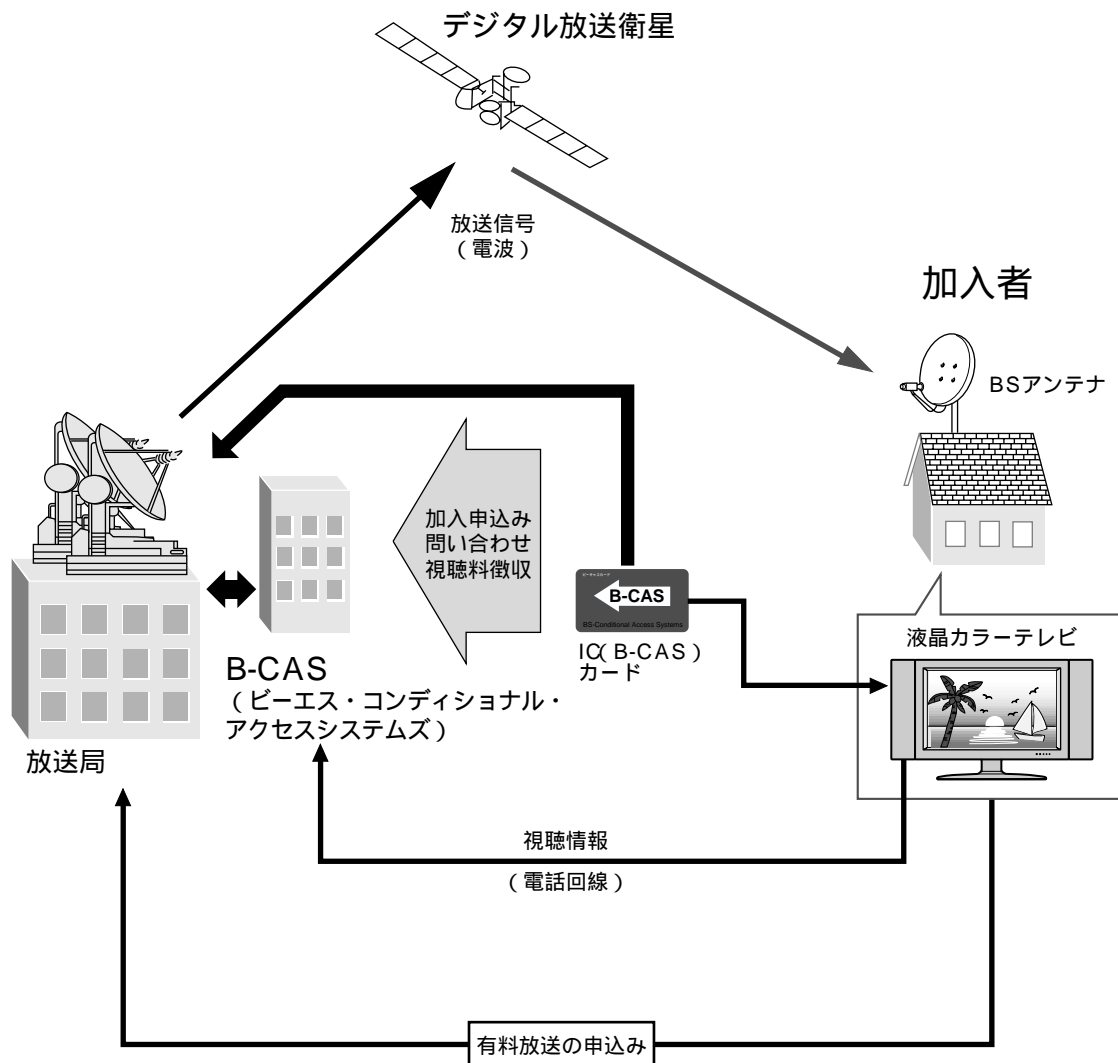
BSデジタル放送のチャンネル番号一覧表

	委託放送事業者	チャンネル番号		
		テレビ放送	ラジオ放送	独立データ放送
統合(テレビ／ラジオ／データ)	NHK BS1	101	なし	700～709
	NHK BS2	102	なし	700～709
	NHK ハイビジョン	103 (臨時編成サービス時：104、105)	なし	700～709
	BS日テレ	140～143、145～149 (臨時編成サービス時：144)	440～449	740～749
	BS朝日	150～157 (臨時編成サービス時：158、159)	450～459	750～759
	BS-i	160～168 (臨時編成サービス時：169)	460～469	760～769
	BSジャパン	170～179 (臨時編成サービス時：未定)	470～479	770～779
	BSフジ	180～187 (臨時編成サービス時：188、189)	488、489	780～789
	WOWOW	191、192、193 (臨時編成サービス時：198、199)	491、492	790～799
	スターチャンネル	200～209	なし	800～809
ラジオ／データ	BSC	なし	300、301	なし
	ミュージックバード	なし	310～319	610～619
	JFNサテライト	なし	320～329	620～629
	セント・ギガ	なし	330～339	630～639
データのみ	メガポート放送	なし	なし	900～909
	ウェザーニューズ	なし	なし	910～919
	DCI	なし	なし	930～939
	日本データ放送	なし	なし	940～949
	メディアサーブ	なし	なし	950～959
	日本メディアーク	なし	なし	960～969
	日本ビーエス放送	なし	なし	990～999

(2001年10月現在)

(臨時編成サービス：**93**ページをご覧ください。)

BSデジタル放送について（つづき）

放送サービスのイメージ

その他の特長

ＢＳデジタル放送では、チャンネル編成のしかたが新しく決められたため、つぎのような今までになかった便利なサービスが可能です。

臨時編成サービス

野球中継などが延長になった場合、野球中継は継続しながら、別のチャンネルで予定の番組を放送する場合があります。このようなサービスを「臨時編成サービス」といいます。

マルチビューサービス

1つの番組の中で、カメラアングルを変えて3つの場面に分けて放送されるサービスなどを「マルチビューサービス」といいます。
例えば、野球中継で、レフト側観客席から見た映像、ライト側観客席から見た映像、バックネット裏から見た映像の3つの映像を1つのチャンネルで放送することができます。

降雨対応放送

ＢＳデジタル放送では衛星から送られてくる電波が、激しい降雨によって弱められ、放送を受けられなくなることがあります。これを避けるため、送るデータを少なくすることで映像・音声の内容を途切れなく視聴できるサービスが「降雨対応放送」です。
図ー1の表示が出たときに、画面を小さくして番組を見ることができます。

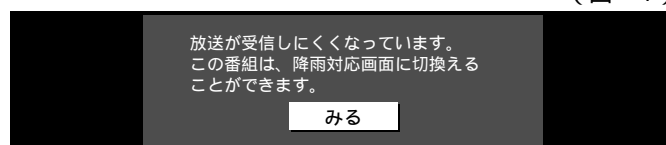
おしらせ

- 臨時編成サービス、マルチビューサービス、降雨対応放送は、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

降雨対応放送への切換え方法

降雨等によって受信しにくくなったとき、降雨対応の番組が放送されている場合、その旨を画面に表示してお知らせします。（図ー1）
リモコンの決定ボタンを押すと、降雨対応の画面に切り換わりますので、途切れることなく番組を視聴できます。（図ー2）

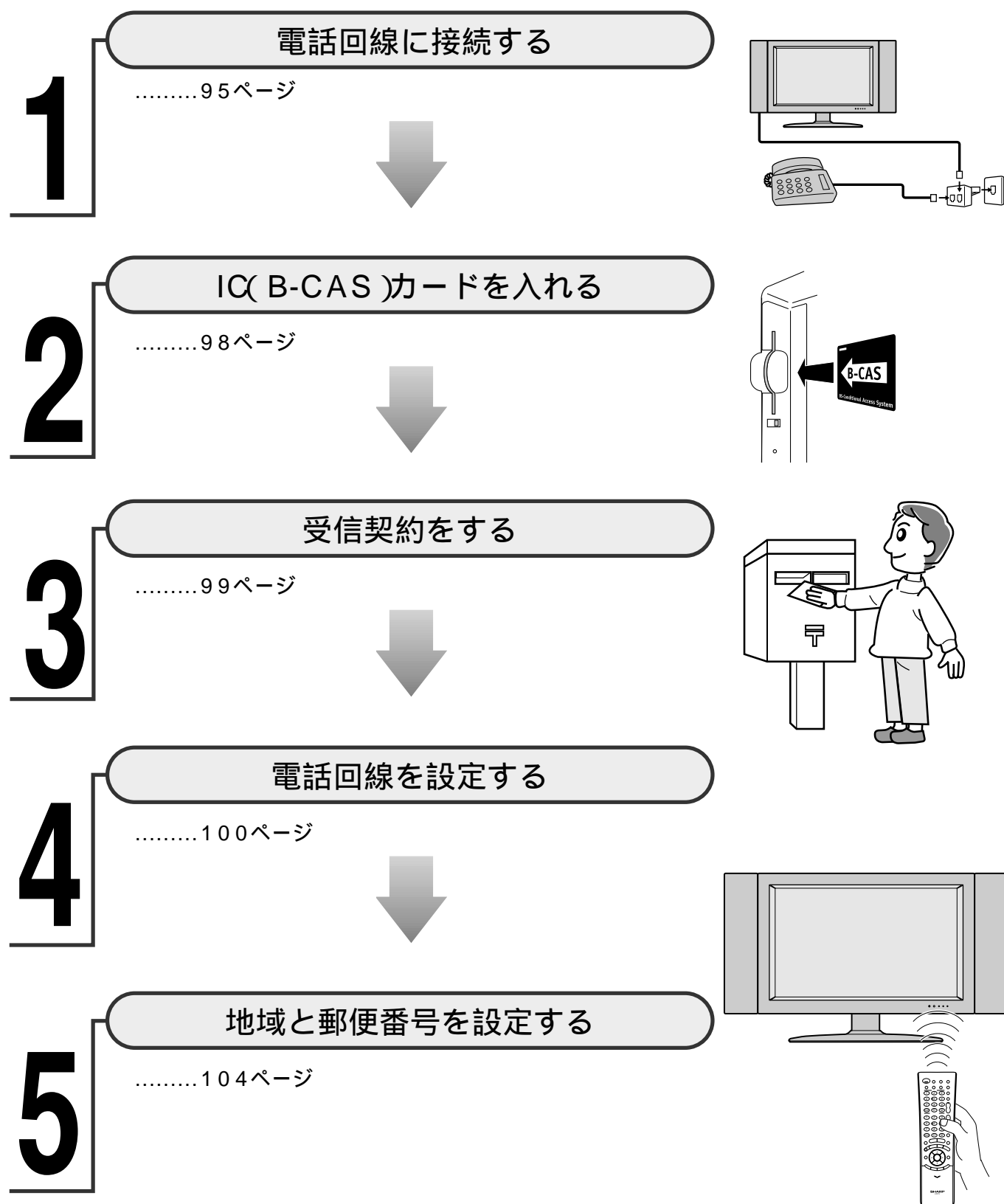
（図ー1）

放送が受信しにくくなっています。
この番組は、降雨対応画面に切換える
ことができます。
みる

降雨対応放送の画像イメージ （図ー2）

おしらせ

- 降雨対応画面から通常画面に戻すには、リモコンとびら内の映像切換ボタンを押してください。

BSデジタル放送を視聴するための準備

設置と初期設定の大まかな手順はつぎのとおりです。

電話回線に接続する（97ページも併せてご覧ください。）

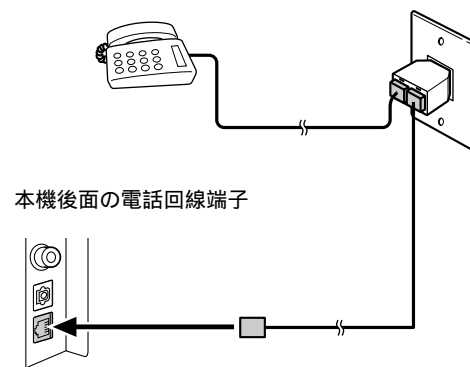
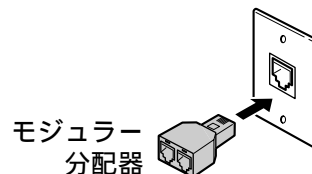
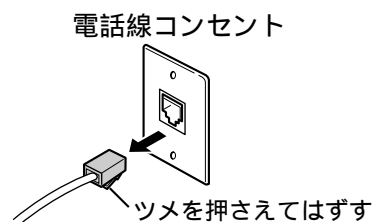
■ 本機は、視聴記録データの自動送信など放送局との通信のため、モデムを内蔵しています。ご使用の前に必ず電話回線に接続してください。

1 **本機と電話機の電源を切る**

2 **電話機の接続線（モジュラー線）を電話線コンセントからはずす**

3 **付属のモジュラー分配器を電話線コンセントに差し込む**

4 **電話機の接続線（モジュラー線）をモジュラー分配器の一方に差し込む**

5 **付属の電話線でモジュラー分配器のもう一方と本機後面の電話回線端子を接続する**

接続上のご注意

- 電話線のプラグは奥まで完全に差し込んでください。
- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- 電話線のプラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

BSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

つぎの電話回線では注意が必要です。

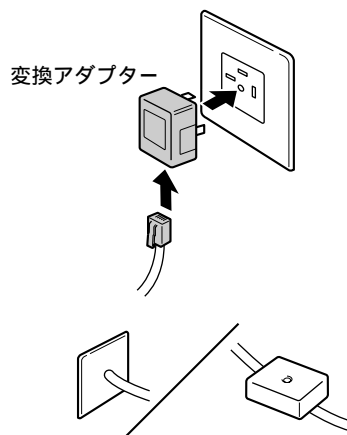
■電話回線がモジュラージャックでない場合の接続

- **3ピンプラグの場合**

  市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。

- **直結配線方式の場合**

  簡単な工事が必要です。

  詳細はお近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

■構内電話(ビジネスホン／ホームテレホン)では

そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。

詳細は電話設置会社にご相談ください。

■キャッチホンでは

通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。

詳細はNTT営業窓口へお問い合わせください。

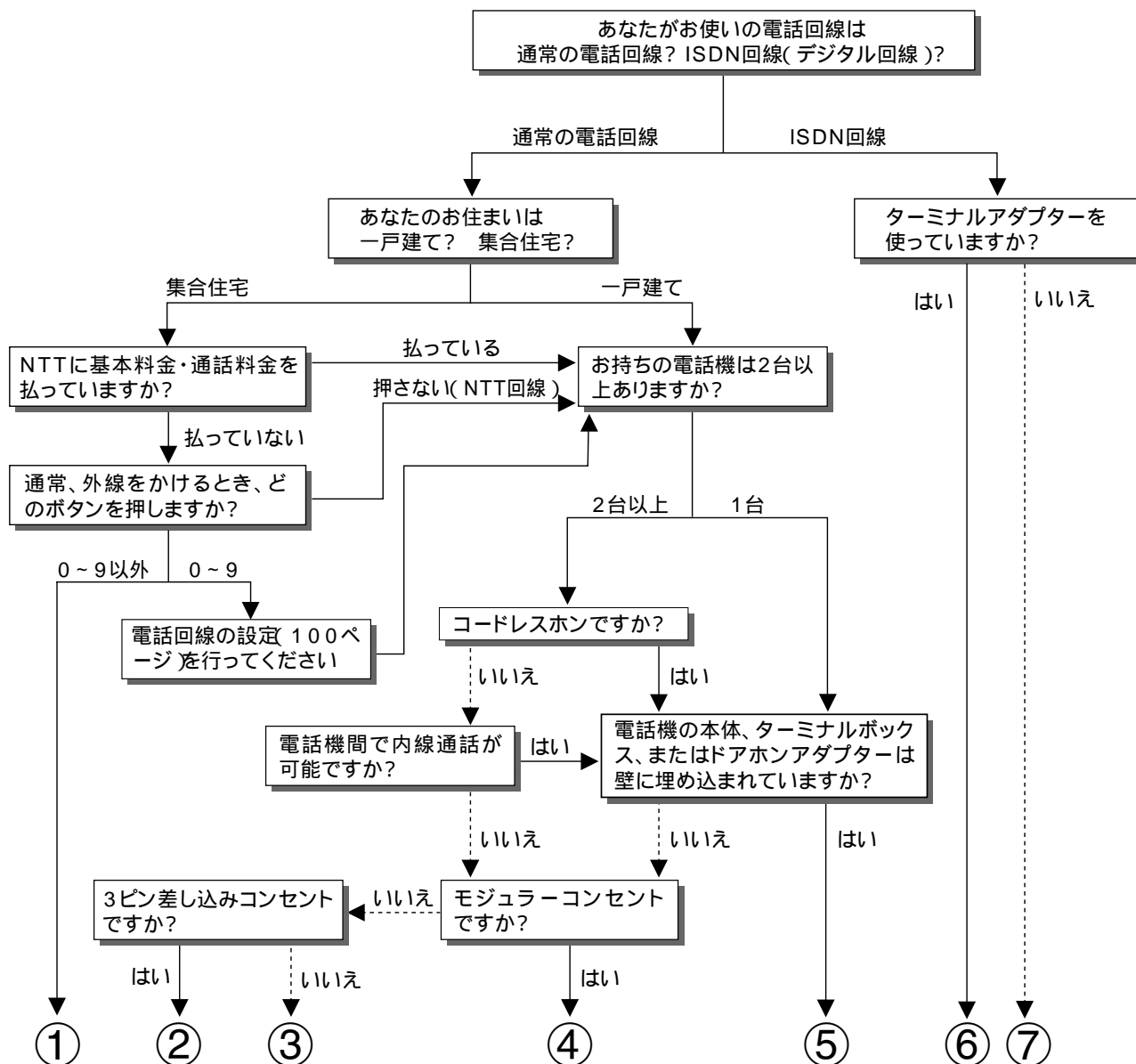
■視聴記録データの自動送信中は電話機を使用しないでください。

視聴記録データの自動送信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音(ピーヒョロヒョロ....)が聞こえます。その間は電話をしないでください。

■直接デジタル回線に接続することはできません。

会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線(アナログ)であることをご確認のうえご利用ください。ISDNなどのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター(TA)等の端末器を介して接続してください。

●本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリが鳴る場合がありますが異常ではありません。

下のチャートで電話回線の状態を確認した後、接続してください。
また、詳細はNTTへお問い合わせください。

①マンション交換機（PBX）を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線につないでください。
②市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
③専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④付属の電話線とモジュラー分配器のみで接続可能です。（**95**ページ参照）
⑤専門業者による分岐工事が必要です。
⑥本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
⑦ターミナルアダプター（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでください。詳しくは、お使いのターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

※ ③、⑤についての詳細は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください

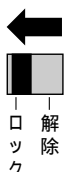
BSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

BSデジタル放送では、ICカード(B-CASカード)を利用した限定受信システム(=CAS)(**99**ページ)を採用しています。
付属のICカード番号登録用はがきを送り、ICカードの番号を登録することで受信者登録が行われます。また、WOWOWなどの有料サービスを受けるには、個別の受信契約が必要となります。
ICカード(B-CASカード)は、必ず登録してください。(登録は無料です。)

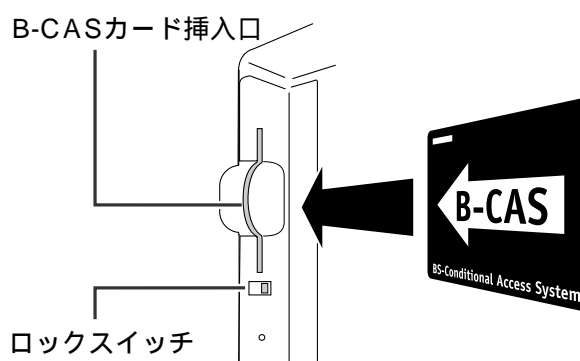
ICカード(B-CASカード)を入れる

IC カードの入れかた

本機に付属のICカードは、本機を電源コンセントに接続しない状態で、つぎの手順にしたがって挿入してください。

① ICカードを表面の矢印の方向に差し込む。(奥まで確実に挿入してください。)
② ロックスイッチを左にスライドさせ、「ロック」位置に合わせる。

カード挿入後、必ずロックしてください。
ロックしないとICカードは働きません。

③ 端子カバーを閉める。

▼本機後面の右側端子カバーを外したところ

ICカードについて

- ICカードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。
- ICカードを入れていないと有料番組がご覧になれません。
- ICカードは大切に保管してください。仮に他人があなたのICカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
- 破損等によりICカードの再発行を依頼される場合は費用が必要となります。(2001年10月現在)
  詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。
  (カスタマーセンターの連絡先は、ICカード[B-CASカード]に記載されています。)

ご注意

ICカード(B-CASカード)取扱い上のご注意

- ICカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- ICカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- ICカードの金属部(集積回路)には手を触れないでください。
- ICカードを分解、加工しないでください。
- ICカードは上記の手順どおり、本機後面の右側端子カバー内のB-CASカード挿入口に正しく差し込んでください。
- B-CASカード挿入口には、本機に付属しているICカード以外のものを挿入しないでください。
- 本機ご使用中は、ICカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、ICカードを抜く必要がある場合は、本機の電源を一度切り、本機を電源コンセントに接続しない状態で、ロックスイッチを右にスライドさせてロックを解除した後、ゆっくりと抜いてください。
  ICカードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にICカード(B-CASカード)に関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差ししないでください。

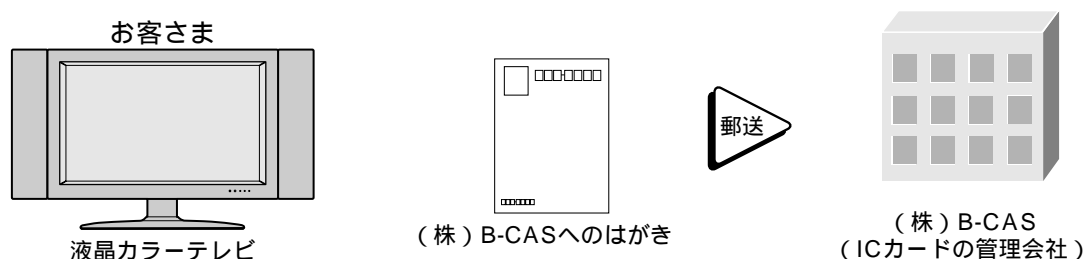
CAS（限定受信システム）について

■ 有料放送を視聴するには、有料放送を行う放送局（放送事業者）と契約をしたお客さまのみ（限定して）番組の視聴ができる手続きが必要になります。
このような手続きを行うしくみを「CAS（限定受信システム）」と呼びます。

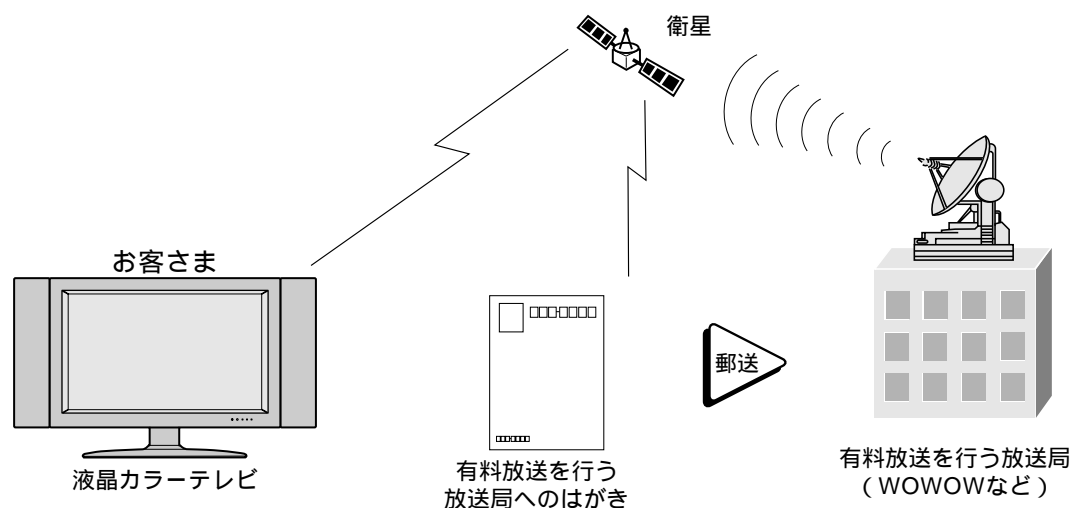
有料放送を視聴するための手続き

■ 有料放送を視聴するには、つぎの2つの手続きを行うことが必要です。

① （株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにICカードの登録をする

（（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して（株）B-CASと呼びます。）
ICカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。
詳しくは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

② 視聴したい放送局に申し込む

お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に必要事項をご記入の上、投函してください。
詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

おしらせ

• 本機は、契約データの受信のために、電源「切」（待機状態）のときでも動作することがあります。

BSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

電話回線を設定する(通信設定)

とびらを開けたところ

1

① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼で「通信設定」を選び、決定を押す

2

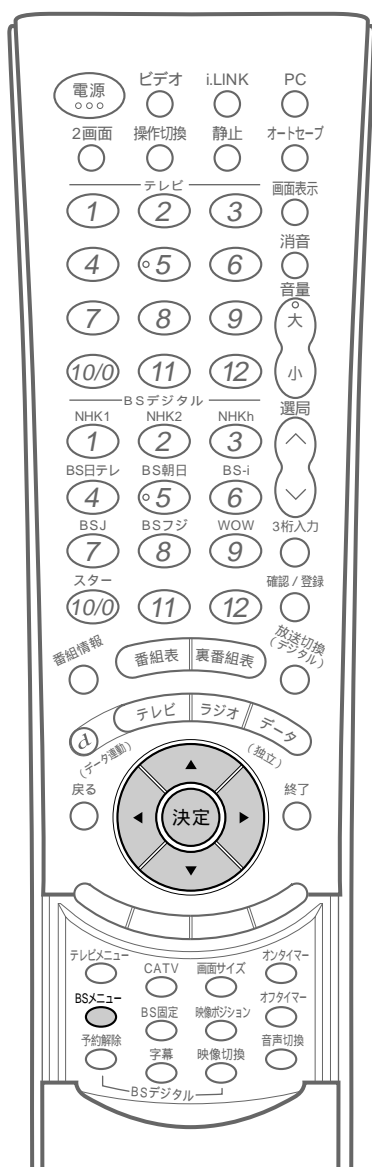
電話回線が接続されていることを確認する

3

① 「電話回線設定・自動」で決定を押す

② 「テスト実行」で決定を押す

- 「テスト実行中」が表示されます。

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。(101ページ参照)

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

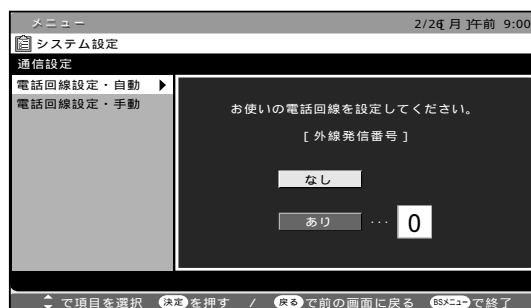
BSメニュー画面について

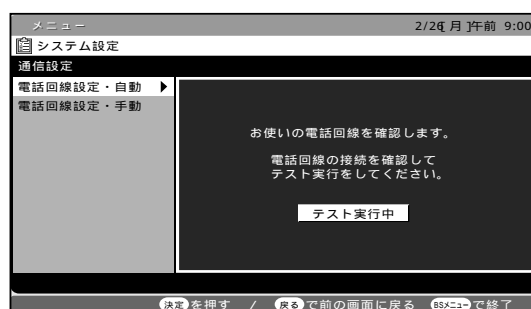
- BSメニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、下の画面が表示されますので、再設定してください。

外線発信番号の設定

1 ▲ ▼ で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、決定を押す

「なし」……外線交換機を使用しない場合（通常の一般家庭）
「あり」……電話交換機などをご使用の場合

- **「あり」を選んだ場合は、外線発信番号（0〜9）を右のボックスにBSチャンネルボタンで入力してから決定ボタンを押します。**

2 「テスト実行」で決定を押す

- **「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。**
- **電話回線の設定確認ができなかった場合は、手順1に戻ります。**

ご注意

- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、102ページ「手動による電話回線設定」の手順にしたがってください。

BSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、つぎの手順により、手動で設定することができます。

とびらを開けたところ

手動による電話回線設定

1

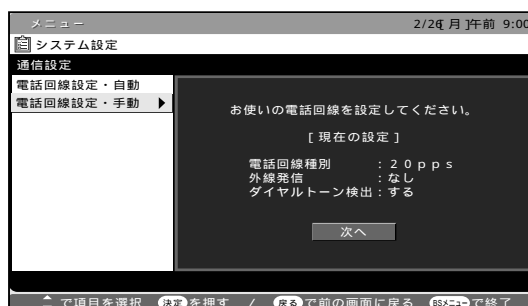
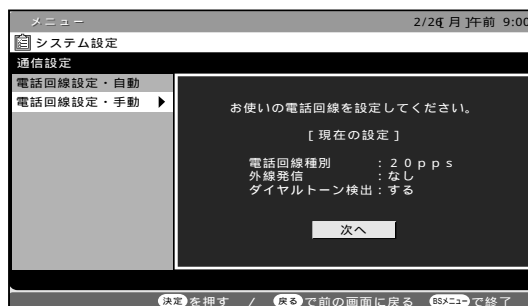
① 100ページ手順1を行う

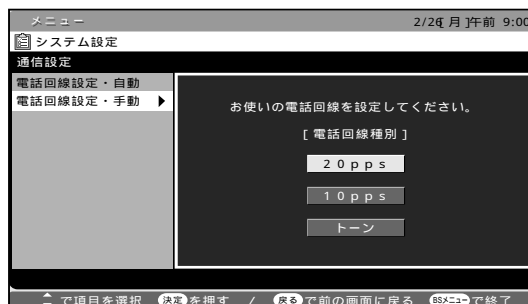
② ▼で「電話回線設定・手動」を選び、決定を押す

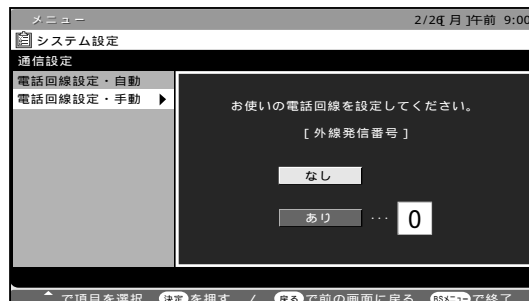
2

①「現在の設定」を確認する

②「次へ」で決定を押す

3

ご契約の電話回線種別を▲▼で選び、決定を押す

- **契約している電話回線種別(ダイヤル方式)が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。**

とびらを開けたところ

4 ▲▼で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

- 「あり」を選んだ場合は、BSチャンネルボタンで外線発信番号を入力してください。

5 決定を押す

6 ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を◀▶で選び、決定を押す

7 BSメニューを押し、通常画面に戻す

- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

BSデジタル放送を楽しむ

BSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

BSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

地域と郵便番号を設定する（地域設定）

■ 緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。

とびらを開けたところ

地域設定

1

① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「地域設定」を選び、決定を押す

2

① 決定を押す

② お住まいの地域を

で選び、決定を押す

3 お住まいの都道府県を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定を押す

郵便番号設定

4 ① ▼ で「郵便番号設定」を選び、決定を押す

② ＢＳチャンネルボタンで郵便番号を入力し、決定を押す

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、BSチャンネルボタンで入力しなおします。

5 BSメニューを押し、通常画面に戻す

BSメニュー画面について

本機は、暗証番号の設定や予約録画の設定など、各種設定の変更や確認、また受信した各種データの表示などをBSメニューから選択して行います。操作手順の詳細については、それぞれのページをご覧ください。

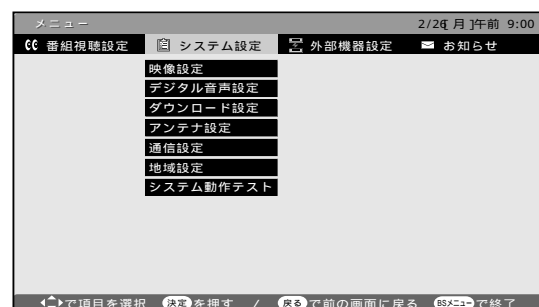
基本操作

BSメニューを表示する／終了する…… BSメニュー

カーソルで選ぶ ………

前に戻る ……………………………… 戻る

決定する ………………… 決定

メニューの構成

番組視聴設定

BS固定設定 …………………………… 181ページ
字幕表示設定 ………………………… 136ページ
チャンネル表示設定 ……………… 135ページ
チャンネルスキップ設定 ……… 137ページ
暗証番号設定 ………………………… 139ページ
視聴年齢制限設定 ……………… 141ページ
PPV設定 ……………………………… 142ページ

システム設定

映像設定 ……………………………… 145ページ
デジタル音声設定 ……………… 201ページ
ダウンロード設定 ……………… 146ページ
アンテナ設定 ……………………… 149ページ
通信設定 …………………………… 152ページ
地域設定 …………………………… 156ページ
システム動作テスト ………… 162ページ

外部機器設定

ビデオ連動録画設定 ………… 183ページ
i. LINK設定 ……………………… 188ページ

お知らせ

受信メッセージ一覧 ………… 158ページ
受信機レポート ………………… 159ページ
ICカード番号表示 …………… 160ページ
PPV購入履歴 …………………… 161ページ

設定画面の表示

白で表示されている項目…………現在選択されている項目です。
黄色で表示されている項目………現在カーソルがある項目です。

テレビ番組を選ぶ

BSデジタル放送には、無料放送と有料放送があります。有料放送を見るには、放送局との契約(**99**ページ)が必要になります。ここでは基本的なチャンネル選局の操作方法を説明します。

BSチャンネルボタンで選ぶ

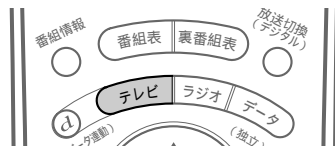
■ リモコンのBSチャンネルボタンには、各放送局のチャンネルが登録(設定)されており、ワンタッチ選局できます。
また、確認/登録ボタンを押すと、BSチャンネルボタンに登録されている放送局の一覧が画面に表示されます。(**113**ページ参照)

1

① テレビ を押し、テレビ放送を選ぶ

- **すでにテレビ放送を受信している場合は必要ありません。**
- **最後に視聴していたテレビチャンネルが選局されます。**

② BSチャンネルボタンで選局する

<例> NHK BS1を選ぶとき

NHK1 1 を押す

3桁入力で選ぶ

■ お好みのチャンネル番号(3桁)を入力して選局できます。チャンネル番号表(**91**ページ)を参照してください。

1

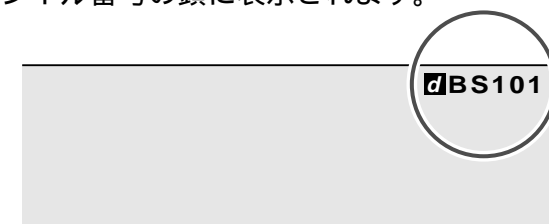
3桁入力 を押す

2

BSチャンネルボタンでチャンネル番号を入力する

<例>101チャンネルを選ぶとき

NHK1 1 スター 10/0 NHK1 1 を押す

- **選んだ番組がデータ連動放送のときは、dマークがチャンネル番号の頭に表示されます。**

- **間違った番号を入力した場合は、再度3桁入力ボタンを押すと、入力した番号がクリアされます。**

テレビ番組を選ぶ(つづき)

選局(∧順／∨逆)ボタンで選ぶ

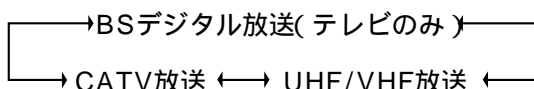
1

① を押し、テレビ放送を選ぶ

- **すでにテレビ放送を受信している場合は必要ありません。**
- **最後に視聴していたテレビチャンネルが選局されます。**

② を押す

- **選局(∧順／∨逆)ボタンを押すごとに、つぎのようにチャンネルが切り換わります。**

→BSデジタル放送(テレビのみ)← CATV放送 ⟷ UHF/VHF放送 ←

おしらせ

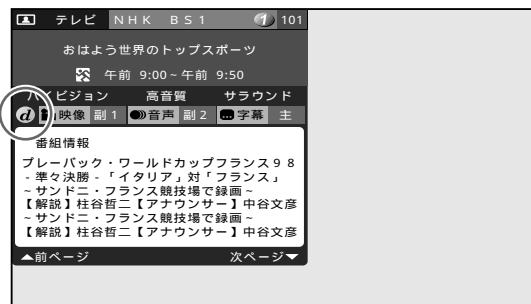
- あらかじめチャンネルスキップを設定しているチャンネルは飛びこして選局します。
- 工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。

- ラジオ放送やデータ放送を視聴しているとき、テレビボタンを押すと、テレビ放送に戻ります。

テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する

■ テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「*d*」が表示されています。

1

** を押す**

(連動データ放送のイメージ図)

おしらせ

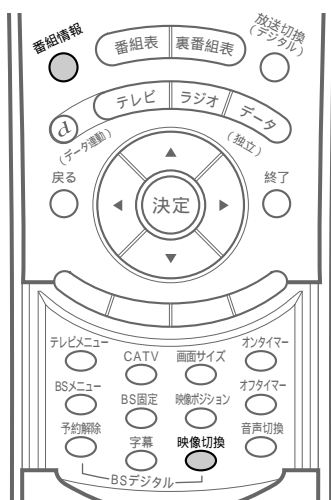
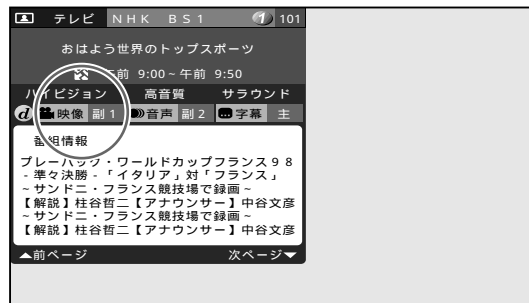
- 電源を入れた直後やチャンネル切換えをした直後には、*d*(データ連動)ボタンを押してもデータ放送画面が表示されないときがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく待ってから(約20秒)操作してください。(表示されるまでの時間は、放送内容により異なります。)

映像・音声の切り換えかた

主映像と副映像(最大3つ)、また主音声と副音声(最大7つ)がある番組をご覧のとき、主・副の映像および音声を切り換えて楽しむことができます。

主・副映像を楽しむ

■ 主・副映像のある番組をご覧のとき、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「**映像**」が表示されています。

とびらを開けたところ

1

映像切換 を押し、映像を切り換える

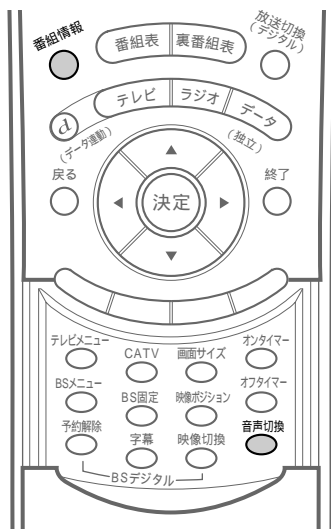
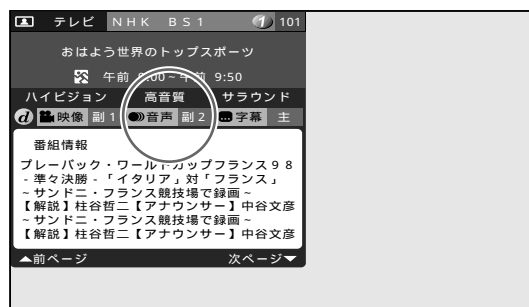
- **ボタンを押すたびに、つぎのように映像が切り換わります。**

→主映像 → 副映像1～3※

※番組によって副映像の数は異なります。

主・副音声を楽しむ

■ 主・副音声のある番組をご覧のとき、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「**音声**」が表示されています。

とびらを開けたところ

1

音声切換 を押し、音声を切り換える

- **ボタンを押すたびに、つぎのように音声が切り換わります。**

マルチ音声番組のとき　→主音声 → 副音声1～7※

※番組によって副音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主音声 →副音声 →主/副音声

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、主音声が選択されます。

ラジオ番組を選ぶ

BSチャンネルボタンで選ぶ

1

① ラジオ を押し、ラジオ放送を選ぶ

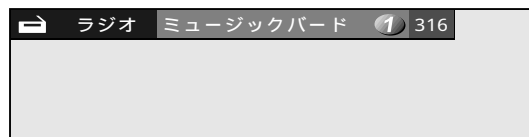
- すでにラジオ放送を受信している場合は必要ありません。
- 最後に視聴していたラジオチャンネルが選局されます。

② BSチャンネルボタンで選局する

ラジオ　ミュージックバード　1　316

- リモコンのBSチャンネルボタンに登録されている放送局は、確認／登録ボタンを押すと確認できます。（工場出荷時の設定チャンネルについては、113ページをご覧ください。）

3桁入力で選ぶ

1

① 3桁入力 を押す

② BSチャンネルボタンでチャンネル番号を入力する

<例>300チャンネルを選ぶとき

NHKh 3　スター 10/0　スター 10/0 を押す

BS30–

- ラジオ放送のチャンネルについては、91ページのチャンネル番号表をご覧ください。

選局(∧順/∨逆)ボタンで選ぶ

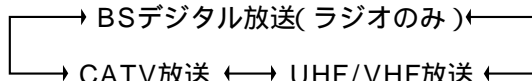
1

① ラジオ を押し、ラジオ放送を選ぶ

- すでにラジオ放送を受信している場合は必要ありません。
- 最後に視聴していたラジオチャンネルが選局されます。

② 選局 を押す

- 選局(∧順／∨逆)ボタンを押すごとに、つぎのようにチャンネルが切り換わります。

→ BSデジタル放送（ラジオのみ）→ CATV放送 ⟷ UHF/VHF放送 →

おしらせ

- ラジオ放送を受信しているとき、本体の選局(∧順／∨逆)ボタンではテレビ番組のみ選局できます。
- 地上放送やビデオ入力時は、ラジオボタンが効きません。

データ番組を選ぶ

BSチャンネルボタンで選ぶ

1

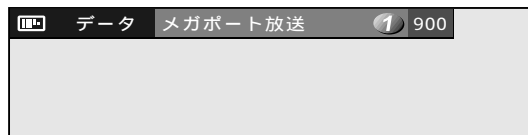
① データ(独立)を押し、独立データ放送を選ぶ

- **すでにデータ放送を受信している場合は必要ありません。**
- **最後に視聴していたデータチャンネルが選局されます。**

② BSチャンネルボタンで選局する

- **リモコンのBSチャンネルボタンに登録されている放送局は、確認／登録ボタンを押すと確認できます。**
  (工場出荷時の設定チャンネルについては、113ページをご覧ください。)

3桁入力で選ぶ

1

① 3桁入力を押す

② BSチャンネルボタンでチャンネル番号を入力する

<例>910チャンネルを選ぶとき

WOW 9 NHK1 1 スター 10/0を押す

- **独立データ放送のチャンネルについては、91ページのチャンネル番号表をご覧ください。**

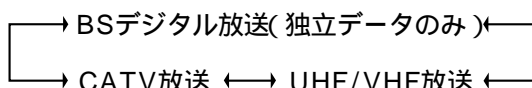
選局(∧順/∨逆)ボタンで選ぶ

1

① データ(独立)を押し、独立データ放送を選ぶ

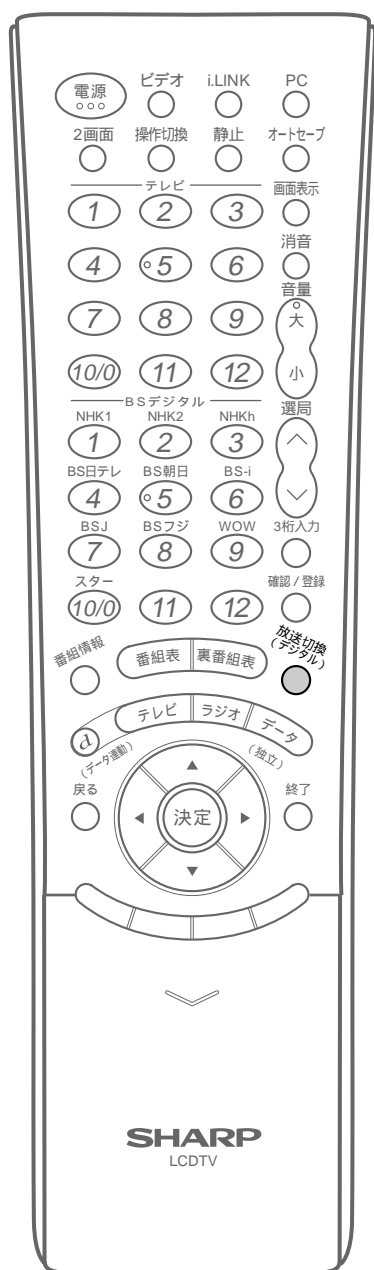
- **すでにデータ放送を受信している場合は必要ありません。**
- **最後に視聴していたデータチャンネルが選局されます。**

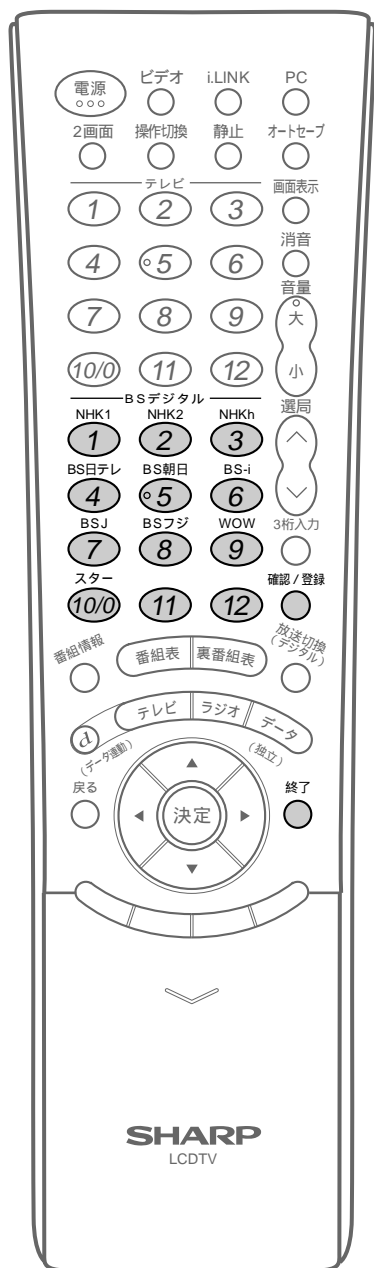
② を押す

- **選局(∧順／∨逆)ボタンを押すごとに、つぎのようにチャンネルが切り換わります。**

おしらせ

- 独立データ放送の使いかたは、各放送局の番組の作りかたによって異なります。基本的にはカーソルボタン、決定ボタン、カラーボタンなどで操作します。
- 独立データ放送を受信しているとき、本体の選局(∧順／∨逆)ボタンではテレビ番組のみ選局できます。
- 本機は、データ放送番組内のテレビ画面の縮小表示に完全には対応していません。(縮小されたテレビ画面の周辺部が表示されない場合があります。)
- 本機は、データ放送画面、字幕、文字スーパー画面の半透過表示に対応していません。(字幕、文字スーパーなどで、半透過色で番組が制作されている場合でも非透過色の表示となります。)
- 地上放送やビデオ入力時は、データ(独立)ボタンが効きません。

放送を切り換える

放送切換（デジタル）は、将来新しい放送やサービスが始まったときの拡張用機能です。
現在（２００１年１０月）は、操作できません。

- 本機はARIB（電波産業会）規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

BSチャンネルボタンに登録されているチャンネルを確認する

1 確認／登録 ◯ を押す

- **確認後、画面表示を消すには確認／登録ボタンか終了ボタンを押します。**

工場出荷時に設定されているチャンネル一覧

BSチャンネルボタン	テレビボタンを押したとき		ラジオボタンを押したとき		データ独立ボタンを押したとき	
	放送局	チャンネル番号	放送局	チャンネル番号	放送局	チャンネル番号
NHK1 1	NHK BS1	101	BSC	300	メガポート放送	900
NHK2 2	NHK BS2	102	ミュージックバード	316	ウェザーニューズ	910
NHKh 3	NHK ハイビジョン	103	JFN衛星放送	320	デジキャス933	933
BS日テレ 4	BS 日テレ	141	セントギガ	333	日本データ放送	940
BS朝日 5	BS 朝日	151	BS 日テレラジオ	444	BS955	955
BS-i 6	BS-i	161	BSAラジオ	455	日本メディアーク	963
BSJ 7	BS ジャパン	171	BS-iラジオ	461	日本ビーエス放送	999
BSフジ 8	BS フジ	181	BS ジャパンラジオ	471	−	−
WOW 9	WOWOW	191	LFX488	488	−	−
スター 10/0	スターチャンネル	200	BS QR 489	489	−	−
11	−	−	WOWOW WAVE1	491	−	−
12	−	−	−	−	−	−

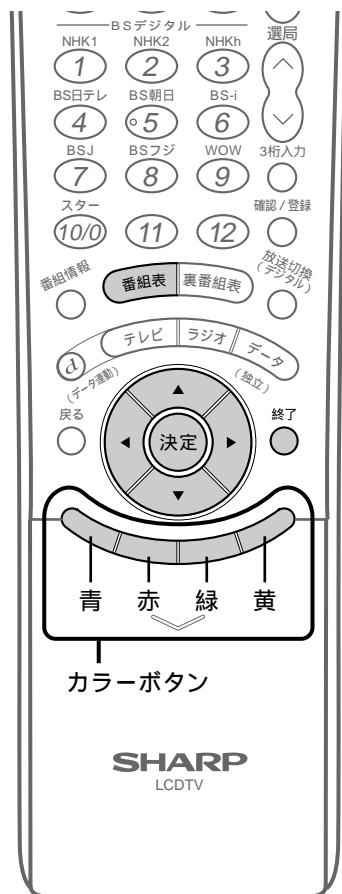
（2001年10月現在）

- BSデジタル放送を視聴しているとき以外は、確認／登録ボタンを押しても、BSチャンネル確認／登録画面は表示されません。

電子番組表（EPG）の使いかた

BSデジタル放送では、電子番組表（EPG）の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。

1 BSデジタル放送を視聴中に を押す

電子番組表（EPG）画面が表示されます。

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で番組を選び、決定 を押す

放送中の番組を選んだとき ⇨ 選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき ⇨ 予約選択画面になります。（121ページ参照）

電子番組表（EPG）画面を消すときは

番組表 または 終了 を押します。

基本

- **現在カーソルのあるところが黄色で表示されます。**
- **縦方向にカーソルを動かすときは上下カーソルボタンを使います。**
- **横方向にカーソルを動かすときは左右カーソルボタンを使います。**

おしらせ

- 受信状態によっては、番組情報を取得できないことがあります。
- 電子番組表（EPG）に表示されるのは、BSデジタル放送の番組だけです。

カラーボタンについて

- カラーボタンの機能は、表示されている画面によって変わります。画面の表示内容を見てボタンを使い分けてください。
- 画面上に機能表示がなく、色のついていないカラーボタンは、押しても働きません。

カラーボタンの機能について

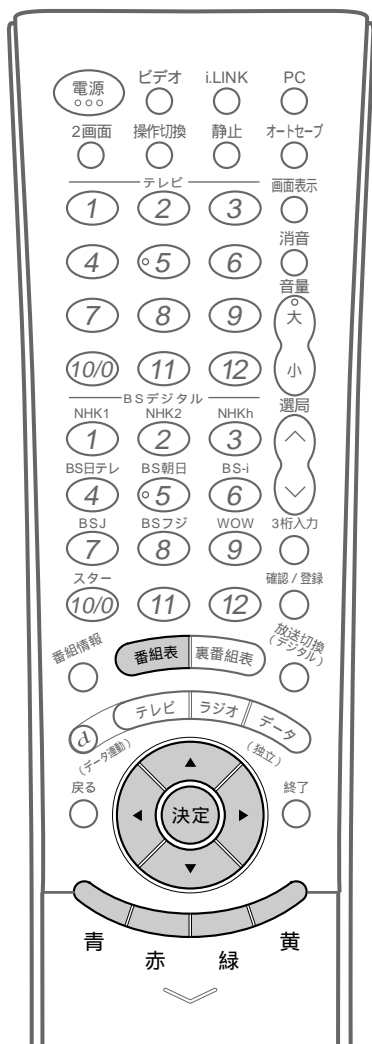
青（番組情報をみる）
番組情報が表示されます。

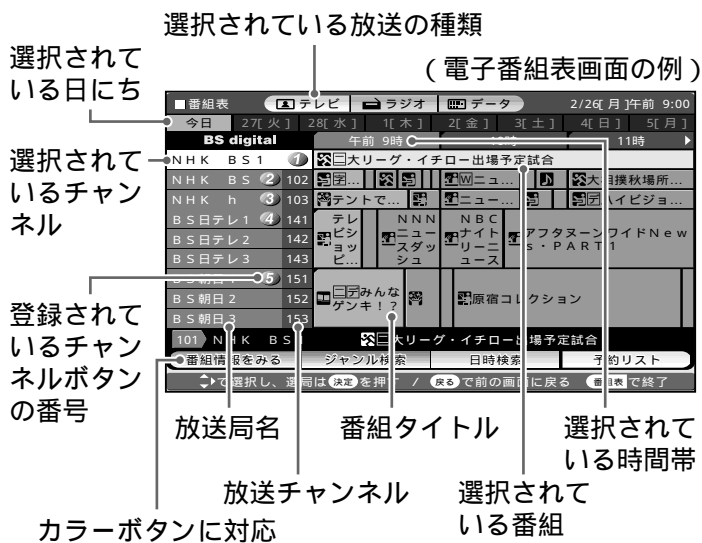
赤（ジャンル検索）
ニュース・報道、映画、音楽、バラエティーなど、番組をジャンル別に探すことができます。

緑（日時検索）
日時を指定して番組表が表示できるので、番組を早く探すことができます。

黄（予約リスト）
予約した番組を一覧表示することができます。予約リストは予約の取消しや変更に使います。

電子番組表（EPG）で選ぶ

見たい番組を探す

1

番組表 を押し、電子番組表（EPG）を表示する

2

見たい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定を押す

放送中の番組を選んだとき⇨選んだ番組が選局されます。
未放送の番組を選んだとき⇨予約選択画面になります。
（121ページ参照）

電子番組表の表示内容

- **テレビ放送……8日分**
- **ラジオ放送……3日分**
- **データ放送……最低1日分**

※ 電源を入れてからすぐに番組を選んだときは、表示されるまでに時間のかかる場合があります。

アイコン一覧

BSデジタル放送の電子番組表（EPG）や予約リストなどには、いろいろなアイコン（絵記号）が使われています。各アイコンの意味はつぎのとおりです。

放送の種類を示すアイコン

アイコン	放送の種類
	テレビ放送
	ラジオ放送
	独立データ放送

番組情報を示すアイコン

アイコン	内　容
	視聴予約している番組
	録画予約（ビデオ連動予約）している番組
	録画予約（i.LINK予約）している番組
	有料放送、またはPPV（ペイパービュー）番組
	i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能、または禁止の番組

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース・報道		映画
	スポーツ		アニメ・特撮
	情報・ワイドショー		教養・ドキュメンタリー
	ドラマ		劇場・講演
	音楽		趣味・教育
	バラエティー		福祉

電子番組表（ＥＰＧ）で選ぶ（つづき）

ジャンルで番組を探す

■ 番組をジャンル別に表示させて、見たい番組を選ぶ方法です。

1

① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 赤 （ジャンル検索）を押す

2

見たいジャンルを ◀ ▶ で選ぶ

3

見たい番組を ▲ ▼ で選び、 決定 を押す

放送中の番組を選んだとき

⇨選んだ番組が選局されます。

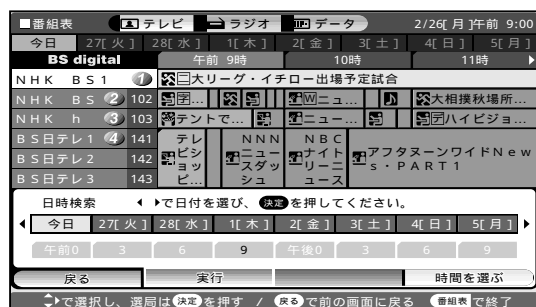
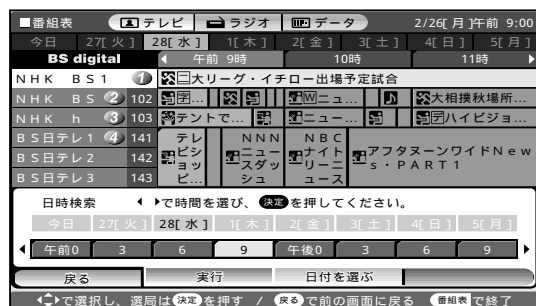
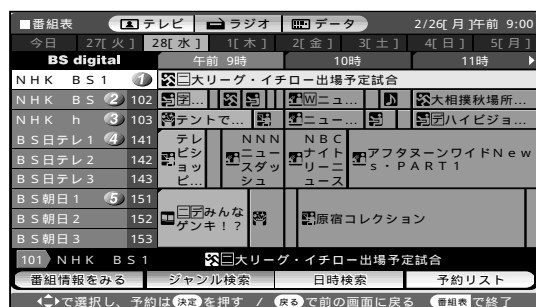
未放送の番組を選んだとき

⇨予約選択画面になります。（１２１ページ参照）

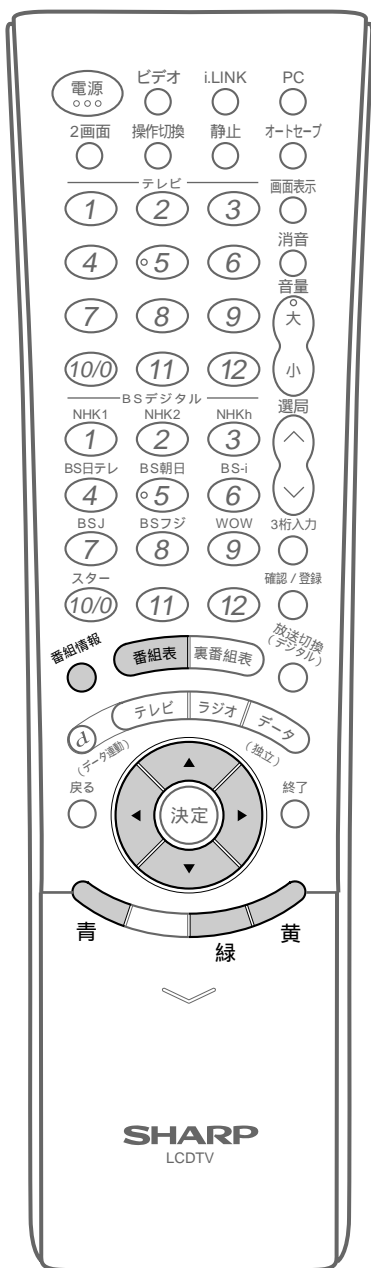
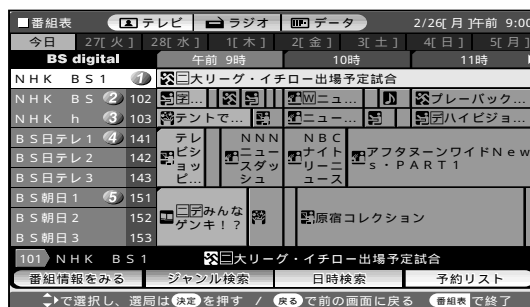
日時を指定して番組を探す

■ 日付と時間を指定して電子番組表を表示させることができます。

1 ① 番組表 を押し、電子番組表を表示する
② 緑 （日時検索）を押す

2 ◀▶ で日にちを選び、 黄 （時間を選ぶ）を押す

3 ◀▶ で時間を選び、 決定 を押す

- **指定された日時の電子番組表が表示されます。**

電子番組表（ＥＰＧ）で選ぶ（つづき）

番組の内容を確認する

■ 番組の内容を知りたいとき、電子番組表で、番組の詳しい情報を見ることができます。

1 番組表 を押し、電子番組表を表示する

2 内容を確認したい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選ぶ

3 青 （番組情報をみる）を押す

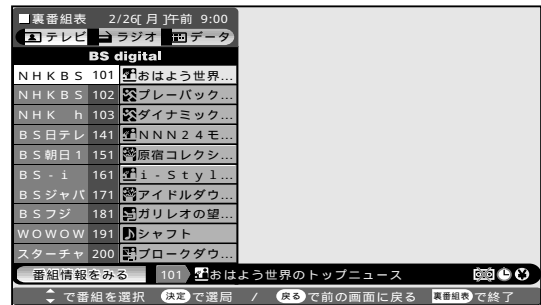
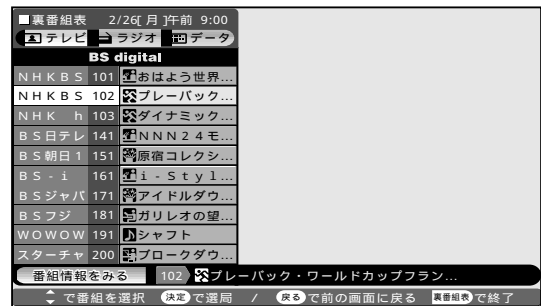
- 番組情報が表示されます。

- 黄ボタンを押すと、つぎのページを見ることができます。前のページに戻るときは、緑ボタンを押します。

視聴中の番組の内容を見るには

- 番組情報ボタンを押してください。
（電子番組表を表示する必要はありません。）

放送中の他の番組を知りたいとき

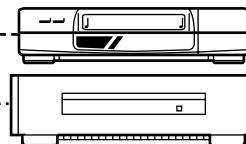
1 裏番組表を押し、裏番組表を表示する

2 ▲ ▼ で番組を選ぶ

3 青（番組情報をみる）を押す

- **選んだ番組の情報が表示されます。**

- **黄ボタンを押すと、つぎのページを見ることができます。前のページに戻るときは、緑ボタンを押します。**

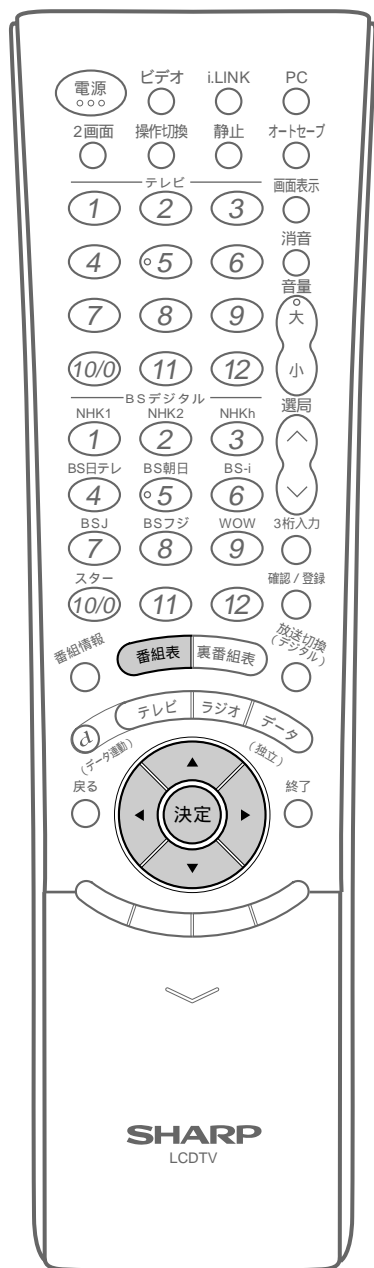
- 選んだ番組を視聴したいときは、決定ボタンを押すと選局できます。
- テレビ、ラジオ、データのいずれの放送についても、同じように裏番組表を表示することができます。

電子番組表(EPG)から番組を予約する

■ 本機は、BSデジタル放送の番組を電子番組表(EPG)から予約することができます。
■ 予約には**「視聴予約」**と**「録画予約」**の2種類があります。

おしらせ

- データ番組はビデオ連動予約ができません。
- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行う放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。
- 番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。
- 録画予約を選択した場合、録画開始2分前になると、BSデジタルに関するリモコン操作を受けつけなくなります。また、予約録画の実行中もリモコン操作を受けつけません。操作を行う場合は、リモコンとびら内の予約解除ボタンで予約を解除してから操作してください。
- 契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

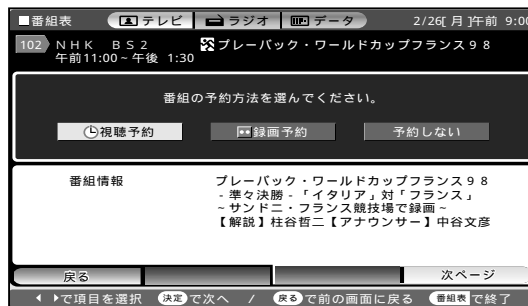
視聴予約か録画予約かを選ぶ

■ 電子番組表から、放送予定の番組の視聴予約、録画予約およびPPV（ペイパービュー）番組の録画予約ができます。

1 番組表 を押し、電子番組表を表示する

- **翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定（１１７ページ）で番組表を表示させると便利です。**

2 予約したい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選ぶ

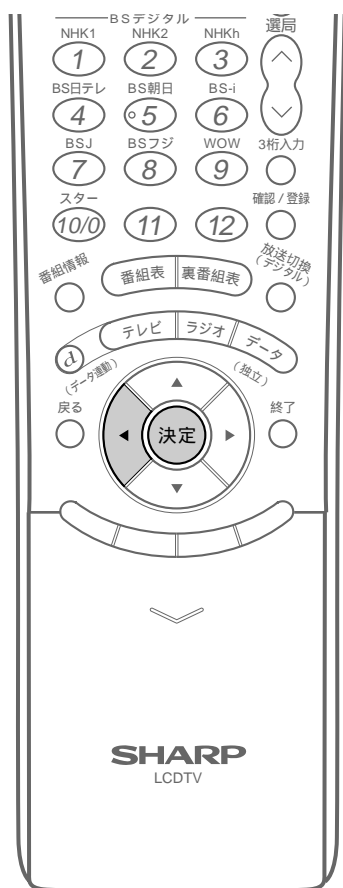
3 決定 を押す

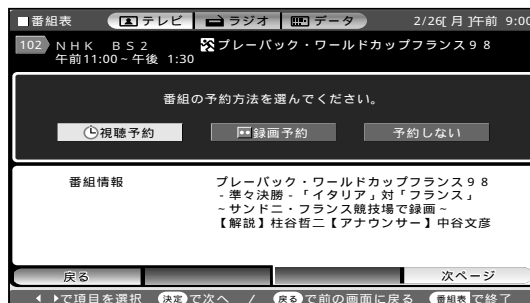
- **予約選択画面になります。**

「視聴予約」…… 視聴のみの予約となります。
視聴予約の手順（１２２ページ）に進みます。

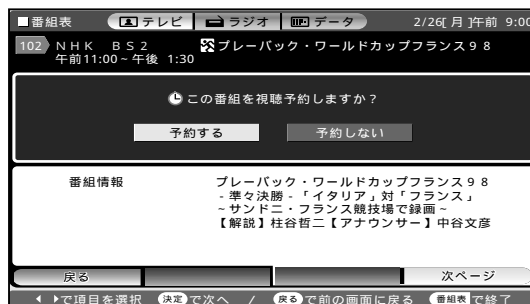
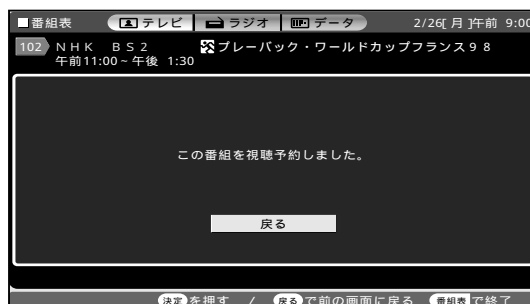
「録画予約」…… 録画する機器の選択ができます。
録画予約の手順（１２３ページ）に進みます。

「予約しない」… 予約をしないで番組表に戻ります。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

視聴予約

- 有料放送を予約する場合は、有料放送の放送局とあらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し(**133**ページ)が必要です。

1 ◀で「視聴予約」を選び、決定を押す

2 ◀で「予約する」を選び、決定を押す

「予約する」………… **無料放送や契約している有料放送が予約できます。**
「予約しない」……… **予約をしないで番組表に戻ります。**

3 「戻る」で決定を押す

- **視聴予約が設定されました。**

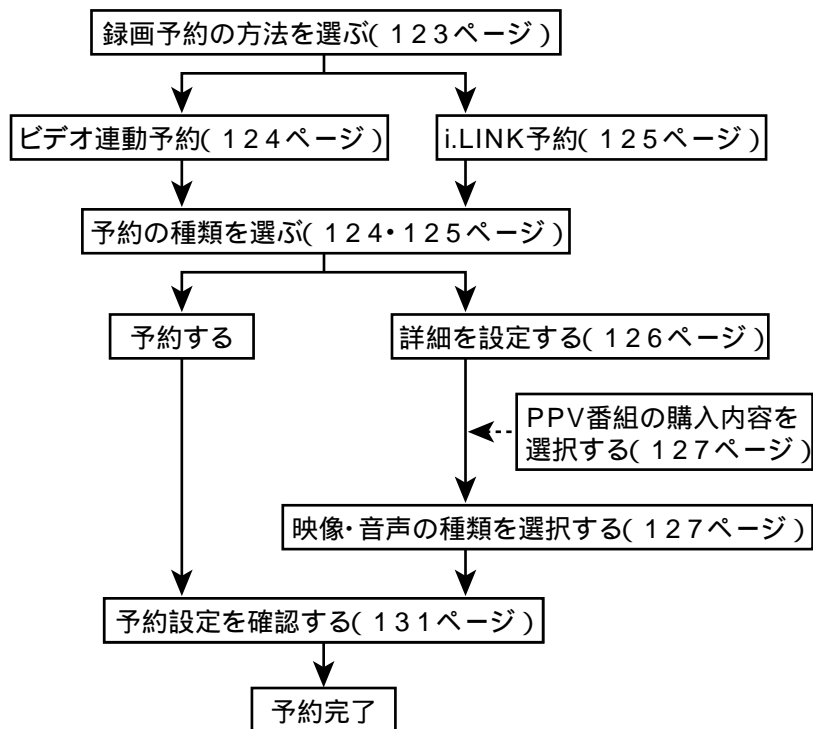
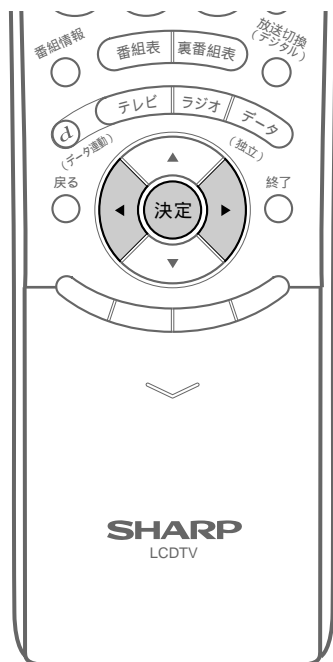
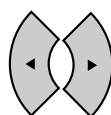
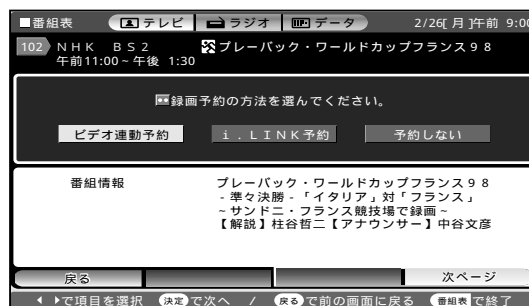
おしらせ

予約ランプについて

- 番組を予約すると、本体前面の予約ランプが点灯します。

録画予約

- 有料放送を予約する場合は、有料放送の放送局とあらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し（**133**ページ）が必要です。
- データ放送はビデオ連動予約ができません。
- BSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録画予約の操作手順

※ 上記の操作手順は一例です。選んだ番組によっては、必要のない手順もあります。

録画予約の方法を選ぶ

1 ◀▶で録画予約の方法を選び、決定を押す

「ビデオ連動予約」… ビデオコントローラーを使ってのビデオ連動予約（124ページ）に進みます。

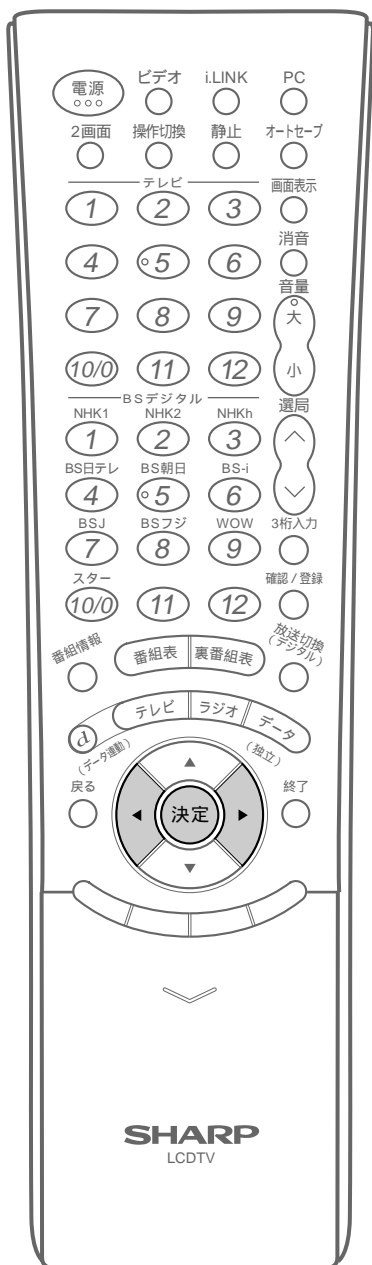
「i.LINK予約」……… i.LINK連動予約（125ページ）に進みます。

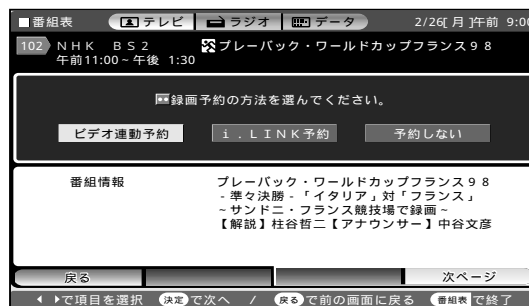
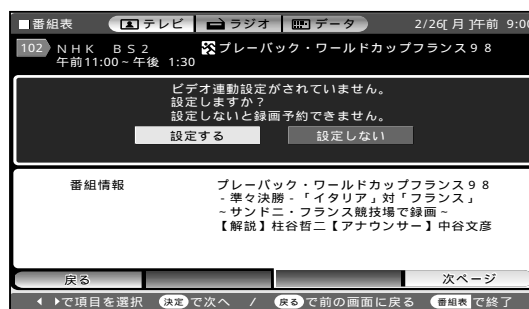
「予約しない」……… 予約をしないで番組表に戻ります。

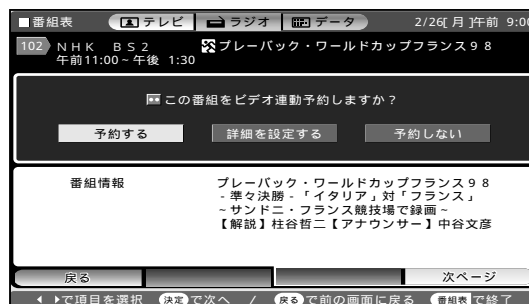
電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

■ ビデオ連動予約とは、付属のビデオコントローラーを使い、予約時間に合わせてビデオデッキの録画を開始・終了する予約録画方法です。

- ビデオ連動予約を初めて行う場合は、あらかじめ、ビデオデッキ・ビデオコントローラーの接続（**182**ページ）、およびビデオ連動録画設定（**183**ページ）を済ませておいてください。

- ビデオ連動録画設定は、一度行えば、設定内容が記載されますので、次回からは必要ありません。

ビデオ連動予約するとき

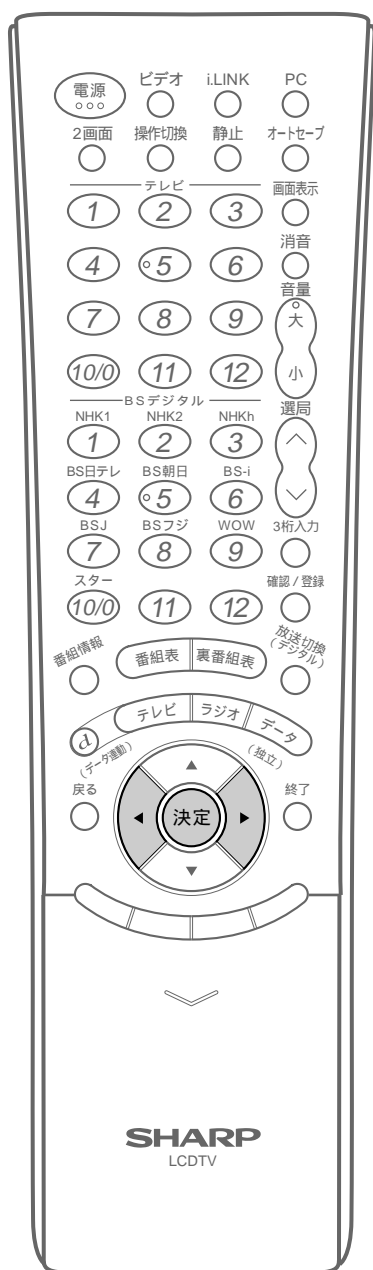
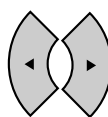
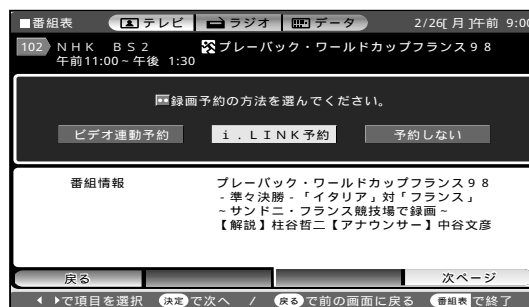
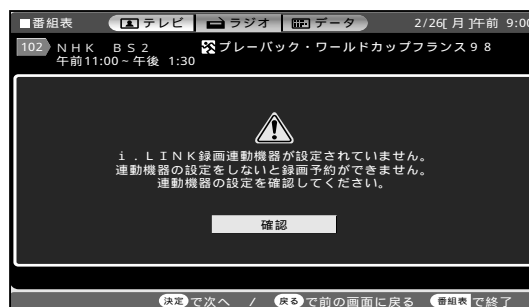
1 ◀で「ビデオ連動予約」を選び、決定を押す

- **ビデオ連動録画設定が済んでいるときは、手順2の画面になります。**
- **ビデオ連動録画設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。**

- **「設定する」を選んで決定ボタンを押すと、ビデオ連動録画設定画面になります。設定を行ってください。（183ページ参照）**

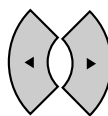
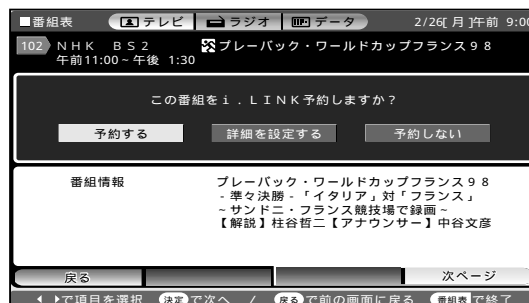
2 ◀▶で予約の種類を選び、決定を押す

「予約する」………… **無料放送や契約している有料放送が予約できます。**

「詳細を設定する」… **映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定が必要な項目では、設定のための画面が表示されます。**

「予約しない」……… **予約をしないで番組表に戻ります。**

■ i.LINK予約とは、本体後面のi.LINK端子に接続したD-VHSビデオデッキを予約時間に合わせて録画開始・終了させ、予約した番組を録画する方法です。

- i.LINK予約するときは、あらかじめ、D-VHSビデオデッキの接続(**186**ページ)とi.LINK設定(**188～190**ページ)を済ませておいてください。

i.LINK予約するとき

1 **◀▶で「i.LINK予約」を選び、決定を押す**

- **i.LINK設定が済んでいるときは、手順2の画面になります。**
- **i.LINK設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。**

- **「確認」で決定ボタンを押すと、i.LINK設定画面になります。設定を行ってください。（188ページ参照）**

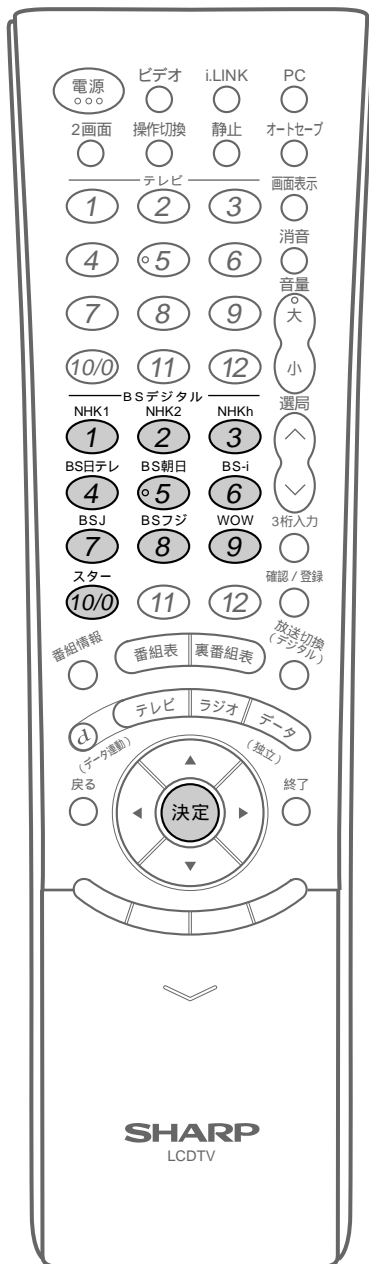
2 **◀▶で予約の種類を選び、決定を押す**

「予約する」………… **無料放送や契約している有料放送が予約できます。**

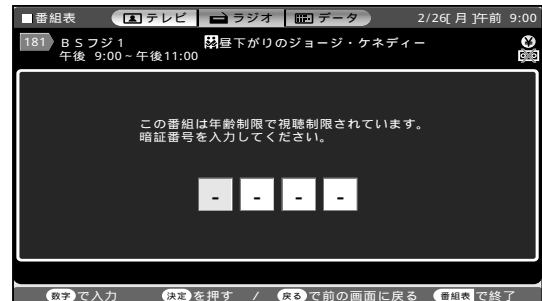
「詳細を設定する」… **映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定が必要な項目では、設定のための画面が表示されます。**

「予約しない」……… **予約をしないで番組表に戻ります。**

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

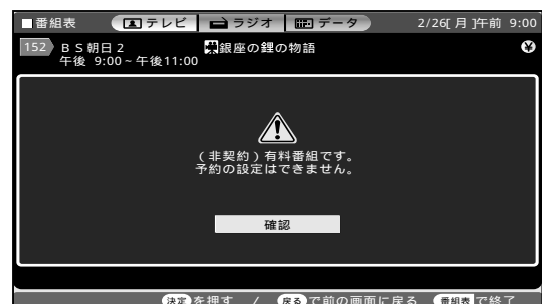
詳細設定

■ 視聴年齢制限、カード未挿入、有料番組の契約状況が自動判定され、メッセージが表示されます。設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。

視聴年齢制限のある番組を予約したとき

- 暗証番号入力画面が表示されます。

- BSチャンネルボタンで暗証番号を入力してください。（139ページ参照）

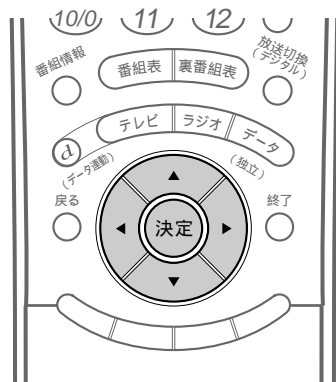
カード未挿入で非契約番組を予約したとき

- 「カード挿入を確認してください。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。カードを挿入し、「確認」で決定ボタンを押してください。

非契約の有料番組を予約したとき

- 「(非契約)有料番組です。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。「確認」で決定ボタンを押してください。

ビデオ連動予約の場合

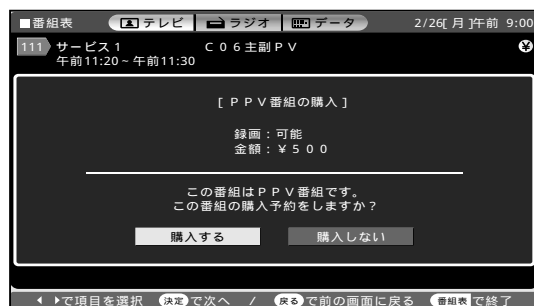
■ 映像・音声の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

「マルチビュー」…	いろいろな角度から見た映像
「映像」………	主映像と副映像（最大3つ）
「音声」………	主音声と副音声（最大7つ）
「二重音声」…	主音声と副音声

おしらせ

- 副映像の数は、番組によって異なります。

PPV番組の購入（する／しない）を選択する

- **PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。**

1 ◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

- 「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

映像・音声の種類を選択する

1 **<マルチビュー番組を選んでいるとき>**

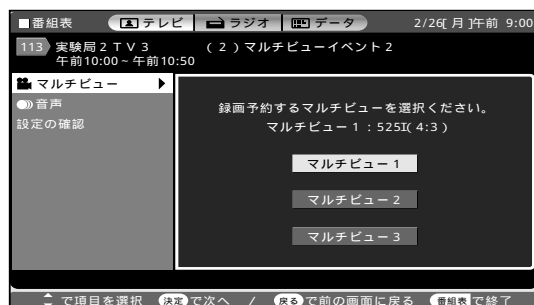
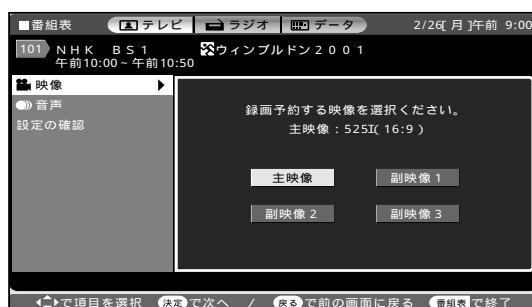
決定を押してから、▲▼でマルチビューの種類を選び、決定を押す

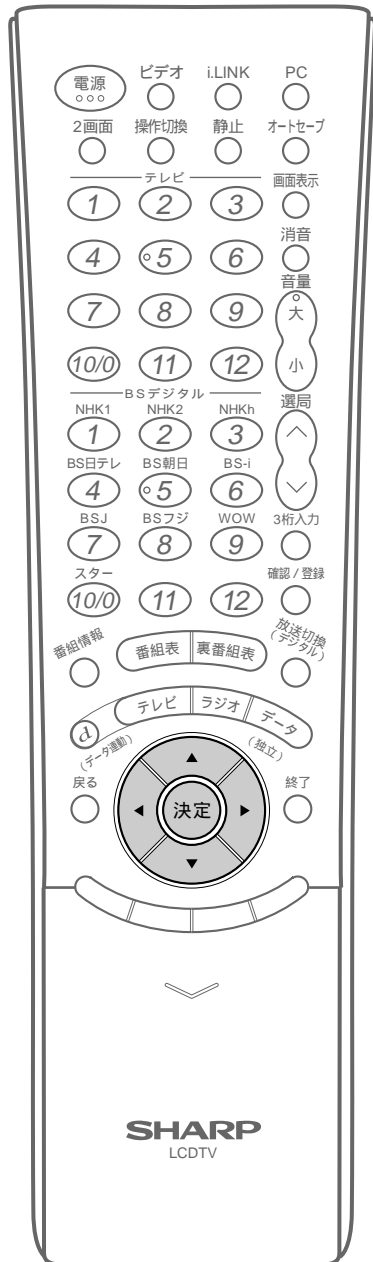
<副映像のある番組を選んでいるとき>

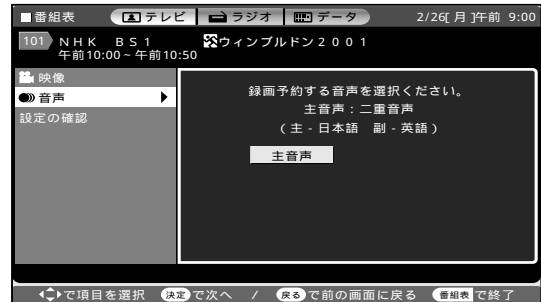
① ▼で「映像」を選び、決定を押す

② で映像を選び、決定を押す

つぎへ ▶

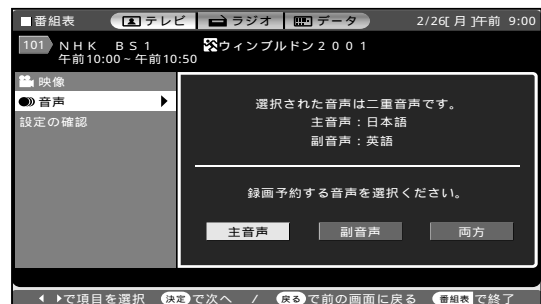
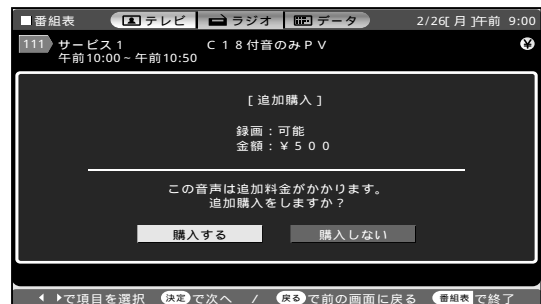
BSデジタル放送を楽しむ

電子番組表（EPG）から番組を予約する（つづき）

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

2

① で「音声」を選び、決定を押す

② で音声を選び、を押す

- **副音声の数は、番組によって異なります。**

3

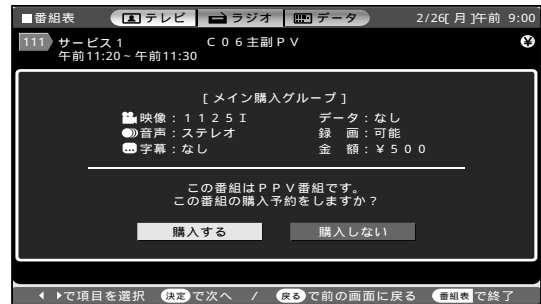
で二重音声の種類（言語）を選び、を押す

- **この操作は、手順2で選んだ音声が二重音声のときのみ必要です。**

- **映像・音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。**

- **「購入する」または「購入しない」を選び、決定ボタンを押します。**

i.LINK予約の場合

PPV番組の購入(する/しない)を選択する

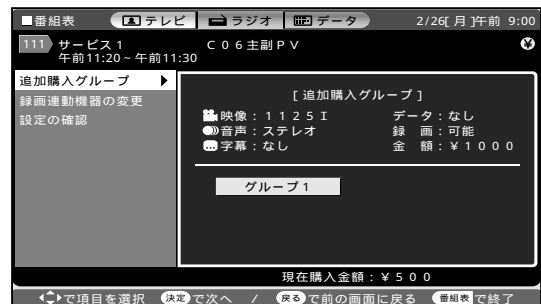
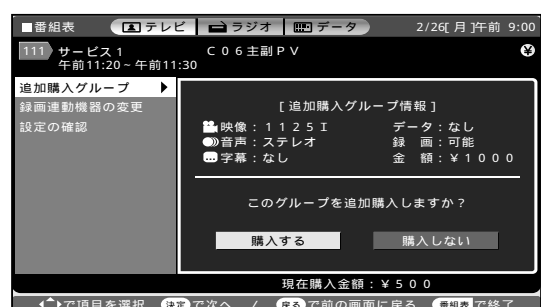
- PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

1 ◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

- 「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

購入グループを選択する

- 追加購入する映像・音声の組み合わせが複数あるときのみ必要な手順です。

1 ①「追加購入グループ」で決定を押す

② ▲▼◀▶で購入グループを選び、決定を押す

2 ◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

i.LINK予約の場合(つづき)

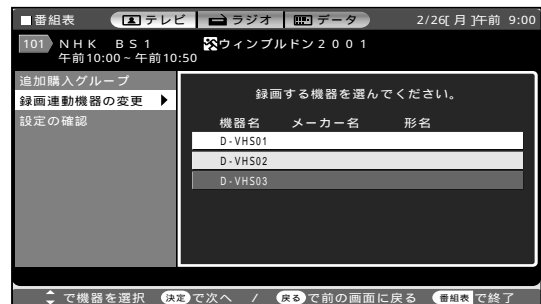
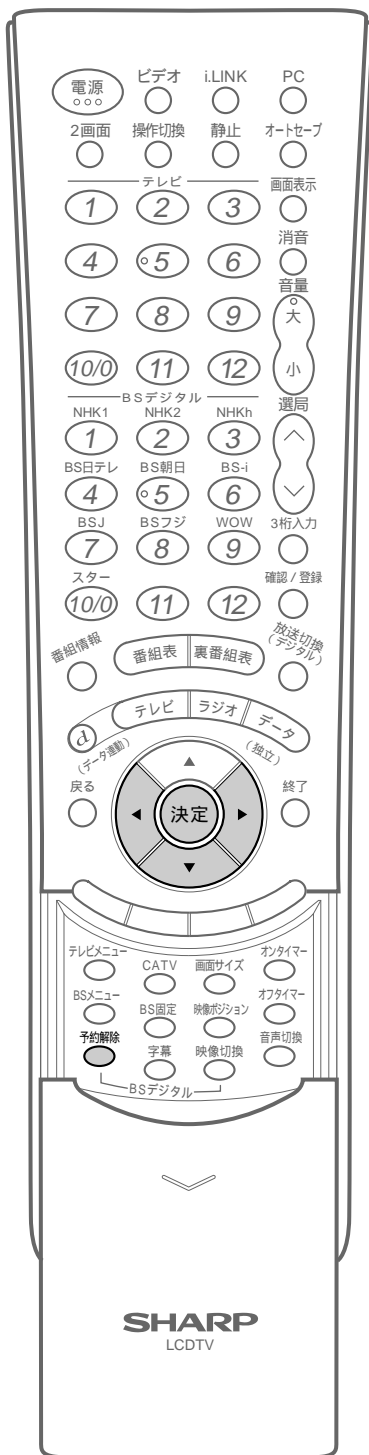
使用するi.LINK機器を選択する

- 使用するi.LINK機器を変えたいときのみ必要な手順です。

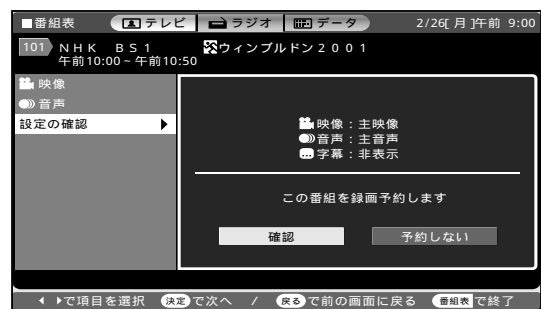
1 ▲ ▼ で「録画連動機器の変更」を選び、決定を押す

2 ▲ ▼ で使用するi.LINK機器を選び、決定を押す

予約設定を確認する

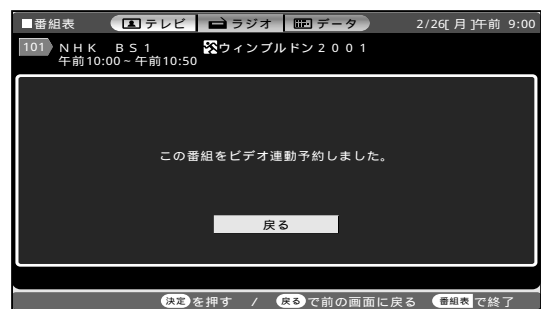
1

① ▼で「設定の確認」を選び、決定を押す

② 画面に表示された設定内容を確認する

③「確認」で決定を押す

（ビデオ連動予約の場合の表示例）

- **「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。**

2

「戻る」で決定を押す

（ビデオ連動予約の場合の表示例）

- **録画予約が設定されました。**

おしらせ

予約ランプについて

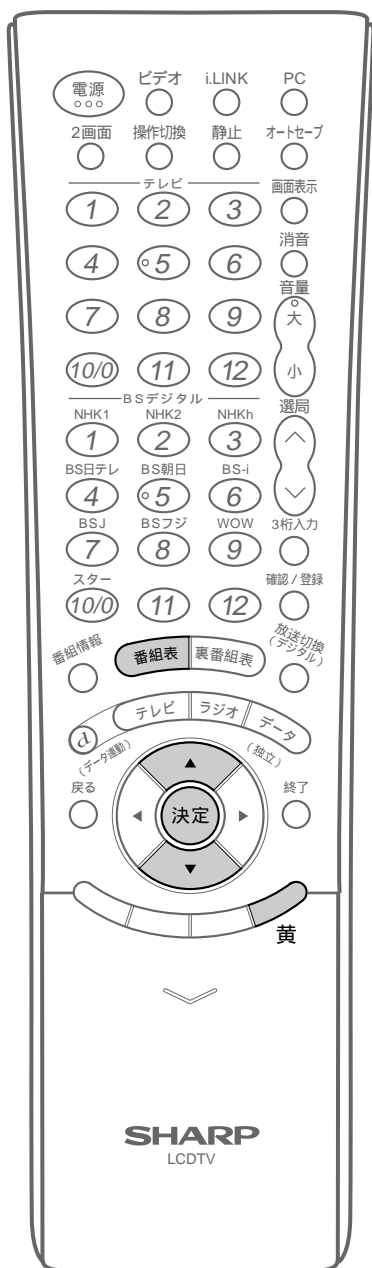
- 番組を予約すると、本体前面の予約ランプが点灯します。

実行中の予約録画を解除するには

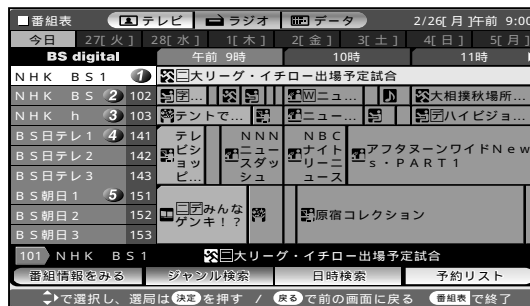
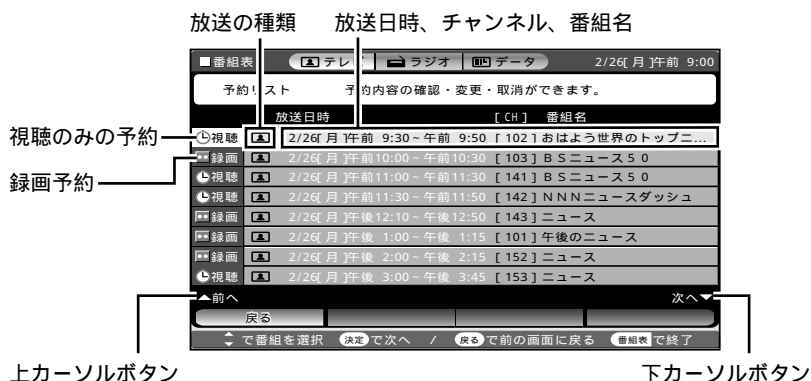
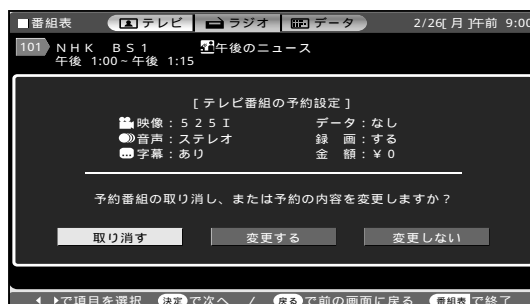
- 予約解除ボタンを押します。

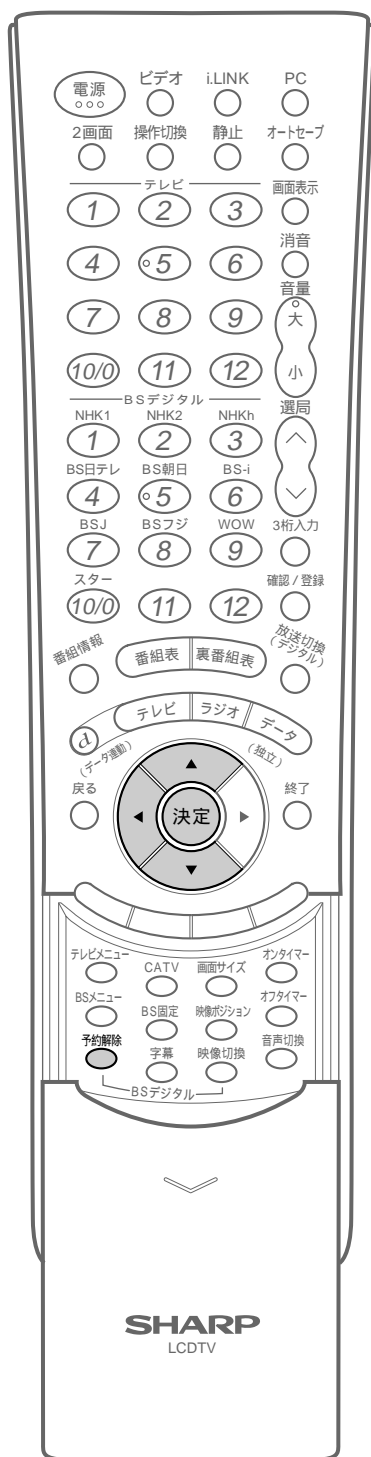
電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

予約の確認・取消し・変更

■ 番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取消しや変更をすることができます。

予約を確認したいとき

1 ① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 黄 (予約リスト)を押し、予約リストを表示する

▼予約リストの例

- 予約リストで現在の予約内容を確認します。
- リストを上下にスクロールしたいときは、上下カーソルボタンを使います。
- 予約した番組の設定内容を確認したいときは、上下カーソルボタンで番組を選び、決定ボタンを押します。つぎのような画面が表示されます。

予約を取り消したいとき

1 **予約を取り消したい番組を ▲ ▼ で選び、決定を押す**

2 **◀ で「取り消す」を選び、決定を押す**

3 **◀ で「する」を選び、決定を押す**

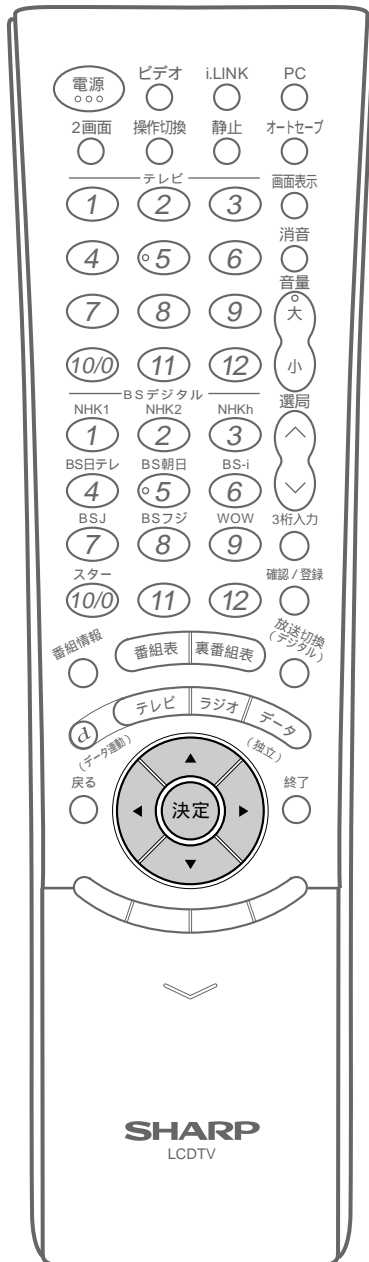
とびらを開けたところ

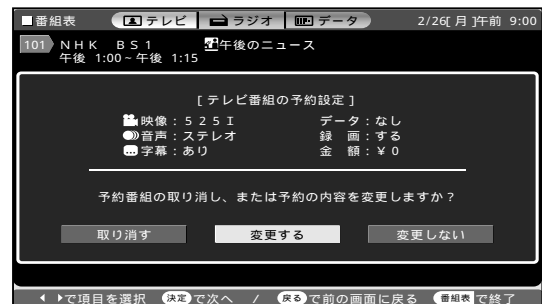
おしらせ

実行中の予約録画を解除するには

- 予約解除ボタンを押します。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

予約を変更したいとき

1 予約を変更したい番組を ▲ ▼ で選び、決定 を押す

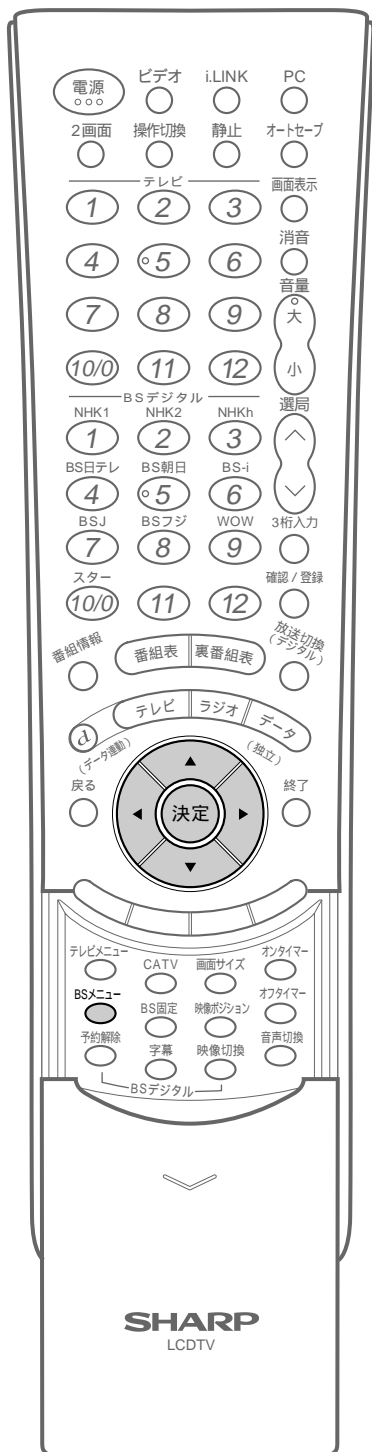
2 ◀ ▶ で「変更する」を選び、決定 を押す

3 １２２～１３１ページの予約の手順にしたがって、再度、予約操作を行う

選局後の操作

チャンネル表示のしかたを選ぶ

■ 番組を選んで画面を切り換えたときに、チャンネル番号や番組タイトルなどが表示されます。

とびらを開けたところ

1

① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「チャンネル表示設定」を選び、決定を押す

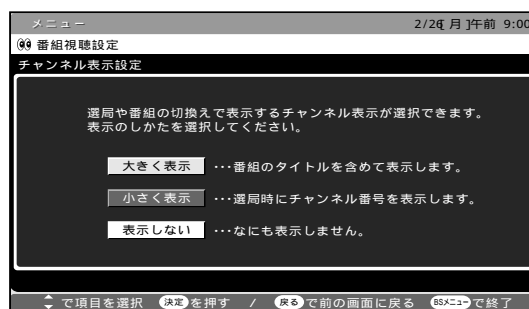
2

▲ ▼ で表示のしかたを選び、決定を押す

「大きく表示」…… 番組タイトル、チャンネル番号、放送時間などを表示します。

「小さく表示」…… 選局時にチャンネル番号だけを表示します。

「表示しない」…… 何も表示しません。（ビデオ連動予約時にチャンネル表示を録画したくない場合などに選びます。）

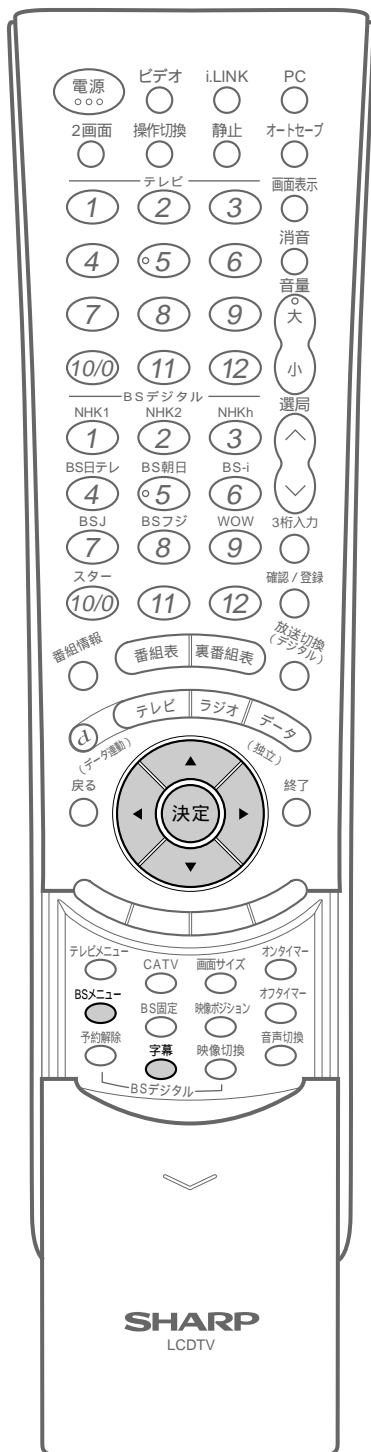
3

BSメニューを押し、通常画面に戻す

選局後の操作（つづき）

字幕を表示する

■ 字幕のある番組で、字幕を表示するかしないかを選択できます。
■ 工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。

とびらを開けたところ

1

① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲▼で「字幕表示設定」を選び、決定を押す

2

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」………字幕のある番組では、つねに字幕を表示します。

「しない」……リモコンの字幕ボタンで、字幕表示の入／切を選択できます。

3

BSメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

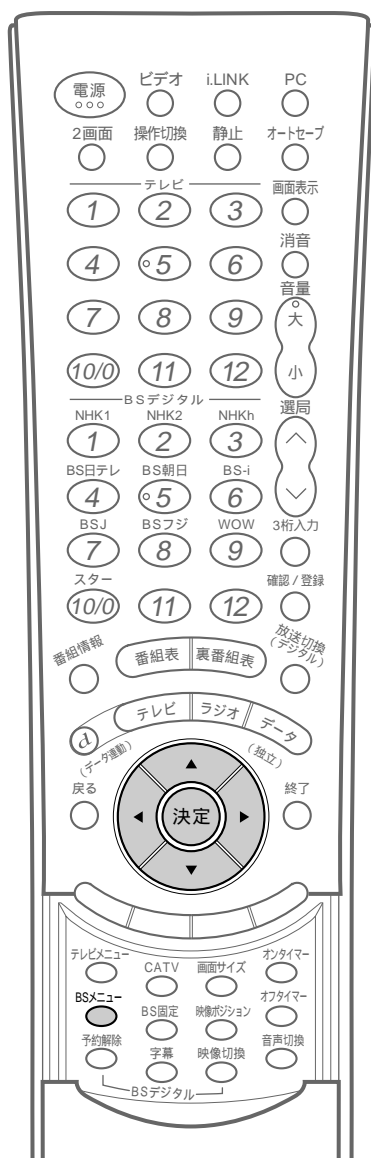
- 手順**2**で「する」を選択すると、リモコンの字幕ボタンでは字幕表示を消せません。

チャンネルスキップを設定する

■ 選局（∧順／∨逆）ボタンでＢＳチャンネルを選局するとき、同じ番組※をとばして選局するように設定することができます。

※ 時間帯により、同じ1つの放送局の複数のチャンネルで同じ番組が放送されることがあります。

とびらを開けたところ

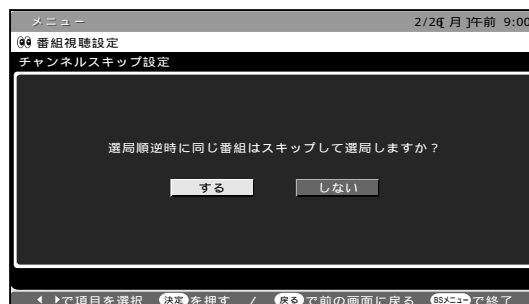
1

① BSメニューを押し、ＢＳメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定を押す

2

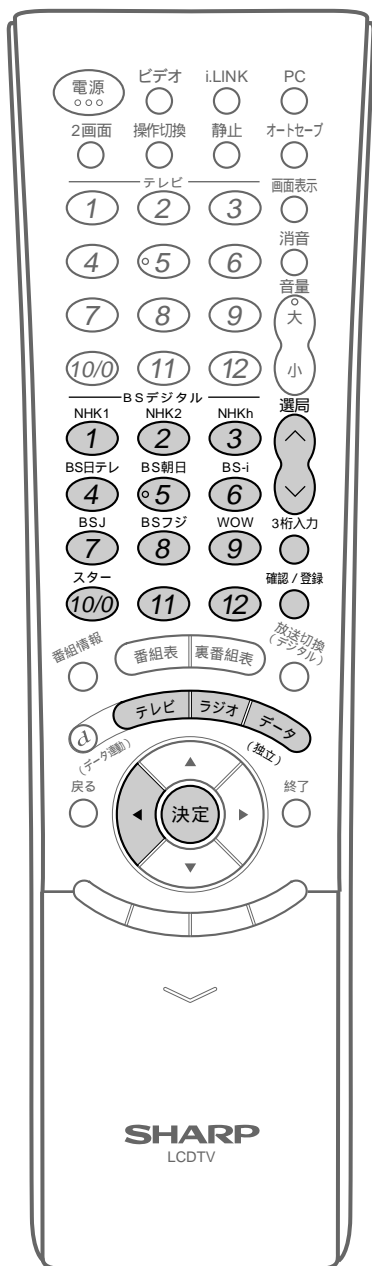
◀ で「する」を選び、決定を押す

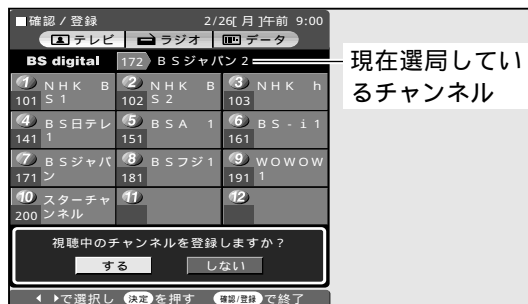
3

BSメニューを押し、通常画面に戻す

選局後の操作(つづき)

お好みのチャンネルを登録する

■ テレビ放送、ラジオ放送、独立データ放送のそれぞれにつき、お好みのチャンネルを12局まで登録できます。

1

① 登録したいBSデジタル放送のチャンネルを選局する

② 確認/登録 を押す

③ ◀ で「する」を選び、決定 を押す

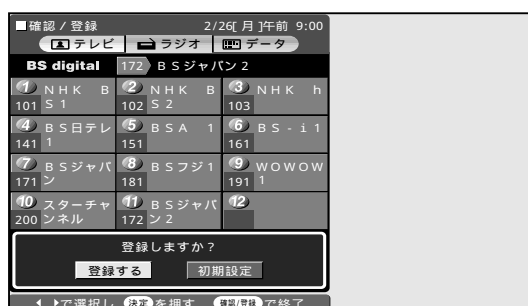
2

登録したいBSチャンネルボタンを押し、決定 を押す

<例>「BSジャパン2」(172チャンネル)を 11 に登録する場合は、BSチャンネルボタンの 11 を押します。

- **登録確認画面が表示されます。**

3

◀ で「登録する」を選び、決定 を押す

- **設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「初期設定」を選んで決定ボタンを押します。**

安心して使うための設定

暗証番号について

本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。

暗証番号を設定する

■ 暗証番号の設定および変更の手順を説明します。
暗証番号は、必ず**4桁の数字**を入力します。

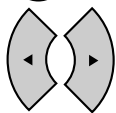
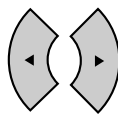
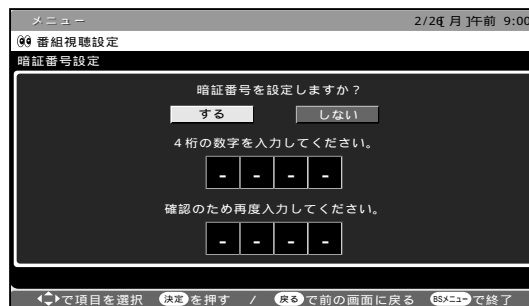
とびらを開けたところ

1

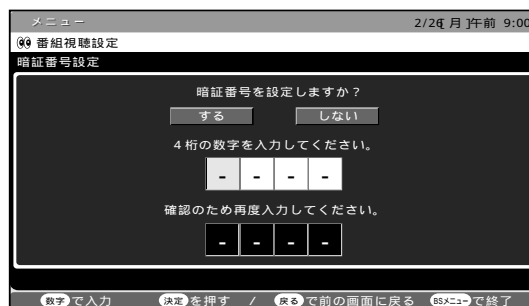
① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲▼で「暗証番号設定」を選び、決定を押す

2

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……新しい暗証番号の設定(手順3)に進みます。
「しない」…暗証番号の設定や変更をせず、メニュー画面に戻ります。

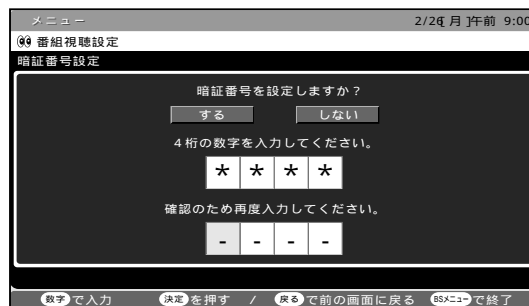
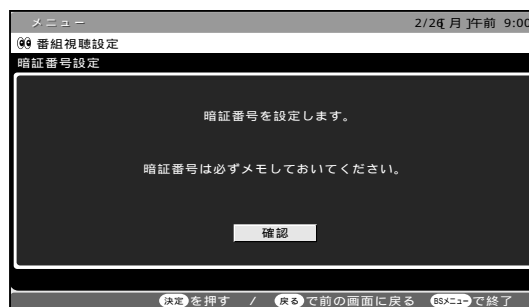
3

ＢＳチャンネルボタンで、新しい暗証番号を入力する

- 左カーソルボタンを押すと、入力した数字を1桁削除できます。

つぎへ ▶

安心して使うための設定(つづき)

4 **確認のため、再度同じ番号をＢＳチャンネルボタンで入力する**

- **番号の入力を間違えると、手順3からやりなおしになります。**

5 **暗証番号をメモし、「確認」で決定を押す**

- **新しく入力した暗証番号の設定が完了し、メニュー画面に戻ります。**

おしらせ

- **暗証番号は必ずメモしてください。**

暗証番号を忘れたときは

- 受信契約されている放送局までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。
  暗証番号の消去には手数料がかかります。(2001年10月現在)

暗証番号を変更するとき

とびらを開けたところ

1 **① BSメニューを押し、ＢＳメニュー画面を表示する**

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

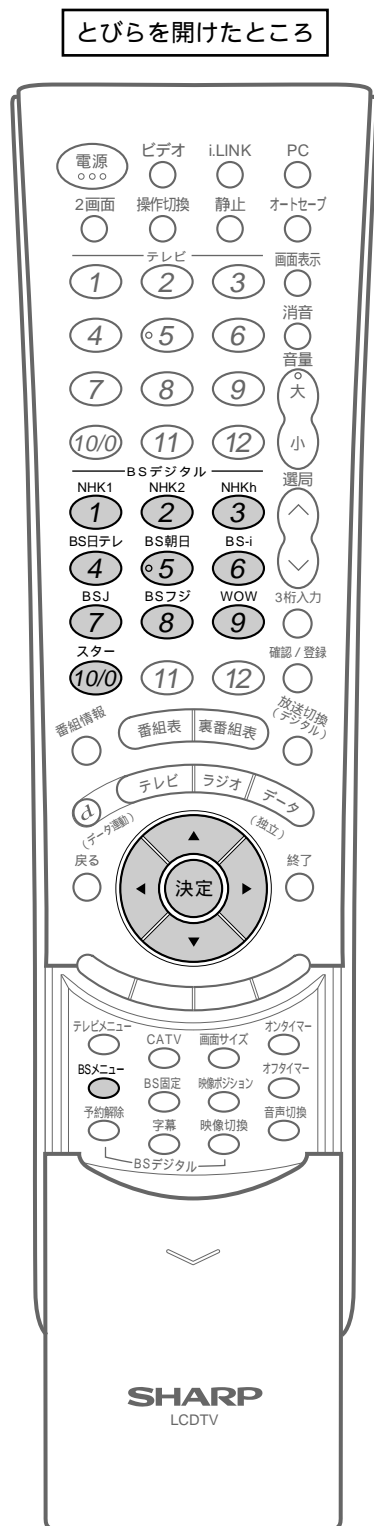
③ ▲ ▼ で「暗証番号設定」を選び、決定を押す

- **暗証番号を入力すると「暗証番号を設定する」の手順2(139ページ)の画面になります。暗証番号を設定するときと同様の手順で設定しなおしてください。**

視聴年齢制限を設定する

■ 年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。
なお、年齢制限は4〜20歳の範囲で設定できます。

とびらを開けたところ

1

① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「視聴年齢制限設定」を選び、決定を押す

2

BSチャンネルボタンで暗証番号を入力する

- 視聴年齢制限設定画面が表示されます。

3

① ▲ で年齢の入力欄を選ぶ

② 制限する年齢をBSチャンネルボタンで入力し、決定を押す

- 年齢制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

PPV制限を設定する

■ 暗証番号を入力しないと、PPV番組を購入できないように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(139ページ)をしておくことが必要です。

とびらを開けたところ

1

① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

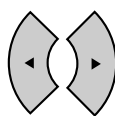
③ ▲ ▼ で「PPV設定」を選び、を押す

2

BSチャンネルボタンで暗証番号を入力する

- PPV設定画面が表示されます。

3

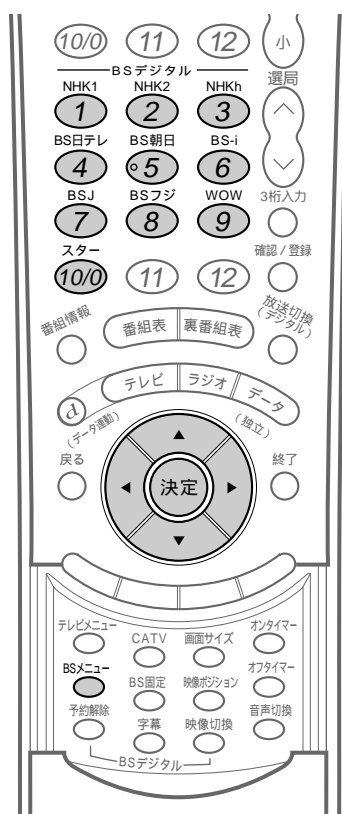
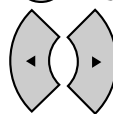
「PPV制限」で 決定 を押す

4 で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……… PPV番組の購入前に暗証番号の入力が必要になります。

「しない」…… PPV番組の購入前に暗証番号の入力は必要ありません。

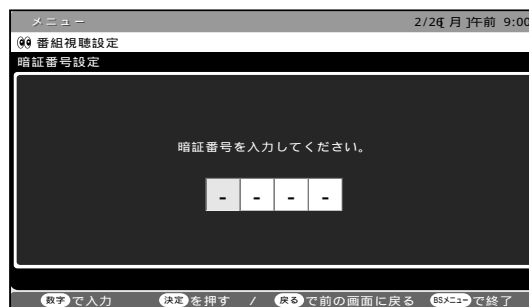
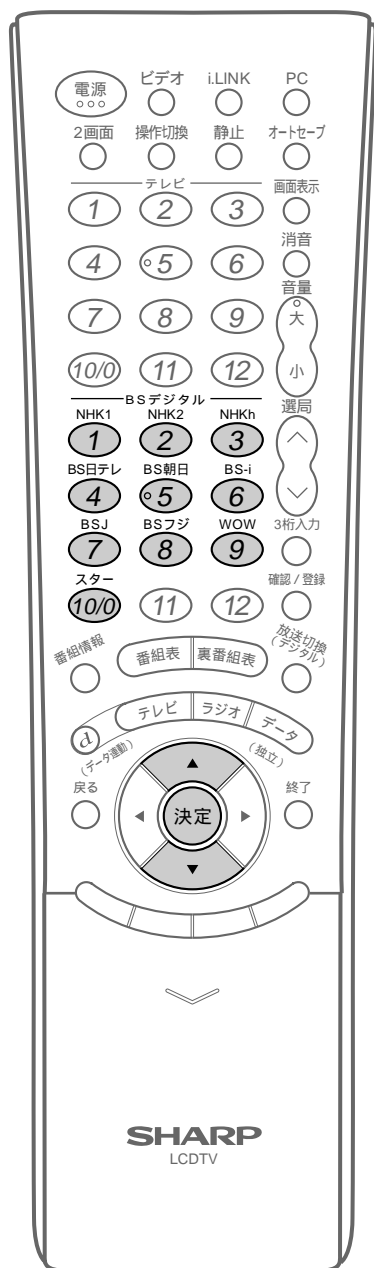
購入金額制限を設定する

■ PPV番組の購入金額を制限し、設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。

とびらを開けたところ

1 ① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② で「番組視聴設定」を選ぶ

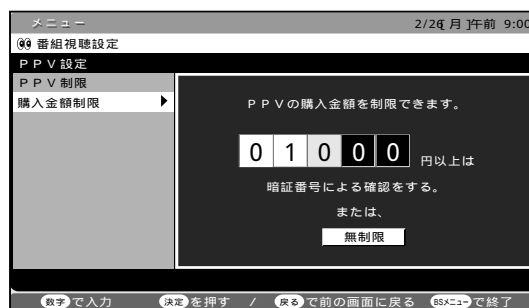
③ で「PPV設定」を選び、決定を押す

2 BSチャンネルボタンで暗証番号を入力する

つぎへ ▶

3 ▼で「購入金額制限」を選び、決定を押す

4 ① ▲で購入金額の入力欄を選ぶ

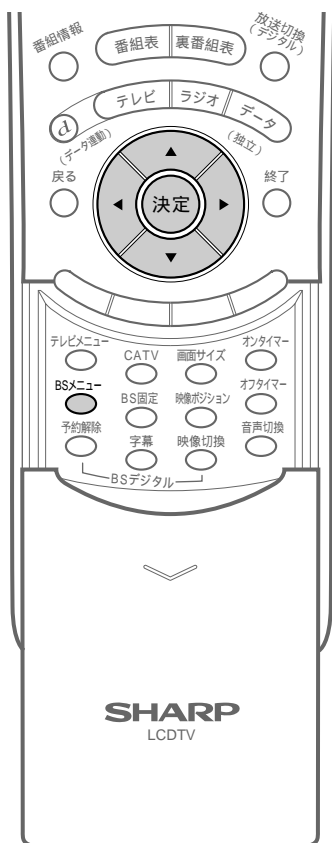
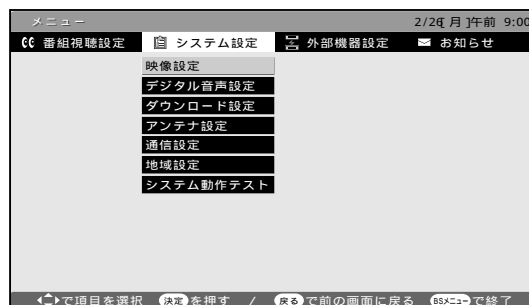
② 購入金額の上限をＢＳチャンネルボタンで入力し、決定を押す

<例>1,000円のとき

- **購入金額の制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。**

BSデジタル放送受信のいろいろな設定

映像の設定

とびらを開けたところ

おしらせ

2種類の映像の設定について

- **「オート」**…番組表やデータ放送を表示すると、画面の一部が欠落することがあります。また、受信チャンネルの切換えに時間がかかったり、画面にノイズが出ることがあります。
- **「フル固定」**…すべての放送を1125iに変換して表示・再生するため、画面いっぱいに広がらないなど、お好みの画面サイズで表示できないことがあります。

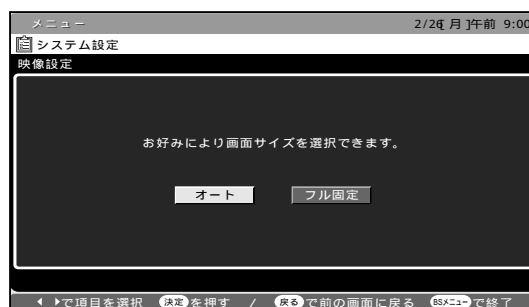
1 BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

2 ① ◀▶で「システム設定」を選ぶ

② ▲▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ◀▶で「オート」または「フル固定」を選び、決定を押す

「オート」……… 525i放送以外の放送を1125i変換してディスプレイに表示・再生します。525i放送のとき、お好みの画面サイズに切り換えて表示・再生することができます。
通常はこの位置でお使いください。

「フル固定」…… すべての放送を1125iに変換してディスプレイに表示・再生します。

BSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

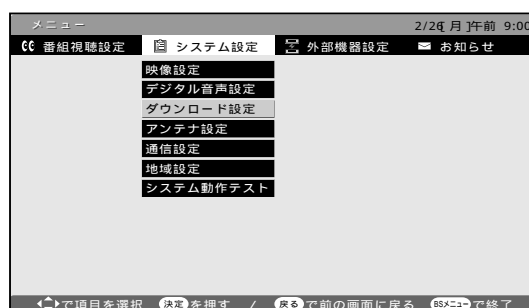
ダウンロードの設定

■ ダウンロードとは、BSデジタル放送受信機内のソフトウェアなどで使用されるデータを放送の電波に乗せて送り、更新する機能です。受信機の機能を向上させたり、新たなサービスに対応することが可能となります。

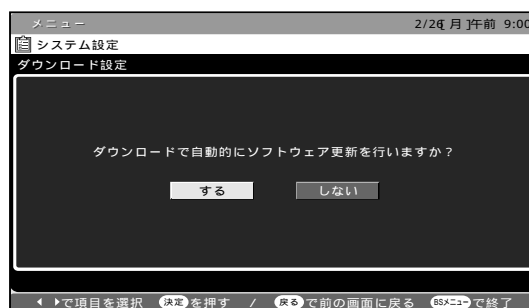
とびらを開けたところ

1 BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

2 ① ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

② ▲ ▼ で「ダウンロード設定」を選び、決定を押す

3 ◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……… 自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。(工場出荷時の設定)

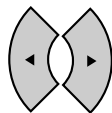
「しない」…… ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

4 BSメニューを押し、通常画面に戻す

- ダウンロードは、本機の電源が待機状態(本体前面の電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。

自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、手動でダウンロードを行うことができます。

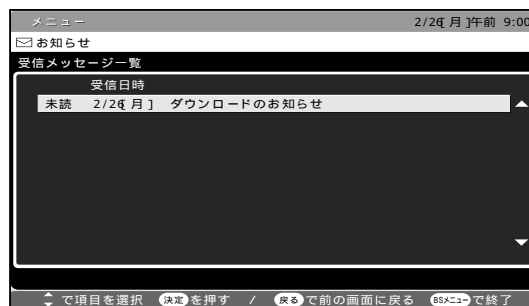
手動でダウンロードを行うとき

1

① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「お知らせ」を選ぶ

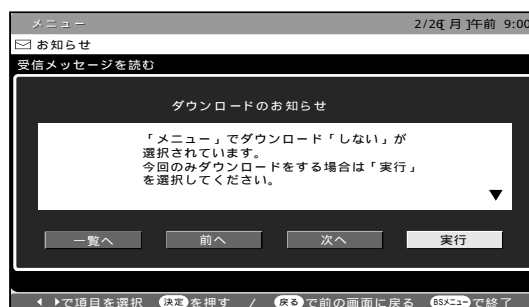
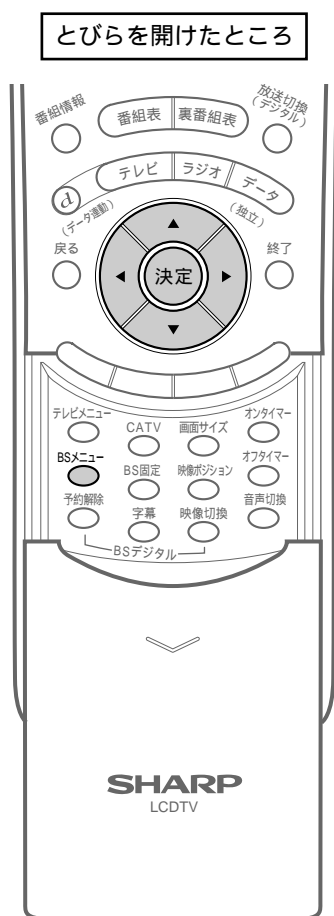
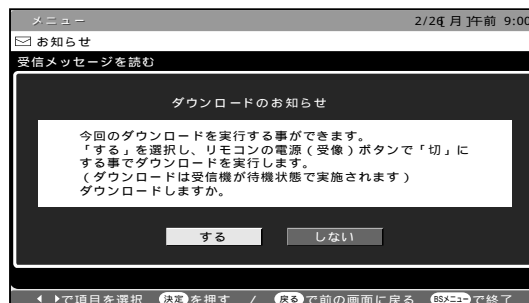
③ ▲▼で「受信メッセージ一覧」を選び、決定を押す

2

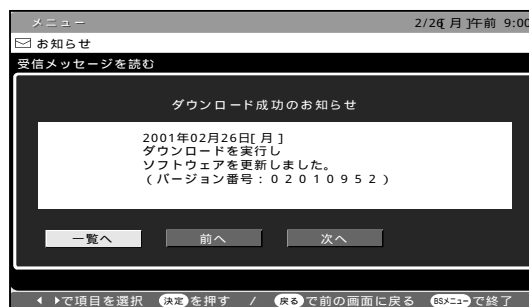
「ダウンロードのお知らせ」を選び、決定を押す

3

画面の表示内容を確認してから、▶で「実行」を選び、決定を押す

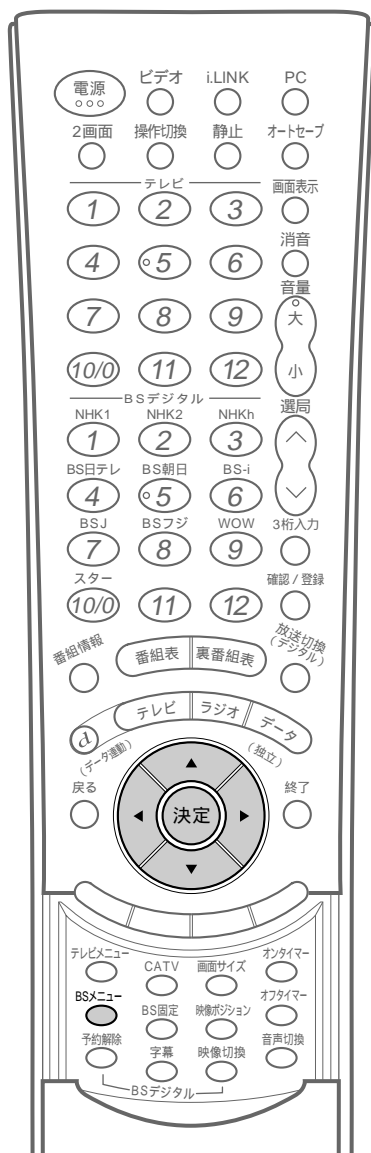
つぎへ ▶

とびらを開けたところ

4 画面の表示内容を確認してから、で「する」を選び、決定を押す

おしらせ
- ダウンロードは、本機の電源が待機状態(本体前面の電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。リモコンの電源ボタンで、電源待機状態にしてください。

- **ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。**
- **お知らせを見る場合は、手順1〜2の操作を行ってください。**

おしらせ
- ソフトウェアの受信(ダウンロード)には、数分程度の時間がかかります。その間は、電源の入／切やBSデジタルリセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ソフトウェアの受信中や書換え中に電源を「入」にすると、ソフトウェアの受信画面、書換え画面が表示されますが、約10分ほどでBSデジタル放送画面に戻ります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
- ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
- ソフトウェアを受信するために、電源が自動的に「入」になる場合がありますが、ソフトウェアの受信、書換えが終わると、自動的に待機状態(本体前面の電源ランプが赤色点灯)に戻ります。

BSアンテナの設定

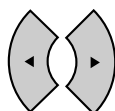
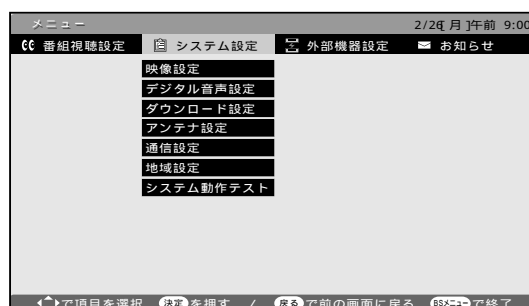
■ BSアンテナをはじめて設置したときや、引っ越しなどでアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要となります。その場合、アンテナ設定画面を表示しながら設定を行うことができます。

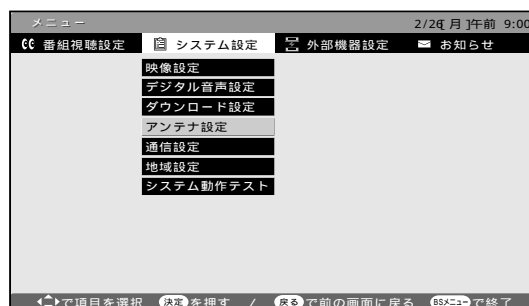
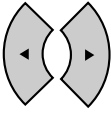
とびらを開けたところ

BSアンテナ設定画面を表示する

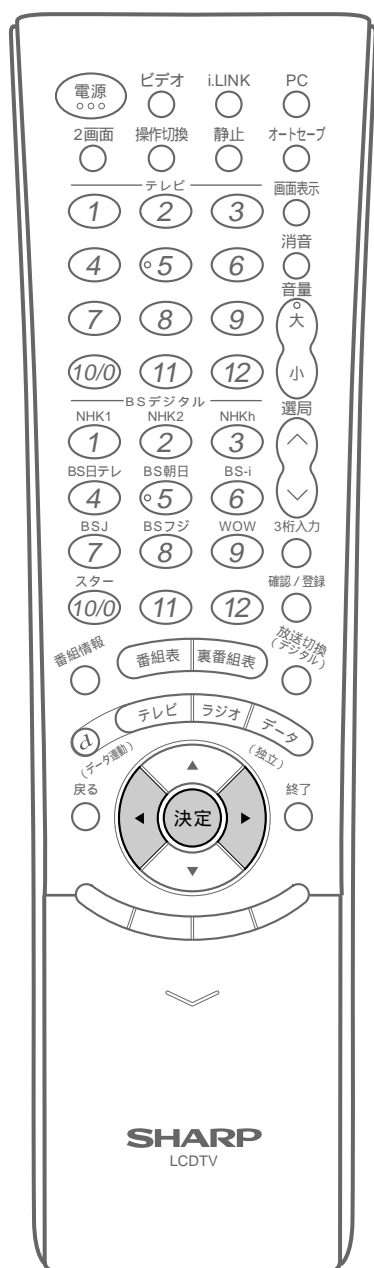
1

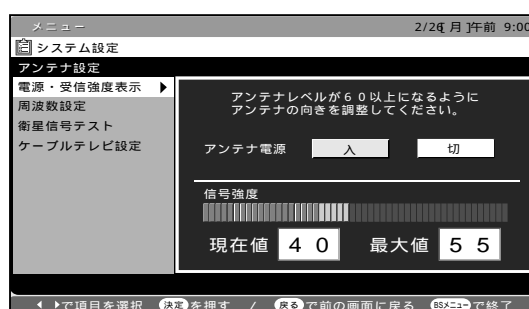
① BSデジタル放送のチャンネルを選局する（107ページ参照）

② BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

2

◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

3

▲ ▼ で「アンテナ設定」を選び、決定 を押す

BSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

BSアンテナに電源を供給する

1 「電源・受信強度表示」で(決定)を押す

2 ◀ ▶でアンテナ電源「入」または「切」を選び、(決定)を押す

「入」……個人でアンテナを設置・接続している場合
「切」……電源を供給しないときの設定(共聴アンテナに接続している場合など)(工場出荷時の設定)

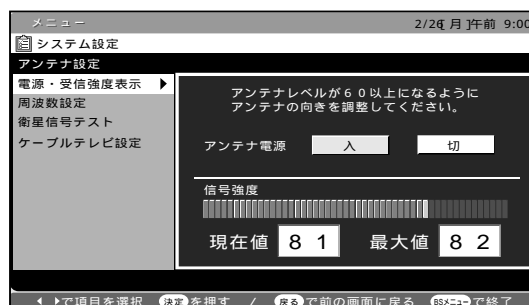
受信強度を確認・調整する

3 アンテナレベルが最大になるようアンテナの向きを調整する

- アンテナレベル(信号強度)が60以上になるようにアンテナの向きを調整してください。
- アンテナの調整が済んでいる場合は必要ありません。

4 (決定)を押す

衛星信号テスト

1

① アンテナ設定画面を表示する（149ページ参照）

② で「衛星信号テスト」を選び、決定を押す

2

① 決定を押し、チャンネル欄を選ぶ

② テストしたいチャンネルを

で選び、決定を押す

- アンテナレベル（信号強度）の最大値が60以上あることを確認してください。

その他のアンテナ設定

■ケーブルテレビ設定

ケーブルテレビで受信している場合は、ケーブルテレビ設定を「する」に設定します。ただし、本設定で受信できるケーブルテレビの方式は「パススルー方式」のみです。

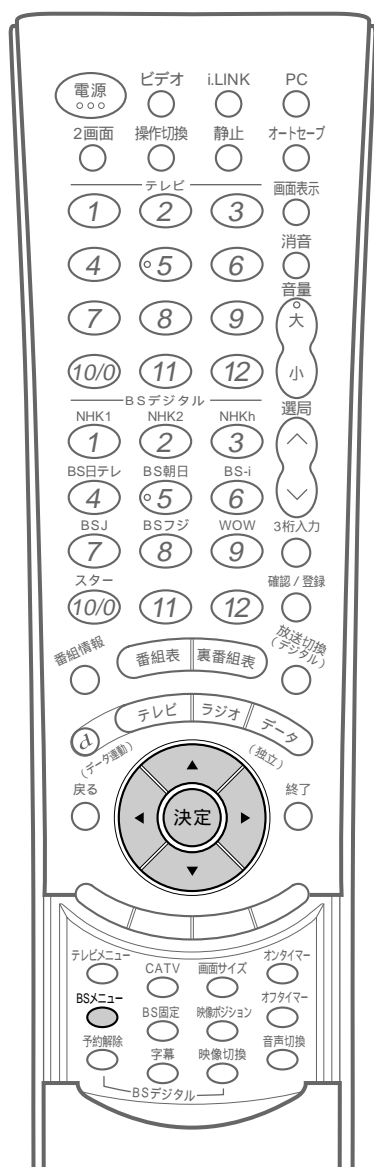
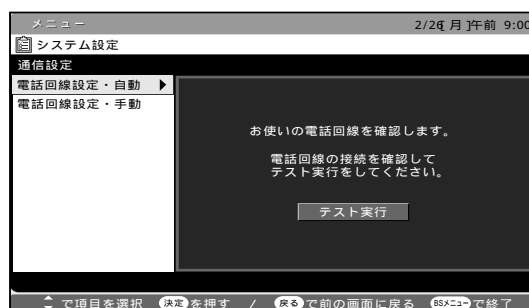
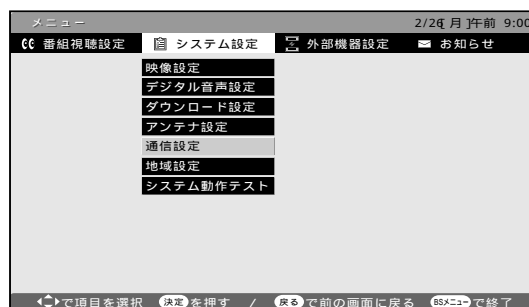
※詳しくは、契約しているケーブルテレビ事業者にお尋ねください。

■周波数設定

新しい衛星が追加されたり、現在の衛星が故障した場合、新しい周波数を入力することで、受信に必要な情報を取得できます。

電話回線の設定

■ 引っ越しなどで電話回線の種類を変えたときは、電話回線設定をしなおす必要があります。

とびらを開けたところ

1

① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「システム設定」を選ぶ

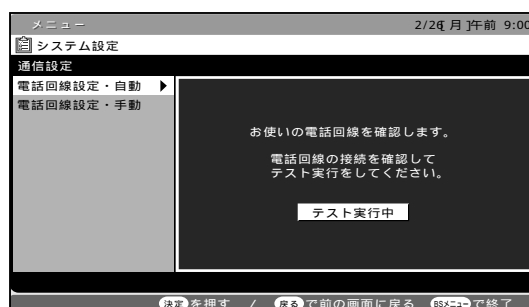
③ ▲▼で「通信設定」を選び、を押す

2

電話回線が接続されていることを確認する

3

① 「電話回線設定・自動」で決定を押す

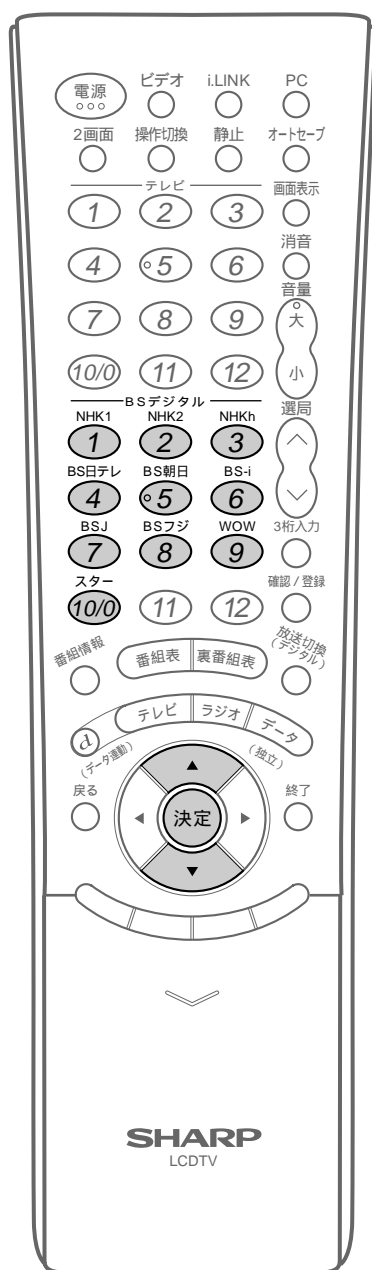
② 「テスト実行」で決定を押す

- 「テスト実行中」が表示されます。

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発進番号の設定画面に切り換わります。（153ページ参照）

おしらせ

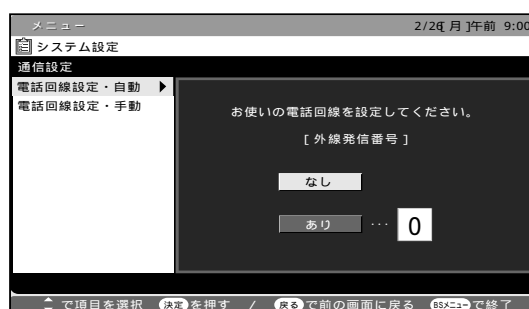
- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

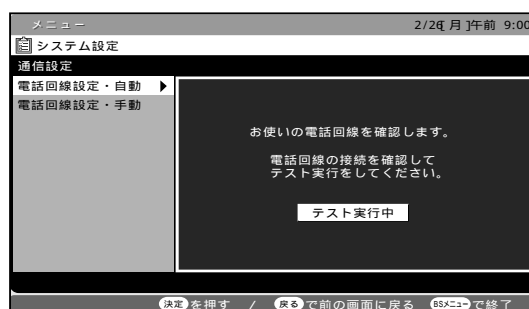
電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、下の画面が表示されますので、再設定してください。

ご注意

- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

外線発信番号の設定

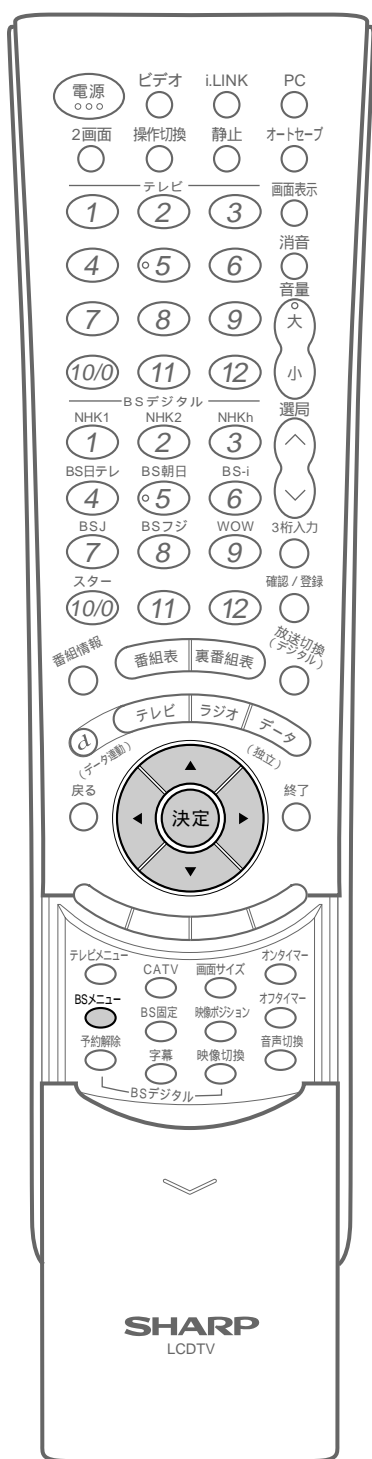
1 ▲▼で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、決定を押す

「なし」……外線交換機を使用しない場合（通常の一般家庭）
「あり」……電話交換機などをご使用の場合

- **「あり」を選んだ場合は、外線発信番号（0～9）を右のボックスにBSデジタルボタンで入力してから決定ボタンを押します。**

2 「テスト実行」で決定を押す

- **「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。**
- **電話回線の設定確認ができなかった場合は、手順1に戻ります。**

どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、154ページ「手動による電話回線設定」の手順にしたがってください。

BSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、つぎの手順により、手動で設定することができます。

とびらを開けたところ

手動による電話回線設定

1

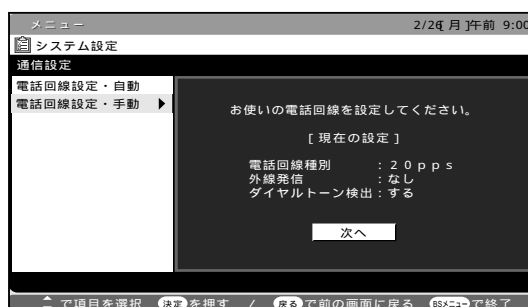
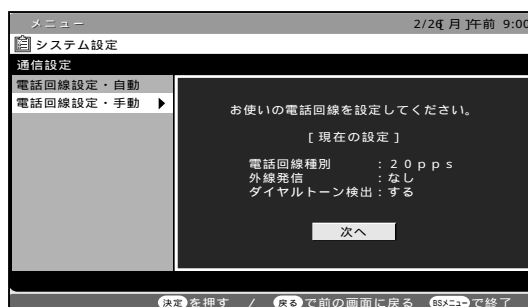
① 152ページ手順1を行う

② ▼で「電話回線設定・手動」を選び、決定を押す

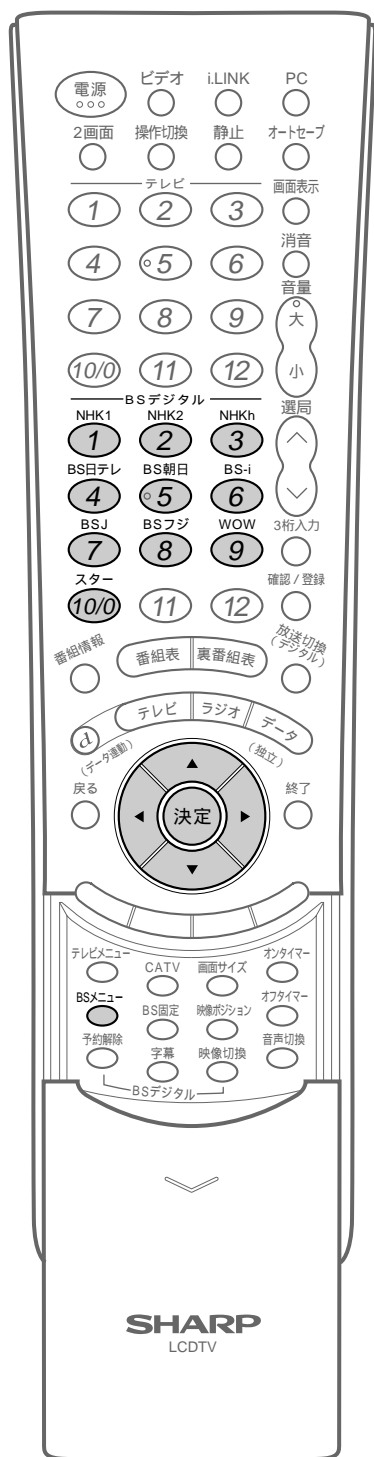
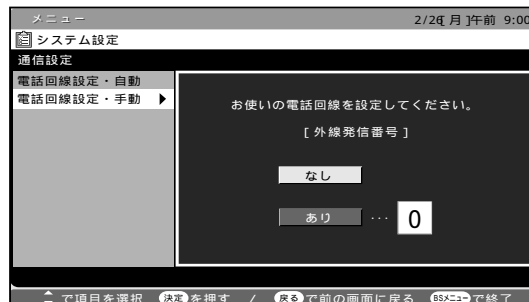
2

①「現在の設定」を確認する

②「次へ」で決定を押す

3

ご契約の電話回線種別を▲▼で選び、決定を押す

- **契約している電話回線種別(ダイヤル方式)が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。**

とびらを開けたところ

4 で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

- 「あり」を選んだ場合は、BSデジタルボタンで外線発信番号を入力してください。

5 決定を押す

6 ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を◀ ▶で選び、決定を押す

7 BSメニューを押し、通常画面に戻す

ご注意

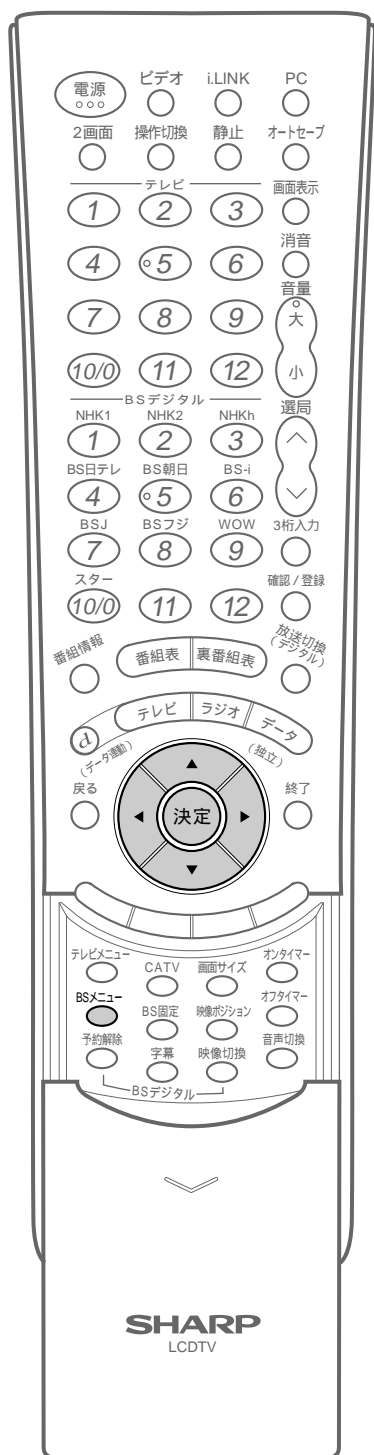
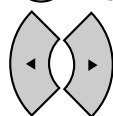
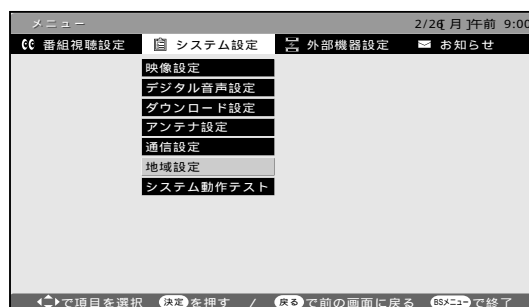
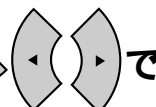
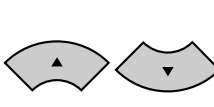
- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

BSデジタル放送受信のいろいろな設定（つづき）

地域と郵便番号の設定

■ 緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。

地域設定

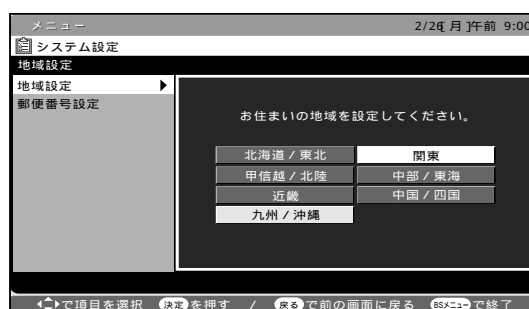
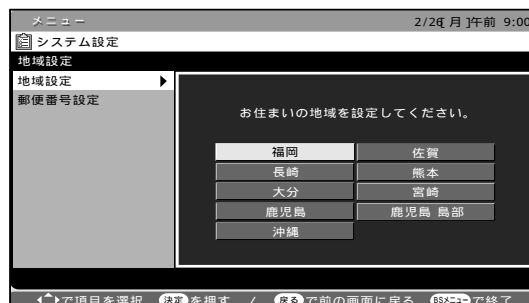
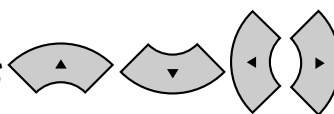
とびらを開けたところ

1

① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

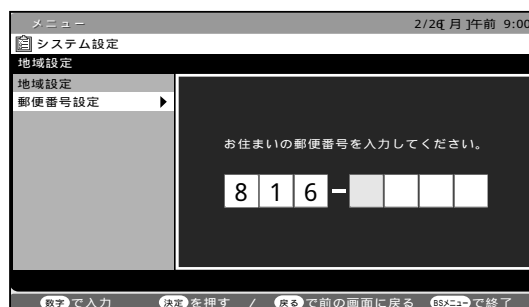
③ ▲ ▼ で「地域設定」を選び、決定を押す

2

① 決定を押す

② お住まいの地域を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定を押す

3 **お住まいの都道府県を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定を押す**

郵便番号設定

4 **① ▼ で「郵便番号設定」を選び、決定を押す**

② BSチャンネルボタンで郵便番号を入力し、決定を押す

- **入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、BSチャンネルボタンで入力しなおします。**

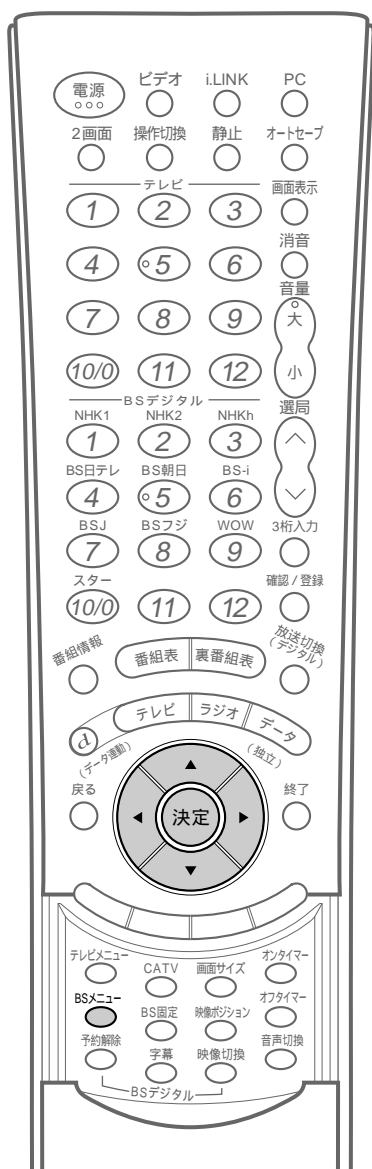
5 **BSメニューを押し、通常画面に戻す**

お知らせを見る

受信契約した放送局から視聴者に向けてメッセージが発信されます。
また、有料放送に関するレポートやICカード番号なども確認できます。

受信メッセージを見る

■ 受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。
常時更新されていますので、定期的にメッセージをお読みください。

とびらを開けたところ

＜例＞ ダウンロード成功のお知らせを見る

1

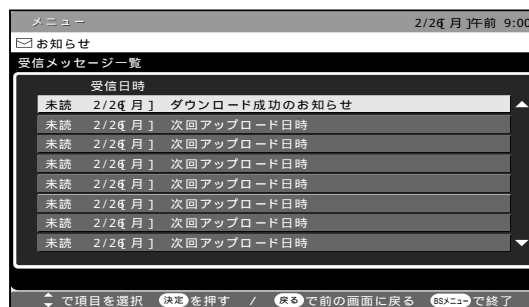
① BSメニューを押し、ＢＳメニュー画面を表示する

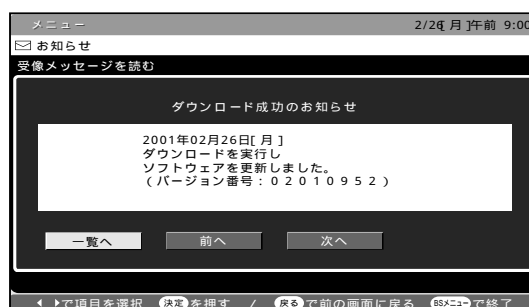
② ◀ ▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼で「受信メッセージ一覧」を選び、決定を押す

2

見たいメッセージを▲ ▼で選び、決定を押す

3

① メッセージの内容を確認する

②「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを◀ ▶で選び、決定を押す

受信機レポートを見る

■ ICカードが壊れたときや、課金情報のアップロード（視聴履歴の送信）に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。

とびらを開けたところ

おしらせ

- アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードしなおすことができます。

<例>アップロード失敗のレポートを見る

1

① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ

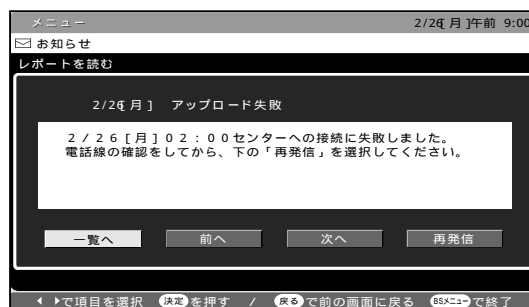
③ ▲ ▼ で「受信機レポート」を選び、決定を押す

2

見たいレポートを ▲ ▼ 選び、決定を押す

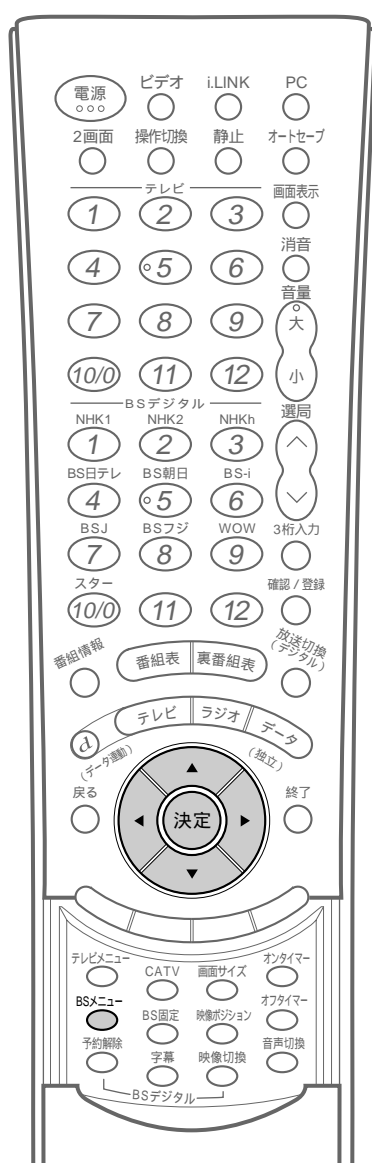
3

① レポートの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」「再発信」のいずれかを ◀ ▶ で選び、決定を押す

お知らせを見る(つづき)

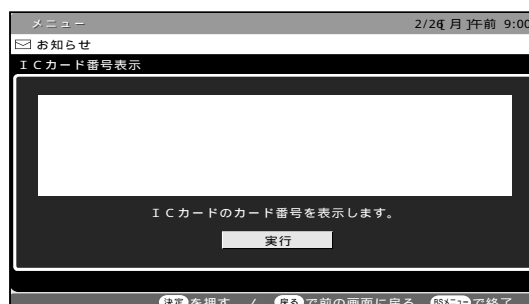
ICカード番号を見る

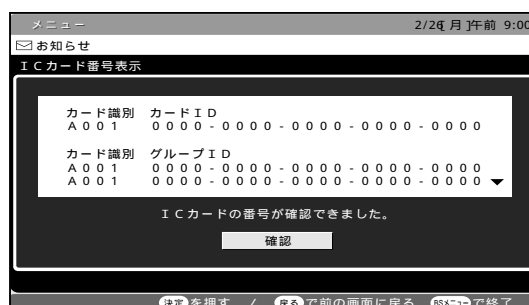
■ 受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためICカード番号を表示するものです。

とびらを開けたところ

1 ① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼で「ICカード番号表示」を選び、決定を押す

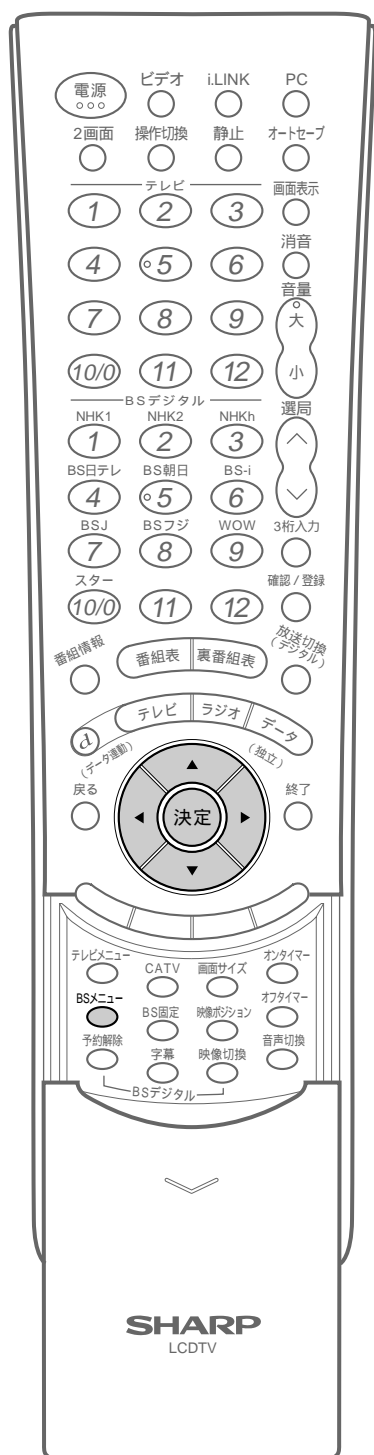
2 「実行」で決定を押し、ICカード番号表示を実行する

3 ① カード番号を確認する

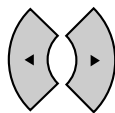
② 「戻る」で決定を押す

カード識別…メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。

カードID……カード固有の番号です。

グループID…複数セットで同一契約が可能になります。このときに同一のグループIDが異なるICカードに書き込まれます。

ＰＰＶ購入履歴を見る

■ 購入した最新２４個のＰＰＶ番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

とびらを開けたところ

1 BSメニューを押し、ＢＳメニュー画面を表示する

2 ◀ ▶で「お知らせ」を選ぶ

3 ▲ ▼で「ＰＰＶ購入履歴」を選び、決定を押す

• ＰＰＶ購入履歴画面が表示されます。

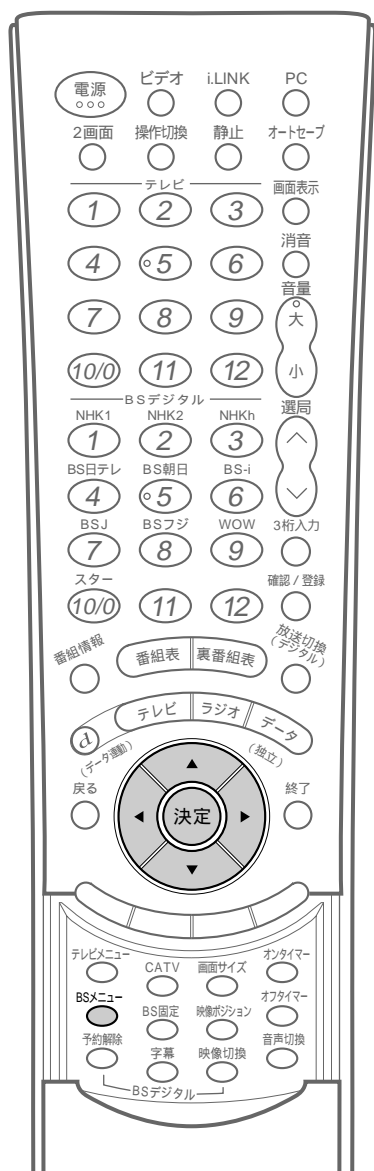
4 ① 画面を確認する

② 「戻る」で決定を押す

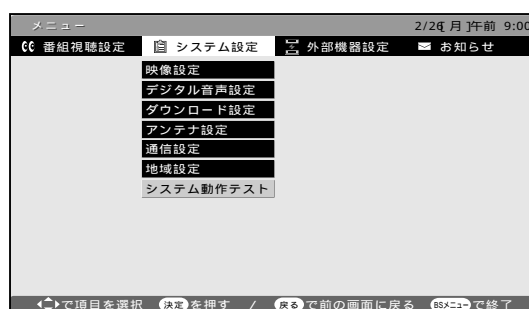
システム動作テストを行う

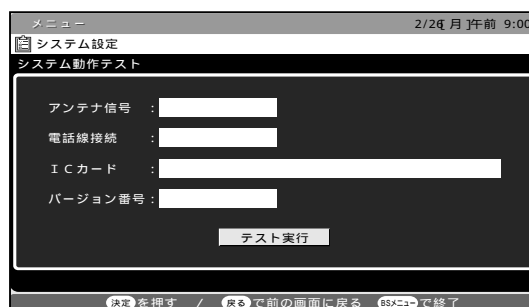
本機は、BSアンテナや電話回線が正しく接続されているか、また、ICカードが正しく装着されているか、などをテストできます。

とびらを開けたところ

1

① BSメニューを押し、BSメニュー画面を表示する

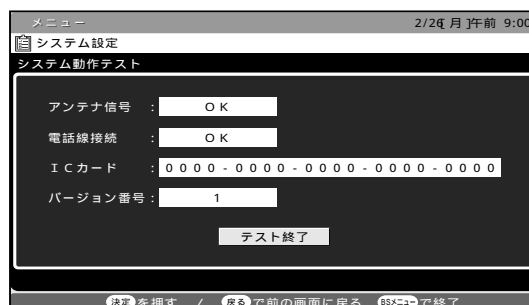
② ◀▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲▼で「システム動作テスト」を選び、決定を押す

2

「テスト実行」で決定を押し、テストを開始する

- 表示が「テスト実行中」に変わります。
  テストが終了すると「テスト終了」になります。

3

① 結果を確認する

② 「テスト終了」で決定を押す

システム動作テストに失敗したときは

アンテナ信号

BSアンテナの接続と設定を確認してください。⇨ 21・149ページ

電話線接続

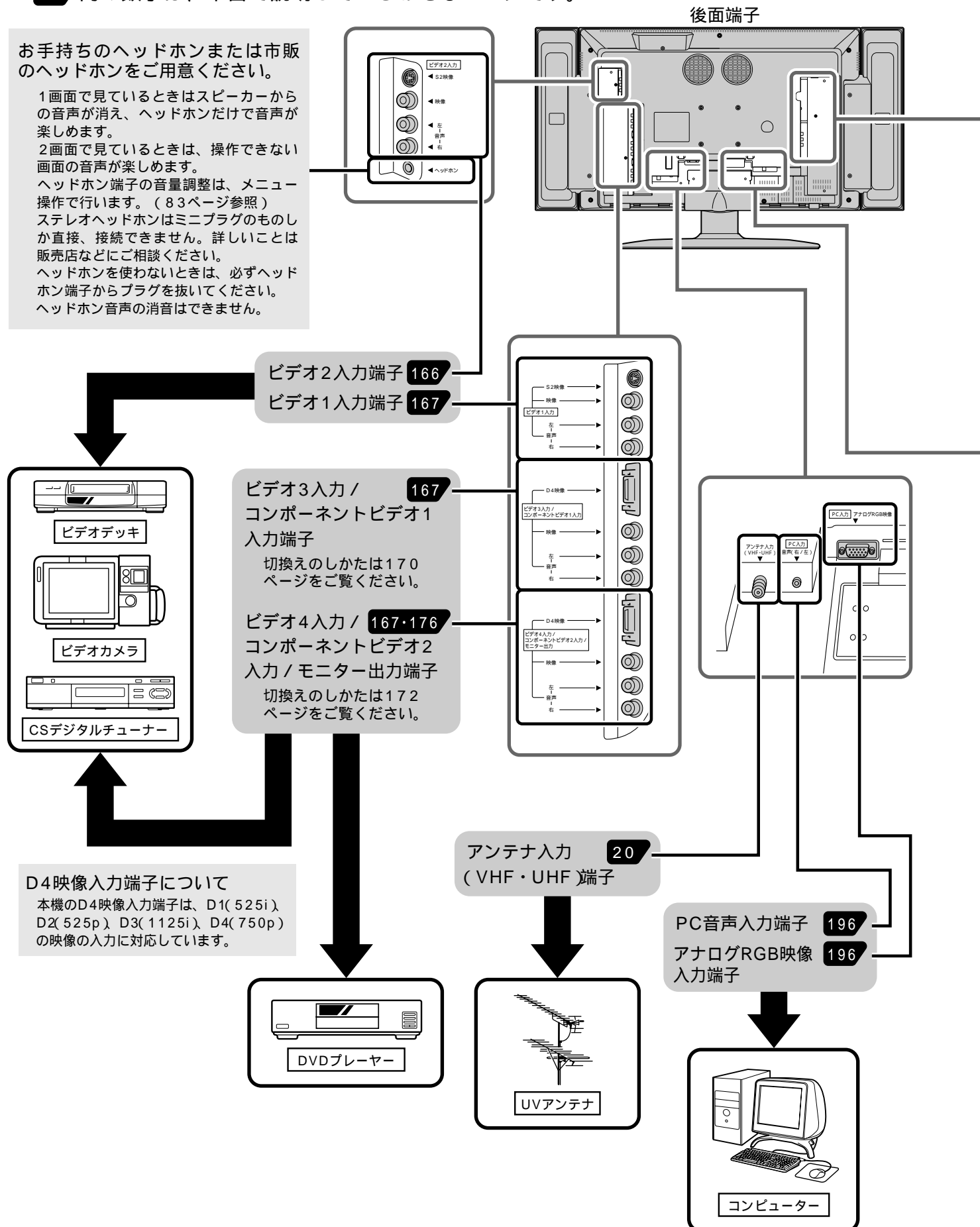
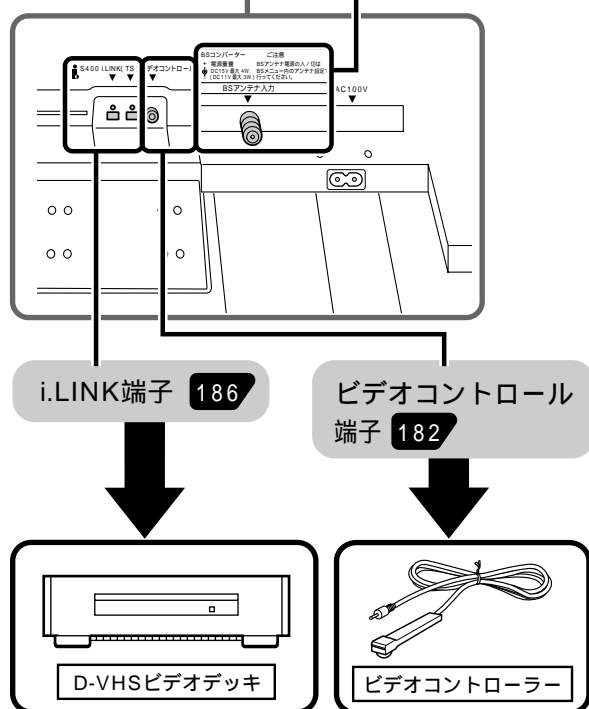
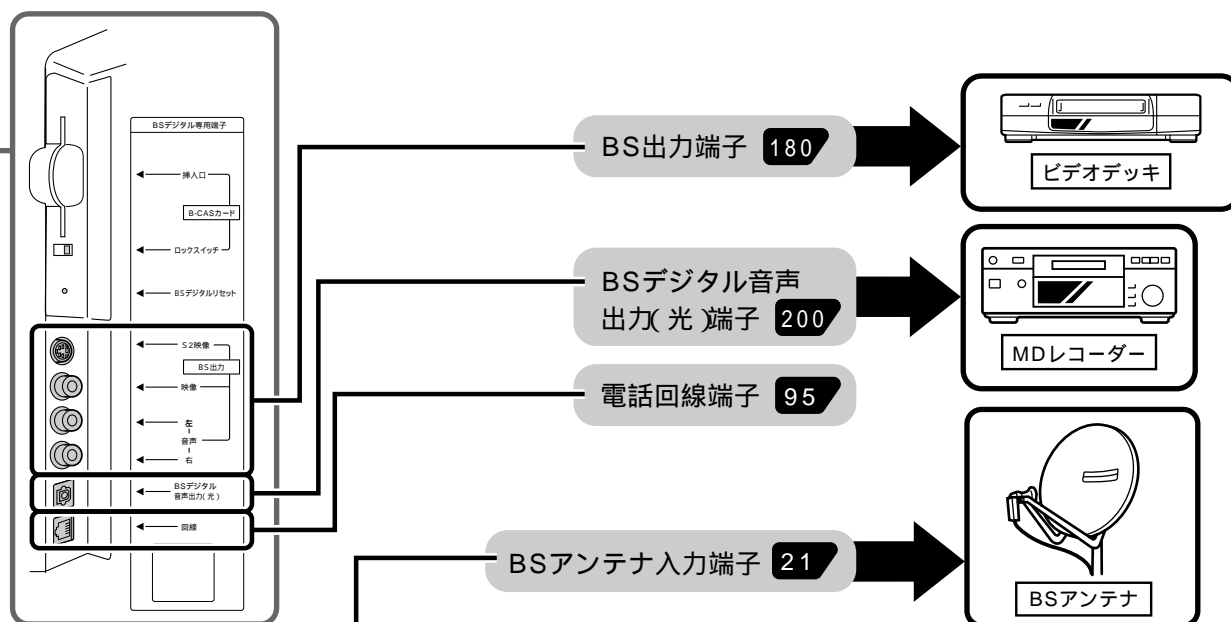
電話回線の接続と設定を確認してください。⇨ 95・152ページ

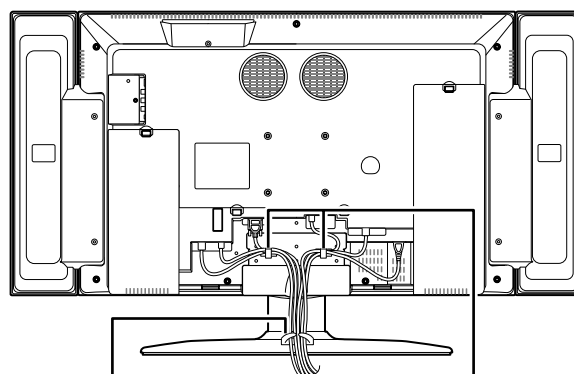
ICカード

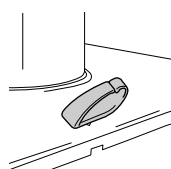
ICカードが正しく挿入されているか確認してください。⇨ 98ページ

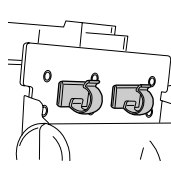
外部機器との接続

端子のなまえとはたらき

■ 　 内の数字は、本書で説明しているおもなページです。

ケーブル処理のしかた

各端子に接続したケーブルは、付属のケーブルクランプを使用して処理してください。

ケーブルクランプ(大)

スタンドの穴に挿入して、取り付けます。

ケーブルクランプ(小)

裏面のシールシートをはがして、貼り付けます。

接続上のご注意

- **接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。**
- **接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため電源を切ってください。**
- **接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜き取ってください。**
- **複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため使わない機器の電源は切っておいてください。**
- **接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いを十分に離してください。**

ご注意

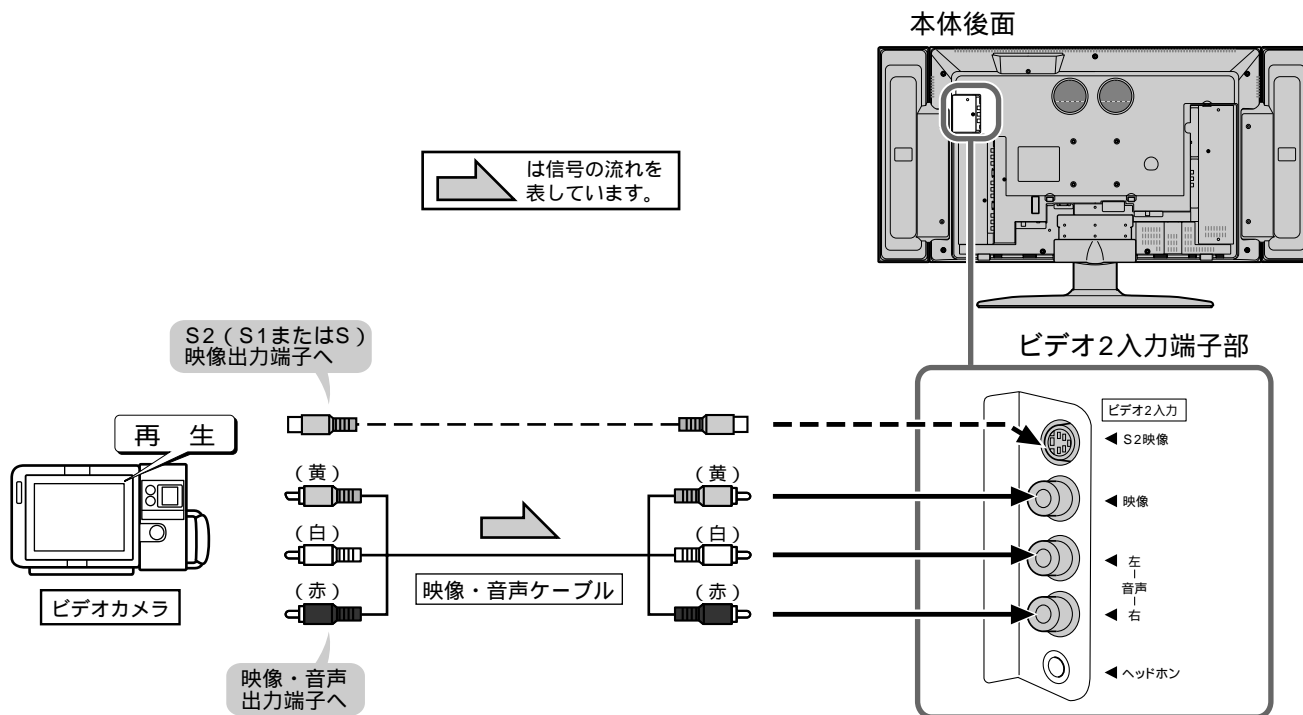
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

ビデオ機器の再生映像を楽しむ

■ 本機はビデオ入力端子4系統とBSデジタル出力端子1系統を搭載しています。
■ 映像・音声プラグと端子は、黄(映像)、白(音声左)、赤(音声右)の色分けがしてあります。
ケーブルと接続機器側のそれぞれの色が合うように接続してください。
■ 接続する機器に応じて、それぞれの端子に合う接続ケーブルをご用意ください。

ビデオ機器の接続について

映像・音声端子に接続する

- ビデオ1・3・4入力端子にも映像・音声ケーブルで接続ができます。

おしらせ

S2映像入力端子について

- S2映像入力端子は、より高画質な映像で再生するために映像信号を色信号と輝度信号に分離して入力する端子です。
- ビデオ1・2入力にあるS2映像端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声端子(左・右)に接続します。
- 本機は、フルモード制御信号の入った映像や、レターボックス制御信号の入った映像がビデオ1・2入力のS2映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定することができます。(**56**ページ)

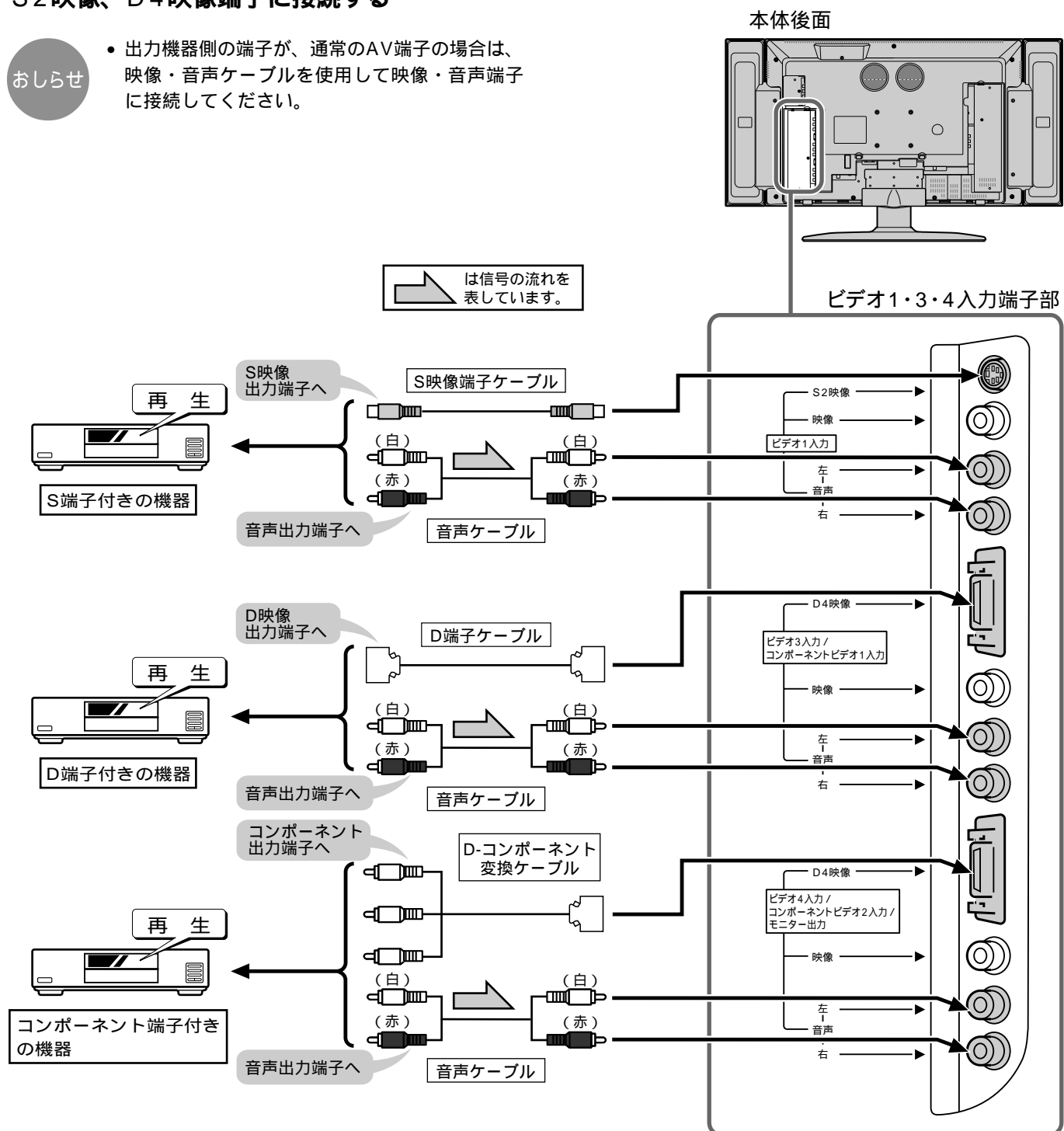
ビデオ入力のS2映像入力優先について

- ビデオ入力の映像端子とS2映像端子は、両端子とも接続しているとき、「ビデオ」の画面はS2映像端子からの入力映像になります。
- 映像入力端子に接続しているビデオ機器の映像を見るときは、S2映像入力端子のプラグを抜いてください。

■ DVDプレーヤーなどの出力端子に、高精細映像に対応した出力端子がついている場合は、出力端子に適合する接続をお選びください。より高画質な映像を楽しむことができます。

DVDプレーヤーなどの接続について

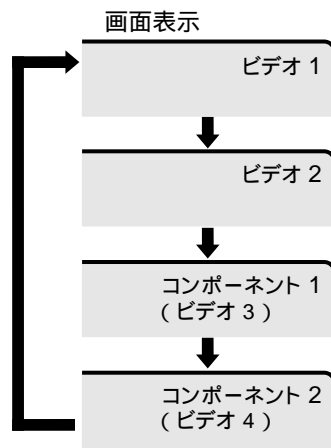
S2映像、D4映像端子に接続する

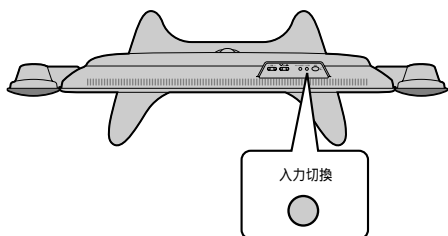
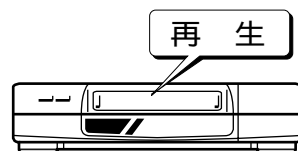
おしらせ
- 出力機器側の端子が、通常のAV端子の場合は、映像・音声ケーブルを使用して映像・音声端子に接続してください。

- 詳しくは、接続する機器の取扱説明書を合わせてお読みください。
- D4映像端子に接続した機器の入力映像は、モニター出力(ビデオ4)端子から出力されません。
- 本機に機器を接続するときは、直接接続してください。ビデオ機器を通して本機で映像を見ると、コピー防止機能の働きにより映像が乱れることがあります。

ビデオ機器の再生映像を楽しむ（つづき）

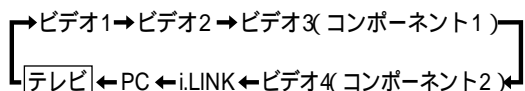
ビデオ機器の再生映像を見る

1 ビデオを押して、ビデオ機器を接続しているビデオ入力番号の画面に切り換える

▼画面表示

- ボタンを押すごとに、切り換わります。
- ビデオ3・4入力は工場出荷時に、ビデオ3は「コンポーネント1入力」、ビデオ4は「コンポーネント2入力」に設定されています。映像端子（黄色）に機器を接続するときは「入力選択」メニューで、ビデオ3は「ビデオ3入力」にビデオ4は「ビデオ4入力」にそれぞれ設定を切り換えてください。（170～173ページ参照）

▼本体天面

2 ビデオ機器を再生状態にする

おしらせ

- 本体天面操作部の**入力切換ボタン**で画面の入力を切り換えたときは、つぎのように切り換わります。

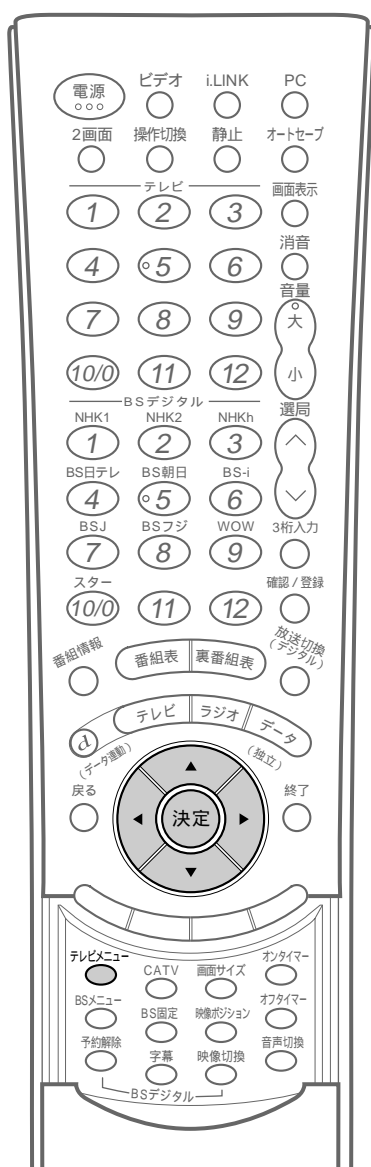
→ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3（コンポーネント1）→
テレビ←PC←i.LINK←ビデオ4（コンポーネント2）←

- 詳しくは接続する機器の取扱説明書を合わせてお読みください。

再生映像をすっきりさせる

「ノイズクリーン」機能を使う

- （70ページをご覧ください）

■ フィルムモードで見る：
DVDなど、映画ソフトの映像がチラついて気になるときは、フィルムモードにすると動きのなめらかな映像で見ることができます。

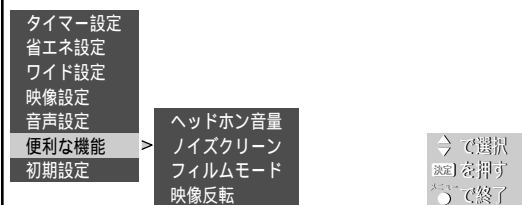
とびらを開けたところ

おしらせ

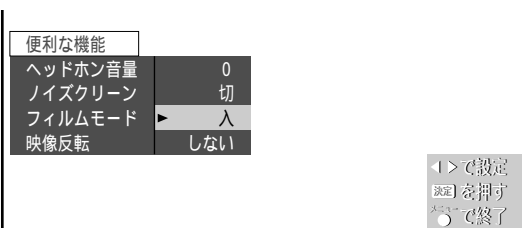
- フィルムモードはDVD再生など、映画ソフトの映像の動きをなめらかにする機能です。通常は「切」にしてください。

DVD映像のチラツキが気になるとき（フィルムモード）

<例> フィルムモードを「入」に設定する

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲▼で「便利な機能」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「フィルムモード」を選び、決定を押す

4 ◀▶で「入」を選び、決定を押す

5 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

入力選択の設定

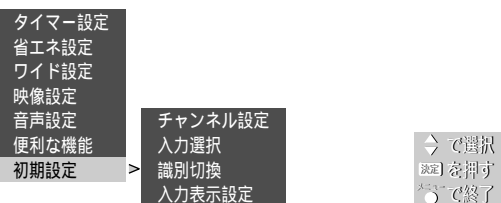
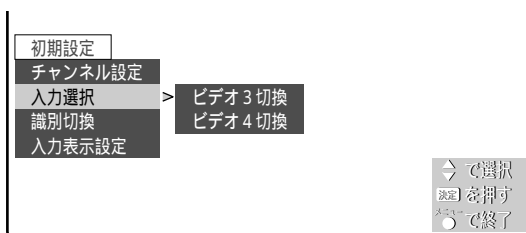
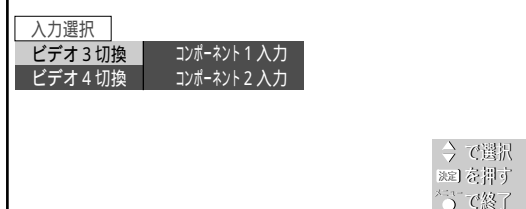
■ ビデオ3入力の設定：
ビデオ3入力端子は、2種類の切換え設定ができます。入力する端子に合わせて切換え設定を行ってください。
（工場出荷時は「コンポーネント1入力」に設定されています。）

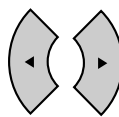
- **ビデオ3入力：**
  映像、音声端子に機器を接続したとき。
- **コンポーネント1入力：**
  D4映像端子に機器を接続したとき。

ビデオ3入力端子の設定のしかた

＜例＞「ビデオ3入力」に設定する

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「初期設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「入力選択」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「ビデオ３切換」を選び、決定を押す

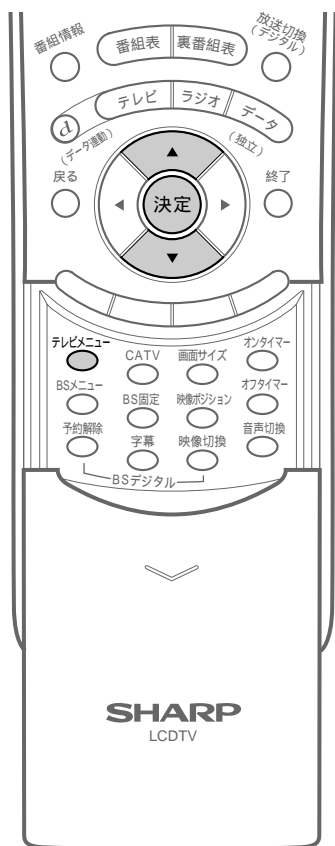
とびらを開けたところ

5 ◀ ▶ で「ビデオ３入力」を選び、決定を押す

6 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

入力選択の設定(つづき)

■ ビデオ4入力の設定：
ビデオ4入力端子は、４種類の切換え設定ができます。
（工場出荷時は「コンポーネント2入力」に設定されています。）

- **ビデオ4入力：**
映像、音声端子に機器を接続したとき。
- **コンポーネント2入力：**
D４映像端子に機器を接続したとき。
- **モニター出力可変：**
モニター出力として使用するとき、可変に設定するとスピーカーからの音声は出力されません。音量ボタンでモニター出力の音量出力レベルを調整することができます。
- **モニター出力固定：**
モニター出力として使用するとき、固定に設定するとモニター出力の音量レベルは一定で出力されます。スピーカーの音量を調整してもモニター出力のレベルは変化しません。

とびらを開けたところ

ビデオ4入力端子の設定のしかた

<例>「モニター出力可変」に設定する

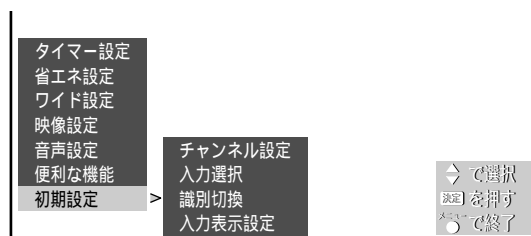
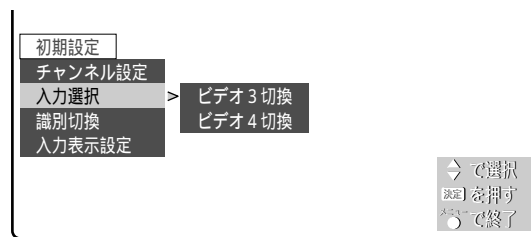
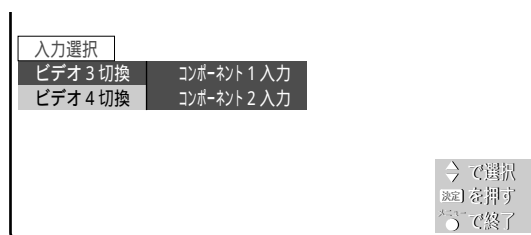
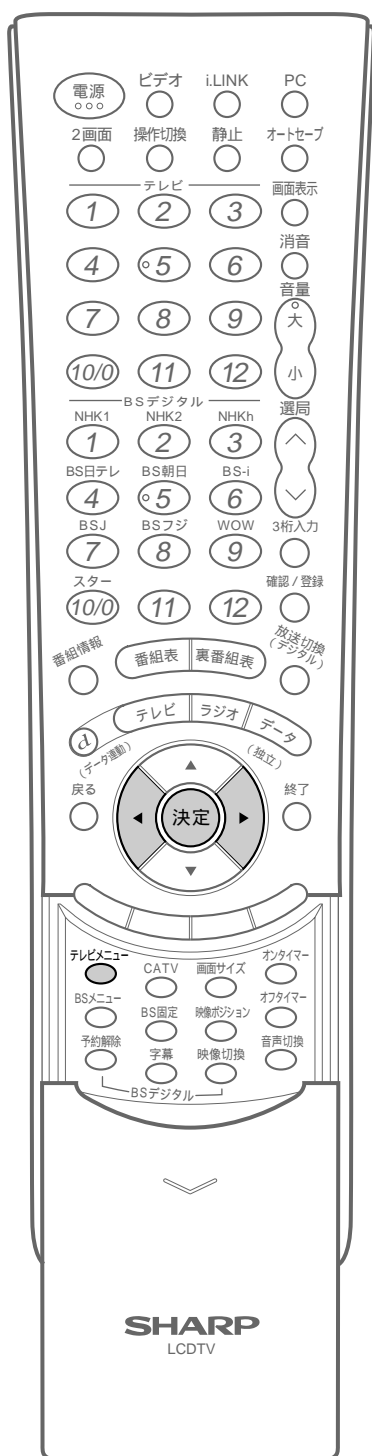
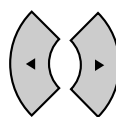
1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

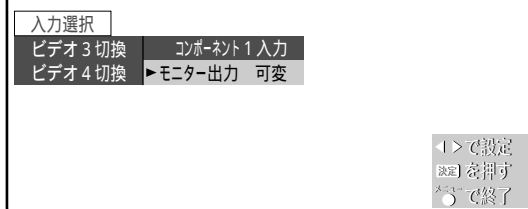
2 ▲ ▼ で「初期設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「入力選択」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「ビデオ４切換」を選び、決定を押す

おしらせ

- オンタイマーの「チャンネル」設定にビデオ4を選んだときは、「モニター出力(可変／固定)」に設定できません。

とびらを開けたところ

5 ◀▶で「モニター出力可変」を選び、決定を押す

6 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

- モニター出力に設定したときは、ビデオ入力を切り換えてもビデオ４（コンポーネント２）はスキップされます。

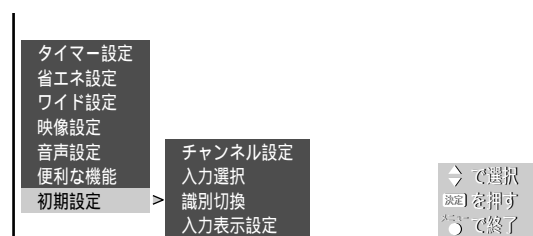
外部機器に表示を合わせる

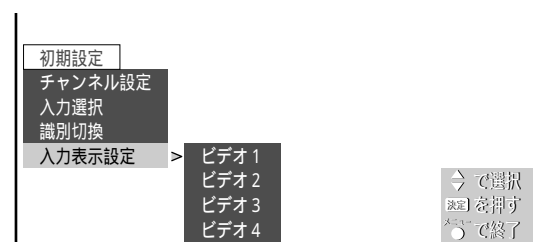
■ 入力表示設定：
ビデオ1〜4入力端子に接続している外部機器に合わせて、画面に表示する機器の名称を設定することができます。

とびらを開けたところ

入力表示設定をする

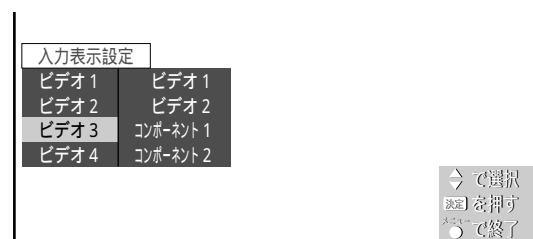
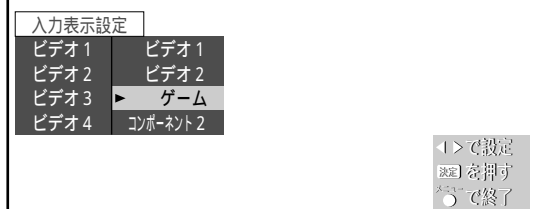
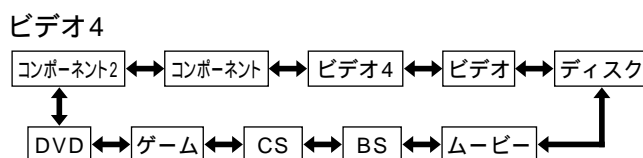
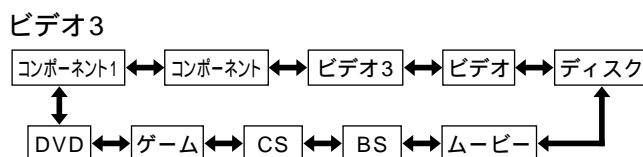
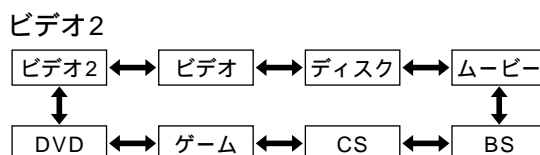
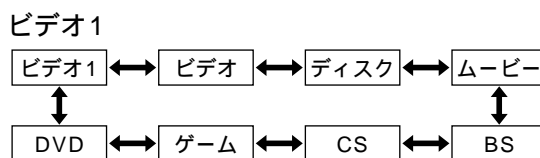
＜例＞ビデオ3の表示を「ゲーム」に変える

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「初期設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「入力表示設定」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「ビデオ3」を選び、決定を押す

5 ◀ ▶ で「ゲーム」を選び、決定 を押す

入力表示設定
ビデオ1　ビデオ1
ビデオ2　ビデオ2
ビデオ3　▶ ゲーム
ビデオ4　コンポーネント2

◀▶で設定
決定を押す
メニューで終了

6 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

- **ビデオ入力を切り換えると「ゲーム」と表示されます。**
- **「ゲーム」表示を選んだ場合は、リモコンのビデオボタン、または本体の入力切換ボタンを押して「ゲーム」画面にしてから2時間が経過すると、「2時間がたちました」というメッセージが5分間表示されます。**

おしらせ

- ゲームの種類の中でピストル等を使った「シューティングゲーム」はできません。

入力表示設定できる名称

ビデオ1

ビデオ2

ビデオ3

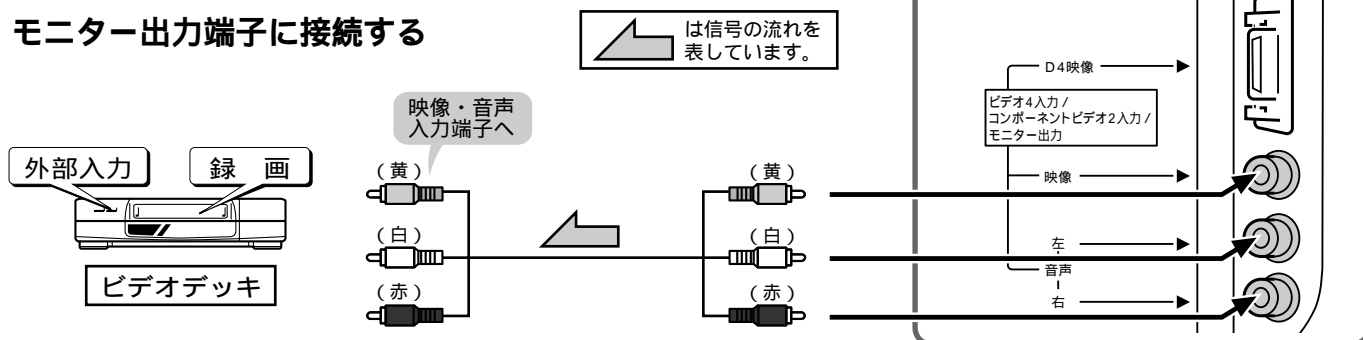
ビデオ4

コンポーネント2 ⟷ コンポーネント ⟷ ビデオ4 ⟷ ビデオ ⟷ ディスク

DVD ⟷ ゲーム ⟷ CS ⟷ BS ⟷ ムービー

録画・編集

■ 本機で受信しているテレビの映像と音声を、ビデオ4入力／モニター出力端子から出力することができます。
メニューで設定を「モニター出力」に切り換えて、本機のビデオ4入力／モニター出力端子とビデオデッキ側の入力端子を接続すると、受信した映像と音声がビデオデッキ側で録画できます。

モニター出力端子に接続する

テレビ番組を録画する

<例>6チャンネルの番組を録画する

1 **テレビチャンネル⑥を押し、録画する番組を選ぶ**

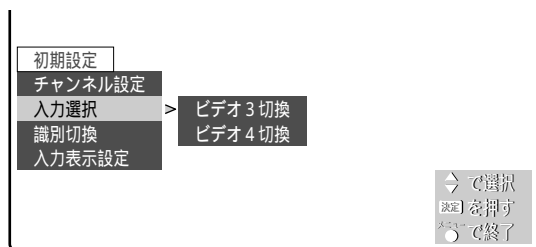
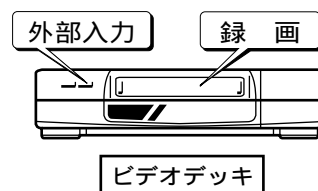
2 **（テレビメニュー）を押し、メニュー画面を表示する**

3 **▲ ▼で「初期設定」を選び、（決定）を押す**

4 ▲ ▼で「入力選択」を選び、決定を押す

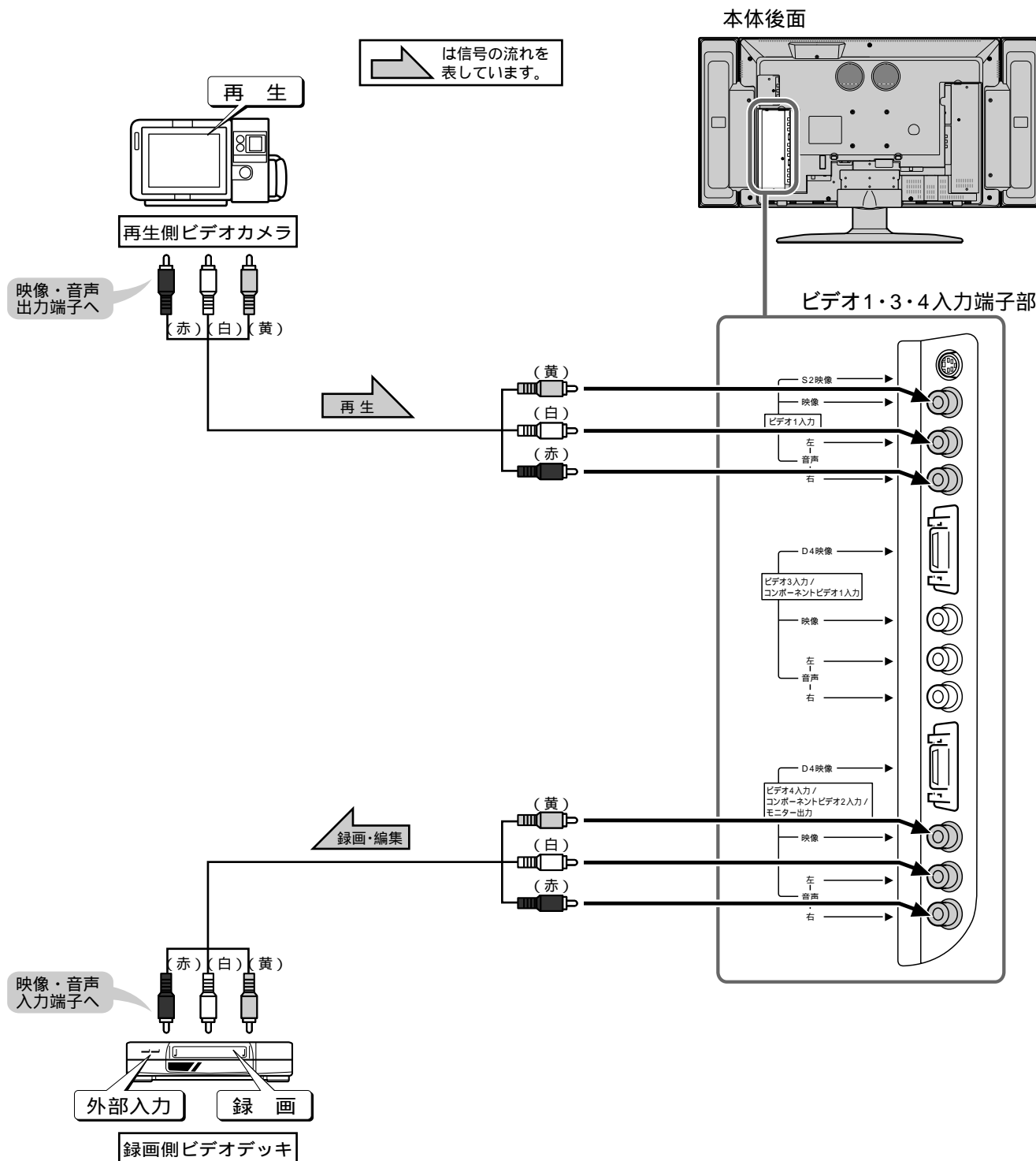
5 ▲ ▼で「ビデオ４切換」を選び、決定を押す

6 ◀ ▶で「モニター出力可変」または「モニター出力固定」を選び、決定を押す

- **ビデオデッキに録画用のモニター出力信号が入力されます。**

7 ビデオデッキを外部入力（モニター出力を接続している外部入力番号）に切り換えて、「録画」状態にする

- **これで本機が受信しているテレビ番組を、ビデオデッキに録画することができます。**

- 録画をするビデオデッキの入力切換えについて、詳しくはビデオデッキに付属の取扱説明書をご覧ください。
- BSデジタル放送を録画するときは、「BSデジタル放送を録画する」（**180**ページ）および「ビデオコントローラーを使って予約する」（**182**ページ）をご覧ください。
- テレビチャンネルを切り換えると、モニター出力端子の映像も変わってしまいます。
- D4映像端子から入力された信号と、BSデジタル放送の信号はモニター出力（ビデオ4）端子から出力されません。
- オンタイマーの「チャンネル」設定にビデオ4を選んだときは、「モニター出力（可変／固定）」に設定できません。
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録画・編集(つづき)

■ 本機のビデオ入力端子に接続したビデオカメラなどの映像を、モニター出力端子に接続したビデオデッキで録画することができます。

• D4映像端子に接続した機器の入力映像は、モニター出力(ビデオ4)から出力されません。
録画・編集するときは、D4映像端子に接続しないでください。

ビデオカメラなどの映像を録画・編集する

<例>ビデオ1入力に接続したビデオカメラの映像を録画・編集する

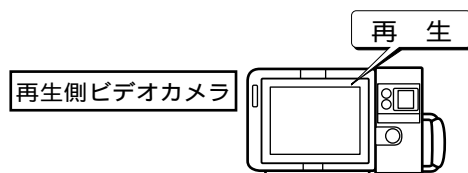
とびらを開けたところ

1 ビデオ を押し、画面を「ビデオ1」に切り換える（168ページ参照）

（168ページ参照）

2 録画側ビデオデッキを接続したビデオ4入力端子の設定を「モニター出力」に切り換える（172～173ページ参照）

3 録画側ビデオデッキを外部入力に切り換えて、「録画」状態にする

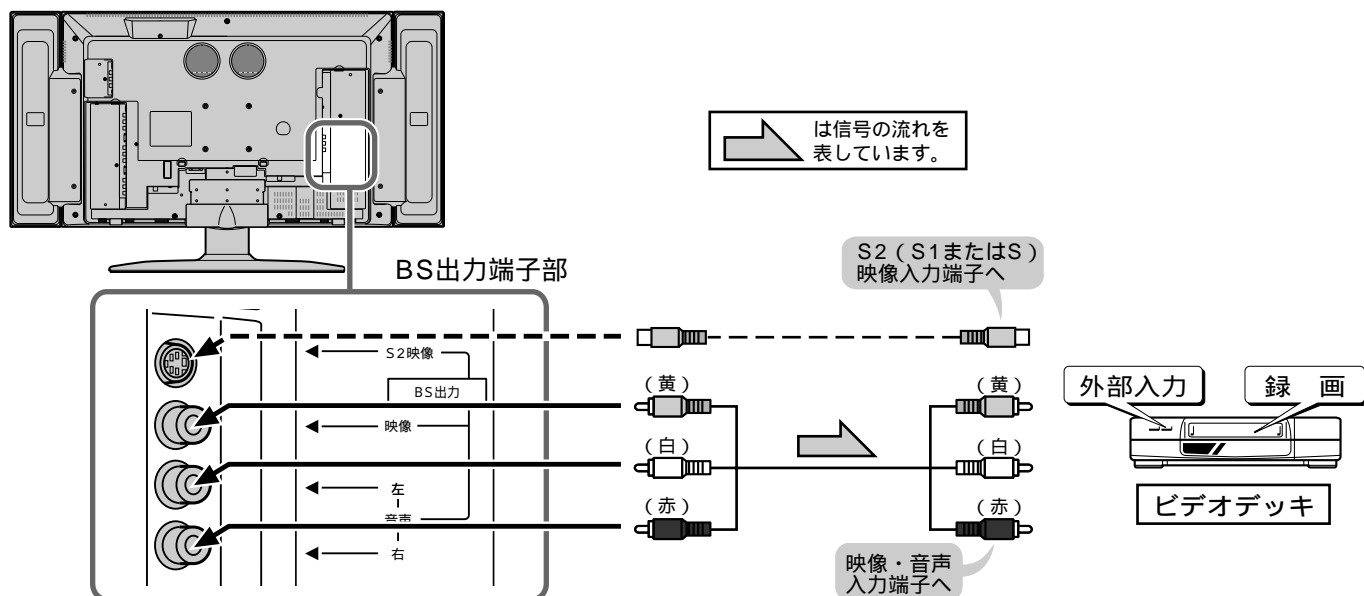
4 ビデオ1入力に接続したビデオカメラを「再生」状態にする

- **これでテレビ画面で内容を確認しながら、再生側ビデオカメラから録画側ビデオデッキへ録画・編集することができます。**

おしらせ
- 接続する機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録画・編集(つづき)

■ 本機後面のBSデジタル専用端子にビデオデッキを接続して、BSデジタル放送を録画することができます。また、D-VHSビデオデッキを接続して録画するときは、i.LINKを使って録画できます。(**186・188**ページをご覧ください。)

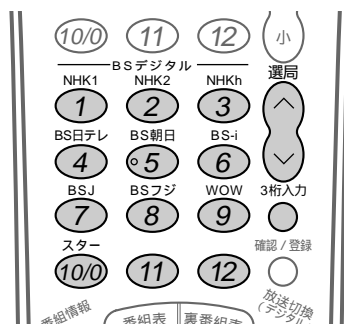
BSデジタル専用端子に接続する

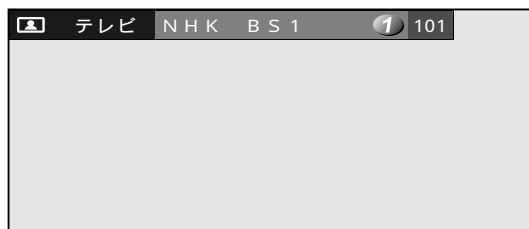
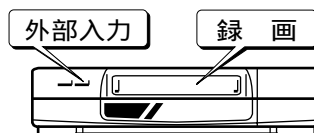
▼本体後面

- BSデジタル出力端子からは、BSデジタル放送のハイビジョン画質(走査線1125本)を映像を標準画質(走査線525本)に変換して出力します。したがって、**接続されたビデオデッキでは標準画質で録画されます。**
- ハイビジョン画質で録画するときは、D-VHSビデオデッキをi.LINK接続して、i.LINK設定を行ってください。(**186・188**ページ参照)
- 番組により、録画・録音が制限されている場合があります。
- 2画面機能を入/切すると、BSデジタル出力の映像が一瞬途切れた状態になりますが、異常ではありません。
- BSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。

BSデジタル放送を録画する

<例>NHK BS1の番組を録画する

1 **BSチャンネル(1)を押し、録画する番組を選ぶ**

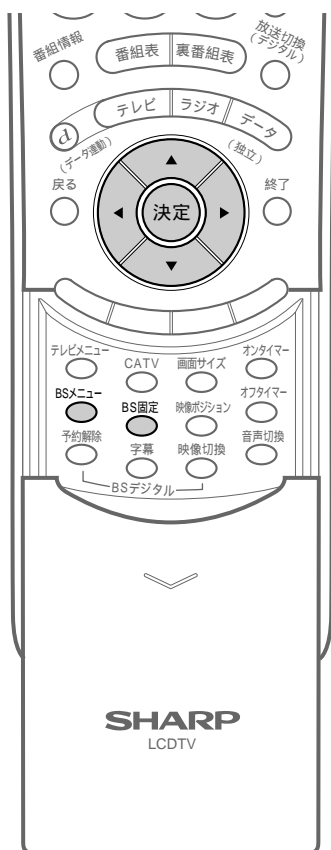
2 **ビデオデッキを外部入力に切り換えて、「録画」状態にする**

おしらせ

- 本機の映像出力から録画した映像を4:3のテレビで視聴すると、縦長の映像になります。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ＢＳ固定の設定

■「ＢＳ固定」とは、現在受信しているＢＳデジタル放送のチャンネルに固定する機能です。
ＢＳデジタル番組を録画しているとき、誤ってチャンネルを変えてしまうのを防ぐことができます。
また、ＢＳデジタル番組を録画しながら地上放送やCATV放送の裏番組を視聴できます。

■ＢＳ固定は、リモコンでの直接操作またはＢＳメニュー画面操作のいずれでも設定することができます。
どちらで設定しても動作は同じです。

とびらを開けたところ

1

① 固定したいＢＳデジタル放送のチャンネルを選局する

② (BS固定)を押す

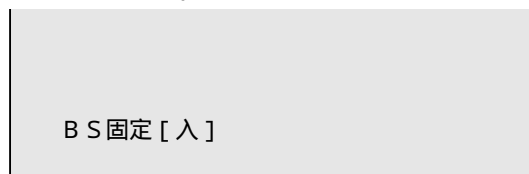
- **画面左下にBS固定表示が出ます。**

ＢＳ固定表示

2

もう一度、(BS固定)を押す

- **BS固定表示が出ている間にボタンを押すと、BS固定を入／切できます。**

ＢＳ固定［入］

BSメニュー画面から設定するとき

1. **BSメニューボタンを押し、BSメニュー画面を表示する**
2. **カーソルボタンで「番組視聴設定」の「BS固定設定」を選び、決定ボタンを押す**
3. **左右カーソルボタンで「する」または「しない」を選び、決定ボタンを押す**
4. **BSメニューボタンを押し、通常画面に戻す**

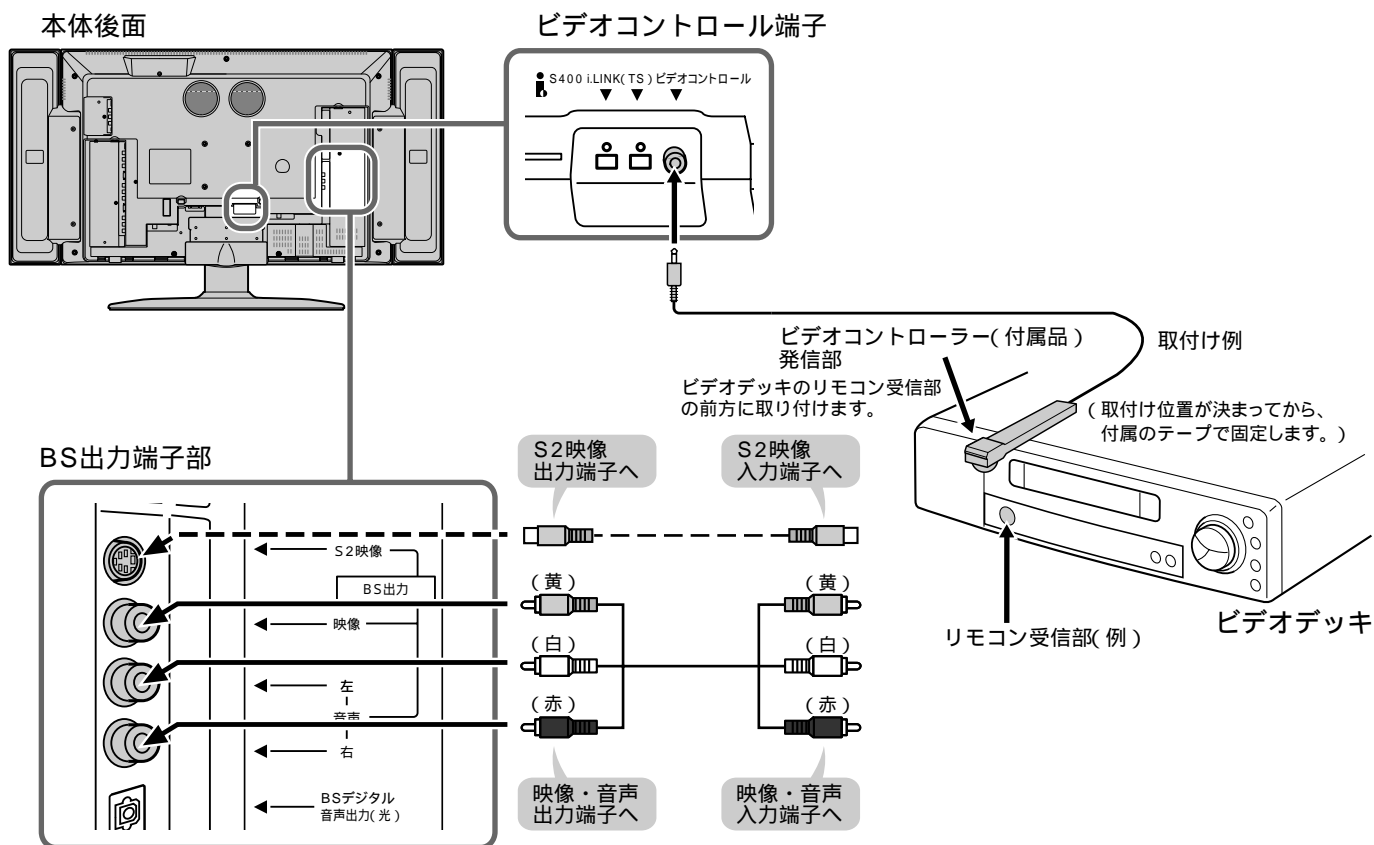
- ＢＳ固定時は、ＢＳデジタル放送関連の操作（ＢＳデジタル放送の選局、メニュー・番組内容・番組表の表示等）ができません。
- ＢＳ固定時は、i.LINK操作パネルを表示できません。
- ＢＳ固定中に録画・視聴予約時間になると、ＢＳ固定が自動的に解除されます。
- 予約録画実行中やi.LINK入力時には、ＢＳ固定ができません。
- ＢＳデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「ＢＳ固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。

録画・編集(つづき)

ビデオコントローラーを使って予約する(ビデオ連動録画)

ビデオコントローラーを使うと、予約した時刻にビデオコントローラーからリモコンに信号が送信され、ビデオデッキの電源の入/切や録画の開始/停止を行い、本機の予約機能と連動して録画(ビデオ連動録画)することができます。この場合、ビデオデッキの予約設定は必要ありません。

■ ビデオデッキによっては、リモコン信号が異なるため動作しない場合があります。そのときは、ビデオコントローラーは使用できません。また、ビデオ内蔵型テレビにも録画できません。

接続のしかた(ビデオコントローラーと映像・音声ケーブルをつなぎます)

機種番号について

■ メーカーにより複数のリモコン信号を採用しているため、つぎの機種番号で区分されます。

メーカー	機種番号	メーカー	機種番号
シャープ	1,2,3,4,5,6,7,8	ビクター	1,2,3
アイワ	1,2,3,4	日立	1,2,3
NEC	1,2,3,4	フナイ	1
サンヨー	1,2,3,4	松下	1,2,3,4,5,6
ソニー	1,2,3,4,5,6	三菱	1,2,3,4
東芝	1,2,3,4,5,6	パイオニア	1,2,3

工場出荷時の設定:シャープ

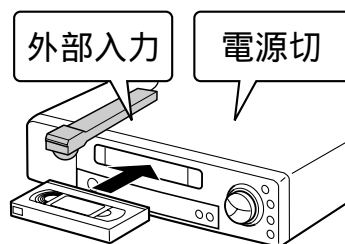
ビデオコントローラー取付けの際のご注意

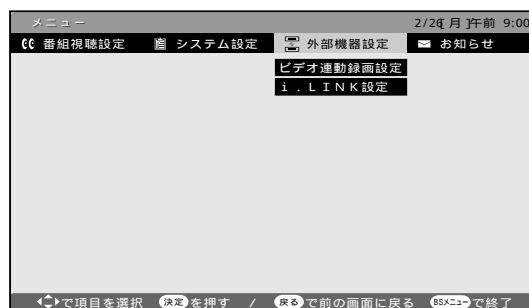
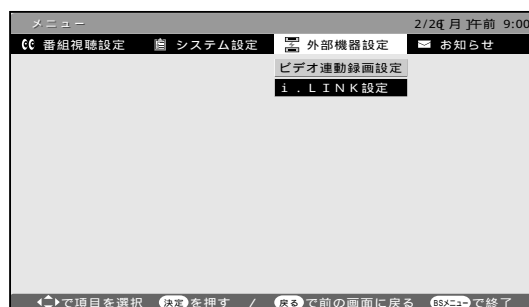
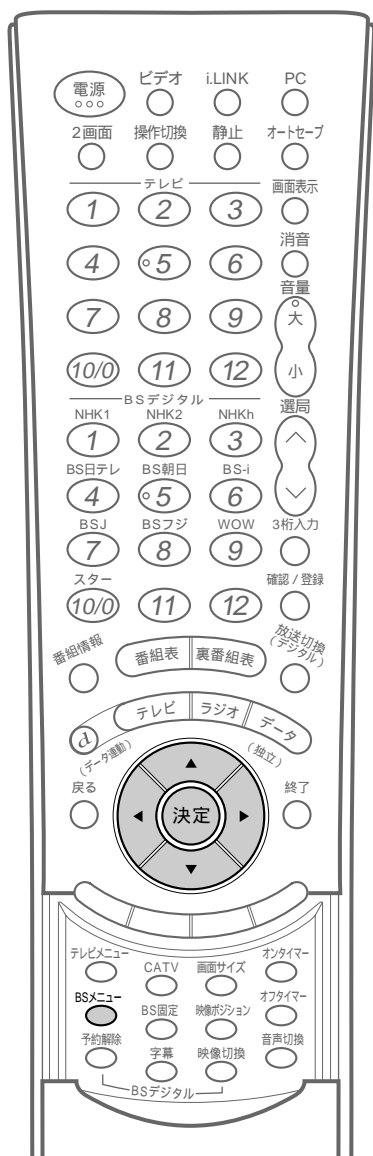
- リモコン受信部の位置は、ビデオデッキやメーカーによって異なります。一般的には、液晶表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
- ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いていることをご確認ください。
- ビデオコントローラーを取り付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、**183〜185**ページ「ビデオ連動録画の設定」のテストでビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

ビデオ連動録画の設定

とびらを開けたところ

1 ビデオデッキの準備をする

①本機につなぐ。（１８２ページ参照）
②ビデオコントローラーを取り付ける。（１８２ページ参照）
③外部入力に切り換える。
④録画用ビデオテープを入れる。
⑤電源を「切」にする。

2 ① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ

3 ▲ ▼ で「ビデオ連動録画設定」を選び、決定を押す

- 「ビデオ連動録画設定」の確認画面が表示されます。

おしらせ

- ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは必要ありません。

つぎへ ▶

とびらを開けたところ

おしらせ

- ビデオコントローラーの取付け位置が適切でないためにビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。その場合は、手順6、7、8でテストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にビデオコントローラーを固定してください。

4

① ビデオコントローラーの接続を確認する

② 「次へ」で 決定 を押す

5

お使いのビデオデッキのメーカーを ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定 を押す

6

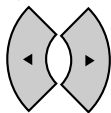
「テスト実行」で 決定 を押し、テストを開始する

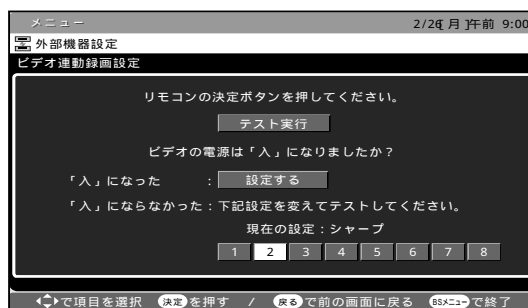
テストの結果

- **ビデオデッキの電源が「入」になった(正常)**
  ⇨ 手順9に進みます。
- **ビデオデッキの電源が「入」にならなかったとき**
  ⇨ ビデオデッキの接続、ビデオコントローラーの取付け、メーカーを確認し、手順7に進みます。

とびらを開けたところ

7

① ▼でカーソルを機種番号の欄に移動する

② でメーカーの機種番号を選び、を押す

• １８２ページ「機種番号について」の表を参考に機種番号を選んでください。機種番号が複数あるメーカーの場合は、お使いのビデオデッキが操作できるようになるまで手順7、8をくり返してください。

8

決定を押し、テストを実行する

9

ビデオデッキの電源が「入」になったことを確認し、▲▼で「設定する」を選び、決定を押す

• ビデオ連動録画が設定され、メニュー画面に戻ります。

設定が終了したら、再度ビデオデッキの電源を「切」にします。

• 予約した時刻になると、ビデオデッキの電源が入り、録画が開始されます。
• 録画予約のしかたについては、１２０～１３４ページをご覧ください。

おしらせ

• ビデオコントローラーのテストで、どの機種番号を選んでもビデオデッキの電源が「入」にならない場合は、ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いているか、再度ご確認ください。
• ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは必要ありません。

D-VHSビデオデッキをつなぐ（i.LINK）

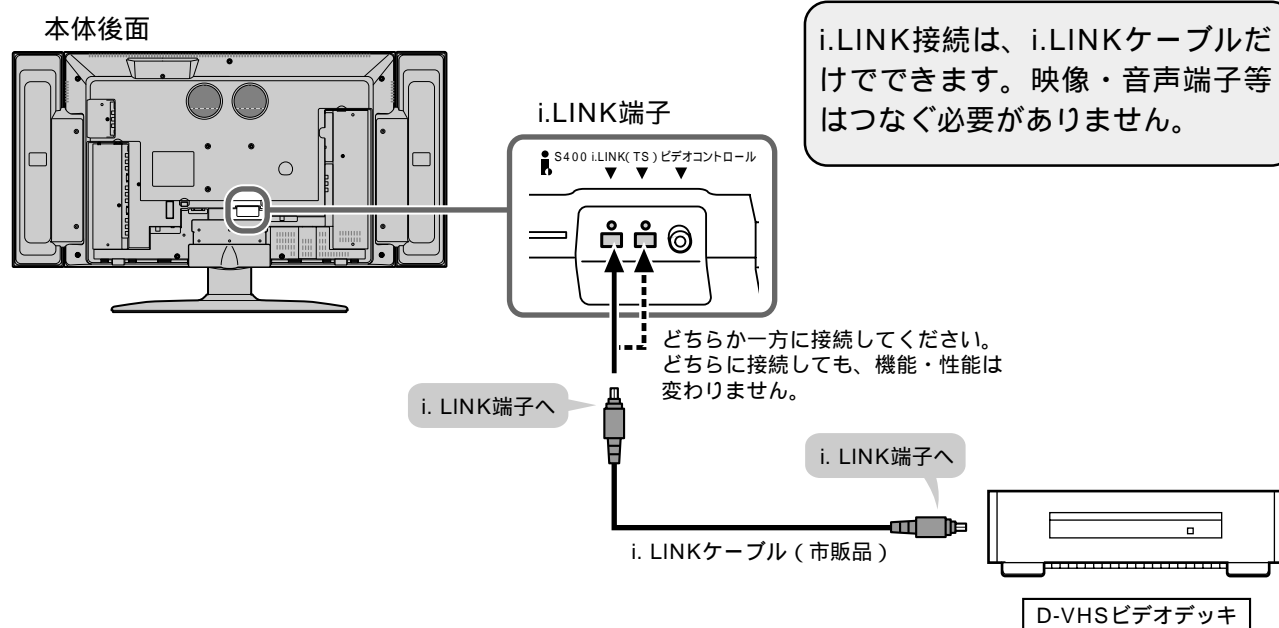
i.LINK（アイリンク）について

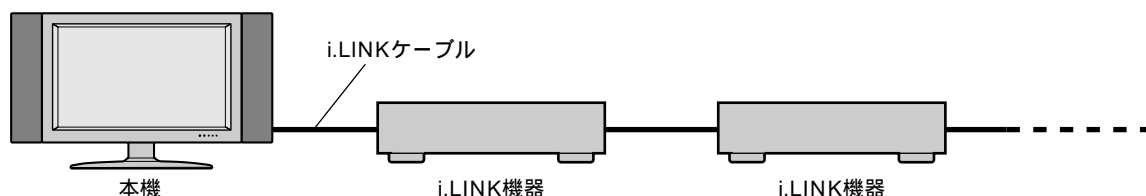
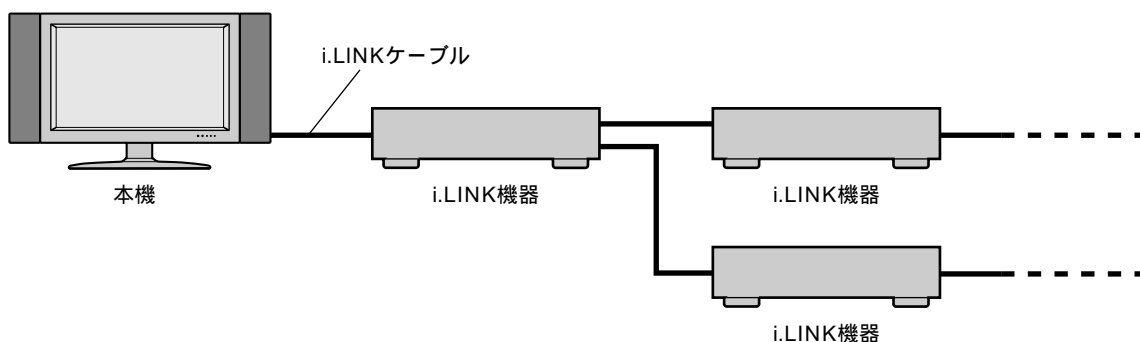
■ i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送速度が可能です。

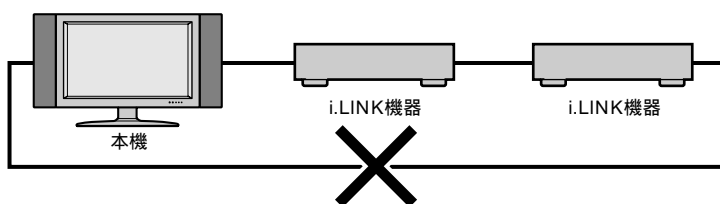
本機に接続できるi.LINK機器について

■ 本機が対応しているi.LINK機器はD-VHSビデオデッキのみです。DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、パソコン、パソコン周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

i.LINK接続のしかた

<例>接続するi.LINK機器（D-VHSビデオデッキ）が1台の場合

i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)が2台以上のとき

■ i.LINKケーブルを使い、デイジー・チェーン(数珠つなぎ)で接続します。この接続では、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を16台までつなげます。

■ i.LINK端子が3つ以上ある機器の場合は、分岐をしてつなぐこともできます。分岐をして接続する場合は、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を最大62台までつなげます。

接続に関するご注意

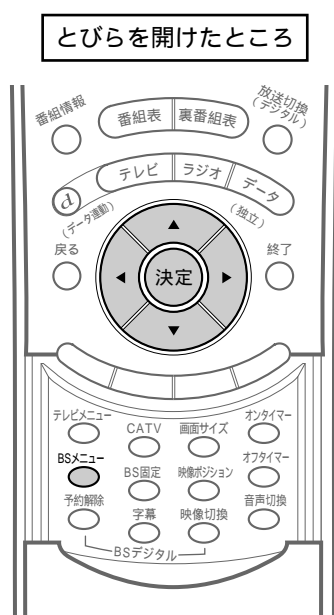
- 接続の際は、「S400」タイプのi.LINKケーブルをご使用ください。
- 一部のi.LINK機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。
  BSメニューの「電源待機設定」を「する」に設定してください。(**189**ページ参照)
- 下図のようなループ(輪)接続をしないでください。

- i.LINK機能使用中は、使用していないi.LINK機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像・音声が乱れることがあります。
- DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、パソコン、パソコン周辺機器など、本機が対応していない機器を同時に接続していると、誤動作することがあります。

D-VHSビデオデッキをつなぐ（i.LINK）（つづき）

i.LINK端子からD-VHSビデオデッキに録画する

■ i.LINKに関する説明、i.LINK端子へのD-VHSビデオデッキの接続方法、i.LINK操作パネルの見かたと使いかたについては、**186・194**ページをご覧ください。

■ ここでは、i.LINK接続したD-VHSビデオデッキを使用するための設定および録画操作について説明します。

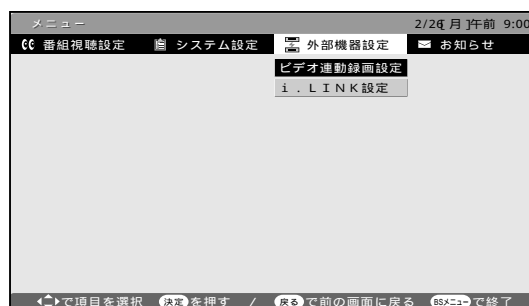
とびらを開けたところ

録画モードの設定

- **本機には、録画時にD-VHSビデオデッキの録画モードを自動的に制御する機能があり、その機能を「入」にするかしないかを選ぶことができます。**

1

① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「i.LINK設定」を選び、決定を押す

2

「録画モード設定」で 決定 を押す

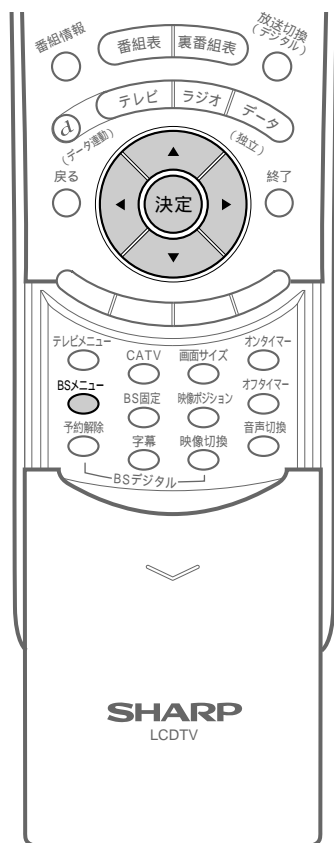
3

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

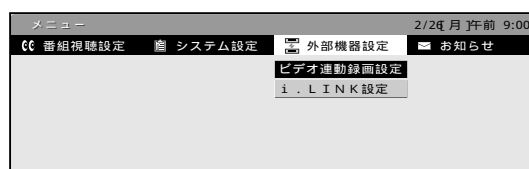
- 現在発売されているD-VHSビデオデッキのほとんどは、記録している映像・音声の伝送レートを自動認識し録画モードを制御するため、**本機の「録画モード設定」は通常「しない」に設定してください。**
- D-VHSビデオデッキの種類や、D-VHSビデオデッキで記録しようとしている放送の内容によっては、本機から録画モードを正常に制御できない場合があります。この場合は、本機の「録画モード設定」を「しない」に設定してください。

i.LINK電源待機の設定

- **本機では、i.LINK電源待機の設定により電源待機時の消費電力を少なくすることができます。**
- **i.LINK機器を接続していない場合は、消費電力が小さくなる「しない」を選択してください。**

とびらを開けたところ

1 ① BSメニュー を押し、BSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「i.LINK設定」を選び、決定 を押す

2 ▼ で「電源待機設定」を選び、決定 を押す

3 ◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」……電源待機時にもi.LINK回路を通電し、データの中継ができるようにします。

「しない」…電源待機時の消費電力を少なくします。ただし、データの中継はできません。

お願い

- 複数のi.LINK機器をi.LINKケーブルで接続した場合、本機の「電源待機設定」を「しない」に設定して電源を待機状態（電源ランプ赤色点灯）にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、本機の「電源待機設定」を「する」に設定するか、下図のように本機をi.LINK機器の末端に接続してください。

おしらせ

- 本機の電源が待機状態（電源ランプ赤色点灯）のときは、外部機器からのi.LINK制御コマンドを受けつけることができません。これは「電源待機設定」を「する」に設定しても同じです。外部機器から本機をi.LINK制御する場合は、本機の電源を「入」（電源ランプ緑色点灯）にしてから行ってください。

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

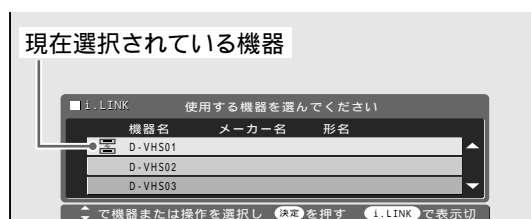
- **本機からi.LINK機器を操作するためには、使用するi.LINK機器を選択する必要があります。**
- **最大16台のi.LINK機器から、使用する1台を選択できます。**
- **最初に接続した1台は、自動的に選択されます。**
- **接続されたi.LINK機器は、自動的に機器選択画面のリストに登録されます。**

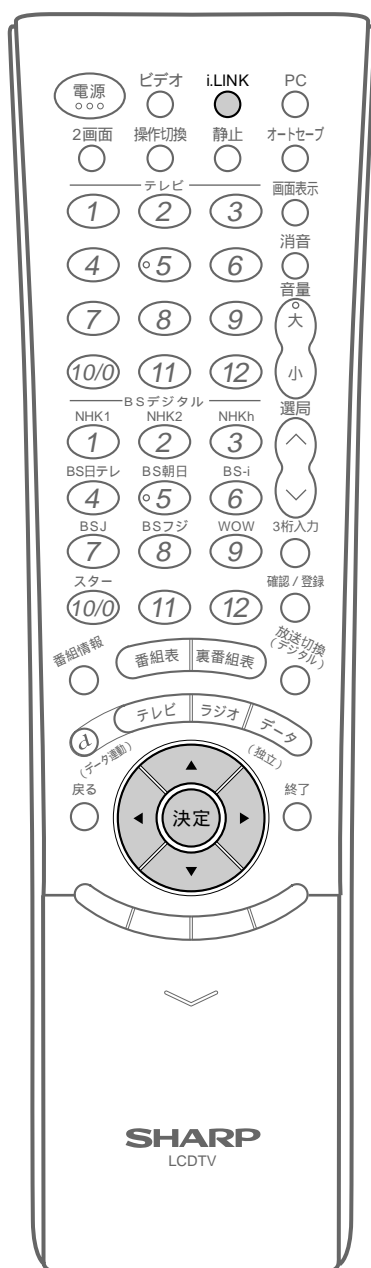
- 本機で使用することができない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。
- 機器選択画面のリスト項目が暗くなっているi.LINK機器は、接続されていないなど、本機が認識できない状態を示しています。このような機器は使用する機器として選択することができません。

i.LINK機器の選択

1 i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

- **i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。(186ページ参照)**
- **i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順3に進んでください。**

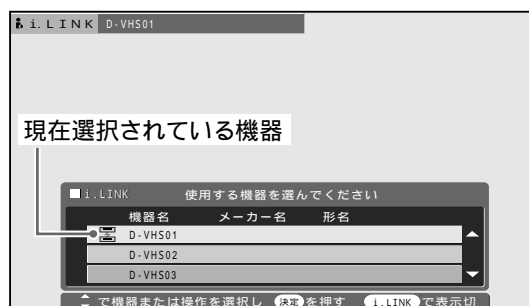
2 ▲▼で「機器選択」を選び、決定を押して、機器選択画面を表示する

3 操作したい機器を▲▼で選び、決定を押す

- **選んだi.LINK機器の操作パネルが表示されます。**

i.LINK機器の使用解除

- **登録されたi.LINK機器の使用を解除できます。**
- **i.LINK機器の使用を解除することにより、その機器を別のi.LINK機器から使用できるようになります。**

1 **i.LINK ◯を押し、i.LINK操作パネルを表示する**

- **i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。（186ページ参照）**
- **i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順3に進んでください。**

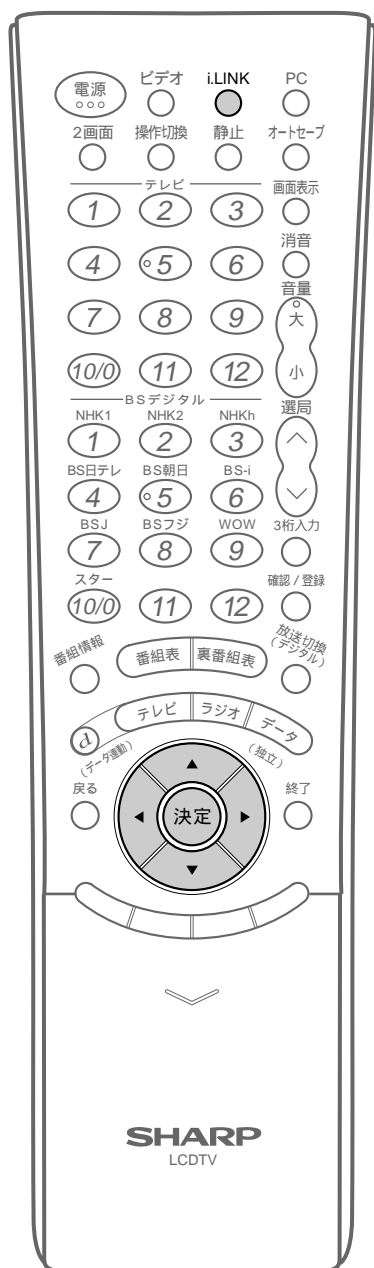
2 **▲▼で「機器選択」を選び、決定を押して、機器選択画面を表示する**

3 **▼で、リストの一番下にある「機器使用解除」を選び、決定を押す**

- **i.LINK機器の使用が解除されます。**

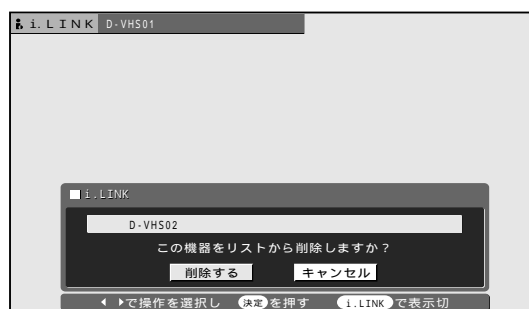
- 本機で使用しているi.LINK機器を他のi.LINK機器で使用するためには、本機の機器選択画面から「機器使用解除」を行ってください。

D-VHSビデオデッキをつなぐ（i.LINK）（つづき）

i.LINK機器の登録削除

- 機器選択画面に登録されているi.LINK機器をリストから削除できます。
- 接続されているi.LINK機器は、削除できません。

1 １９１ページの手順1、2を行い、機器選択画面を表示する

2 削除したいi.LINK機器を▲ ▼で選び、決定を押す

3 ◀で「削除する」を選び、決定を押す

- 選んだi.LINK機器がリストから削除されます。
- 削除しないときは「キャンセル」を選んで決定ボタンを押します。

i.LINK機器でBSデジタル放送を録画する

- i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキの操作が画面上でできます。
- 以下の操作をする前に、188〜190ページの設定を済ませておいてください。
- 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

1 録画したいBSデジタル放送の番組を選局する

2 i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

3 ① で（録画ボタン）を選び、決定を押す

- 録画が開始されます。

② i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを消す

- 録画を止めるときは、再度操作パネルを表示し、（停止ボタン）を選んで決定ボタンを押します。

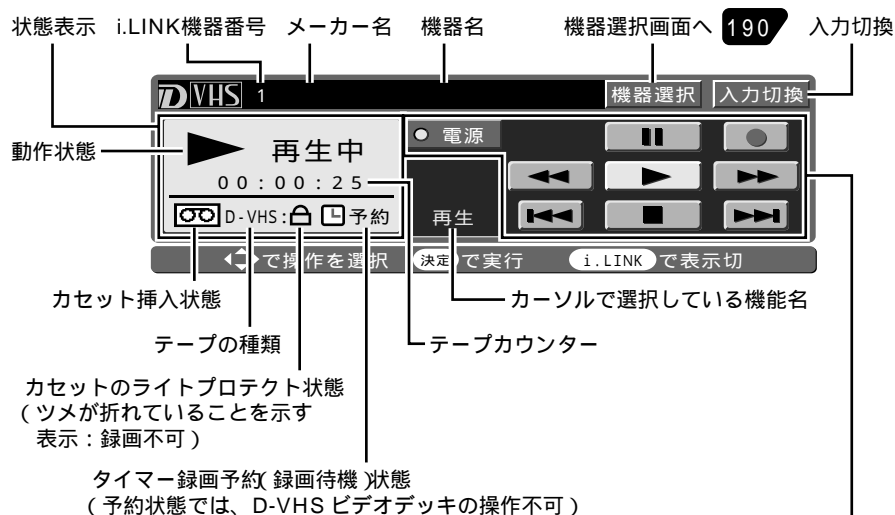
ご注意
- 録画中にi.LINK操作パネルを表示したままにしておくと、録画出力端子の映像といっしょに録画されます。
- 録画中は、入力切換でi.LINKは選べません。

おしらせ
- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINKコントロール画面（操作パネル）にある操作ボタンで操作できないことがあります。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキがタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
- i.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているBSデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているBSデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープや S-VHSテープでは記録することができません。
- 予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示できません。
- i.LINK操作パネル表示中は、番組表などの表示ができません。

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

i.LINK機器の操作のしかた

■ i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキの操作ができます。
画面にi.LINK操作パネルを表示させ、パネル上のボタンで操作します。
■ 操作を始める前に、188〜190ページの「録画モードの設定」「i.LINK電源待機の設定」「i.LINK機器の選択」を済ませておいてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

基本操作

※入力切換ボタンについて
• i.LINK操作パネルの入力切換ボタンは、BSデジタル放送とi.LINK機器入力との切換えに使用します。

- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキを再生状態にすると、D-VHSビデオデッキが再生している映像・音声に自動的に切り換わります。D-VHSビデオデッキを停止すると、BSデジタル放送に切り換わります。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキが再生状態のとき、i.LINK操作パネルの入力切換ボタンにカーソルを合わせ、リモコンの決定ボタンを押すと、BSデジタル放送の映像・音声に切り換わります。
- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、D-VHSビデオデッキが再生している映像・音声を視聴することができない場合があります。
- 本機は、VHSテープやS-VHSテープ、またはアナログで記録されているD-VHSテープの再生映像・音声をi.LINKで視聴することができません。この場合は、D-VHSビデオデッキのアナログ出力を本機のアナログ外部入力に接続し、本機を外部入力に切り換えてから視聴してください。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているBSデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているBSデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- BS固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示できません。
- i.LINK操作パネル表示中は、番組表などの表示ができません。
- IEEE1394は、米国電子電気技術者協会(IEEE)によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINK(アイリンク)とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。
- 番組の内容によっては、D-VHSビデオデッキで録画・録音ができない場合があります。
- 使用しているD-VHSビデオデッキによっては、特殊再生時(送り再生や戻し再生など)に、映像の品位が悪くなる場合があります。

コンピューターをつなぐ

■ 本機は「プラグアンドプレイ機能」に対応しています。
コンピューターの操作について、詳しくは接続するコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

接続のしかた

▼本体後面

▼PC入力端子部

PC入力 アナログRGB映像

PC入力 音声（右／左）

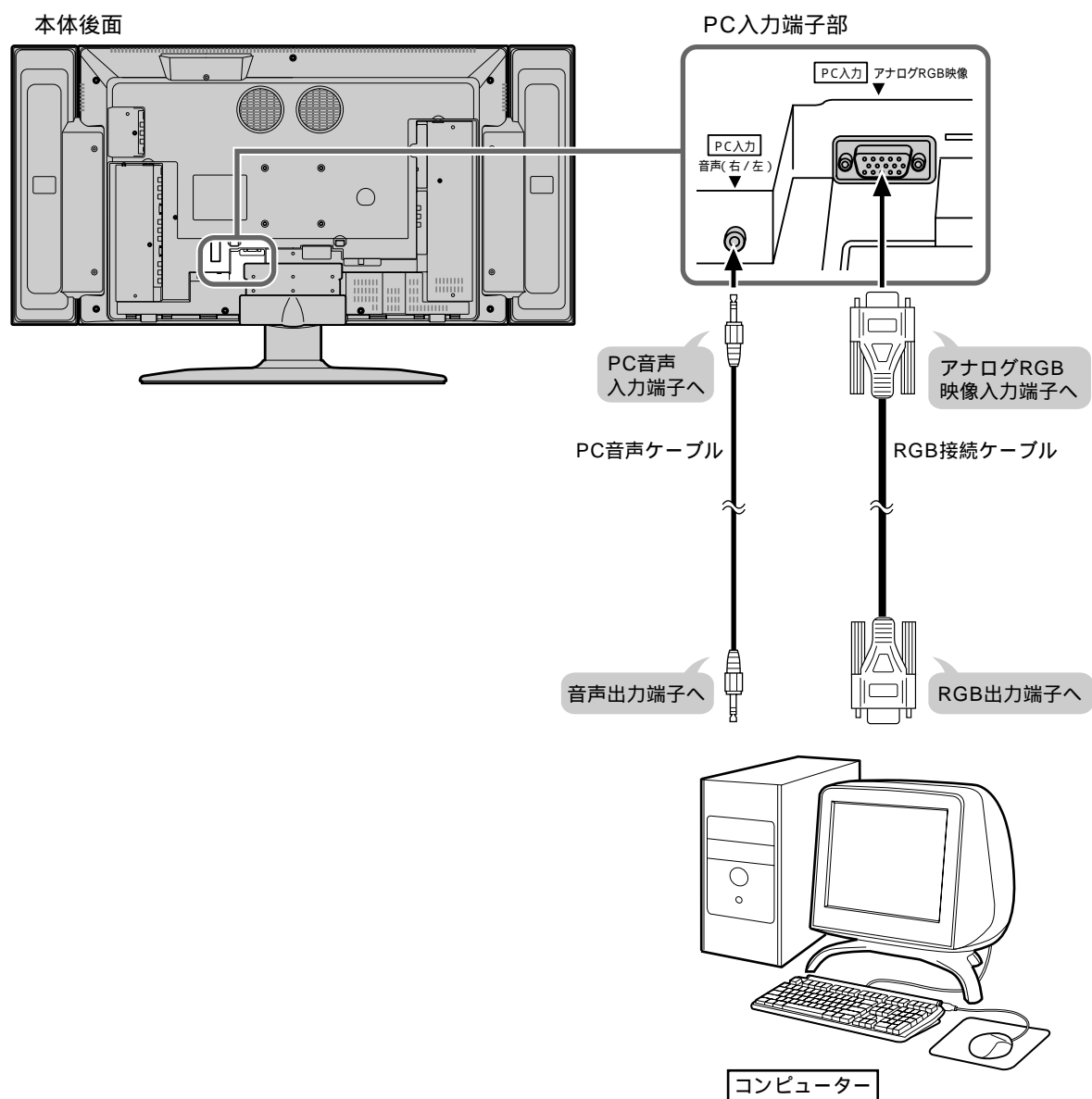
PC音声入力端子へ

アナログRGB映像入力端子へ

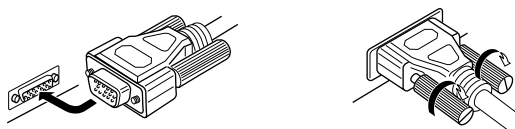
PC音声ケーブル

RGB接続ケーブル

音声出力端子へ

RGB出力端子へ

コンピューター

RGB 接続ケーブルの取り扱いについて

■本機とコンピューターに接続するRGB接続ケーブルは、端子とプラグの形状を合わせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。

コンピューター入力対応表

入力信号名称 <水平×垂直>画素数(ドット)	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
640×400	24.82	56.42
	31.48	70.10
	37.86	85.08
VGA 640×480	31.48	59.95
	37.86	72.81
	37.50	75.00
	43.27	85.01
13″モード(MAC) 640×480	35.00	66.67
SVGA 800×600	35.16	56.25
	37.88	60.32
	48.08	72.19
	46.88	75.00
	53.67	85.06
16″モード(MAC) 832×624	49.72	74.55
XGA 1024×768	48.36	60.00
	56.48	70.07
	60.02	75.03
19″モード(MAC) 1024×768	60.24	74.93
W-XGA 1280×768	48.134	60.017
	47.986	59.833
	48.214	60.571

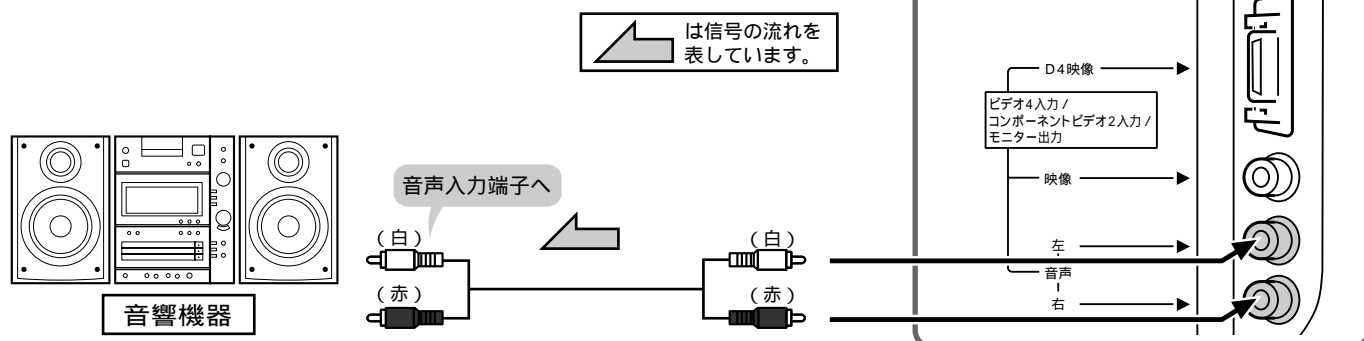
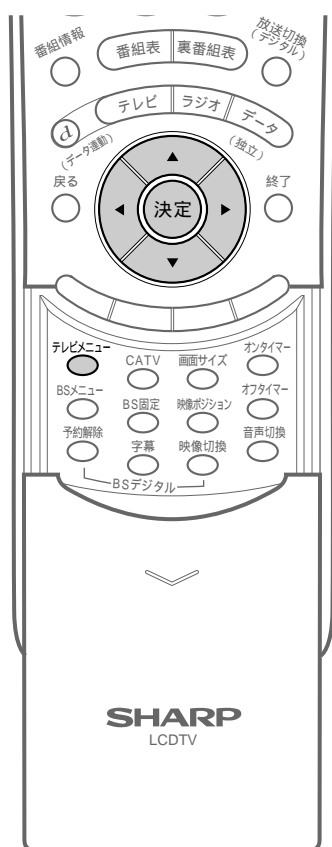
- 上表の画素数および周波数の数値は目安としてご覧ください。
  実際に表示される数値とは異なることがあります。

音響機器をつなぐ

■ ビデオ4の切換えをモニター出力に設定すると、お手持ちの音響機器で音声を楽しむことができます。

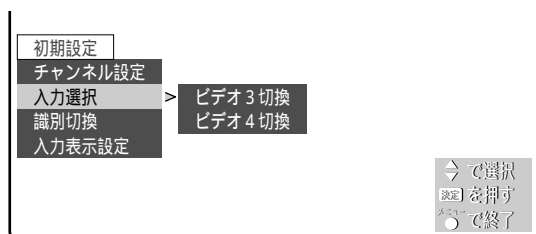
- **モニター出力設定**

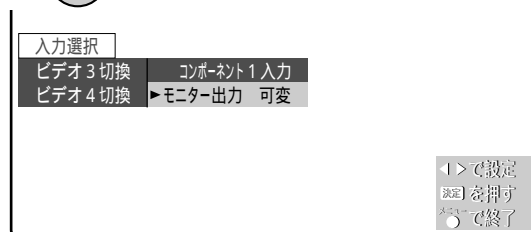
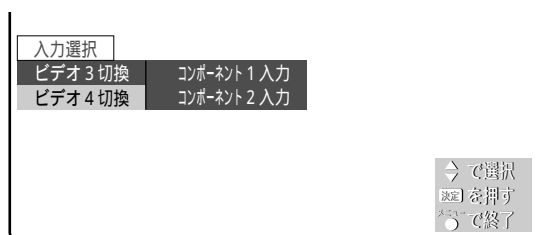
  「固定」のとき：
  モニター出力の音量レベルは一定で出力されます。スピーカーの音量を調整してもモニター出力のレベルは変化しません。

  「可変」のとき：
  スピーカーからの音声は出力されません。音量ボタンでモニター出力の音量出力レベルを調整することができます。

モニター出力を可変に設定する

1 テレビメニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼で「初期設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「入力選択」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「ビデオ４切換」を選び、決定を押す

5 で「モニター出力可変」を選び、決定を押す

6 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

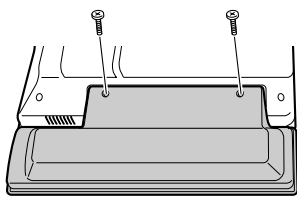
おしらせ

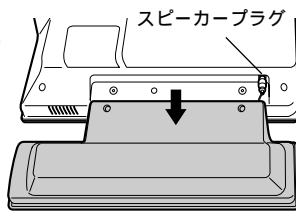
- 詳しくは、接続する機器の取扱説明書を合わせてお読みください。

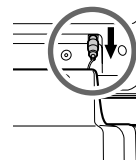
スピーカーの外しかた

■ 本機のスピーカーは取付け、取外しができるセパレートタイプです。

作業を始める前に
- スピーカーの取外し、取付けの際は本体の電源を切ってください。
- スピーカーの取外し、取付けの際は、ディスプレイに傷が付かないよう、平らな面にクッションなどを敷いて寝かせた状態で作業を行ってください。

1

スピーカーを固定している取付けネジを取り外します。

2

スピーカーを少し持ち上げてから、横にゆっくりとスライドさせます。
（スピーカープラグが接続されていますので、引っ張りすぎないよう、ご注意ください。）

3

本体のスピーカー端子から、スピーカープラグを抜き取ります。
（コードを引っ張らず、スピーカープラグを持って抜いてください。）
これで本体から、スピーカーを取り外せます。

ご注意
- 本体のスピーカー端子は付属スピーカー専用ですので、他機のプラグなど付属のスピーカー以外は接続しないでください。
- スピーカープラグは奥まで完全に差し込んでください。
- スピーカー部を持って持ち上げたり、運んだりしないでください。

おしらせ
- 左右のスピーカーとも、同じ手順で行ってください。
- スピーカーを取り付けるときは、逆の手順を行ってください。

音響機器をつなぐ（つづき）

BSデジタル音声出力（光）端子から録音する

■ デジタル音声ケーブルを使って、「デジタル入力（光）端子」のある音響機器と接続すると、BSデジタル放送の音声を高音質で録音できます。

■ また、本機のBSデジタル音声出力（光）端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声でお楽しみいただけます。

接続のしかた

▼本体後面

BSデジタル
音声出力（光）

回線

BSデジタル音声
出力（光）端子へ

角形プラグ

（または）

▼音響機器

デジタル録音できるのは、サンプリング周波数32kHz、48kHzの両方に対応したデジタル入力端子付き音響機器に限ります。
例）MDプレーヤーの場合：
サンプリングレートコンバータ内蔵型

デジタル
入力（光）端子へ

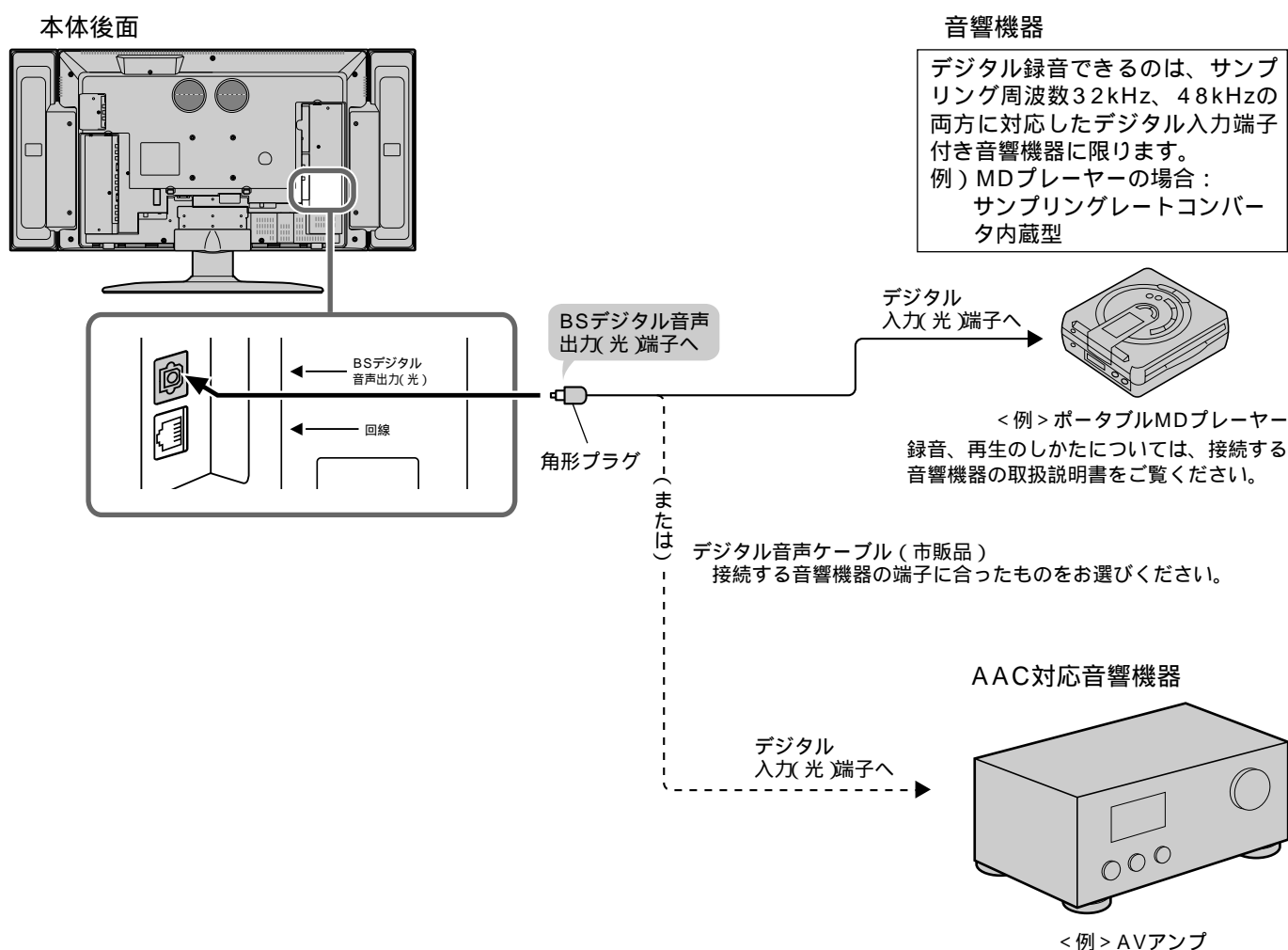
＜例＞ポータブルMDプレーヤー

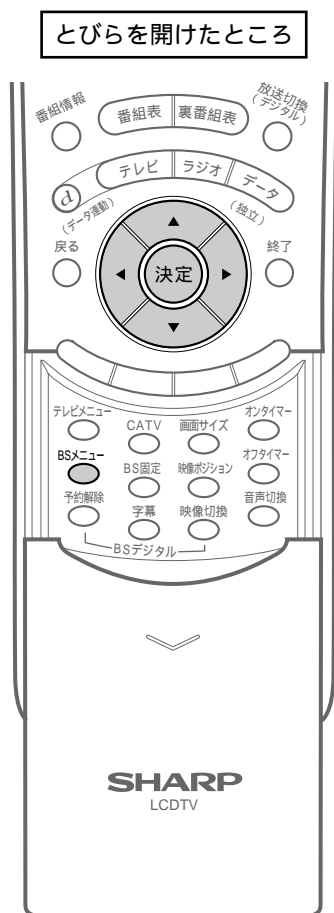
※録音、再生のしかたについては、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。

デジタル音声ケーブル（市販品）
※接続する音響機器の端子に合ったものをお選びください。

▼AAC対応音響機器

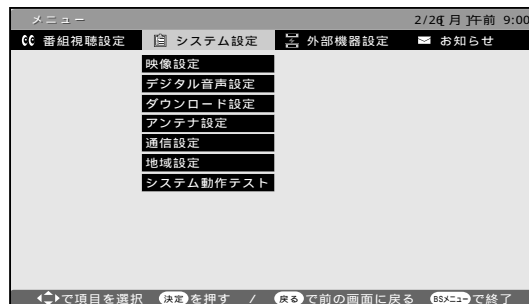
デジタル
入力（光）端子へ

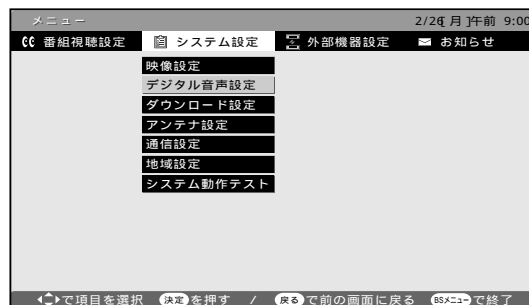
＜例＞AVアンプ

- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- 字幕放送やデータ放送の一部の音声は、本機のBSデジタル音声出力（光）端子から出力されません。
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組より録音・録画が制限されている場合があります。
- 一部のラジオ放送は、デジタル録音することができません。

■ 本体後面のＢＳデジタル音声出力（光）端子を、接続する音響機器に合わせて設定します。

BSデジタル音声出力（光）端子の設定

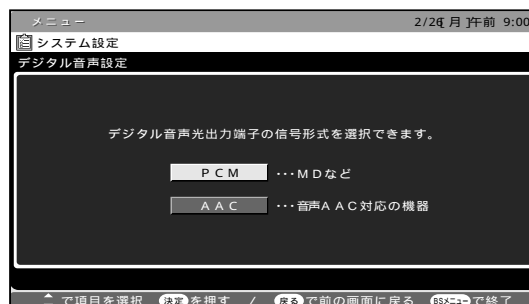
1

① BSメニューを押し、ＢＳメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

2

▲ ▼ で「デジタル音声設定」を選び、決定を押す

3

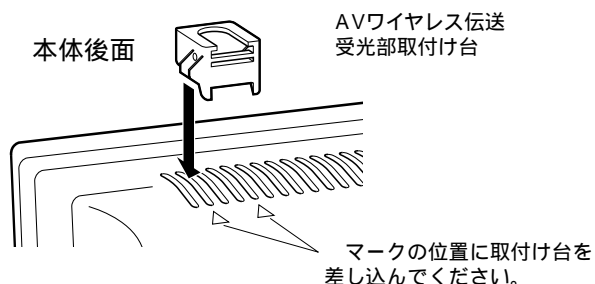
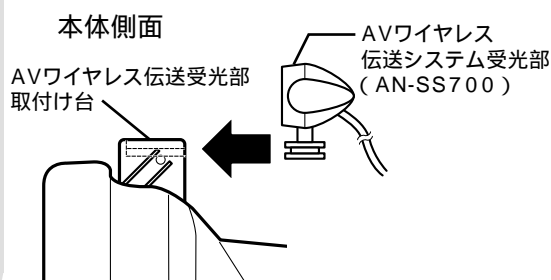
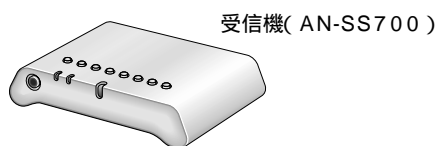
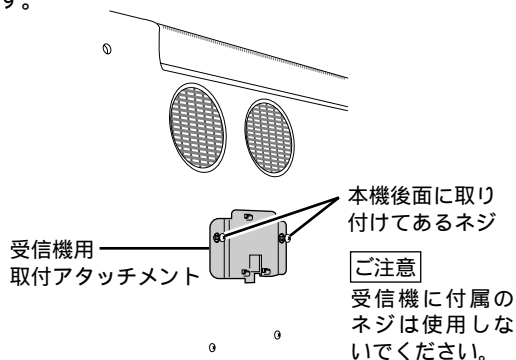
接続する機器に合わせて「ＰＣＭ」または「ＡＡＣ」を ▲ ▼ で選び、決定を押す

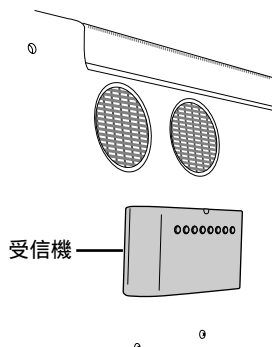
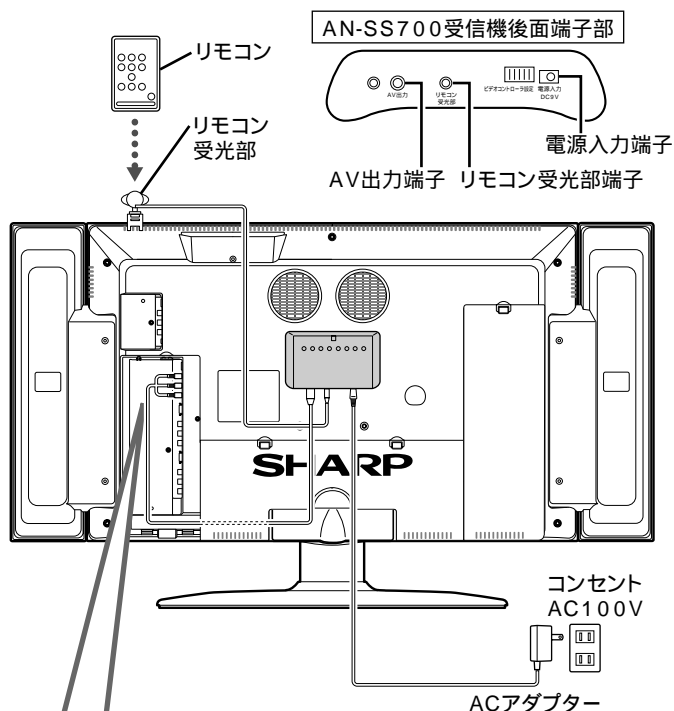
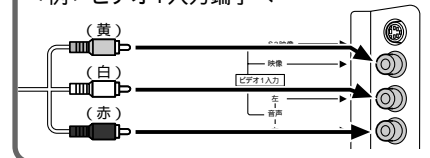
「PCM」……AACに対応していない音響機器（例．MDプレーヤー、MDコンポなど）に接続するとき
「AAC」……AAC対応のAVアンプなどに接続するとき

おしらせ

- 接続する機器がAAC／PCMの自動切換えに対応していない場合は、機器側の設定を手動で切り換えてください。
- 地上放送（VHF、UHF）やCATV放送の音声、ビデオ入力の音声は、BSデジタル音声出力（光）端子から出力されません。
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の音声が出力されません。
- 「PCM」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の一部の音声が出力されません。

AVワイヤレス伝送受光部取付け台の取付け方

■ 別売のAVワイヤレス伝送システムでお楽しみいただく場合に、本機に付属しているAVワイヤレス伝送受光部取付け台を使用します。
AVワイヤレス伝送受光部取付け台のガイドを本機上部の溝に取り付けます。

1 AVワイヤレス伝送受光部取付け台を、本機の指定位置に取り付ける

2 別売のAVワイヤレス伝送システム（AN-SS700またはAN-AV400）に付属の受光部を、AVワイヤレス伝送受光部取付け台に取り付ける

本機の後面に受信機を取り付ける。

1. 本機後面に取り付けてあるネジを使用して、本機の後面に受信機用取付アタッチメントを取り付けます。

2. 受信機用取付アタッチメントに、受信機を取り付けます。

<AN-SS700 接続例>

おしらせ

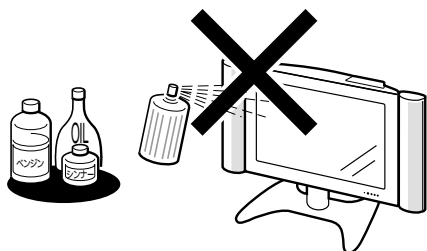
- 詳しくは、AVワイヤレス伝送システムの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

使用上のご注意

守っていただきたいこと

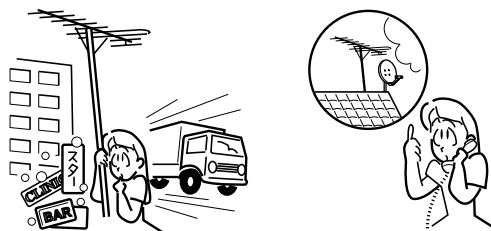
キャビネットのお手入れのしかた

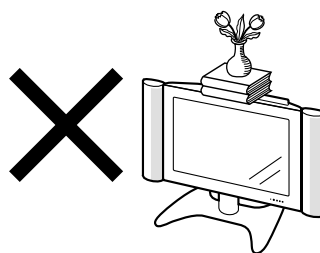
- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

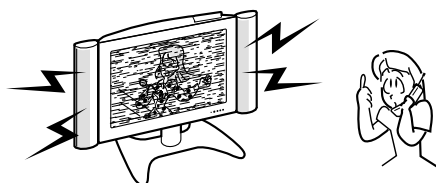
液晶カラーテレビ画面のお手入れのしかた

- 本機の画面の表面は、柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、画面の表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- 画面にほこりがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。
- 画面の保護のため、乾いた布や化学雑巾で拭きとらないでください。
- お手入れの際は、本体天面の電源スイッチを必ず切って、コンセントから電源プラグを抜いて行ってください。

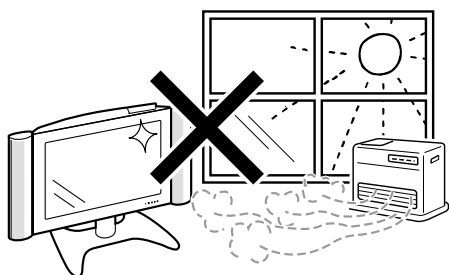
アンテナについて

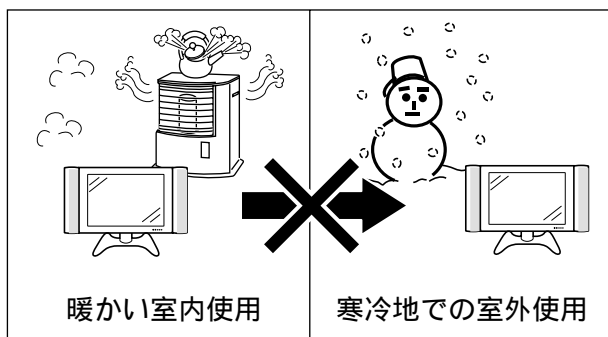
- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BSデジタル放送用のアンテナ線には、必ず衛星放送用同軸ケーブルを使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

設置について

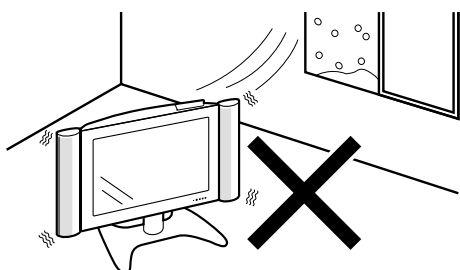
- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上にはものを置かないでください。

電磁波妨害に注意してください

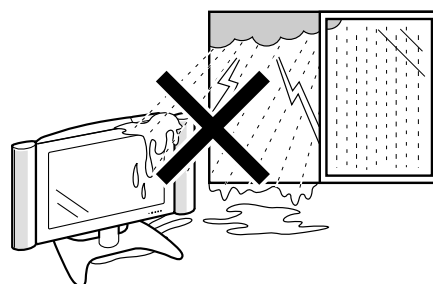
- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

守っていただきたいこと

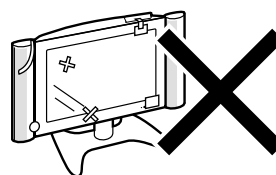
直射日光・熱気は避けてください

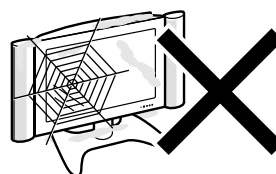
- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は画面の表示品位が低下する場合があります。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

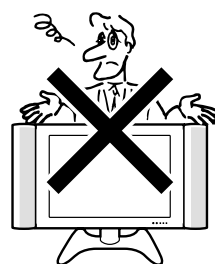
- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがあります。故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

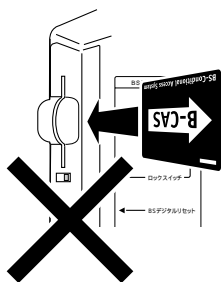
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

使用上のご注意(つづき)

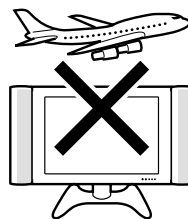
守っていただきたいこと

ICカードは必要なときだけ抜き差しする

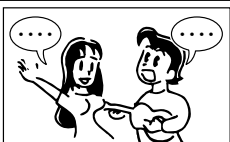
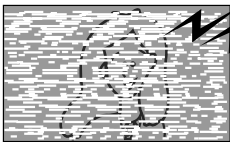
- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- ICカードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意して行ってください。

結露(つゆつき)について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

持ち運びのとき

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となる恐れがあります。

取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押さないように、また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面が割れることがあり危険です。振動の激しい所や不安定な所に置かないでください。
  また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

蛍光管について

本機に使用している蛍光管には、寿命があります。

- 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管ユニットに取り替えてください。
  寿命の目安…約60,000時間(調光が「標準」モードの場合)
- くわしくは、販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。
この場合、本体天面の電源スイッチをいったん「切」にして、再度電源を入れ直して確認してください。

故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては**212**ページをご覧ください。

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
テレビ側	映像も音声も出ない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ・電源が「切」の状態になっていませんか。 ・ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。	19 22 168
	リモコンが動作しない	・電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 ・リモコンの電池が消耗していませんか。 ・蛍光灯など強い光がリモコン受光部に当っていませんか。	15
	映像は出るが音声が出ない	・音量調整が最小になっていませんか。 ・「消音」状態になっていませんか。 ・ヘッドホン端子にヘッドホンプラグが差し込まれたままになっていませんか。	22 23 164
	色がうすい 色あいが悪い	・色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。	66
	特定のテレビチャンネルだけ映らない	・チャンネルの微調整がズレていませんか。	41
アンテナ側	映像が出ず 雑音のみ出る	・アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。 ・アンテナ線は正しく接続されていますか。	20
	画像にはん点が出る	・自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	－
	映像が二重になる （ゴースト）	・近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。 アンテナの方向や高さを変えてみてください。	－
	色じま模様が出る	・近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。	－
	雪が降っているような画面になる	・アンテナ線が正しく接続されていますか。 ・屋外アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 ・アンテナの方向が変わったり、こわれたりしていませんか。	20 － －

故障かな？と思ったら（つづき）

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
BSデジタル放送関係	映像も音声も出ない	・BSアンテナ電源が「切」になっていませんか。 ・映像、音声のない放送ではありませんか。 ・ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。	150 — 168
	画面に四角のノイズ（モザイク）が出る	・アンテナの向きがズレていませんか。 ・アンテナレベル（受信強度）を確認してください。 ・アンテナの前方に障害物はありませんか。 ・アンテナはBSデジタル放送対応のものを使用していますか？ ・アンテナケーブルは衛星放送用を使用していますか。	— 150 — — —
	有料放送の視聴ができない	・ICカード（B-CASカード）は正しく挿入されていますか。 ・有料放送を視聴するための契約はしていますか。 ・電話回線の接続や設定は正しくされていますか。	98 99 95～97,100～103
	画面にノイズが出る	・UHF/VHFのアンテナケーブルがBSアンテナケーブルと接近していませんか。	—
	特定のチャンネルだけ映らない	・契約していない有料放送ではありませんか？ ・アンテナレベル（信号強度）を確認してください。	99 150・151
	ビデオコントローラーでの録画予約ができない	・ビデオコントローラーは正しく接続されていますか。 ・ビデオ連動録画予約は正しく設定されていますか。 ・データ番組ではありませんか。	182 183 —
	番組の予約をしても受信できない場合があります。	・契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等を予約したとき。	120

● 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは本体の電源ボタンを「切」にし電源プラグをコンセントから抜いて、しばらくした後再度差し込み、動作を確認してください。

このようなときは故障ではありません

BSアンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

- 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合には全く受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナやテレビの故障ではありません。このときは、降雨対応放送で見ることができます。
- 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まります。

BSデジタル放送の注意文

■受信に関する注意文

BSデジタル放送では、1つの電波で複数のチャンネルが送信できます。この中には現在放送されているチャンネルのほかに、これから放送が予定されているようなチャンネルの情報も含まれています。
どんなチャンネルがあるかを示す情報を送信することで、多チャンネルになっても、ユーザーは希望するチャンネルを選択することができます。
このチャンネル情報と実際の放送状況により、本機では以下のような注意文が表示されます。

注意文	内　容
放送が受信できません。	選択したチャンネルの電波が送信されていないときや、電波は送信されているが、大雨などで受信できないときに表示されます。
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	選択したチャンネルを含む電波は送信されているが、番組が放送されていないときに表示されます。
×××チャンネルが見つかりません。番組表などでチャンネルを確認してください。	選択したチャンネルが放送されていないときに表示されます。

■ICカードによる注意文

有料放送を受信するには、ICカード(B-CASカード)が必要となります。
ICカードと信号のやりとりをすることで、有料放送の契約状況が分かります。このICカードとの信号のやりとりの結果により、本機では以下のような注意文が表示されます。

注意文	内　容
ICカードを正しく装着してください。	有料放送を受信するとき、ICカードが正しく装着されていないときに表示されます。 ICカードをスロットに挿入し、ロックスイッチをロック位置にしてください。
このICカードは使用できません。	ICカードが壊れている可能性があるときに表示されます。 B-CASカスタマーセンターまで連絡してください。
このチャンネルは契約されていません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	有料放送事業者に契約を申し込んでいない場合、あるいは申し込み後、契約情報が設定されるまでの期間表示されます。
このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	契約したチャンネルの放送で、ＰＰＶなど別契約が必要なときに表示されます。
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	契約したチャンネルの契約期間が過ぎているときに表示されます。
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	契約上の制限によって、視聴できないときに表示されます。
受付時間を過ぎていますので購入できません。	PPV番組の購入可能な時間を過ぎているときに表示されます。
電話回線を接続のうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	PPV番組の購入金額を有料放送事業者に電話回線で連絡できないため、PPV番組が購入できなくなったときに表示されます。
ICカードの交換が必要です。カスタマーセンターへご連絡ください。	ICカードの記憶装置に異常が発生したときに表示されます。 B-CASカスタマーセンターまで連絡してください。
このICカードは使用できません。カスタマーセンターへご連絡ください。	ICカードの内部情報がおかしくなったときに表示されます。 B-CASカスタマーセンターまで連絡してください。

BSデジタル放送の注意文(つづき)

■i.LINKに関する注意文

注意文	内　容
現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。	本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。
i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。	i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。**187**ページの「接続に関するご注意」をお読みのうえ、接続しなおしてください。
現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作する必要があります。

■その他の注意文

注意文	内　容
システムエラーです。 電源を入れなおしてください。	内部のファンが停止するなど、マイコンの動作がおかしくなったときに表示されます。

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

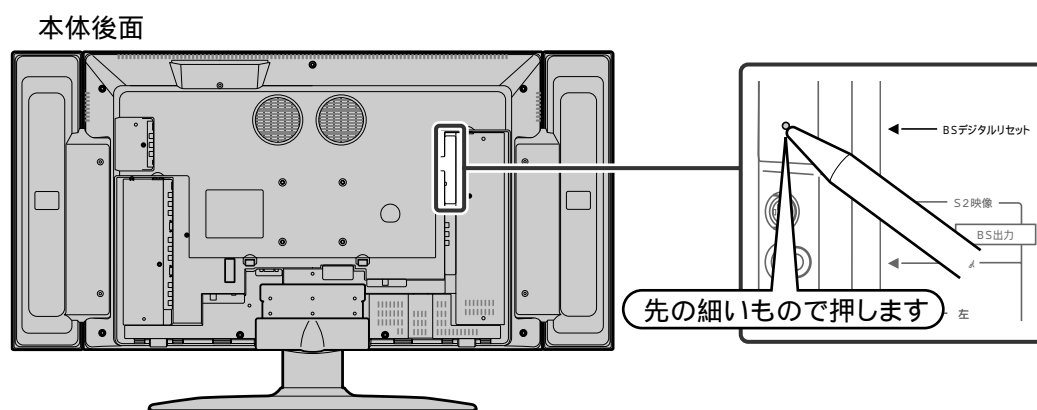
5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

BSデジタルリセットボタンについて

■ 本機を使用中に、強い外来ノイズ(過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、本体後面右とびら内のBSデジタルリセットボタンを押してから操作をやりなおしてください。

- **リセット直後はデータ取込みのため、画面表示には時間がかかります。**
- **リセット後は、リセット前のテレビチャンネルに戻ります。**

▼本体後面

保証とアフターサービス よくお読みください

保証書（別添）

- 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

- **保証期間**
  お買いあげの日から1年間です。（消耗部品は除く）
  保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

- 「故障かな？と思ったら」（**207** ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名：液晶カラーテレビ
- 形　　　名：LC-30BV3
- お買いあげ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけくわしく）
- ご　住　所（付近の目印も合わせてお知らせください）
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

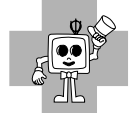
●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

▶ **ご使用中止**

故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ………… **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は ……………… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		＜東日本地区＞	＜西日本地区＞
○携帯電話／PHSでのご利用は ……………	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○FAXを送信される場合は ……………………	F　A　X	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、
下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京サービスセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	054-285-9340	〒422-8006	静岡市曲金6-8-44
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪サービスセンター	06-6794-3983	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL **043 - 297 - 4649**	FAX **043 - 299 - 8280**	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL **06 - 6621 - 4649**	FAX **06 - 6792 - 5993**	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（01.11）

別売品について

■ 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

No	品　　名	機　種　名
1	壁掛け金具	AN-28AG1
2	フロアースタンド	AN-30FS1
3	アンテナ整合器	AN-300RF
4	アンテナ延長ケーブル	AN-C10RF
5	AVワイヤレス伝送システム	AN-AV400
6	AVデジタルワイヤレス伝送システム	AN-SS700

（2001年10月現在）

• 本機に適合する別売品が、新しく追加発売になることがありますので、ご購入の際には、最新のカタログで適合性や在庫の有無をご確認ください。

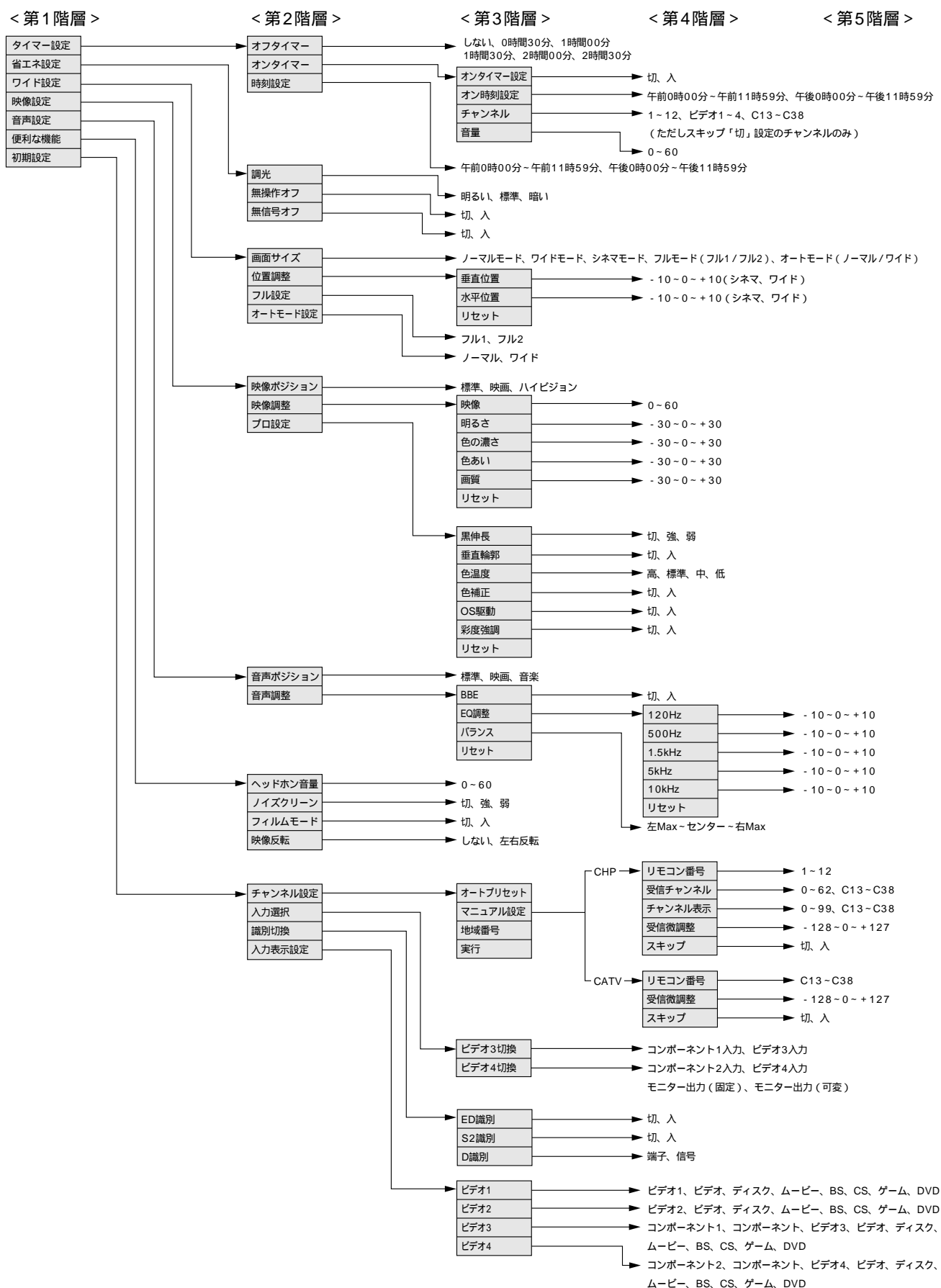
主な仕様

形名		LC-30BV3
種類		液晶カラーテレビ
受信チャンネル		VHF1～12チャンネル／UHF13～62チャンネル／CATV C13～C38チャンネル／BSデジタル000～999チャンネル
液晶パネル	画面サイズ	30V型（横643mm×縦385mm／対角750mm）
	駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
	画素数	2,949,120ドット（縦768×横1,280×3）
アンテナ入力		VHF/UHF75Ω不平衡型、BS-IF75Ω不平衡型（C15型）
音声出力		20W（10W＋10W）
スピーカー		8cm 丸形 2個
定格電圧		AC100V
定格周波数		50／60Hz
消費電力		154W リモコン待機時：0.5W
年間消費電力		200kWh/年
接続端子		ビデオ入力4系統4端子、S2映像入力2系統2端子、D4映像入力2系統2端子、 アナログRGB映像入力端子（ミニD-sub 15pin）1系統、 PC音声入力端子（3.5φステレオ）1系統、モニター出力1系統1端子（ビデオ4兼用）、 アンテナ入力（VHF・UHF）端子、ヘッドホン出力端子、 専用スピーカー接続端子、AC100V入力端子 ＜BSデジタル専用端子＞ i.LINK 2端子、BS出力1系統1端子（S2映像付き）、 デジタル音声出力（光）1系統1端子（AAC5.1ch対応）、電話回線端子、 ビデオコントロール端子、BSアンテナ入力端子
BSチャンネル受信仕様	変長	時分割多重mPSK
	トランスポート	MPEG2 システム
	映像	MPEG2（MP@HL）
	音声	MPEG2 AAC
	限定受信システム	ARIB CASシステム
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.014GHz（右円偏波）
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～1336MHz
キャビネット		プラスチック
外形寸法		幅1,002mm×高さ598mm×奥行き305mm 幅1,002mm×高さ497mm×奥行き95.5mm（スタンド含まず） 幅766mm×高さ497mm×奥行き90mm（スピーカー、スタンド含まず）
本体質量		21.8kg 17.9kg（スタンド含まず） 15.1kg（スピーカー、スタンド含まず）

- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
- 仕様の一部を予告なく変更する場合がありますのであらかじめ、ご了承ください。

メニュー画面階層図

■この項目は、本機の設置調整をするときの手助けとしてご覧ください。

テレビメニュー階層図

PCメニュー階層図

＜第1階層＞　＜第2階層＞　＜第3階層＞　＜第4階層＞　＜第5階層＞

- タイマー設定
  - オフタイマー → しない、0時間30分、1時間00分、1時間30分、2時間00分、2時間30分
  - オンタイマー
    - オンタイマー設定 → 切、入
    - オン時刻設定 → 午前0時00分～午前11時59分、午後0時00分～午後11時59分
    - チャンネル → 1～12、ビデオ1～4、C13～C38（ただしスキップ「切」設定のチャンネルのみ）
    - 音量 → 0～60
  - 時刻設定 → 午前0時00分～午前11時59分、午後0時00分～午後11時59分
- 省エネ設定
  - 調光 → 明るい、標準、暗い
  - 無操作オフ → 切、入
  - 無信号オフ → 切、入
- ワイド設定
  - 画面サイズ → ノーマルモード、フルモード、リアルモード
  - 位置調整
    - オート調整
    - クロック → −32～0～+32
    - 水平位相 → −16～0～+16
    - 垂直位置 → −32～0～+32
    - 水平位置 → −64～0～+64
    - リセット
  - 入力信号表示
    - 入力信号表示
- 映像設定
  - 映像ポジション
  - 映像調整
    - 映像 → 0～30
    - 明るさ → −15～0～+15
    - 色温度 → 高、標準、中、低、手動
    - 赤 → −15～0～+15
    - 青 → −15～0～+15
    - 緑 → −15～0～+15
    - リセット
  - プロ設定
- 音声設定
  - 音声ポジション → 標準、映画、音楽
  - 音声調整
    - BBE → 切、入
    - EQ調整
      - 120Hz → −10～0～+10
      - 500Hz → −10～0～+10
      - 1.5kHz → −10～0～+10
      - 5kHz → −10～0～+10
      - 10kHz → −10～0～+10
      - リセット
    - バランス → 左Max～センター～右Max
    - リセット
- 便利な機能
  - ヘッドホン音量 → 0～60
  - ノイズクリーン
  - フィルムモード
  - 映像反転 → しない、左右反転

- 画面に濃い灰色で表示されている項目は、選択できないことを表しています。

用語解説

• よく使われるテレビ用語です。

■ **16：9**

BSデジタルハイビジョン放送の画面横縦比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ **525i**

走査線525本、インターレース方式。地上放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ **525p**

走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ **750p**

走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ **1125i**

走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ **B-CASカード（ビーキャスカード）**

各ユーザー独自の番号などが記載されている、BSデジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。

■ **BS（Broadcast Satellite）**

放送衛星のことです。BS-4先発機から従来のBSアナログ放送が、BS-4後発機からBSデジタル放送が送られています。

■ **BSデジタル放送**

2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

■ **CATV（ケーブルテレビ）**

ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ **D端子**

BSデジタル放送の高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（C_B/P_B、C_R/P_R）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり（本機はD4に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ **EPG（Electronic Program Guide）**

BSデジタル放送で送られてくる電子番組表のことです。

■ **HDTV（High Definition Television）**
1125iや750pなどのデジタルハイビジョンの高画質、高精細度テレビ放送のことです。

■ **i.LINK（アイリンク）**
i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル1本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100、S200、S400と表示されます。

■ **MPEG（Moving Picture Experts Group）**
デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

■ **MPEG2 AAC（MPEG2 Advanced Audio Coding）**
MPEG2音声圧縮技術の符号化方式の1つです。高音質、マルチチャンネル設定が可能な方式です。

■ **NTSC（National Television System Committee）**
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム（フィールド周波数60Hz）、走査線数525本のインターレース方式です。

■ **PPV（Pay Per View）**
「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

■ **S1/S2 映像**
セパレート（S）映像信号に、画面比率4：3で上下に黒帯のあるワイド映像（レターボックス）や、もと16：9の映像を横方向に圧縮して4：3にした映像（スクイーズ）を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「ズーム」に、スクイーズは「フル」になります。

■ **SDTV（Standard Definition Television）**
従来の走査線525本の標準精細度テレビ放送のことです。

■ **インターレース（飛び越し走査）**
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます（この1画面を1フィールドといいます）。つぎに偶数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像（フレーム）をつくっていく方式です。

■ **液晶パネル**
液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

用語解説（つづき）

■ **お知らせ**

BSデジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

■ **コンポーネント接続**

映像信号を輝度信号（Y）と色差信号（C_B/P_B、C_R/P_R）の3つのコンポーネント（構成部分）に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード（コンポーネントケーブル）を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

■ **コンポジット接続**

通常の映像端子（ビデオ端子）を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

■ **サイマル放送（サイマルキャスト）**

BSデジタル放送、BS（アナログ）放送の両方で同じ番組を放送することです。これまでのBS（アナログ）放送の視聴者を保護するため、BSデジタルチャンネルでも同じ番組を放送しているチャンネルもあります。

■ **ハイビジョン放送**

BSデジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上波テレビ放送が525本の走査線で表示していたのに対し、BSデジタルハイビジョン放送は1,125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像です。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

■ **プログレッシブ（順次走査）**

飛び越し走査（「インターレース」の項を参照）をしないで、1フィールドめですべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、1フィールドで525本の走査線を描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。

■ **ワイドクリアビジョン放送**

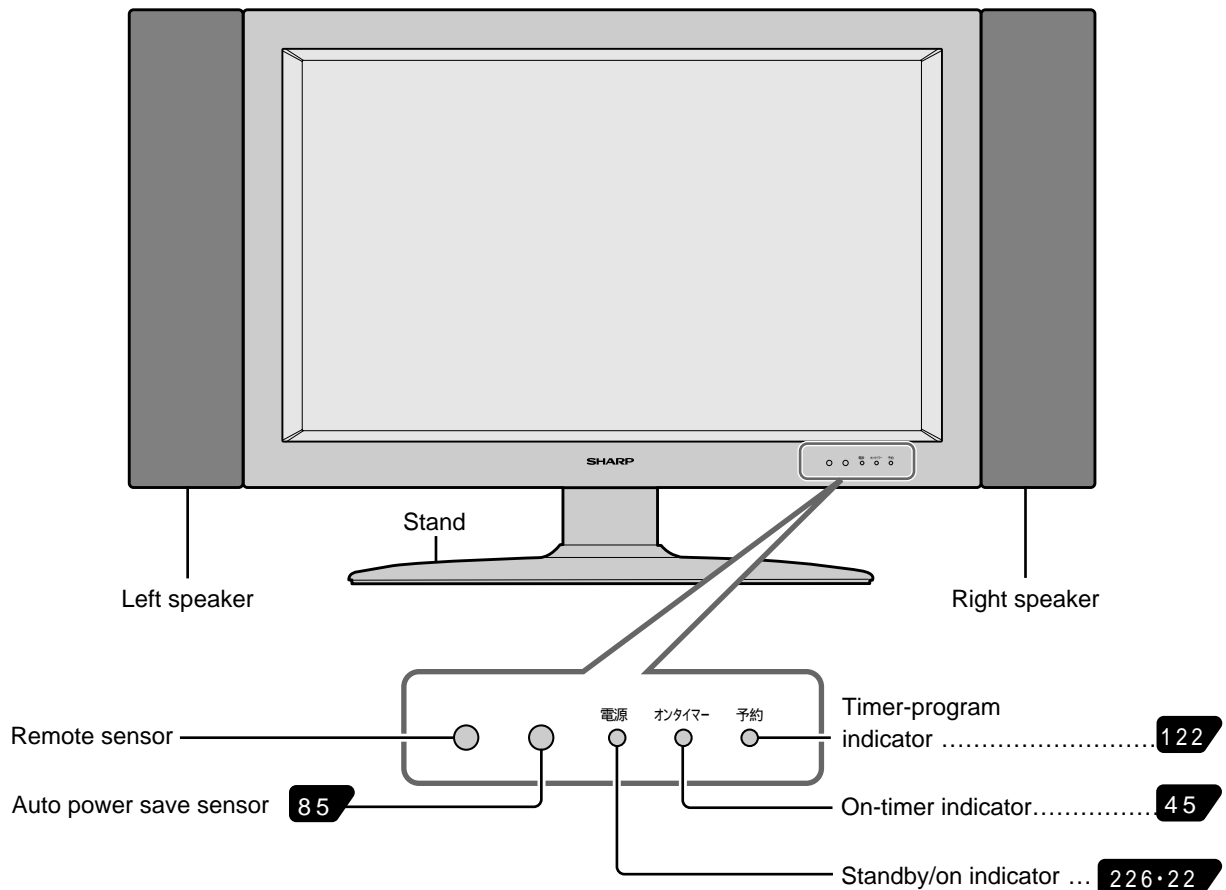
地上放送の画面のワイド化と高画質化、および画面サイズの自動切換えを目的とした放送です。本機では画面サイズの自動切換え信号のみ使用しています。

用語索引

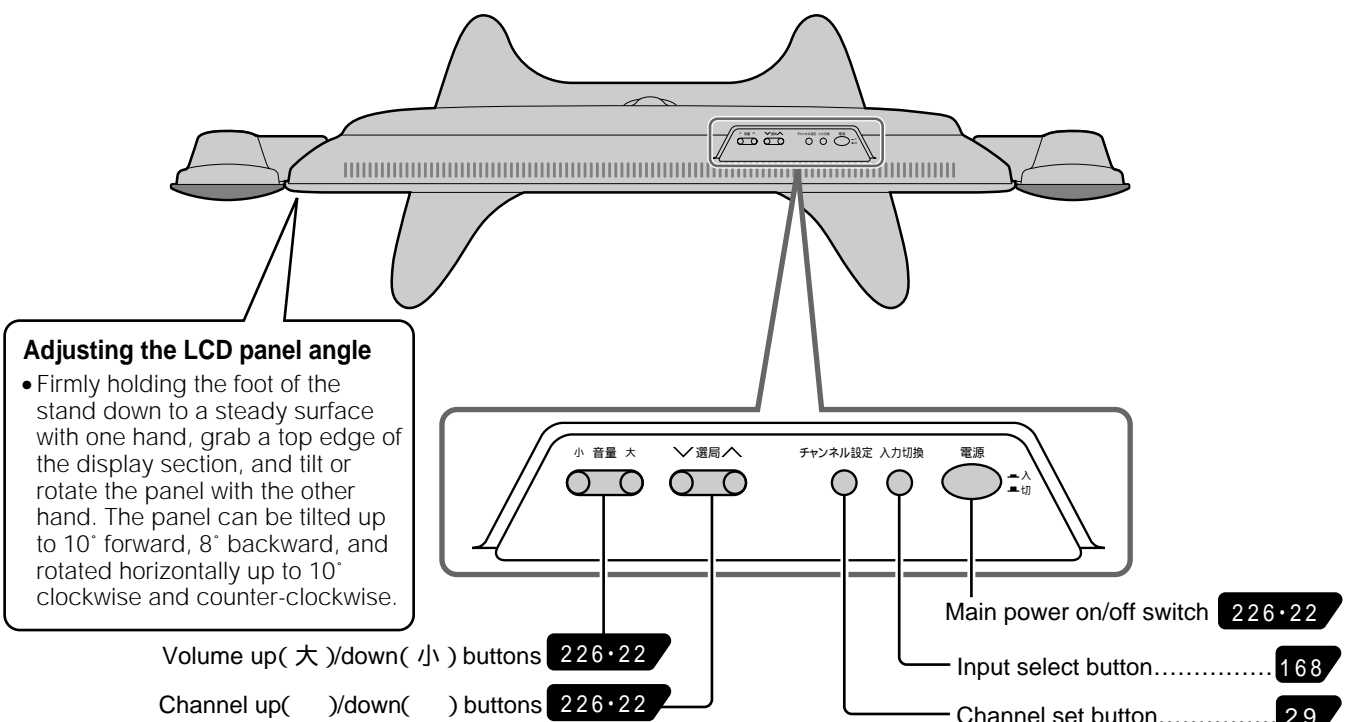
Quick Start Guide (クイックスタートガイド)

Part Names

■ The number shown in [page-number box] is the page number where the part's function and/or use is explained.

Main Unit (Front view)

Main Unit (Top view: Control section)

Adjusting the LCD panel angle

- Firmly holding the foot of the stand down to a steady surface with one hand, grab a top edge of the display section, and tilt or rotate the panel with the other hand. The panel can be tilted up to 10° forward, 8° backward, and rotated horizontally up to 10° clockwise and counter-clockwise.

Main Unit (Rear view)

- The name and function of each terminal/jack/connector and connection examples are given under "**端子のなまえとはたらき**" on pages 164 and 165.

AV in 2 terminals 166

Headphones jack 164

B-CAS card slot············ 98

Lock/release switch······ 98

BS digital reset button······ 211

BS output terminals········ 180

BS digital audio output jack (optical)················· 200

Telephone line connector 95

AV in 1 terminals··· 167

AV in 3/component in 1 terminals········· 167

AV in 4/component in 2/monitor output terminals········ 167·176

Antenna (VHF/UHF) connector····················· 20

PC audio-in jack··········· 196

Analog RGB video-in connector····················· 196

i.LINK connector·········· 186

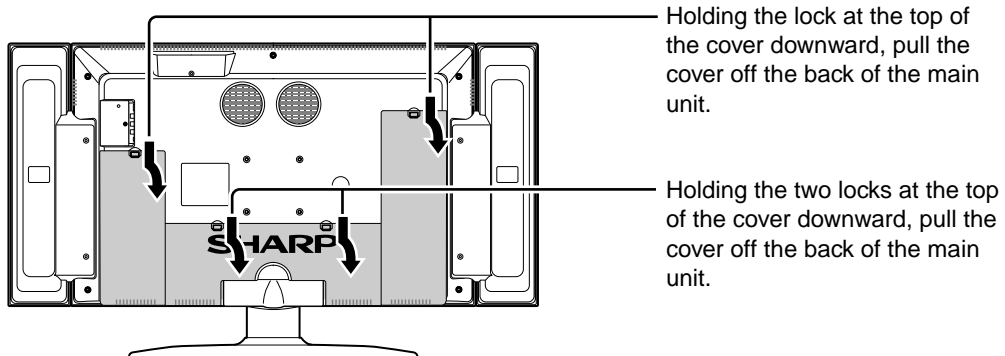
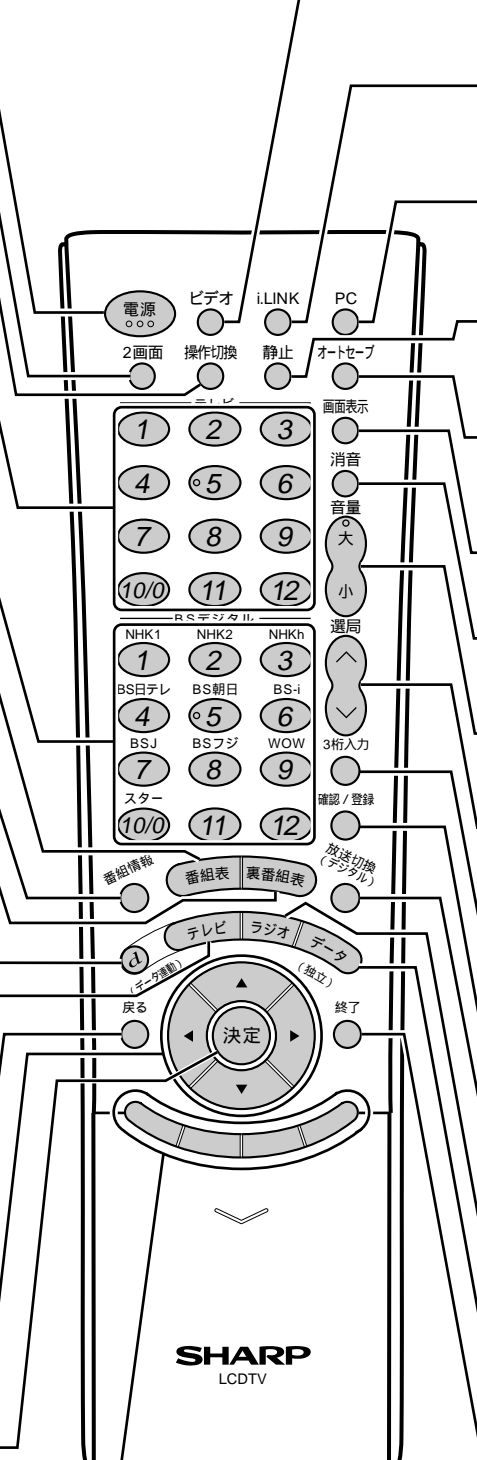
Power cable connector (AC 100V)··· 19

BS antenna connector 21

Video control terminal 182

Opening the terminal covers

Holding the lock at the top of the cover downward, pull the cover off the back of the main unit.

Holding the two locks at the top of the cover downward, pull the cover off the back of the main unit.

Quick Start Guide（クイックスタートガイド）

Part Names (Remote Control)

■ The number shown in [page tab] is the page number where the part's function and/or use is explained.

When the cover is opened

TV/Video menu ······ 24

Press to display or turn off the TV/video menu screen.

CATV ······ 227•23

When selecting a CATV channel by entering the channel number, press this button first, then enter the 2-digit number with the TV channel select buttons (1-10/0).

BS menu ······ 106

Press to display or turn off the BS menu screen.

BS channel fix ······ 181

Press to fix channel selection to the currently received BS channel so that any other BS channels cannot be selected. Use this feature when you want to watch a regular TV (VHF, UHF) or CATV channel while recording a BS program.

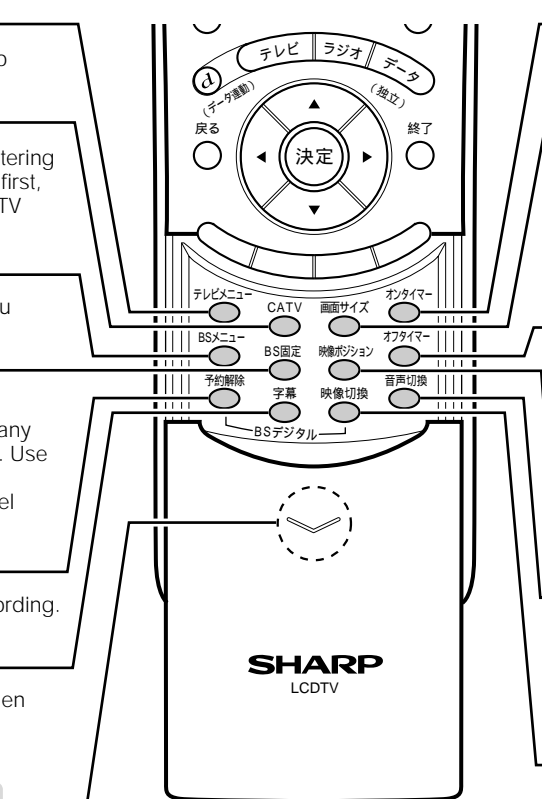
Timer-recording cancel ······ 133

Press to cancel an on-going timer-recording.

Subtitles ······ 136

Press to display or turn off subtitles when watching a BS program with subtitles.

Opening the cover

- Gently holding down this area, slide the cover toward yourself.

On timer ······ 44

Press to activate or deactivate the on-timer function.

Picture aspect ratio

Press to select the desired picture aspect ratio.

- TV/video mode: normal, wide, cinema, full, auto ······ 49
- PC mode: normal, full, real ······ 60

Sleep timer ······ 46

Press to select the remaining time period before which the TV set automatically turns off and enters the standby mode.

Picture setting ······ 65

Press to select the picture setting (standard, cinema, or hi-vision) that best matches the currently selected program.

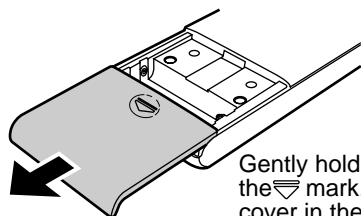
Sound select ······ 77•109

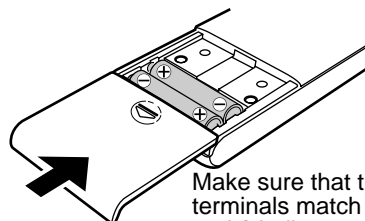
Press to select the desired sound (e.g. Japanese or English in bilingual broadcast, the main sound or a sub sound in BS digital multi-sound broadcast, etc.).

Picture select ······ 109

Press to select the desired picture when receiving a BS digital multi-picture program.

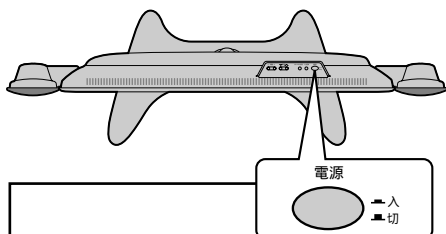
Inserting the batteries in the remote control

1 Open the battery cover.

Gently holding down the ⩢ mark, slide the cover in the direction of the arrow.

2 Insert the supplied two AAA batteries.

Make sure that the terminals match the ⊕ and ⊖ indicators in the battery compartment.

Quick Start Guide（クイックスタートガイド）

Basic Operations

■ Power on/off, channel selection, volume control

❶ Turn on the main power.

(The main power on/off switch on the main unit)

- The standby/on indicator will light green.
- Once the main power is turned on, you can use the remote control unit to operate the TV set.

❷ Select a channel.

Regular TV channel buttons

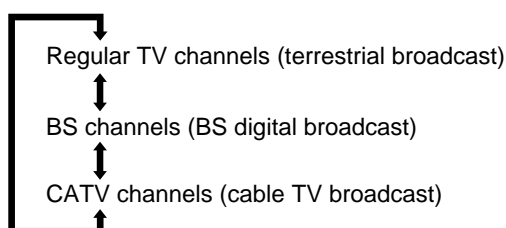
- Press to select a VHF, UHF, or CATV channel.

BS channel buttons

- Press to select a BS digital channel.

Channel (∧Up/∨Down)

- The channels change in the following order:

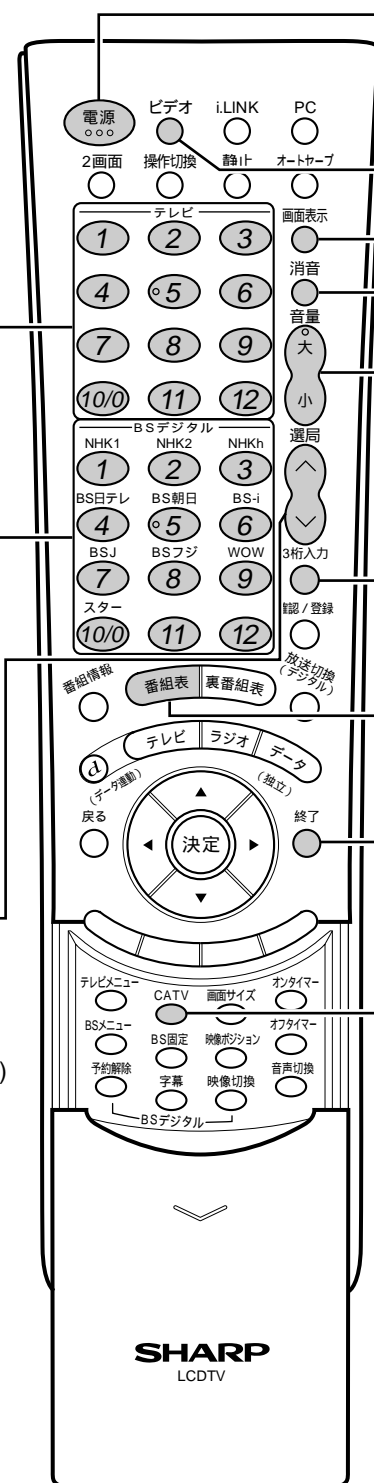
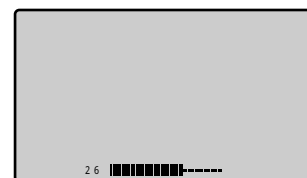
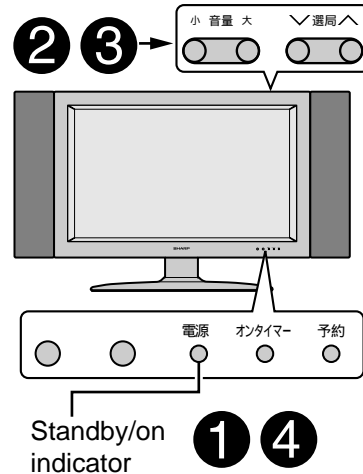
Regular TV channels (terrestrial broadcast)
↕
BS channels (BS digital broadcast)
↕
CATV channels (cable TV broadcast)

See pages 89 through 162 for BS digital broadcast-related operations.

❹ Turn off the TV.

(The Standby/On button on the remote control)

- The standby/on indicator will light red.
- The TV set will enter the standby mode. You can turn the TV on or off by pressing the Standby/On button on the remote control.

❸ Adjust the volume.

The volume indicator will appear on the screen showing the volume level with numerals and a bar.

Channel selection and volume adjustment can be operated using the control buttons on the top of the main unit.

Note

Power cable connection

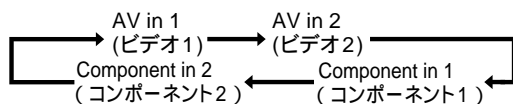
- The TV set communicates with BS digital broadcasting stations even when it is in the standby mode. Keep the power cable plugged into a wall outlet.
- Do not disconnect the power cable from a wall outlet immediately after it has been plugged in. In rare cases, the BS digital-related memory is reset to the factory settings, and timer programs, PPV program purchase records, etc. are erased. If this happens, make all necessary settings again.

Preset channels

- The TV set is factory preset to receive VHF channels 1 to 12 and BS channels 1 to 10. See pages 36 and 37 if you wish to receive UHF broadcast or re-set the VHF channels.

AV input selection, on-screen displays, mute, BS digital channel number input, EPG, end, CATV

Press to select the desired AV input.

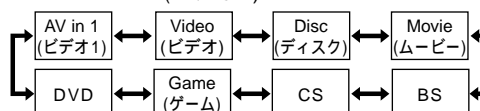
- Each time you press the button, the screen changes in the following order.(Factory setting)

- Press any TV channel select button to return to the TV screen.

AV input indicator

- The selected AV input indicator can be changed as shown below according to the type of connected equipment and the settings made. For further details, see pages 174 and 175.

<Ex.>AV in 1(ビデオ1)

Press to display the channel number or switch the on-screen indicators.

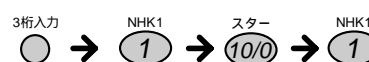
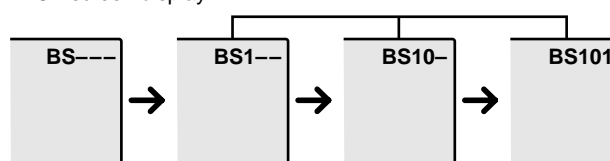
- Use to display the channel number, clock, on-timer start time, sleep-timer remaining time, etc.

▼On-screen indicators

Press to temporarily turn off the sound.

- Press again to return the sound volume to the previous level.

Use to select a BS channel by entering the 3-digit channel number.

<Ex.> Selecting channel 101

① Press the channel number input button.
② Enter the channel number with the BS channel select buttons (1-10/0).

▼ On-screen display

Press to display the BS digital electronic program guide (EPG).

- Press again to turn off the EPG display.

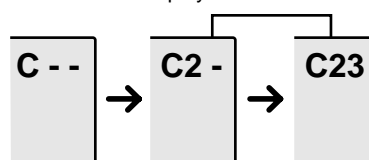
Press to end operation.

- Use to end the split screen mode or picture freeze mode, turn off the EPG display, or finish menu operation, etc.

Use to select a CATV channel by entering the 2-digit channel number.

<Ex.> Selecting channel C23

① Press the CATV button.
② Enter the channel number with the TV channel select buttons (1-10/0).
- The BS channel buttons cannot be used in step 2.

▼ On-screen display

When the broadcasting service for the selected channel is over for the day

- Approximately 5 minutes after the end of the service, the power automatically turns off, and the TV set enters the standby mode with the standby/on indicator lit red. (No-signal-turn-off feature: see page 88)
- The no-signal-turn-off function may not work properly if the TV set receives a weak signal from any other channel or some other wave.
- The no-signal-turn-off feature works the same way when the TV set is in the AV input mode.

CATV channel reception

- CATV channels can be received only in areas where CATV broadcast services are available.
- To receive CATV channels, you need to subscribe to a local CATV broadcasting company. To watch (and record) charged, scrambled broadcast, you need to connect a home terminal adapter to the TV set. For further details, consult with your local CATV service provider.
- The selectable CATV channels are C13 through C38.

Quick Start Guide（クイックスタートガイド）

Selecting a BS Digital Program

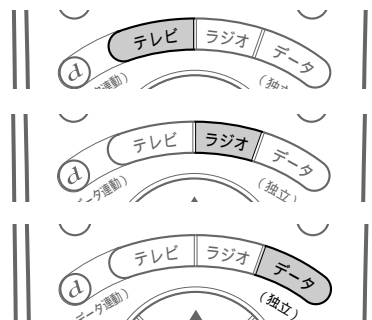
1 Select the type of broadcast

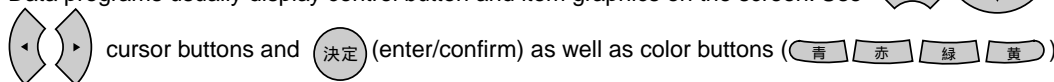
(Radio and data broadcast can be selected only when receiving BS digital broadcast.)

The BS digital broadcast offers not only TV programs but also radio and data programs. What you do first is to select the type of broadcast—TV, radio, or data, by pressing テレビ (TV), ラジオ (radio), or データ (独立) (data).

1) To select TV broadcast Press テレビ (TV).
➡ A TV channel is selected.

2) To select radio broadcast Press ラジオ (radio).
➡ A radio channel is selected.

3) To select data broadcast Press データ (独立) (data).
➡ A data channel is selected.

Operating a data program screen

Data programs usually display control button and item graphics on the screen. Use ▲ ▼ ◀ ▶ cursor buttons and 決定 (enter/confirm) as well as color buttons (青 赤 緑 黄) to select an item, confirm your choice, or switch screens back and forth, etc.

Select the desired channel

①Using the BS channel buttons

The BS channel select buttons are factory preset to receive the channels listed in the table shown below.

After you have received the desired type of broadcast in step 1 above, all you do now is press one of the BS channel select buttons 1 (NHK1) - 12 to directly select the channel of your choice.

②Selecting a channel by entering the 3-digit channel number

Press 3桁入力 (channel number input). “BS---” is displayed in the top-right corner of the screen. Enter the channel number using the BS channel buttons (1-10/0).

Ex. Press 1 (NHK1) → 4 (BS日テレ) → 1 (NHK1) to select BS Nippon.

As you press the third button, 1 (NHK1), the TV set will receive a BS Nippon program.

③Using 選局 (channel up/down)

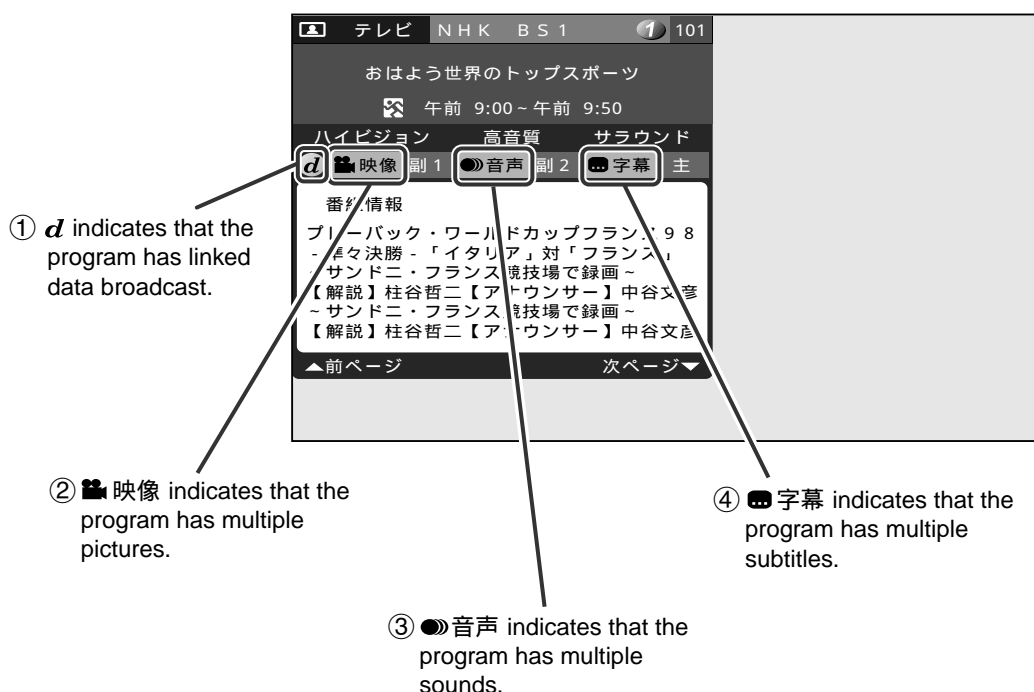
After you have received the desired type of broadcast in step 1 above, press the ∧ or ∨ side of 選局 (channel up/down) to select the next higher or lower channel.

BS channel button	TV		Radio		Data	
	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number
NHK1 1	NHK BS1	101	BSC300	300	Megaport	900
NHK2 2	NHK BS2	102	Music Bird	316	Weathernews	910
NHKh 3	NHK Hi-Vision	103	JFN 1	320	Digicas 933	933
BS日テレ 4	BS Nippon	141	St. GIGA	333	NDB 940	940
BS朝日 5	BS Asahi	151	BS Nippon Radio 1	444	BS955-5	955
BS-i 6	BS-i	161	BSA Radio 455	455	Tivi ! 963	963
BSJ 7	BS Japan	171	BS-i Radio	461	ch999	999
BSフジ 8	BS Fuji	181	BSJ 471	471	—	—
WOW 9	WOWOW	191	LFX488	488	—	—
スター 10/0	Star Channel	200	BSQR489	489	—	—
11	—	—	WOWOW WAVE 1	491	—	—
12	—	—	—	—	—	—

(As of October, 2001)

Enjoying other services

BS digital broadcasting stations offer various services which take advantage of digital technologies that allow far more data volume to be transmitted within a single channel than the traditional ground-based or satellite analog TV. These services include programs with multiple pictures and sounds, program-linked data broadcast in which program-related information is provided with still images and texts.

Press 番組情報 to display the currently selected program information.

■ Selecting the desired service

①When *d* is displayed → Press d (データ連動) (linked data).

Program-related information will be displayed.

②When 映像 is displayed → Press 映像切換 (picture select).

Press the button until the desired picture is displayed.

③When 音声 is displayed → Press 音声切換 (sound select) inside the cover.

Press the button until the desired sound is selected.

④When 字幕 is displayed → Press 字幕 (subtitles) to display subtitles.

Press the button again to turn off the subtitles, or select other subtitles.

お問い合わせは、お客様ご相談窓口へ

■ この製品についてのご意見・ご質問
「お客様相談センター」にお申し付けください。

東日本相談室

☎ (043)297-4649
FAX(043)299-8280
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2

西日本相談室

☎ (06)6621-4649
FAX(06)6792-5993
〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72

受付時間 ： 月曜日〜土曜日　午前9時〜午後6時
日曜日・祝日　　午前10時〜午後5時
(年末年始は除きます。)

■ 製品の故障や部品のご購入などの相談
「修理相談センター」にお申し付けください。

(くわしくは、213ページをご覧ください。)
修理サービスを依頼される前に、**207〜208**ページの「故障かな？と思ったら」をもう一度お読みください。

シャープ株式会社

本　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
電話（06）6621-1221（大代表）
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地
電話（0287）43-1131（大代表）

★この取扱説明書は再生紙を使用しています。

TINS-7553CEZZ⚠
01K.K/K